

認定中心市街地活性化基本計画の フォローアップ概要

北海道	1. 岩見沢市	富山県	30. 富山市	鳥取県	59. 鳥取市
	2. 富良野市		31. 高岡市		60. 米子市
青森県	3. 弘前市	石川県	32. 金沢市		61. 倉吉市
	4. 八戸市	福井県	33. 越前市	島根県	62. 江津市
	5. 黒石市	山梨県	34. 甲府市		63. 雲南市
	6. 十和田市	長野県	35. 上田市	岡山県	64. 倉敷市
岩手県	7. 久慈市	岐阜県	36. 岐阜市	広島県	65. 三原市
	8. 遠野市		37. 大垣市	山口県	66. 山口市
宮城県	9. 石巻市		38. 高山市		67. 岩国市
秋田県	10. 秋田市		39. 中津川市	愛媛県	68. 松山市
山形県	11. 山形市	静岡県	40. 静岡市	高知県	69. 高知市
	12. 鶴岡市		41. 浜松市	福岡県	70. 大牟田市
	13. 酒田市		42. 掛川市	佐賀県	71. 唐津市
	14. 上山市		43. 藤枝市		72. 基山町
	15. 長井市	愛知県	44. 豊田市	長崎県	73. 長崎市
福島県	16. 福島市		45. 田原市		74. 諫早市
	17. 会津若松市	三重県	46. 伊勢市	熊本県	75. 熊本市
	18. いわき市	滋賀県	47. 長浜市	大分県	76. 大分市
	19. 須賀川市		48. 草津市		77. 佐伯市
茨城県	20. 水戸市		49. 守山市		78. 竹田市
	21. 土浦市		50. 東近江市	宮崎県	79. 小林市
群馬県	22. 高崎市	京都府	51. 福知山市	鹿児島県	80. 鹿児島市
埼玉県	23. 川越市	大阪府	52. 堺市		81. 奄美市
	24. 蕨市		53. 高槻市	沖縄県	82. 沖縄市
	25. 寄居町	兵庫県	54. 姫路市		
東京都	26. 八王子市		55. 明石市		
	27. 青梅市		56. 伊丹市		
	28. 府中市		57. 川西市		
新潟県	29. 長岡市		58. 丹波市		

※平成30年度までに認定を受け、実施中の自治体を対象としている。

北海道岩見沢市 中心市街地活性化基本計画の概要

【計画期間】平成27年4月～令和2年3月
【人口】9万人（H22） 【面積】481.10km²

【目指す中心市街地の都市像】

多世代のふれあいを育み、岩見沢らしい魅力を高めた“活性化の発信拠点”

【取組概要】

(1) 暮らし環境の向上によるまちなか住まいの促進

- ①市営住宅整備事業
- ②3・5地区マンション事業
- ③有料老人ホーム建設事業

(2) 岩見沢らしい賑わいづくりで生まれるまちなか回遊の促進

- ④3.4.10駅前通整備事業
- 中心市街地空き店舗・空き家・空き地対策窓口事業
- 文化・交流施設と商店街の連携事業

(3) 多世代がふれあうまちなか交流の促進

- ⑤子育て支援機能拡充事業
- ⑥岩見沢市民会館・文化センターを拠点とした芸術文化事業及び情報発信事業

【計画目標】

基本方針	目標指標	基準値	目標値	最新値※
まちなか住まいの促進	居住者人口	3,508人(H25)	3,800人(R1)	3,544人(H30) B
まちなか回遊の促進	歩行者・自転車通行量 (平日・休日の平均)	4,281人(H26)	4,800人(R1)	3,821人(H30) C
	商業業務集積地区 空き店舗数	61件(H26)	50件(R1)	48件(H30) A
まちなか交流の促進	公共・公益施設利用者数	449,946人(H25)	500,000人(R1)	580,437人(H30) A

※「最新値」:基準値からの改善状況(A目標達成、B基準値達成、C基準値未達成)



北海道岩見沢市 中心市街地活性化基本計画の進捗状況 (H30定期フォローアップ等)

まちなか住まいの促進

《主要事業の進捗状況》

■市営住宅整備事業(ハード)【実施済】

〈概要〉市営住宅2条団地の建物を解体した跡地に、20戸の市営住宅を建設する。
〈状況〉平成29年度に完成、平成30年度末時点で20戸37人が入居
〈国の支援措置〉

・社会資本整備総合交付金(地域住宅計画に基づく事業(公営住宅等整備事業))(国土交通省)

■3・5地区マンション事業(ハード)【未実施】

〈概要〉13戸のマンションを建設し賃貸事業を行う。
〈状況〉平成31年4月に工事に着手し、令和2年3月に竣工・入居開始となる予定
〈国の支援措置〉

・社会資本整備総合交付金(優良建築物等整備事業)(国土交通省)(活用予定)

■有料老人ホーム建設事業(ハード)【実施済】

〈概要〉民間事業者による、民有地を利用した50人入居の介護付き有料老人ホームと34人入居の高齢者向け住宅を建設する。
〈状況〉平成27年度に完了し、平成30年度末時点で満室
〈国の支援措置〉なし

■空き店舗・空き家等利活用促進事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉中心市街地の空き店舗、空き地や空き家の調査・紹介・相談業務を行う。
〈状況〉住宅購入支援助成金は平成30年度に全市で39件の利用のうち中心市街地内における制度の活用は0件
〈国の支援措置〉

・地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(内閣府)

・地方創生推進交付金(内閣府)

《今後の方針》

3・5地区マンション事業や道管住宅整備事業など基本計画に搭載された事業に取り組むとともに、「あそびの広場」利用者に対してまちなか居住の良さをPRするなどファミリー世帯の増加をさらに促進する施策を展開していく。

まちなか回遊の促進

《主要事業の進捗状況》

■3.4.10駅前通整備事業(ハード)【実施中】

〈概要〉駅前通りの拡幅整備を行い、バリアフリーに配慮した自転車歩行者道の整備や歩道の緑化を行う。
〈状況〉平成29年度で沿道建物の補償が完了し、現在拡幅工事を実施
〈国の支援措置〉

・社会資本整備総合交付金(道路事業(街路))(国土交通省)

■(再掲)空き店舗・空き家等利活用促進事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉空き店舗や空き家を店舗等に変更したり、2階以上の空き店舗を賃貸住宅に変更する場合に改修費用を補助する。
〈状況〉平成30年度の実績は5件
〈国の支援措置〉

・地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(内閣府)

・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

■創業支援事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉相談窓口の設置、創業塾の開催、創業支援補助金等により、中心市街地での創業を支援する。
〈状況〉平成30年度は相談窓口及び創業塾での創業支援者数は94件、中心市街地内の創業者数は9件の実績
〈国の支援措置〉

・地方創生推進交付金(内閣府)

■文化・交流施設と商店街の連携事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉文化・交流施設と商店街の連携を図る。
〈状況〉平成27年度から継続実施
〈国の支援措置〉なし

・地方創生推進交付金(内閣府)

・地方創生推進交付金(内閣府)

《今後の方針》

高齢者や子ども連れの若いお母さんなどが気軽に立ち寄り休める場所を用意するなど、回遊を促すような場を増やしていくことを検討していく。

まちなか交流の促進

《主要事業の進捗状況》

■子育て支援機能拡充事業(ハード)【実施済】

〈概要〉乳幼児健診や母子相談業務等を集約するとともに、屋内型遊び場の拡充を行う。
〈状況〉平成28年3月に完了
〈国の支援措置〉

・社会資本整備総合交付金(暮らしにぎわい再生事業)(国土交通省)

■岩見沢市民会館・文化センターを拠点とした芸術文化事業及び情報発信事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉芸術文化事業の実施、イベント等情報発信を行う。
〈状況〉平成25年度から継続実施
〈国の支援措置〉なし

《その他の国の支援措置の活用状況》

■健康づくり拠点整備事業(ハード)【実施済】

・社会資本整備総合交付金(暮らしにぎわい再生事業)(国土交通省)

・社会資本整備総合交付金(暮らしにぎわい再生事業)(国土交通省)

《今後の方針》

今後については、各施設において日常的な集客を図るための適切な管理運営を行うっていくことで、目標値の達成維持は可能であるとする。

北海道富良野市 中心市街地活性化基本計画の概要

【計画期間】平成26年11月～令和2年3月
【人口】2.4万人(H22)、【面積】600.97km²

【目指す中心市街地の都市像】

～快適生活空間「ルーバン・フラノ」を目指して～

「都会的な感性をもって、快適で心豊かな田園都市を自らの力で育む」

【取組概要】

(1) 市民の意識向上による協働のまちづくり

市民が中心市街地の魅力を感じ、溢れる賑わいを実感することをめざし、各種事業に取り組んでいく。

(2) 共同住宅建設等の推進

- ① 東4条街区地区市街地再開発事業
- ② 富良野市東5条3丁目地区市街地再開発事業
- ③ まちなか共同住宅建設事業
- ④ サービス付き高齢者向け住宅建設事業

(3) 新規出店舗誘致による商業集積

- まち歩き周遊ガイドマップ事業
- 商店街魅力アップ事業「まちゼミ」
- ①【再掲】東4条街区地区市街地再開発事業
- ②【再掲】富良野市東5条3丁目地区市街地再開発事業

(4) 滞留拠点施設整備とまちなか情報の発信による回遊促進

- ⑤ サンライズ・パーク(仮称)開発事業
- ⑥ まちなかパーク&ライド事業
- フラノ・コンシェルジュ整備事業
- ①【再掲】東4条街区地区市街地再開発事業
- ②【再掲】富良野市東5条3丁目街区地区市街地再開発事業

【中心市街地】人口:2,597人(H22)、【面積】約30ha



【計画目標】

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値※
市民の意識向上による協働のまちづくり	賑わい感の向上	8%(H25)	38%(R1)	54%(H30) A
共同住宅建設の推進	居住人口	1,093人(H25)	1,200人(R1)	1,008人(H30) C
新規出店舗誘致により商業集積を高める	小売店舗数	149戸(H25)	162戸(R1)	167戸(H30) A
滞留拠点施設整備とまちなか情報発信による回遊促進	歩行者通行量	2,690人(H25)	3,700人(R1)	3,939人(H30) A

※最新値※: 基準値からの改善状況(A目標達成、B基準値達成、C基準値未達成)

北海道富良野市 中心市街地活性化基本計画の進捗状況 (H30定期フォローアップ等)

市民の意識向上による協働のまちづくり	共同住宅建設等の推進	新規出店舗誘致による商業集積	滞留拠点施設整備とまちなか情報の発信による回遊促進
<p>《主要事業の進捗状況》</p> <p>■フラノマルシェ2整備事業 (ハード)【実施済】</p> <p>〈概要〉小売店舗の商業集積と全天候型多目的交流空間を整備する。</p> <p>〈状況〉平成30年度の施設(フラノマルシェ+フラノマルシェ2)来場者数は、約120万5千人と3年連続して120万人越えを達成した。</p> <p>〈国の支援措置〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定商業施設等整備事業に係る特定民間中心市街地経済活力向上事業計画の経済産業省大臣認定(経済産業省) ・中心市街地再興戦略事業費補助金(経済産業省) <p>《その他の国の支援措置の活用状況》</p> <p>■中心市街地活性化イベント事業「北海へそ祭り」(ソフト)【実施中】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地活性化ソフト事業(総務省) <p>■中心市街地活性化イベント事業「ふらのワインぶどう祭りinまちなか」(ソフト)【実施中】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地活性化ソフト事業(総務省) <p>《今後の方針》</p> <p>市民アンケートによって、中心市街地が「賑わっている」と回答した市民の割合は目標値を3年連続で上回っており、今後もこの状況を維持していく。</p>	<p>《主要事業の進捗状況》</p> <p>■東4条街区地区市街地再開発事業 (ハード)【実施済】</p> <p>〈概要〉複合商業施設(フラノマルシェ2)、マンション、全天候型多目的交流空間等の整備を行う。</p> <p>〈状況〉平成28年2月に完了、18戸の住居用マンションは満室だが、サービス付き高齢者住宅は全36室を満室に出来ない状況が続いている。</p> <p>〈国の支援措置〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会資本整備総合交付金(市街地再開発事業等)(国土交通省) <p>■富良野市東5条3丁目地区市街地再開発事業 (ハード)【実施中】</p> <p>〈概要〉東5条3丁目地区の既存商業店舗の再集積や住空間の創出。</p> <p>〈状況〉当初予定より大きく遅延している状況であり、今年度においては、市費補助金を活用し、本格事業化に向けた基礎的調査を実施</p> <p>〈国の支援措置〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会資本整備総合交付金(市街地再開発事業等)(国土交通省) <p>■まちなか居住促進助成(引っ越し助成)事業 (ソフト)【実施中】</p> <p>〈概要〉中心市街地の民間賃貸住宅への入居希望者に対して、引っ越し費用を一部助成する。</p> <p>〈状況〉平成30年度の実績は1件</p> <p>《今後の方針》</p> <p>今年度は、役割分担に基づき市は「まちなか居住促進助成事業」の推進、富良野商工会議所は「移住(I・Uターン)促進・勤労者住宅整備事業」の運用開始、ふらのまちづくり財団は「東5条3丁目地区市街地再開発事業」の推進を図っていく。</p>	<p>《主要事業の進捗状況》</p> <p>■富良野市中小企業振興総合補助金(ソフト)【実施中】</p> <p>〈概要〉新規出店の誘致拡大及び既存中小企業の事業実施を後押しするための各種補助事業を実施する。</p> <p>〈状況〉平成30年度は、全市で35件の利用実績、うち中心市街地は18件の利用実績</p> <p>〈国の支援措置〉なし</p> <p>■(再掲)フラノマルシェ2整備事業 (ハード)【実施済】</p> <p>《今後の方針》</p> <p>平成30年度は、初めて数値目標を上回る結果となった。中心市街地の地価(路線価、基準地価)も5年連続して上昇するなど、地域商業を支える基盤が確立されてきており、今後もこの状況を維持し好循環に繋げていく。</p>	<p>《主要事業の進捗状況》</p> <p>■フラノ・コンシェルジュ整備事業 (ハード)【実施済】</p> <p>〈概要〉観光情報発信、観光商品販売、シェアオフィス、宿泊、飲食、イベントスペース等を配置した多機能複合ビルの整備。</p> <p>〈状況〉平成30年6月1日にオープンし、当初のねらいどおりインバウンドが集まる施設となり、特に冬季間まちなかを回遊するインバウンドが多く見られた。</p> <p>〈国の支援措置〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定民間中心市街地経済活力向上事業計画の経済産業省大臣認定(経済産業省) ・地域未来投資促進事業費補助金(まちなか集客力向上支援事業)(経済産業省) <p>■「サンライズ・パーク」整備事業 (ハード)【実施中】</p> <p>〈概要〉市内の中心に、大型バスが駐車可能な「まちなか駐車場」を配置。また、ポケットパーク機能も併設する。</p> <p>〈状況〉平成30年度に工事完了、令和元年度(平成31年度)より本格運用開始。</p> <p>〈国の支援措置〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地再活性化特別対策事業 <p>《今後の方針》</p> <p>歩行者通行量は、2年続けて目標値を達成した。まちなか回遊の促進は、地価上昇や新規出店、賑わい感向上など、連鎖的な波及効果を生み出しており、今後もこの状況を維持していく。</p>

青森県弘前市 中心市街地活性化基本計画の概要

【計画期間】平成28年4月～令和3年3月
【人口】17.9万人(H26)、【面積】524.2km²

【目指す中心市街地の都市像】

多くの人が集う、活気ある楽しいまち

【取組概要】

(1) 来街者を増やす

- ① 駅前広場・山道町樋の口町線街路整備事業
- ② 庁舎増改築事業
- ③ (仮称)ルネサアベニューリノベーション事業
- ④ (仮称)城東閣リノベーション事業

(2) 空き店舗を減らす

- ⑤ 空き店舗活用支援事業
- ⑥ 空き店舗活用チャレンジ融資利子補給措置

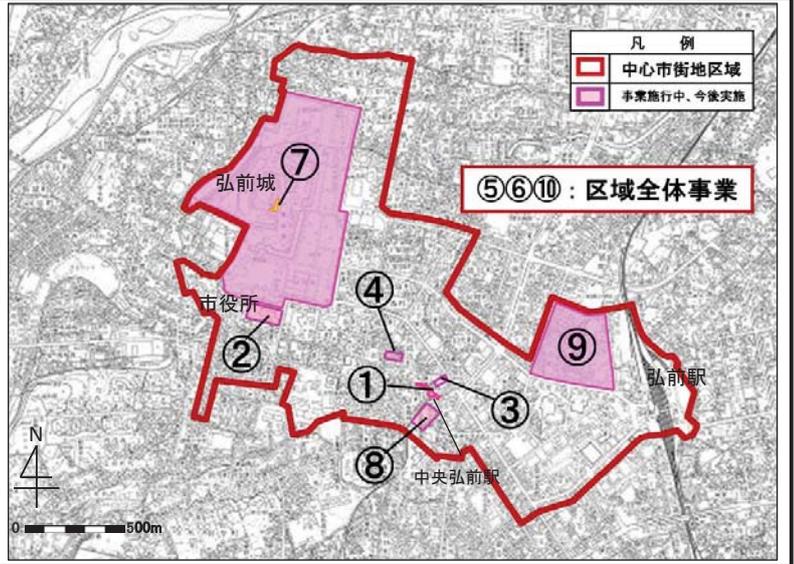
(3) 観光客を増やす

- ⑦ 弘前城本丸石垣整備事業
- ⑧ 吉野町緑地周辺整備事業

(4) 居住者を増やす

- ⑨ 弘前駅前北地区土地区画整理事業
- ⑩ 空き家・空き地の利活用事業

【中心市街地】人口：10,144人(H26)、【面積】230ha



【計画目標】

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値※
来街者を増やす	歩行者・自転車通行量	19,666人(H26)	23,000人(R2)	16,765人(H30) C
空き店舗を減らす	空き店舗率	8.4%(H26)	6.5%(R2)	8.3%(H30) B
観光客を増やす	観光施設等利用者数	1,981,540人(H26)	2,301,000人(R2)	1,933,269人(H30) C
居住者を増やす	居住人口の割合	5.7%(H26)	5.9%(R2)	5.8%(H30) B

※「最新値」：基準値からの改善状況(A目標達成、B基準値達成、C基準値未達成)

青森県弘前市 中心市街地活性化基本計画の進捗状況 (H30定期フォローアップ等)

来街者を増やす	空き店舗を減らす	観光客を増やす	居住者を増やす
<p>《主要事業の進捗状況》</p> <p>■駅前広場・山道町樋の口町線街路整備事業(ハード)【実施中】</p> <p>〈概要〉弘前市による道路の拡幅工事及び駅前広場を一体的に整備する。</p> <p>〈状況〉平成30年度は用地補償、融雪・電線共同溝詳細設計、街路整備工事を実施</p> <p>〈国の支援措置〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会資本整備総合交付金(道路事業(街路))(国土交通省) ・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省) <p>■まちなかお出かけバス事業(ソフト)【実施中】</p> <p>〈概要〉市内で路線バス及び弘南鉄道大鰐線等を利用した際の運賃軽減が可能なお出かけバスを発行する。</p> <p>〈状況〉平成30年5月よりシニア版お出かけバスを200部発行</p> <p>〈国の支援措置〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地活性化ソフト事業(総務省) <p>《その他の国の支援措置の活用状況》</p> <p>■(仮称)ルネサアベニューリノベーション事業(ハード)【実施済】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域文化資源活用空間創出事業費補助金(経済産業省) 	<p>《主要事業の進捗状況》</p> <p>■空き店舗活用支援事業(ソフト)【実施中】</p> <p>〈概要〉中心市街地の空き店舗を活用し、新規出店又は移転する際の改修・建築工事の費用の一部を補助する。</p> <p>〈状況〉平成30年度は5件の利用</p> <p>〈国の支援措置〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地活性化ソフト事業(総務省) <p>■空き店舗活用チャレンジ融資利子補給措置(ソフト)【実施中】</p> <p>〈概要〉中心商店街の空き店舗又は空き地を活用して出店する事業に対して、市が利子等の補給を実施する。</p> <p>〈状況〉平成30年度は2件の利用</p> <p>〈国の支援措置〉なし</p> <p>《その他の国の支援措置の活用状況》</p> <p>■創業・起業支援拠点運営事業(ソフト)【実施中】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地活性化ソフト事業(総務省) 	<p>《主要事業の進捗状況》</p> <p>■弘前城本丸石垣整備事業(ハード)【実施中】</p> <p>〈概要〉弘前城本丸石垣の整備に伴う天守の移動、石垣解体・積直工事を行うとともに改修工事等を広くPRする。</p> <p>〈状況〉平成30年度は石垣解体工事、石垣積み直し実施設計を実施</p> <p>〈国の支援措置〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国宝重要文化財等保存整備費補助金(文部科学省) ・国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(文部科学省) <p>■吉野町緑地周辺整備事業(ハード)【実施中】</p> <p>〈概要〉吉野町煉瓦倉庫を利用した芸術文化施設と土淵川吉野町緑地を整備する。</p> <p>〈状況〉平成30年5月に工事に着手し、主に建物の躯体工事を実施。令和2年度開業予定</p> <p>〈国の支援措置〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省) <p>《その他の国の支援措置の活用状況》</p> <p>■まちな歩き観光パワーアップ事業(ソフト)【実施中】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地活性化ソフト事業(総務省) 	<p>《主要事業の進捗状況》</p> <p>■弘前駅前北地区土地区画整理事業(ハード)【実施中】</p> <p>〈概要〉弘前駅前北地区の道路・公園などの都市施設を効率的に配置・整備する。</p> <p>〈状況〉清算金徴収・交付事務のため、令和元年度に事業完了予定</p> <p>〈国の支援措置〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会資本整備総合交付金(都市再生区画整理事業)(国土交通省) ・社会資本整備総合交付金(道路事業(区画))(国土交通省) ・二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(低炭素型融雪設備導入支援事業)(環境省) <p>■空き家・空き地の利活用事業(ソフト)【実施中】</p> <p>〈概要〉空き家・空き地バンクの構築と、登録物件等に対する取得等に対する支援を実施する。</p> <p>〈状況〉平成30年度の中心市街地内での補助実績はなし</p> <p>〈国の支援措置〉なし</p> <p>《その他の国の支援措置の活用状況》</p> <p>■弘前市民文化交流館環境整備事業(ハード)【実施中】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地再活性化特別対策事業(総務省)
<p>《今後の方針》</p> <p>H30年度数値は前年度より回復したものの、現状の伸び幅では目標値の達成が難しい見込みであり、文化交流エリアの事業効果を面的に波及させる取組を官民一体で検討・実施していく。</p>	<p>《今後の方針》</p> <p>空き店舗に対する新規出店を促進する取組は継続しながら、固定化している空き物件や空き地を解消する方策を検討・実施していく。</p>	<p>《今後の方針》</p> <p>今後も様々なイベントを企画、検討しながら、商業者、行政、関係機関が一体となった新たな施策を展開することで、目標値は達成可能と考えている。</p>	<p>《今後の方針》</p> <p>今後も、居住人口の割合を増加させるため、空き家・空き地の利活用事業等を継続して推進していく。</p>

青森県八戸市 中心市街地活性化基本計画の概要

【計画期間】平成30年12月～令和6年3月
【人口】23.1万人(H27)、【面積】306km²

【目指す中心市街地の都市像】

多様な機能が集まり、多彩な人々が行き交う、
八戸らしい文化を育むまち

【取組概要】

(1) 街なかの賑わい創出(来街機会の創出と回遊性の向上)

- ①美術館整備・運営事業
- ②(仮称)八戸市屋内スケート場建設・運営事業
- ③はちのへマチナカ活性化プロジェクト事業
- ④八戸まちなか広場運営事業
- ⑤花小路整備事業

(2) 起業者支援と魅力ある商店街・オフィス街づくり

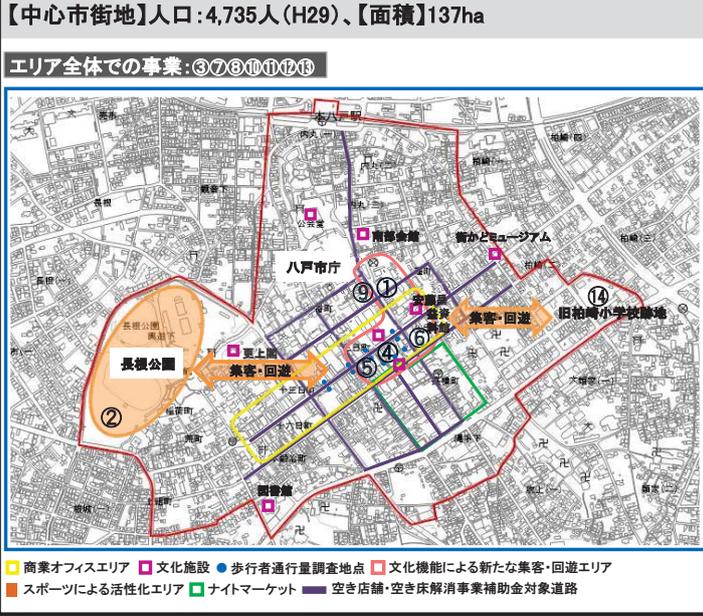
- ⑥八日町地区複合ビル整備事業
- ⑦中心市街地商業機能誘致事業
- ⑧中心商店街空き店舗・空き床解消事業
- ⑨はちのへ創業・事業承継サポートセンター事業
- ⑩まちなか生業応援事業

(3) 街なかの居住推進と移動の利便性向上

- ⑪はちのへ空き家再生事業
- ⑫ほんのり温ったか八戸移住計画支援事業
- ⑬まちなか住宅取得支援事業
- ⑭旧柏崎小学校跡地広場整備事業

【計画目標】

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値※
街なかの賑わい創出 (来街機会の創出と回遊性の向上)	①歩行者通行量(平日・休日の合計、11地点) ②公共施設来館者数	①66,653人(H29) ②1,167,000人 (過去3年の平均値)	①75,600人(R5) ②1,968,000人 (R5)	①61,726人【参考】 ②1,457,894人 B (H30)
起業者支援と魅力ある 商店街・オフィス街づくり	空き店舗・空き地率	11.6%(H29)	8.2%(R5)	12.1%(H30) C
街なかの居住推進と 移動の利便性向上	中心市街地における人口の社会増減数	△51人 (H25～29年度)	70人 (H30～R5年度)	8人【参考】 (H30年度)



※「最新値」:基準値からの改善状況(A目標達成、B基準値より改善、C基準値より悪化)

青森県八戸市 中心市街地活性化基本計画の進捗状況 (H30定期フォローアップ等)

街なかの賑わい創出 (来街機会の創出と回遊性の向上)	起業者支援と魅力ある 商店街・オフィス街づくり	街なかの居住推進と 移動の利便性向上
<p>《主要事業の進捗状況》</p> <p>■美術館整備事業(ハード)【実施中】 〈概要〉新美術館を整備し、人づくりやまちづくりに資する新たなプログラムを実施する。 〈状況〉令和2年度完成予定 〈国の支援措置〉 ・中心市街地再活性化特別対策事業(総務省) ・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省)</p> <p>■(仮称)八戸市屋内スケート場建設事業 (ハード)【実施中】 〈概要〉国際大会が可能な国内3番目のスピードスケートの拠点施設を整備する。 〈状況〉令和元年度完成予定 〈国の支援措置〉 ・中心市街地再活性化特別対策事業(総務省) ・社会資本整備総合交付金(都市公園・緑地等事業)(国土交通省) ・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省)</p> <p>《その他の国の支援措置の活用状況》</p> <p>■はちのへマチナカ活性化プロジェクト事業 (ソフト)【実施中】 ・地方創生推進交付金(内閣府)</p> <p>■八戸まちなか広場運営事業(ソフト)【実施中】 ・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)</p>	<p>《主要事業の進捗状況》</p> <p>■八日町地区複合ビル整備事業(ハード)【実施中】 〈概要〉旧商業ビル跡地に、民間事業者により、商業・居住機能を有する複合ビルを整備する。 〈状況〉令和元年度完成予定 〈国の支援措置〉 ・社会資本整備総合交付金(優良建築物等整備事業)(国土交通省)</p> <p>■中心商店街空き店舗・空き床解消事業 (ソフト)【実施中】 〈概要〉店舗改装経費の一部を助成し、空き店舗への出店を促す。まちづくり団体等に対象を広げるなど、支援を拡充する。 〈状況〉平成30年度は1件の活用実績 〈国の支援措置〉 ・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)</p> <p>《その他の国の支援措置の活用状況》</p> <p>■はちのへ創業・事業承継サポートセンター事業 (ソフト)【実施中】 ・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)</p> <p>■まちなか生業応援事業(ソフト)【実施中】 ・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)</p>	<p>《主要事業の進捗状況》</p> <p>■はちのへ空き家再生事業(ソフト)【実施中】 〈概要〉空き家の実態を調査し、空き家のポータルサイトを構築。空き家の利活用を促進する。 〈状況〉平成30年度は空き家ポータルサイトやPR動画を制作 〈国の支援措置〉 ・地方創生推進交付金(内閣府)</p> <p>■旧柏崎小学校跡地広場整備事業 (ハード)【実施中】 〈概要〉町内単位で作成する八戸三社大祭の山車の制作場所を郊外から移転し、広場を整備することで、伝統文化の継承、地域自治の振興と居住の推進、観光機能の充実を図る。 〈状況〉平成30年度は校舎等の解体に着手 〈国の支援措置〉 ・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省)</p>
<p>《今後の方針》</p> <p>引き続き、各施設間の連携を図りながら、目標達成に向け取り組んでいく。</p>	<p>《今後の方針》</p> <p>引き続き、空き店舗の解消を図るための施策を実施するほか、市の観光資源である「横丁」の魅力を外に発信し、魅力ある商店街づくりを推進していく。</p>	<p>《今後の方針》</p> <p>引き続き、中心市街地の居住推進に向け、各種施策に取り組んでいく。</p>

青森県黒石市 中心市街地活性化基本計画の概要

【計画期間】平成31年4月～令和6年3月
【人口】3.4万人(H30)、【面積】217km²

【目指す中心市街地の都市像】

誰もが輝き、「真の豊かさ、あずましさ」を実感できる街
- 黒石ならではの魅力を磨くまちづくり -

【取組概要】

(1) 魅力と活力ある商業環境づくり

- ① 中心市街地複合宿泊施設整備事業
- ② 中心商店街空き店舗対策事業
- ③ 創業・起業支援事業
- ④ 弘前圏域空き家・空き地バンク連携事業

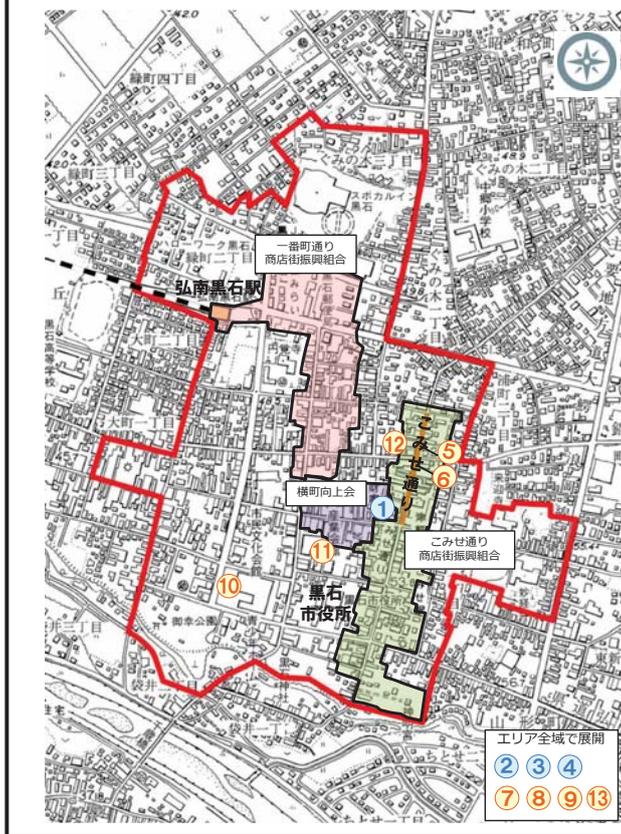
(2) 街なかのにぎわい創出

- ⑤ 前町野添線電線共同溝整備事業
- ⑥ 街なみ環境整備事業
- ⑦ 街なかイベント支援事業
- ⑧ 黒石よされブラッシュアップ事業
- ⑨ 街なか情報発信事業
- ⑩ 市立図書館整備事業
- ⑪ 市民サービス施設整備事業
- ⑫ 松の湯交流館管理運営事業
- ⑬ 回遊バス運行事業

【計画目標】

基本方針	目標指標	基準値	目標値
魅力と活力ある商業環境づくり	新規出店数(件)	10 (H25～29の合計値)	15 (R1～R5の合計値)
街なかのにぎわい創出	主要イベント入込数(人)	169,764 (H29)	183,500 (R5)
	歩行者通行量(人/日) (平日・休日計)	3,974 (H29)	4,300 (R5)

【中心市街地】人口:2,140人(H30)、【面積】約76.5ha



青森県黒石市 中心市街地活性化基本計画の進捗状況 (H31.3認定、定期フォローアップ未実施)

魅力と活力ある商業環境づくり

《主要事業の進捗状況》

■中心市街地複合宿泊施設整備事業(ハード)
〈概要〉横町に宿泊施設、多目的ホール、売店等の複合施設を民間活力により整備し、市民や観光客が交流・滞在する場を創出する。

〈国の支援措置〉

・地域まちなか活性化・魅力創出支援事業費補助金(中心市街地活性化支援事業)のうち先導的・実証的の事業(経済産業省)

■中心商店街空き店舗対策事業(ソフト)

〈概要〉中心商店街の空き店舗に出店するための店舗改修費等の経費の一部補助のほか、出店後の経営状況等のフォローアップを実施する。

〈国の支援措置〉

・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

■創業・起業支援事業(ソフト)

〈概要〉相談ルームの開設やセミナーの開催などにより、創業・起業希望者への支援を行うほか、中心商店街空き店舗対策事業の実施により、中心市街地への新規出店を呼び込み、創業希望者の掘り起こしから新規出店までを支援する。

〈国の支援措置〉

・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

《今後の方針》

H30 定期フォローアップ対象外

街なかのにぎわい創出

《主要事業の進捗状況》

■街なかイベント支援事業(ソフト)

〈概要〉街なかイベント(黒石よされ、黒石ねぶた祭り、黒石こみせまつり、黒石りんごまつり等)の経費の一部補助のほか人的支援等により内容を充実させ、にぎわいの創出と交流人口の拡大を図る。

〈国の支援措置〉・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

■黒石よされブラッシュアップ事業(ソフト)

〈概要〉日本三大流し踊りの一つ黒石よされの県外へのPR強化のため、首都圏等で開催されるイベントへ参加し、また独自で県外イベントに参加するPR団体への経費の一部補助により、誘客促進と市内の交流人口の拡大を図る。

〈国の支援措置〉・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

■街なか情報発信事業(ソフト)

〈概要〉商店街マップや情報誌、SNS等での情報発信により市民及び観光客の関心を高めるほか、インバウンド対応のための無料Wi-Fi設置の促進、英語圏、主にオーストラリアをターゲットとした誘客を図る。

〈国の支援措置〉・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

■市立図書館整備事業(ハード)

〈概要〉当市に無い図書館を建設することで、図書館を利用する様々な世代の来街者を増やし、回遊を生み出し、様々な世代の憩いの場として活用するとともに、にぎわいの創出を図る。

〈国の支援措置〉・社会資本整備総合交付金(暮らし・にぎわい再生事業)(国土交通省)

■市民サービス施設整備事業(ハード)

〈概要〉旧大黒デパートを解体し、市役所窓口業務等を含む市民サービス関連機能や交流拠点機能などを含む複合施設を整備することで中心市街地に新たな人の流れを創出し、にぎわいの創出を図る。

〈国の支援措置〉・社会資本整備総合交付金(暮らし・にぎわい再生事業)(国土交通省)

《今後の方針》

H30 定期フォローアップ対象外

青森県十和田市 中心市街地活性化基本計画の概要

【計画期間】平成31年4月～令和6年3月
【人口】6.3万人(H27)、【面積】725.65km²

【目指す中心市街地の都市像】

アートの感動を共有し、賑わいと暮らしが共鳴する街とわだ
～市民の暮らしを支え、人々が集い・活動する中心市街地を目指して～

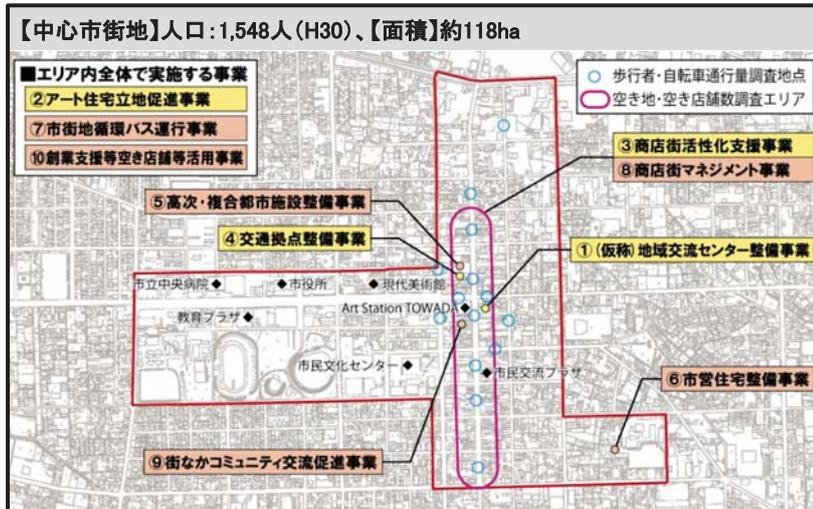
【取組概要】

(1) 芸術・歴史・文化を活かした、魅力的な市街地の形成

- ①(仮称)地域交流センター整備事業
- ②アート住宅立地促進事業
- ③商店街活性化支援事業
- ④交通拠点整備事業

(2) 歩いて暮らせる安心・快適な生活環境と、利便性の高い市街地の形成

- ⑤高次・複合都市施設整備事業
- ⑥市営住宅整備事業
- ⑦市街地循環バス運行事業
- ⑧商店街マネジメント事業
- ⑨街なかコミュニティ交流促進事業
- ⑩創業支援等空き店舗等活用事業



【計画目標】

目標	目標指標	基準値	目標値
芸術・歴史・文化を活かした、魅力的な市街地の形成	歩行者・自転車通行量	4,651人 (H30)	5,604人 (R5)
歩いて暮らせる安心・快適な生活環境と、利便性の高い市街地の形成	社会増減数	-25人 (H25～H29)	125人 (H31～R5)
	空き地・空き店舗数	52か所 (H29)	39か所 (R5)

青森県十和田市 中心市街地活性化基本計画の進捗状況 (H31.3認定、定期フォローアップ未実施)

芸術・歴史・文化を活かした、魅力的な市街地の形成

《主要事業の進捗状況》

■(仮称)地域交流センター整備事業(ハード)

〈概要〉現代美術館と連携した企画展の開催や、市民のアート活動のサポート等を行う「現代アート」を中心とした地域交流の拠点となる多用途施設を整備する。

〈国の支援措置〉

- ・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省)

■商店街活性化支援事業(ソフト)

〈概要〉商店街連合会・商工会議所が主体となり、中心市街地内の空き地や多目的スペース等を活用したアート作品の展示・販売イベントなど、商店街活性化に資する各種イベントの支援や、まちの魅力を発信強化を実施する。

〈国の支援措置〉

- ・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

■アート住宅立地促進事業(ソフト)

〈概要〉まちづくり会社が主体となり、現代アートを軸としたまちづくりに資する、デザイン性の高い戸建て住宅の立地促進に向けた設計コンペイベントを開催する。

〈国の支援措置〉

- ・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

■交通拠点整備事業(ハード)

〈概要〉広域バス路線や市内バス路線、乗合タクシーなどの交通結節点となる、観光案内機能も備えた交通拠点(バスターミナル)を整備する。

〈国の支援措置〉

- ・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省)

《今後の方針》

H30 定期フォローアップ対象外

歩いて暮らせる安心・快適な生活環境と、利便性の高い市街地の形成

《主要事業の進捗状況》

■高次・複合都市施設整備事業(ハード)

〈概要〉民間事業者が主体となり、商業・医療・福祉・居住などの複合的な機能を有し、各種イベントに活用可能な多目的スペースを備えた高次・複合都市施設を整備する。

〈国の支援措置〉

- ・社会資本整備総合交付金(暮らし・にぎわい再生事業)(国土交通省)

■市営住宅整備事業(ハード)

〈概要〉中心市街地内の公的ストック(市民東プール跡地)を活用し、市営住宅を集約・整備する。

〈国の支援措置〉

- ・社会資本整備総合交付金(地域住宅計画に基づく事業)(国土交通省)

■街なかコミュニティ交流促進事業(ソフト)

〈概要〉商店街連合会が主体となり、既存の店舗の一部を改修し、簡単な運動スペースや相談スペースなどのコミュニティ施設を設置する。

〈国の支援措置〉

- ・地域・まちなか商業活性化支援事業(地域商業自立促進事業)(経済産業省)

■商店街マネジメント事業(ソフト)

〈概要〉商店街連合会が主体となり、商店街の空き地や空き店舗のマネジメントを行い、最寄品を取り扱う店舗の誘致や、アトリエ・シェアハウスなどとしての再整備を行う。

〈国の支援措置〉

- ・地域・まちなか商業活性化支援事業(地域商業自立促進事業)(経済産業省)

《その他の国の支援措置の活用状況》

■第一種大規模小売店舗立地法特例区域の設定(ソフト)【実施中】

- ・大規模小売店舗立地法の特例(第一種大規模小売店舗立地法特例区域)

(経済産業省)

《今後の方針》

H30 定期フォローアップ対象外

岩手県久慈市 中心市街地活性化基本計画の概要

【計画期間】平成26年4月～R2年3月
【人口】3.7万人(H25)、【面積】約623km²

【目指す中心市街地の都市像】

道の駅を中心とした活性化を継続するとともに、玄関口であるJR久慈駅周辺の再整備により、賑わいの相乗効果を期待する。

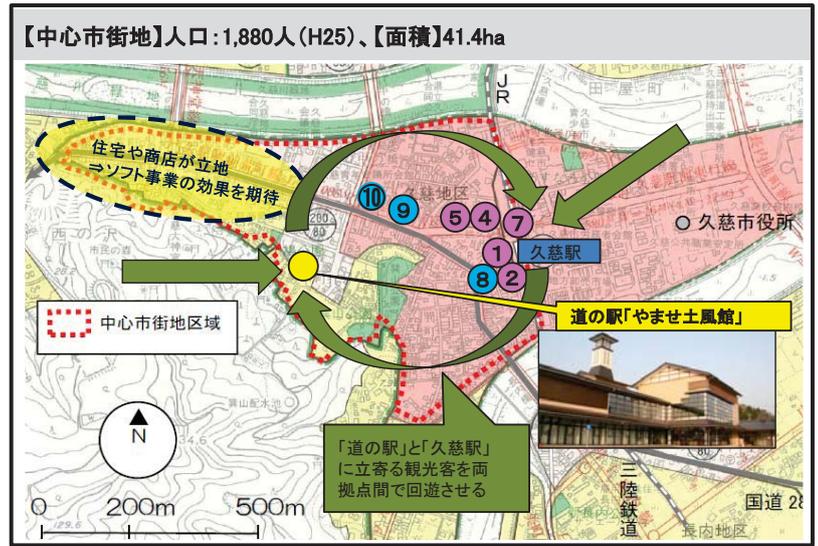
【取組概要】

(1) やませ土風館の集客力を高め商店街への波及効果を促進する

- ①久慈駅前広場整備事業
- ②複合施設整備事業
- ③道路等整備事業
- ④海とさかなの魅力全国発信事業
- ⑤あまちゃんハウス運営事業
- ⑥成功店モデル創出・波及事業
- ⑦駅前コンシェルジュ設置事業

(2) 社会増減人口の減少に歯止めをかけ定住性を向上させる

- ⑧複合施設運営事業
- ⑨街なか子育てサポート事業
- ⑩ご近所介護ステーションの運営
- ⑪街なか空き家バンク事業
- ⑫地域コミュニティ振興事業
- ⑬街なか居住促進事業



【計画目標】

目標	目標指標	基準値(H24)	目標値(R1)	最新値※(H30)
やませ土風館と駅前拠点による中心市街地全体の賑わい創出	やませ土風館・複合施設の利用者数	773,659人/年	858,000人/年	782,557人/年 B
	やませ土風館の商品販売額	504百万円	512百万円	578百万円 A
	歩行者・自転車通行量(平日・休日の平均)	5,508人/日	5,514人/日	3,869人/日 C
安心して住み続けられる生活空間づくり	中心市街地定住人口に係る社会増減数	▲74人(H19～24)	2人(H26～R1)	▲141人 C(H26～30)

※③・⑥・⑩～⑬は区域内の広範囲で実施する事業
「最新値※」: 基準値からの改善状況 (A目標達成、B基準値達成、C基準値未達成)

岩手県久慈市 中心市街地活性化基本計画の進捗状況 (H30定期フォローアップ等)

やませ土風館と駅前拠点による中心市街地全体の賑わい創出

《主要事業の進捗状況》

■久慈駅前広場整備事業(ハード)【実施済】

〈概要〉久慈駅前交通広場の拡充及びイベント広場の新設を行う。

〈状況〉平成29年度着工し、平成30年度完成

〈国の支援措置〉

・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省)

■あまちゃんハウス運営事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉NHK連続テレビ小説「あまちゃん」関連グッズの展示や販売を行う。

〈状況〉平成30年度来場者数27,187名

〈国の支援措置〉

・地方創生推進交付金(内閣府)

■駅前コンシェルジュ設置事業(ソフト)【実施済】

〈概要〉久慈駅に案内人を設置し、各種の情報提供やイベントを実施する。

〈状況〉鉄道利用者の視点に立ったサービスを提供し、リピート率を高めている。

〈国の支援措置〉

・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

《その他の国の支援措置の活用状況》

■複合施設整備事業(ハード)【実施中】

・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省)

■道路等整備事業(ハード)【実施済】

・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省)

■大規模小売店舗立地法の特例区域の設定(ソフト)【実施済】

・大規模小売店舗立地法の特例(経済産業省)

■成功店モデル創出・波及事業(ソフト)【実施中】

・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

■路線バス運行事業(ソフト)【実施中】

・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

《今後の方針》

やませ土風館の商品販売額は目標値を超えているものの、同館の利用者は減少傾向にあるため、観光客の回遊性を向上させる事業の取り組み強化が必要と考える。観光PR活動等の着実な推進ややませ土風館への観光客の呼び込みに取り組むとともに、あまちゃんハウス運営事業や商店会連合会が行う空き店舗を利用した交流スペースの活用を促進させるなど、引き続き最大限努力していく。

安心して住み続けられる生活空間づくり

《主要事業の進捗状況》

■太陽光発電システム整備事業(ハード)【実施済】

〈概要〉地域防災計画で避難場所に位置付ける、やませ土風館に太陽光発電システムを設置する。

〈状況〉平成26年度設置

〈国の支援措置〉なし

■街なか空き家バンク事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉中心市街地内にあるアパートや借家の情報を収集し、それぞれの物件の特徴について広く情報を提供する。

〈状況〉Webなどで情報提供を行い、中心市街地内の物件の選択を促し、定住人口の確保に寄与している。

〈国の支援措置〉なし

■街なか居住促進事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉中心市街地外居住者が中心市街地内に住宅を新築し移り住む際、または賃貸住宅を新築する際に助成する。

〈国の支援措置〉なし

■木造住宅耐震改修工事助成事業(ソフト)【実施中】

・防災・安全交付金(地域住宅計画に基づく事業(住宅・建築物安全ストック形成事業)と一体の効果促進事業)(国土交通省)

■街なか子育てサポート事業(ソフト)【実施中】

・地方創生推進交付金(内閣府)

《その他の国の支援措置の活用状況》

■木造住宅耐震改修工事助成事業(ソフト)【実施中】

・防災・安全交付金(地域住宅計画に基づく事業(住宅・建築物安全ストック形成事業)と一体の効果促進事業)(国土交通省)

■街なか子育てサポート事業(ソフト)【実施中】

・地方創生推進交付金(内閣府)

■街なか子育てサポート事業(ソフト)【実施中】

・地方創生推進交付金(内閣府)

■街なか子育てサポート事業(ソフト)【実施中】

・地方創生推進交付金(内閣府)

■街なか子育てサポート事業(ソフト)【実施中】

・地方創生推進交付金(内閣府)

《今後の方針》

中心市街地定住人口に係る社会増減数は、平成26～30年度の増減累計が▲141人と基準値を大きく下回り、非常に厳しい状況にある。計画事業の追加を検討したが、市内多くの地域でも社会減が問題となっており、短期間で即効性のある取り組みは非常に難しい状況にあるが、目標達成のため、既存の街なか空き家バンク事業及び街なか居住促進事業を着実に推進していくほか、引き続き既存事業の更なる周知を図り、数値の向上に努めていく。

岩手県遠野市 中心市街地活性化基本計画の概要

【計画期間】平成28年4月～令和3年3月
【人口】2.8万人(H26)、【面積】825.62km²

【目指す中心市街地の都市像】

歴史・文化・風土・自然が息づき、市民と観光客に愛され全ての世代が安心して楽しく回遊できるまち

～永遠の日本のふるさと遠野の実現に向けて～

【取組概要】

(1) 観光客が訪れる中心市街地

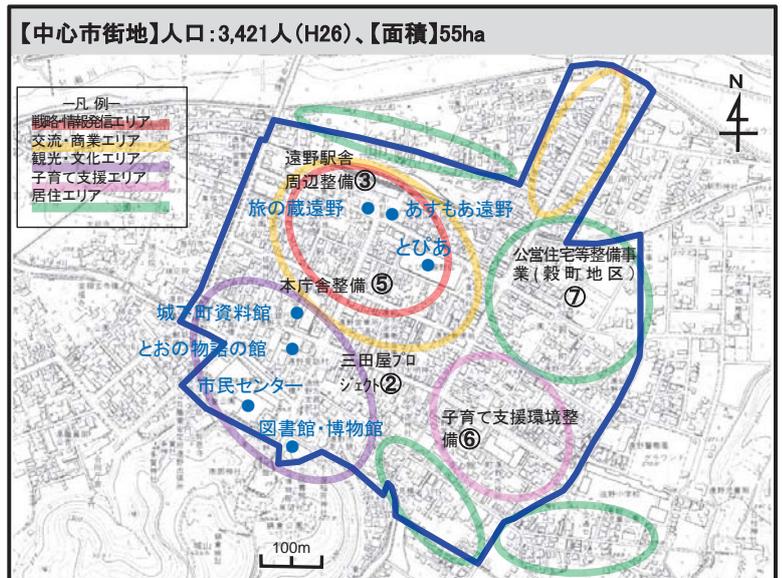
- ① まちづくりポイントカードシステム導入事業
- ② 三田屋プロジェクト(遠野みらい創りカレッジ関連事業)
- ③ 遠野駅舎周辺整備事業
- ④ 観光Wi-Fi対応事業

(2) 人々が行き交う中心市街地

- ⑤ 本庁舎整備事業
- ⑥ 子育て支援環境整備事業
- ⑦ 公営住宅等整備事業(穀町地区)
- まちづくりポイントカードシステム導入事業(再掲)

(3) 生活が充実する中心市街地

- ⑧ ファサード改修費助成事業
- ⑨ 空き店舗家賃助成事業
- ⑩ 空き店舗改修費助成事業



【計画目標】

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値※
観光客が訪れる中心市街地	観光施設入込数	64,726人(H26)	100,000人(R2)	47,450人(H30) C
人々が行き交う中心市街地	中心市街地通行量	3,145人(H26)	4,262人(R2)	2,256人(H30) C
生活が充実する中心市街地	新規出店数	7件(H24～26)	12件(R2)	15件(H28～30) A

※最新値※: 基準値からの改善状況(A目標達成、B基準値達成、C基準値未達成)

岩手県遠野市 中心市街地活性化基本計画の進捗状況 (H30定期フォローアップ等)

観光客が訪れる中心市街地

《主要事業の進捗状況》

■まちづくりポイントカードシステム導入事業 (ソフト)【実施中】

〈概要〉中心市街地内のほとんどの小売店が加入しているポイントカードを多機能化し、公共施設や観光施設等との多事業連携を図る。
〈状況〉福祉部門との連携が先行実施されている。中心市街地活性化センターに測定機能を設置しまちなか活性化事業との連携を図っている。
〈国の支援措置〉

・まちなか商業活性化支援事業(中心市街地再興戦略事業)のうち調査事業(経済産業省)(活用予定)

■三田屋プロジェクト(遠野みらい創りカレッジ関連事業)(ソフト)【実施中】

〈概要〉空家となっている町家「三田屋」の調査及び改修を高校生や大学との交流で行う。
〈状況〉各団体のイベントの基点として利活用、年間約2,400人が利用
〈国の支援措置〉

・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

《その他の国の支援措置の活用状況》

■遠野市立博物館特別展(ソフト)【実施中】

・地方創生推進交付金(内閣府)

■ジギスカンマラソン(ソフト)【実施中】

・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

《今後の方針》

指標となる施設の入込数は減少傾向に歯止めがなかった。隣接地で実施しているイベント及び施設内にテナント入居した店舗の集客が順調であることから、本館と周辺施設への波及効果を生むためのソフト事業実施に向け取り組む。

人々が行き交う中心市街地

《主要事業の進捗状況》

■本庁舎整備事業(ハード)【実施済】

〈概要〉市役所本庁舎を中心市街地の核とするため、ショッピングセンターとの複合施設として整備する。
〈状況〉平成29年9月供用開始
〈国の支援措置〉なし

■子育て支援環境整備事業(ハード)【実施中】

〈概要〉市役所東館庁舎周辺を子育て支援エリアとして整備し、多機能屋内遊戯施設、屋根付き広場等を設置する。
〈状況〉平成30年度一部オープン
〈国の支援措置〉なし

■公営住宅等整備事業(穀町地区)

(ハード)【実施中】

〈概要〉老朽化した公営住宅を再編・集約整備する。
〈状況〉仮設住宅隣接地に災害公営住宅を整備し、平成29年11月着工、30年9月全16戸完成。公営住宅は仮設住宅跡地に整備予定。
〈国の支援措置〉

・社会資本整備総合交付金(地域住宅計画に基づく事業)(国土交通省)(活用予定)

■(再掲)まちづくりポイントカードシステム導入事業

(ソフト)【実施中】

《今後の方針》

平成30年9月の調査は天候の影響を受け大幅に減少した。本庁舎付近地点では歩行者量、指標外の車両通行量が微増していることから、今後は基幹事業の効果を見据え、回遊の拠点となる駅周辺の活用について機能の見直しを行う。

生活が充実する中心市街地

《主要事業の進捗状況》

■ファサード改修費助成事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉通りの街並みを町家の風情が感じられるよう景観に配慮して店舗や住宅のファサード改修を行う。
〈状況〉令和元年度1事業者活用予定(平成30年度予定者繰り延べ)
〈国の支援措置〉なし

■空き店舗家賃助成事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉中心市街地の空き店舗への出店に対し家賃の一部を助成する。
〈状況〉平成28～30年度活用実績15事業者
〈国の支援措置〉なし

■空き店舗改修費助成事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉中心市街地の空き店舗を借りて出店する場合に改修費の一部を助成する。
〈状況〉平成28～30年度活用実績5事業者
〈国の支援措置〉なし

《その他の国の支援措置の活用状況》

■産業まつり(ソフト)【実施中】

・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

《今後の方針》

新規出店数は順調に推移しており、平成30年度で目標達成した。引き続き行政、商工会、金融機関が連携して新規出店者の振り起しや支援を行い商店街の活性化を図っていく。

宮城県石巻市 中心市街地活性化基本計画の概要

【計画期間】平成27年1月～令和2年3月
【人口】15.0万人(H27)、【面積】約556km²

【目指す中心市街地の都市像】

市民との協働による中心市街地の復興と多様な都市機能を集積し、少子高齢化社会に対応した、歩いて暮らせるコンパクトで安全・安心なまちづくり

【取組概要】

(1) 心が通い、安心して暮らせるまちづくり

- ① 復興公営住宅整備事業
- ②～④ 市街地再開発事業

(2) 水辺に親しみ、食と萬画で賑わうまちづくり

- ⑤ かわまち交流拠点形成に向けた商業施設整備によるまちなか活性化事業
- ⑥ 石ノ森萬画館実施事業

(3) 歩いて発見、楽しく回遊できるまちづくり

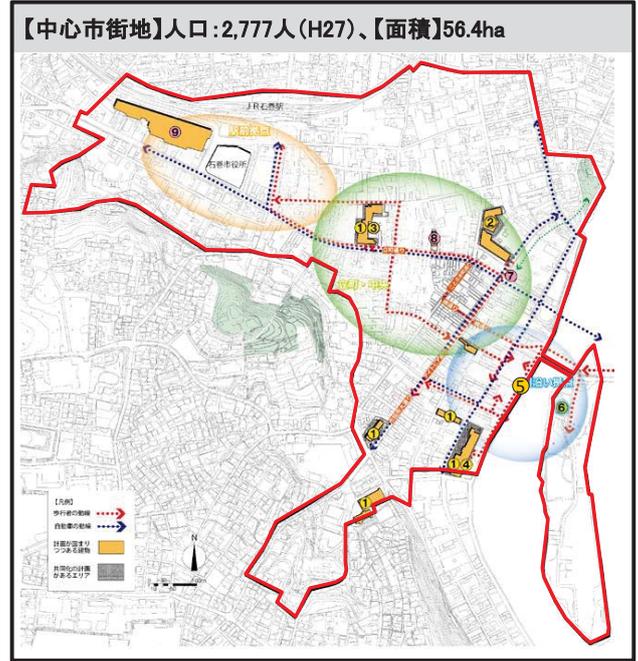
- ⑦ かんけい丸保存活用事業
- ⑧ 石巻市子どもセンター事業
- ⑨ 石巻市立病院整備事業

【計画目標】

目 標	目標指標	基準値	目標値	最新値※1
定住人口の増加	中心市街地における定住人口	2,777人(H25)	3,812人(R1)	2,872人(H30) B
交流人口の増加	2施設の利用者数	241,208人(H25)	1,241,200人(R1)	1,238,680人(H30) B (636,406人)※2
	歩行者・自転車通行量 (平日・休日)合計	15,002人(H25)	16,950人(R1)	17,790人(H30) A

※1: 基準値からの改善状況(A目標達成、B基準値達成、C基準値未達成)

※2: 2施設の利用者数について、H30より積算方法変更(下段は既存の積算方法による)



宮城県石巻市 中心市街地活性化基本計画の進捗状況 (H30定期フォローアップ等)

心が通い、安心して暮らせるまちづくり

《主要事業の進捗状況》

■復興公営住宅整備事業(ハード)【実施済】

〈概要〉東日本大震災により住居を失った市民に対し復興公営住宅の供給を図る。

〈状況〉平成28年度に事業完了

〈国の支援措置〉

- ・復興交付金(災害公営住宅整備事業・基幹事業)
(国土交通省)

■市街地再開発事業(ハード)【実施済】

〈概要〉商業施設や住宅等の複合施設の建設及び屋外空間の一体整備を行う。

〈状況〉平成28年度までに、公営住宅、民間分譲住宅合計209戸を整備。

〈国の支援措置〉

- ・復興交付金(市街地再開発事業・基幹事業)
(国土交通省)

《その他の国の支援措置の活用状況》

■優良建築物等整備事業(ハード)【実施中】

- ・復興交付金(優良建築物等整備事業・基幹事業)
(国土交通省)

■地域優良賃貸住宅(高齢者型)供給促進事業(ソフト)【実施中】

- ・社会資本整備総合交付金(地域住宅計画に基づく事業)(国土交通省)

■石巻市子どもセンター事業(ソフト)【実施中】

- ・子ども・子育て支援交付金(内閣府)

《今後の方針》

年度毎に事業の進捗状況等を調査し、状況に応じた改善措置を講じていく必要がある。30年度はおおむね計画通りに進捗しているが、遅延している事業もあるため、補助事業の適切な執行管理や事業者に対する助言等の手法により進めていく。

水辺に親しみ、食と萬画で賑わうまちづくり

《主要事業の進捗状況》

■かわまち交流拠点(生鮮マーケット等)整備事業(ハード)【実施中】

〈概要〉生鮮マーケット・公共施設・交通広場等で構成される観光交流拠点を整備する。

〈状況〉平成29年6月に生鮮マーケットがオープンし、平成30年6月交通広場、同年8月交流センターが完成。令和元年度は堤防一体空間が完成予定。

〈国の支援措置〉

- ・復興交付金(被災市街地復興土地区画整理事業・基幹事業、効果促進事業)(国土交通省)
- ・復興交付金(暮らし・にぎわい再生事業・基盤事業、効果促進事業)(国土交通省)
- ・特定民間中心市街地経済活力向上事業計画の経済産業大臣認定(経済産業省)
- ・地域まちなか商業活性化支援事業(中心市街地復興戦略事業)(経済産業省)

■石ノ森萬画館実施事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉石ノ森萬画館にて、各種事業を開催する。

〈状況〉観光客増や、各種企画展の効果により、平成29年度と比較し約8千人の増加

〈国の支援措置〉なし

《今後の方針》

各施設の利用者数及び事業の進捗状況は毎年度確認するとともに検証を行い、目標値達成に向けた改善策を講じていく必要がある。改善策としてはTMO「榎街づくりまんぼう」と協力したイベントの開催や魅力発信などの対策を講じていく必要がある。

歩いて発見、楽しく回遊できるまちづくり

《主要事業の進捗状況》

■かんけい丸保存活用事業(ハード)【実施済】

〈概要〉寄贈を受けたかんけい丸の構造補強等を行い、文化財展示施設及び交流施設として活用する。

〈状況〉平成29年度に事業完了

〈国の支援措置〉

- ・復興交付金(暮らし・にぎわい再生事業・基幹事業)
(国土交通省)

■石巻市子どもセンター事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉子どもセンターにおいて小中高生が中心となり商店街との連携企画を実施し、ソフト事業を展開する。

〈状況〉ハロウィン祭りが商店街協力のもと開催されるなど、各種イベントを随時開催している。

〈国の支援措置〉

- ・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)
- ・子ども・子育て支援交付金(内閣府)

■石巻市立病院整備事業(ハード)【実施済】

〈概要〉震災により壊滅的な被害を受けた市立病院を再整備する。

〈状況〉平成28年度に事業完了

〈国の支援措置〉

- ・地域医療復興事業補助金(厚生労働省)

《今後の方針》

川沿いエリアに整備された各施設で行われるイベントに際し、周辺商店街や駅前エリアと連動した企画を行うことなどにより、より多くの通行量を望むと共に、中心市街地全体へ通行量の増加を波及させるよう検討していく。

秋田県秋田市 中心市街地活性化基本計画の概要

【計画期間】平成29年4月～令和4年3月
【人口】31.5万人(H27)、【面積】906.07km²

【目指す中心市街地の都市像】

千秋公園(久保田城跡)と連携した城下町ルネッサンス(中心市街地再生)～新たな市民文化を育む 多世代が交流するにぎわい拠点の形成～

【取組概要】

(1) 行きたい街

- ① 県・市連携文化施設整備事業
- ② 旧秋田魁新報社跡地への商業施設の整備
- ③ (仮称)芸術文化ゾーン連携事業

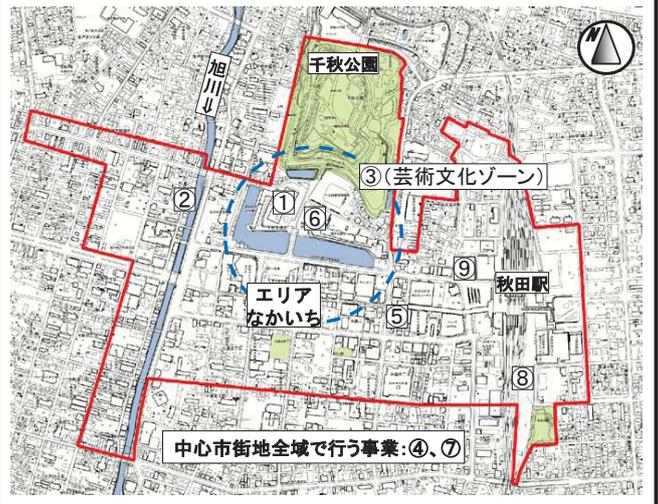
(2) 住みたい街

- ④ まちなか居住推進事業(空き家定住推進事業)
- ⑤ 日本版CCRC事業(中通二丁目地区優良建築物等整備事業)

(3) 活力ある街

- ⑥ (仮称)芸術文化交流施設整備事業
- ⑦ 中心市街地商業集積促進補助制度(空き店舗支援)
- ⑧ (仮称)秋田駅周辺JR用地都市機能立地推進事業
- ⑨ 大型商業施設のリニューアル

【中心市街地】人口:3,700人(H27)、【面積】約115ha



【計画目標】

目 標	目標指標	基準値	目標値	最新値※
行きたい街	歩行者・自転車通行量(平日・休日の平均)	32,484人(H28)	35,000人(R3)	29,721人 C(H30)
	芸術文化施設利用者数(1日当たり)	966人/日(H27)	1,530人/日(R3)	1,191人/日 B(H30)
住みたい街	中心市街地における人口の社会増加数(累計)	26人(H24-H28)	240人(H29-R3)	-15人 C(H30)
	商業集積促進関連制度利用件数(累計)	34件(H23-H27)	50件(H29-R3)	72件 A(H30)
活力ある街	市民活動等施設利用件数	20,196件(H27)	20,800件(R3)	20,533件 B(H30)

※「最新値」:基準値からの改善状況(A目標達成、B基準値達成、C基準値未達成)

秋田県秋田市 中心市街地活性化基本計画の進捗状況 (H30定期フォローアップ等)

行きたい街

《主要事業の進捗状況》

- 県・市連携文化施設整備事業(ハード)【実施中】
〈概要〉県民会館および秋田市文化会館の機能を集約した文化施設を現県民会館所在地に整備する。
〈状況〉平成30年度は、既存建物の解体等に着手し、運営管理計画を策定した。令和3年度中の開館に向け事業が進行中
〈国の支援措置〉
・社会資本整備総合交付金(暮らし・にぎわい再生事業)(国土交通省)
- 旧秋田魁新報社跡地への商業施設の整備(ハード)【実施中】
〈概要〉地元新聞社跡地(市有地)を活用し、職住一体型商業施設等の整備を行う。
〈状況〉ホームページなどにより入居者の募集を開始したところであり、令和3年度に完成予定
〈国の支援措置〉
・地域まちなか活性化・魅力創出支援事業費補助金(中心市街地活性化事業)のうち先導的・実証的事業(経済産業省)(活用予定)
- (仮称)芸術文化ゾーン連携事業(ソフト)【実施中】
〈概要〉「芸術文化ゾーン」において、各施設の連携による(仮称)あきた芸術祭を開催する。
〈状況〉平成30年度は市民主体のプロジェクトを実施し、今後のまちづくりの方針として、「アーツ秋田構想」をまとめた。
〈国の支援措置〉
・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)
- (後掲)(仮称)芸術文化交流施設整備事業(ハード)【実施中】
- 《その他の国の支援措置の活用状況》
- 秋田市民市場活性化事業(再形成事業)(ハード)【実施中】
・地域・まちなか商業活性化支援事業(地域商業自立促進事業)(経済産業省)(活用予定)

《今後の方針》

芸術文化施設と周辺の商業施設等との連携を進めることで、まちの滞在時間の増加と回遊性の向上を図る。また、文化創造プロジェクトの取組を推進し、新たなまちの魅力・価値を創出し、活性化に向けて取り組んでいく。

住みたい街

《主要事業の進捗状況》

- まちなか居住推進事業(空き家定住推進事業)(ソフト)【実施中】
〈概要〉区域外からの転入者を対象に、中心市街地内の空き家バンク登録物件について、居住するための改修等を行う場合、工事費の一部を補助する。
〈状況〉平成30年度は補助金の申請はなかった。
〈国の支援措置〉
・社会資本整備総合交付金(地域住宅計画に基づく事業(地域住宅政策推進事業))(国土交通省)
- 日本版CCRC事業(中通二丁目地区優良建築物等整備事業)(ハード)【実施中】
〈概要〉秋田市におけるCCRCのモデルとなるような、健康な中高齢者向け共同住宅を整備する。
〈状況〉平成30年度は本体工事に着手した。令和2年度の完成予定
〈国の支援措置〉
・中心市街地共同住宅供給事業(国土交通省)
- 住宅リフォーム支援事業(ハード)【実施中】
〈概要〉住宅リフォームへの支援により定住の継続やマンション等の空き室の活用促進と移住促進を図る。
〈状況〉平成30年度は8件の実績
〈国の支援措置〉
・防災・安全交付金(住宅・建築物安全ストック形成事業と一体の効果促進事業)(国土交通省)
- 《その他の国の支援措置の活用状況》
- 秋田駅西北地区土地区画整理事業(ハード)【実施中】
・社会資本整備総合交付金(道路事業(区画))(国土交通省)

《今後の方針》

新築マンション等の整備による人口の社会増加を図るだけでなく、既存住宅や空き家などの活用を支援し、転出を抑制するなど、各種施策を着実に実施していく。

活力ある街

《主要事業の進捗状況》

- (仮称)芸術文化交流施設整備事業(ハード)【実施中】
〈概要〉空きビルである旧県立美術館を改修し、市民が創造・発信できる多様な活動の場として整備する。
〈状況〉平成30年度は、ワークショップの開催等を含む調査検討により運営管理計画を策定するとともに改修工事の設計業務を行った。
〈国の支援措置〉
・社会資本整備総合交付金(暮らし・にぎわい再生事業)(国土交通省)
 - 中心市街地商業集積促進補助制度(空き店舗支援)(ソフト)【実施中】
〈概要〉空き店舗および空きテナントへの入居にかかる改装費および賃借料の一部を補助することで、新規出店を促し、店舗の連担性を確保する
〈状況〉平成30年度は24件の制度利用があり、空き店舗解消、にぎわい創出に寄与している。
〈国の支援措置〉
・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)
 - 小売業等チャレンジ支援事業(ソフト)【実施済】
〈概要〉中心市街地内の空きテナントを借上し、チャレンジショップの場を安価で提供する。
〈状況〉平成30年度は、これまでの実績をもとに事業の見直しを行い、今後は空き店舗等への新規出店に支援を行うこととし、事業終了とした。
〈国の支援措置〉なし
- ### 《今後の方針》
- 中心市街地における新規出店、創業・起業を支援し、にぎわいの創出に取り組んでいくとともに、市民活動に対して場の提供にかぎらず、ソフト・ハード両面から継続して支援を行っていく。

山形県山形市 中心市街地活性化基本計画の概要

【計画期間】平成26年11月～令和2年3月
【人口】25.0万人(H25)、【面積】381.58km²

【目指す中心市街地の都市像】

歴史や文化を活かした、山形の魅力あふれるまち。

【取組概要】

(1)「街なか回遊」・「街なか居住」・「イベント」による賑わいの創出

- ①中心市街地観光レンタサイクル事業
- ②香澄町一丁目2街区市街地再開発事業

(2) 特色ある商業の振興

- ③七日町拠点整備事業(御殿堰南)
- ④(仮称)プレミアムショッピングタウン256整備事業

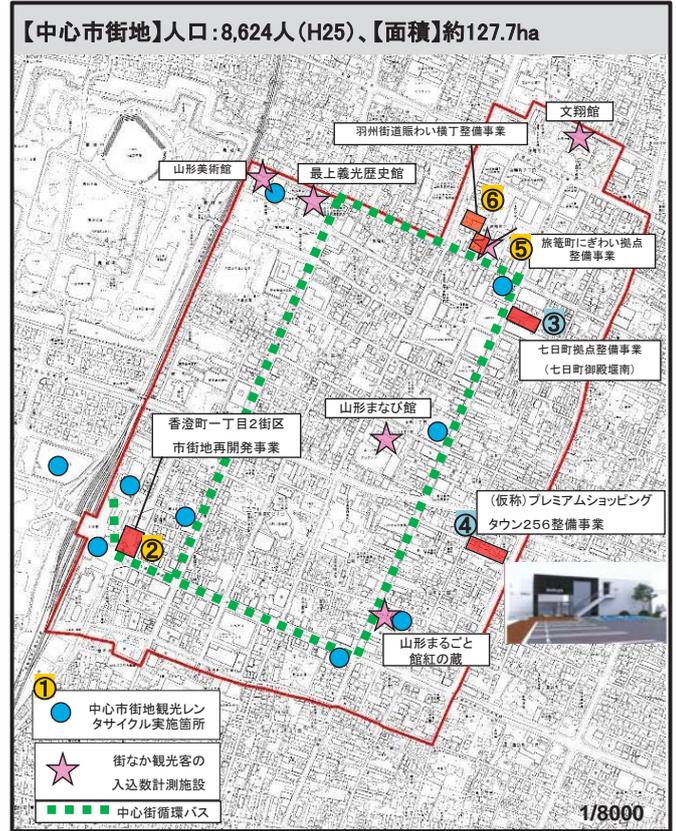
(3) 山形の歴史・文化資源を活かした街なか観光の推進

- ⑤旅籠町にぎわい拠点整備事業
- ⑥羽州街道にぎわい横丁整備事業

【計画目標】

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値※
賑い拠点の創出	歩行者・自転車通行量(休日)	32,853人(H25)	36,000人(R1)	29,930人 C(H30)
商業の魅力向上	空き店舗率	15.5%(H25)	12.1%(R1)	11.1% A(H30)
街なか観光交流人口の増加	街なか観光客の入込数	744,374人(H25)	950,000人(R1)	780,656人 B(H30)

「最新値※」: 基準値からの改善状況(A目標達成、B基準値達成、C基準値未達成)



山形県山形市 中心市街地活性化基本計画の進捗状況 (H30定期フォローアップ等)

賑い拠点の創出

《主要事業の進捗状況》

■香澄町一丁目2街区市街地再開発事業 (ハード)【未実施】

〈概要〉山形駅前地区の未利用地に店舗を併設した共同住宅、ホテルを整備する。
〈状況〉地権者との合意形成等、事業化に向け検討中
〈国の支援措置〉なし

■街なか情報発信事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉集約した中心市街地の文化観光施設等の情報を、電子端末で活用可能なシステムを整備する。
〈状況〉平成30年4月にアプリ・サイトのシステム構築に着手し、同年7月運用開始
〈国の支援措置〉なし

《その他の国の支援措置の活用状況》

■中心市街地観光レンタサイクル事業 (ソフト)【実施中】

- ・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)
- 山形市中心市街地活性化戦略推進事業 (ソフト)【実施中】
- ・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)
- 子育て支援施設「あ〜べ」運営事業 (ソフト)【実施中】
- ・子ども・子育て支援交付金(内閣府)

《今後の方針》

「山形市中心市街地活性化戦略推進事業」において、中心市街地の店舗やイベント情報を集約・発信することにより、回遊性の向上と交流人口の増加を図っていく。

商業の魅力向上

《主要事業の進捗状況》

■七日町拠点整備事業(御殿堰南) (ハード)【実施中】

〈概要〉前期計画で整備した「御殿堰」や「水の町屋七日町御殿堰」と調和した商業施設を整備する。
〈状況〉平成29年12月に再開発組合設立の認可を受け、建築工事に着手、令和3年3月完成予定
〈国の支援措置〉なし

■(仮称)プレミアムショッピングタウン256整備事業 (ハード)【実施済】

〈概要〉商空間の魅力向上を図るため、スーパーや飲食テナントを備えた商業施設を整備する。
〈状況〉平成28年3月完成、平成30年度606,193人/年の集客効果
〈国の支援措置〉
・商店街まちづくり事業(中心市街地活性化事業)(経済産業省)

■街なか出店・居住推進事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉空き店舗や空き家等の情報を一元化し情報発信を行い、出店・入居を促すとともに、サポートを行う。
〈状況〉平成30年度5件の出店
〈国の支援措置〉
・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

■(再掲)香澄町一丁目2街区市街地再開発事業 (ハード)【未実施】

《今後の方針》

「山形市中心市街地活性化戦略推進事業」において、空き店舗を活用した出店マネジメントを実施し、戦略的に空き店舗の解消に取り組む。

街なか観光交流人口の増加

《主要事業の進捗状況》

■旅籠町にぎわい拠点整備事業(ハード)【実施済】

〈概要〉伝統工芸や食文化を発信するとともに、市民や観光客が交流できる文化複合施設を整備する。
〈状況〉平成30年3月完成、平成30年度16,982人/年の集客効果
〈国の支援措置〉なし

■羽州街道にぎわい横丁整備事業(ハード)【未実施】

〈概要〉山形の魅力の一つである「食」を発信するため、農産・畜産物を取り揃えた「市」やフードコート等を整備する。
〈状況〉事業者・商工会議所等と事業実施に向けた検討・協議中
〈国の支援措置〉なし

■(再掲)七日町拠点整備事業(御殿堰南) (ハード)【実施中】

■(再掲)(仮称)プレミアムショッピングタウン256整備事業(ハード)【実施済】

《その他の国の支援措置の活用状況》

- 市民会館運営事業(ソフト)【実施中】
- ・文化芸術振興費補助金(文部科学省)

《今後の方針》

中心市街地の各施設間の更なる連携を図り、街なか観光を推進していくとともに、未着手事業の早期着手を目指し、事業主体が事業を円滑に進められるよう、引き続き官民連携して取り組む。

山形県鶴岡市 中心市街地活性化基本計画の概要

【計画期間】平成30年4月～令和5年3月
【人口】12.9万人(H27)、【面積】1,311.53km²

【目指す中心市街地の都市像】

歴史と文化、そして食で彩る城下町都市つるおか
住み、働き、活動する場としての中心市街地再生

【取組概要】

(1)「居住の場、活動の場、交流の場」としての中心市街地の再生

- ①まちなか居住拠点整備事業(ア 駅前地区 イ 銀座地区)
- ②ランド・バンク事業
- ③鶴岡市文化会館関連事業

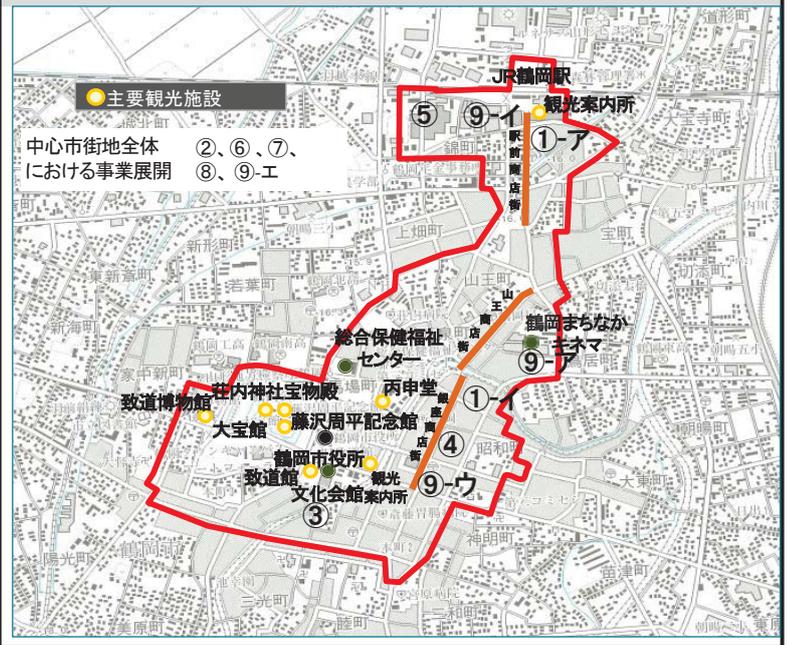
(2) 中心市街地のにぎわいの創出

- ④鶴岡まちづくりブランディング事業(若者ディレクション事業)
- ⑤民間誘導施設等整備事業計画事業
- ⑥空き店舗等利活用推進事業

(3) まちなか観光の振興

- ⑦鶴岡型DMO育成支援事業
- ⑧インバウンド観光推進事業
- ⑨ユネスコ食文化関連イベント事業(ア つるおか食文化映画祭 イ 庄内酒まつり ウ 日本海寒鱈まつり エ 食と風土の祭典)

【中心市街地】人口:6,986人(H28)、【面積】約150ha



【計画目標】

「最新値※」:基準値からの改善状況(A目標達成、B基準値達成、C基準値未達成)

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値※
「居住の場、活動の場、交流の場」としての中心市街地の再生	中心市街地居住人口の市内総人口に占める割合	5.4% (H28)	5.6% (R4)	5.4% B (H30)
	自転車歩行者通行量/日(休日・平日平均)	3,994人/日 (H28)	4,194人/日 (R4)	3,882人/日 C (H30)
中心市街地のにぎわいの創出	空き店舗数	40店舗 (H28)	29店舗 (R4)	45店舗 C (H30)
	まちなか観光の振興	主要観光施設入込客数/年	150,800人/年 (H28)	161,800人/年 (R4)

山形県鶴岡市 中心市街地活性化基本計画の進捗状況 (H30定期フォローアップ等)

「居住の場、活動の場、交流の場」としての中心市街地の再生

《主要事業の進捗状況》

■まちなか居住拠点整備事業(ハード)【実施中】
〈概要〉公的不動産の低・未利用地などを有効活用し、多様なニーズに対応した優良な居住環境の整備により、まちなかの居住人口を維持する。
〈状況〉平成30年度より市民参加型の懇話会を開催し実施に向け検討、令和2年度着工予定
〈国の支援措置〉
・社会資本整備総合交付金(優良建築物等整備事業)(国土交通省)

■ランド・バンク事業(ハード・ソフト)【実施中】

〈概要〉NPO法人と連携し民間事業手法により、中心市街地の密集住宅地の空き家、空き地、狭あい道路問題を一体的に解決し、良好な住環境を整備し、まちなか居住を推進する。
〈状況〉平成30年度空き家バンク登録物件43件・成約物件33件等
〈国の支援措置〉
・社会資本整備総合交付金(地域住宅計画に基づく事業)(国土交通省)

■鶴岡市文化会館関連事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉音楽・演劇・ミュージカルなどの公演のほか、市民の芸術文化活動の拠点として多彩なイベントを開催することなどで中心市街地のにぎわいを創出する。
〈状況〉平成30年4月にグランドオープンし年間を通じた芸能イベントや地域の独自性を活かした取組を実施
〈国の支援措置〉なし

《今後の方針》

「まちなか居住拠点整備事業」による複合型マンション建設など着実に事業を進めていく。

中心市街地のにぎわいの創出

《主要事業の進捗状況》

■鶴岡まちづくりブランディング事業(若者ディレクション事業)(ソフト)【実施中】
〈概要〉銀座地区に設置する「まちづくりセンター」を拠点として、官民が連携して次代のまちづくりの担い手となる若者をターゲットに人材育成事業(ディレクション事業)を展開する。
〈状況〉起業・創業の支援の取組みにより旧コミュニティプラザ「セントル」への入居者及び来館者が増加
〈国の支援措置〉
・地方創生推進交付金(内閣府)

■空き店舗等利活用推進事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉中心商店街に散在する空き店舗を活用して新規出店を行う事業者に対して、鶴岡TMOが開店時の初期費用等を助成することで、空き店舗の解消を促進し、にぎわいのある商店街を形成する。
〈状況〉平成30年度の改修実績は1店舗
〈国の支援措置〉
・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

■三日町口通り修景事業(ハード)【実施中】

〈概要〉市道庄内神社前大東町線について修景整備とともに無電中化を行う。
〈状況〉城下町らしさを演出する修景整備により、往時の雰囲気を出し、市民、観光客の受け入れ体制を整備
〈国の支援措置〉
・社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)(国土交通省)

《今後の方針》

引き続き、鶴岡まちづくりブランディング事業などのソフト事業や交通ネットワークなどのハード事業を着実に実施し目標の達成を目指していく。

まちなか観光の振興

《主要事業の進捗状況》

■鶴岡型DMO育成支援事業(ソフト)【実施中】
〈概要〉観光業、農林水産業、商工業等多様な関係者の参加による新たな観光推進組織として鶴岡型DMOを構築して、観光振興、地域産品のブランド化、広域連携によるプロモーション等を行う。
〈状況〉令和元年度中の設立を目指す
〈国の支援措置〉
・地方創生推進交付金(内閣府)

■インバウンド観光推進事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉城下町をテーマとした外国人観光誘客を促進するため、外国語パンフレットやHPによる情報発信、まちなかと郊外の観光地を結ぶ2次交通の整備、無料Wi-Fiの導入、外国人の視点を活かした観光企画等を実施する。
〈状況〉観光施設と連携しながら情報発信や無料Wi-Fiの整備等を実施
〈国の支援措置〉
・地方創生推進交付金(内閣府)

■ユネスコ食文化関連イベント事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉国内唯一のユネスコ食文化都市である特色を活かしたイベントを開催し、観光誘客を図る。
〈状況〉各種イベントを開催するとともに、食文化の情報発信や交流人口の拡大等を図る取組などを実施
〈国の支援措置〉なし

《今後の方針》

観光施設との連携強化を行いながら、鶴岡型DMO法人との一体的な取組により目標達成に向け取り組んでいく。

山形県酒田市 中心市街地活性化基本計画の概要

【計画期間】平成27年4月～令和2年3月
【人口】10.8万人(H27)、【面積】602.79km²

【目指す中心市街地の都市像】

湊まちルネッサンス(再興)

— 湊のにぎわいと交流のあるまちづくり —

【取組概要】

(1) にぎわいあふれる商業のまち

- ① 中町にぎわいプラザ(仮称)整備事業
- ② 食の酒田チャレンジ事業

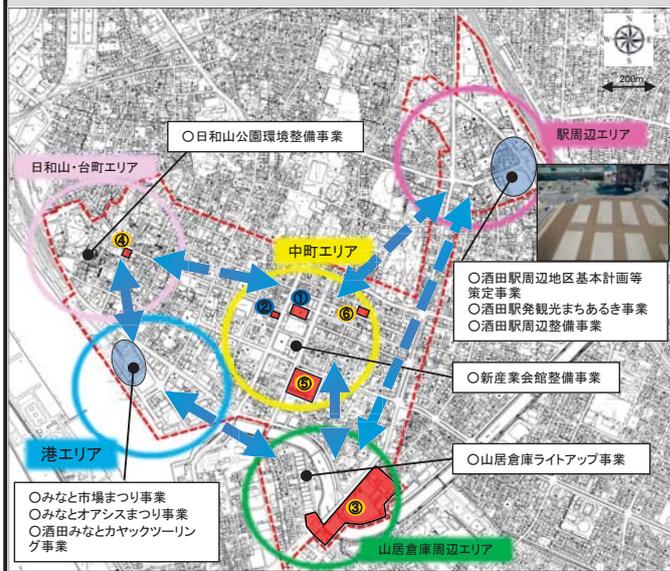
(2) 訪ねて楽しい観光のまち

- ③ 山居倉庫周辺整備事業
- ④ 旧割烹小幡改修事業

(3) 市民が集う交流のまち

- ⑤ にぎわい交流施設整備事業(市庁舎併設)
- ⑥ 中町庁舎改修事業

【中心市街地】人口:2,651人(H27)、【面積】約116.3ha



【計画目標】

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値※
中心商店街の活性化	歩行者・自転車通行量(平日)	2,718人(H26)	2,779人(R1)	2,366人 C(H30)
	商店街空き店舗数	99件(H26)	83件(R1)	98件 B(H30)
街なか観光の推進	観光施設入込数	1,571,285人(H25)	1,648,000人(R1)	1,456,984人 C(H29)
街なか交流人口の増進	公共・公益施設利用者数(平日)	363人(H25)	953人(R1)	608人 B(H30)

※「最新値」: 基準値からの改善状況 (A目標達成、B基準値達成、C基準値未達成)

山形県酒田市 中心市街地活性化基本計画の進捗状況 (H30定期フォローアップ等)

中心商店街の活性化

《主要事業の進捗状況》

- (後掲)中町にぎわいプラザ(仮称)整備事業(ハード)【実施済】
- 食の酒田チャレンジ事業(ハード)【実施中】
〈概要〉飲食業を志す人を対象に、安価な家賃でのトライアル店舗の開設を実施する。
〈状況〉平成30年12月に第二期グランドオープンを迎え、10店舗中、3店舗が新規出店
〈国の支援措置〉
・地域商業自立促進事業(経済産業省)
- 空き店舗改装助成事業(ソフト)【実施中】
〈概要〉空き店舗を活用して新規に開業する者、又は当該店舗を賃貸する者に改装費を助成する。
〈状況〉平成30年度15店舗の交付実績
〈国の支援措置〉
・地方創生推進交付金(内閣府)
- 空き店舗入居者支援事業(ソフト)【実施済】
〈概要〉空き店舗を活用して新規に開業する者の賃貸借料を助成する。
〈状況〉平成30年度、事業実施せず
〈国の支援措置〉
・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)
- 産業振興まちづくりセンター(仮称)整備・運営事業(ハード・ソフト)【実施中】
〈概要〉企業間の交流を図る拠点となる、産業振興まちづくりセンター(仮称)整備運営する。
〈状況〉平成30年6月、「酒田産業振興まちづくりセンター(愛称サンロク)」としてグランドオープン
〈国の支援措置〉
・地方創生推進交付金(内閣府)

《今後の方針》

「酒田産業振興まちづくりセンター(愛称サンロク)」による空き店舗の解消に取り組むとともに、中町地区及び駅前地区における再開発事業の着実な推進による経済効果や、都市機能の向上を図り、民間投資を誘引していく。

街なか観光の推進

《主要事業の進捗状況》

- 山居倉庫周辺整備事業(ハード)【未実施】
〈概要〉山居倉庫の周辺にある低・未利用地において、山居倉庫と一体的な環境整備を行う。
〈状況〉山居倉庫周辺の一体的な整備に向け、民間と連携した公共空間の活用事業を検討
〈国の支援措置〉なし
- 旧割烹小幡改修事業(ハード・ソフト)【実施中】
〈概要〉新たな観光拠点として、映画ロケ地として注目を集めた歴史的建造物を改修する。
〈状況〉令和2年度完成予定
〈国の支援措置〉
・地方創生推進交付金(内閣府)

《今後の方針》

観光産業を活性化させる新組織を設立し、観光施設を回遊してもらいイベントや取組を実施するとともに、新たに設置した観光情報板やフラワースタンド等、観光ルートの発信や、来街者へのおもてなし機運を高める取組により、観光施設間の回遊性向上を図る。

街なか交流人口の増進

《主要事業の進捗状況》

- にぎわい交流施設整備事業(市庁舎併設)(ハード)【実施済】
〈概要〉新庁舎の整備にあわせ、庁舎内ににぎわい交流施設を整備する。
〈状況〉平成29年度利用者数:116人/日
平成30年度利用者数:110人/日
〈国の支援措置〉
・社会資本整備総合交付金(暮らし・にぎわい再生事業)(国土交通省)
- 中町庁舎改修事業(ハード)【実施中】
〈概要〉中心商店街に隣接する空き庁舎予定の公的不動産を有効活用し、市民活動や文化活動等の拠点として整備する。
〈状況〉平成28年度、光丘文庫が機能を移転。平成29年度、マザーズジョブサポートセンターが入居
〈国の支援措置〉なし
- (再掲)中町にぎわいプラザ(仮称)整備事業(ハード)【実施済】
〈概要〉大型商業施設跡の空きビルを再生し、集いのスペースと、健康増進スペースを整備する。
〈状況〉平成29年度利用者数:53、350人/年
平成30年度利用者数:62、221人/年
〈国の支援措置〉
・社会資本整備総合交付金(暮らし・にぎわい再生事業)(国土交通省)

《今後の方針》

「中町にぎわいプラザ」等と中町モールを繋ぐことで、周辺施設との相乗的なにぎわい創出を図るとともに、来街機会の増加と来街者へのおもてなしの機運を高める取組を実施していく。

山形県上山市 中心市街地活性化基本計画の概要

【計画期間】平成29年12月～令和5年3月
【人口】3万人(H30)、【面積】241km²

【目指す中心市街地の都市像】

また来たくなるまち ずっと居たいまち

【取組概要】

(1) また来たくなるまち

- ① 駅前観光情報・交流施設整備事業
- ② 上山型温泉クアオルト構想事業
- ③ まち歩きマップ作成・活用事業

(2) 活力あふれるまち

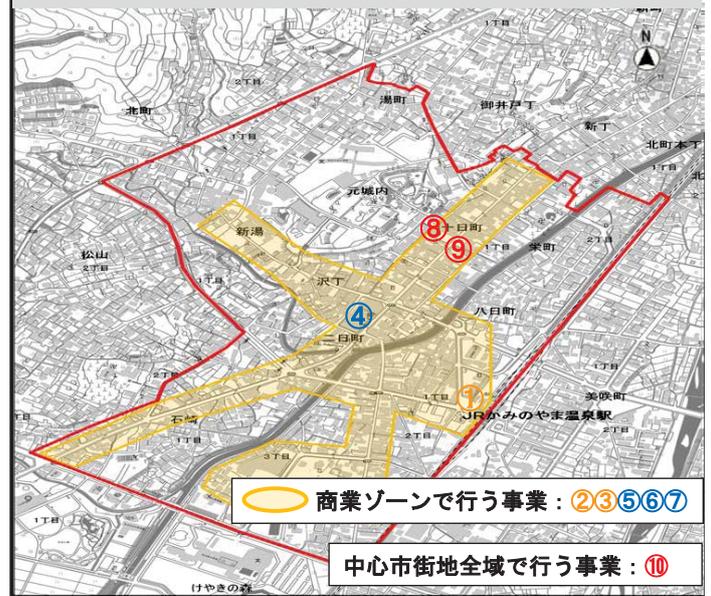
- ④ カミン再生整備事業
- ⑤ 電子マネー付ポイントカード導入推進事業
- ⑥ 新規創業支援事業
- ⑦ 経営力強化支援事業

(3) みんなで創る住みよいまち

- ④ カミン再生整備事業(再掲)
- ⑧ 中部地区公民館活用事業
- ⑨ 地域優良賃貸住宅建設事業
- ⑩ 空き家等利活用事業(空き家バンク活用事業等)

【計画目標】

【中心市街地】人口:3,831人(H29)、【面積】約97ha



目標	目標指標	基準値	目標値	最新値
また来たくなるまち	回遊ルートの歩行者通行量(平日+休日)の平均	1,034人(H27)	1,106人(R4)	1,100人(H30) B
活力あふれるまち	商店街の歩行者・自転車通行量(平日+休日)の平均	1,562人(H27)	1,671人(R4)	1,279人(H30) C
	中心市街地内の新規出店数(計画期間)	11店(H24~H28) 【参考:2.2店(平均)】	15店(H29~R4) 【参考:3店(平均)】	7店(H29~H30) A 【参考:3.5店(平均)】
みんなで創る住みよいまち	市民活動等施設利用者数(年間)	38,192人(H28)	77,000人(R4)	127,219人(H30) A
	市全体人口に対する中心市街地人口割合(%)	12.71%(H28)	12.76%(R4)	12.29%(H30) C

「最新値※」:基準値からの改善状況(A目標達成、B基準値より改善、C基準値より悪化)

山形県上山市 中心市街地活性化基本計画の進捗状況 (H30定期フォローアップ等)

また来たくなるまち

《主要事業の進捗状況》

■駅前観光情報・交流施設整備事業(ハード)【実施済】

〈概要〉インバウンドに対応した観光情報交流施設を整備する。
〈状況〉平成30年3月完成。平成30年度利用実績35,200人。
〈国の支援措置〉

・訪日外国人旅行者受入基盤整備事業費補助金(国土交通省)

■上山型温泉クアオルト構想事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉上山城周辺の回遊ルートを活かしたまちなかウォーキング推進。
〈状況〉平成30年度の実施回数は111回、1,703人が参加。
〈国の支援措置〉なし

■まち歩きマップ作成・活用事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉クーポン付まち歩きマップを作成し、活用する。
〈状況〉平成30年度、マップを約9,000冊作成しうち4,000冊を配布した。
〈国の支援措置〉

・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

■上山城活性化事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉歴史・文化等をテーマにした企画展示会の充実、甲冑着用等の体験事業などにより集客を図る。
〈状況〉平成30年度入館者数38,087人
〈国の支援措置〉

・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

■武家屋敷・旧曾我部家活用事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉イベントでの活用、就学児童対象の寺子屋事業、上山城との事業連携による歴史的建造物の利用を促進する。
〈状況〉平成30年度利用実績12,586人。
〈国の支援措置〉

・学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金(文部科学省)

《その他の国の支援措置の活用状況》

■三市連携DMO推進事業(ソフト)【実施中】

・地方創生推進交付金(内閣府)

《今後の方針》

まちなかウォーキングの推進、まち歩きマップの活用等施設の集客を周辺に波及させる取組により、回遊性を高め交流人口の拡大を図り、目標達成を目指す。

活力あふれるまち

《主要事業の進捗状況》

■(再掲)駅前観光情報・交流施設整備事業

(ハード)【実施済】

■カミン再生整備事業(ハード)【実施中】

〈概要〉子育て支援施設、高齢者サロン、ボランティアサークル活動拠点、テナントスペース等を一体的に整備する。
〈状況〉平成30年3月完成。利用実績は子育て支援施設98,057人、高齢者サロン9,125人、ボランティアサークル活動拠点264人。マルシェや周辺商店街の割引サービスを連携して行った。
〈国の支援措置〉

・地方創生拠点整備交付金(内閣府)

■電子マネー付ポイントカード導入推進事業

(ソフト)【実施中】

〈概要〉利便性の高い新しい電子マネー付ポイントカードを導入する。
〈状況〉電子マネー付ポイントカードだけではなく、キャッシュレス化の動向と合わせた調査研究を進める。
〈国の支援措置〉

・地域・まちなか商業活性化支援事業(地域商業自立促進事業)(経済産業省)(活用予定)

■新規創業支援事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉相談窓口設置等関係機関と連携し、創業塾等の研修会を実施する。
〈状況〉各種補助制度を利用して2件新規出店した。
〈国の支援措置〉なし

■経営力強化支援事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉新商品開発や情報発信等に取り組む個店や商店街を支援、商業機能強化を図る。
〈国の支援措置〉なし

《今後の方針》

多世代交流拠点施設である二日町プラザ(旧カミン)と商店街との連携による賑わい創出事業や、個店の魅力向上による商業機能強化を図り、来街者を増加させて目標達成を目指す。

みんなで創る住みよいまち

《主要事業の進捗状況》

■(再掲)カミン再生整備事業(ハード)【実施中】

■中部地区公民館活用事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉一般講座、レクリエーション等の充実や、広報、利用の呼びかけによる利用促進を図る。
〈状況〉レクリエーションや高齢者教室などの主催事業を随時開催し、利用促進を図った。平成30年度の利用者数は、20,037人
〈国の支援措置〉なし

■地域優良賃貸住宅建設事業(ハード)【実施中】

〈概要〉中心市街地に子育て世帯向けの賃貸住宅を整備する。
〈状況〉整備予定地の土地及び建物を取得し、市が所有する空き家とともに解体した。
〈国の支援措置〉なし

■空き家等利活用事業(空き家バンク活用事業等)

(ソフト)【実施中】

〈概要〉空き家バンクや各種住宅支援制度を活用し、若い世代のまちなか居住を誘導する。
〈状況〉すまい・まちづくり公社等との連携による空き家を活用した子育て世代向けの住宅が平成30年度に1件整備された。空き家等の利活用件数は7件。
〈国の支援措置〉なし

■市営住宅建て替え事業(ハード)【未実施】

〈概要〉中心市街地に市営住宅を整備する。
〈状況〉令和3~4年度実施予定
〈国の支援措置〉

・社会資本整備総合交付金(地域住宅計画に基づく事業)(国土交通省)(活用予定)

山形県長井市 中心市街地活性化基本計画の概要

【計画期間】平成28年4月～令和3年3月
【人口】2.7万人(H28)、【面積】214.69km²

【目指す中心市街地の都市像】

人、モノ、情報をト・メ・る

【取組概要】

(1) まちなかのにぎわい創出

- ①本町複合施設整備事業
- ②公共複合施設整備事業
- ③起業・創業支援事業
- ④観光交流センター整備事業
- ⑤観光地域づくりプラットフォーム事業

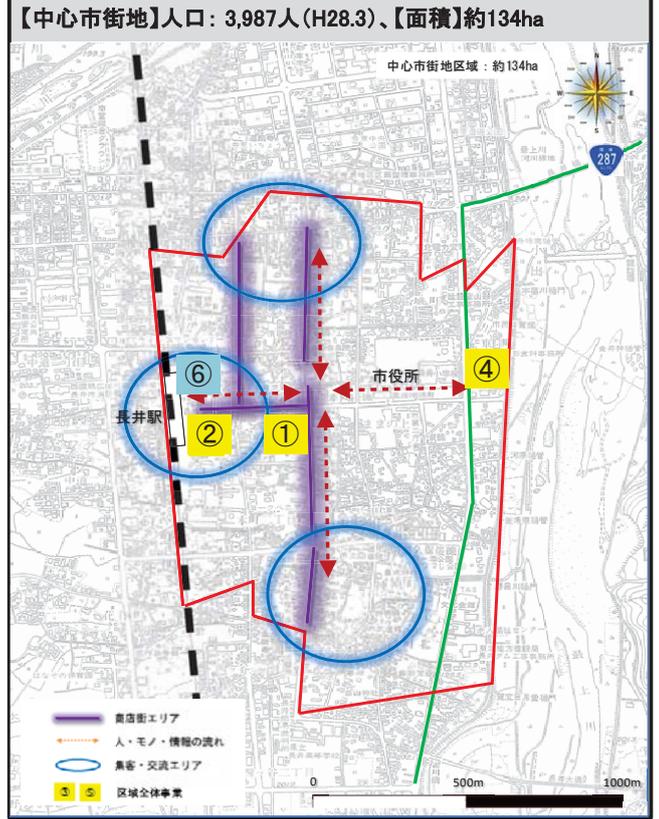
(2) 交流人口の拡大

- ④観光交流センター整備事業(再掲)
- ⑤観光地域づくりプラットフォーム事業(再掲)
- ⑥フラワー長井線再生事業

【計画目標】

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値※
まちなかのにぎわい創出	歩行者通行量(休日)	190人/日(H26)	397人/日(R2)	256人/日 B(H30)
	中心市街地における創業事業所数(年間)	平均1.6件/年(H22～H26平均)	平均4.6件/年(H28～R2平均)	平均4.3件/年 B(H28～30平均)
交流人口の拡大	まちなか観光客数(年間)	199,657人/年(H24～H26平均)	393,057人/年(R2)	626,668人/年 A(H30)

※「最新値※」:基準値からの改善状況(A目標達成、B基準値達成、C基準値未達成)



山形県長井市 中心市街地活性化基本計画の進捗状況 (H30定期フォローアップ等)

まちなかのにぎわい創出

《主要事業の進捗状況》

■本町複合施設整備事業(ハード)【未実施】

〈概要〉本町中央十字路周辺にまちなかへの人の流れを生み出す役割を担う複合的な商業施設を整備する。
〈状況〉遅れている街路事業と連動することから、実現可能な事業内容を検討中である。

〈国の支援措置〉なし

■公共複合施設整備事業(ハード)【実施中】

〈概要〉子育て世代等の交流施設を整備し、長井駅周辺からにぎわいをまちなかに波及させる。併せて都市福利の環境向上を図る。

〈状況〉平成30年度に施設の基本計画を策定し、令和3年度以降の完成を目指す。

〈国の支援措置〉なし

■起業・創業支援事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉空き店舗等を活用して新規で創業を希望する個人や法人等に支援する。

〈状況〉平成30年度、中心市街地区域内で7件の新規創業(新分野での事業開始を含む)。

〈国の支援措置〉

・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

■本町テナント整備事業(ハード)【実施済】

〈概要〉本町大通り商店街エリアにオフィスや飲食店などの複合的な施設を民間まちづくり会社が整備する。

〈状況〉平成30年3月施設完成

〈国の支援措置〉

・地域・まちなか商業活性化支援事業(地域商業自立促進事業)(経済産業省)

■長井小学校第一校舎整備事業(ハード)【実施済】

〈概要〉国登録有形文化財である旧長井小学校第一校舎をまなびと交流の拠点施設としてリノベーションする。

〈状況〉平成29年度に免震工事を実施し、平成31年度オープン。

〈国の支援措置〉

・地方創生拠点整備交付金(内閣府)

《その他の国の支援措置の活用状況》

■タス再生整備事業(ソフト)【実施中】

・地方創生推進交付金(内閣府)

《今後の方針》

インキュベーション施設運営事業やビジネスコンテストの開催、起業創業補助金等、引き続き関係団体と連携し、支援体制を充実させていく。

交流人口の拡大

《主要事業の進捗状況》

■観光交流センター整備事業(ハード)【実施済】

〈概要〉国道287号沿線に休憩、情報、地域との関係機能を持ち、通年型観光及び本市の総合的な拠点施設を整備する。

〈状況〉平成29年3月に整備が完了し、平成29年4月21日開業、平成30年度入館者数490,568人

〈国の支援措置〉

・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

(国土交通省)

・中心市街地再活性化特別対策事業(総務省)

■観光地域づくりプラットフォーム事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉市内の地域資源を活用した独自の旅行商品を企画・販売し、交流人口の拡大と賑わい創出を図る。

〈状況〉平成28年3月に「やまがた長井観光局」として設立し、市内観光の窓口機能を一元化して積極的に観光客誘致に取り組んだ。今後は、2市2町の地域連携DMO組織「(一社)やまがたアルカディア観光局」が滞在観光に広域で取り組んでいく。

〈国の支援措置〉

・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

・地方創生推進交付金(内閣府)

《その他の国の支援措置の活用状況》

■フラワー長井線再生事業(ハード)【実施中】

・鉄道事業再構築事業(地域公共交通網形成計画)

(国土交通省)

■防犯灯LED整備事業(ハード)【実施済】

・電源立地交付金(経済産業省)

■公衆無線LAN構築整備事業(ソフト)【実施中】

・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

《今後の方針》

今後は各事業が個々に取り組むのではなく、観光交流センターや本町テナント施設等の各拠点を利用したソフト事業の実施や、行政や観光局、民間事業者等の事業者間での相乗効果を生み出す取り組みに繋がるよう事業を進めていく。

福島県福島市 中心市街地活性化基本計画の概要

【計画期間】平成27年4月～令和2年3月
【人口】28.5万人(H26)、【面積】約768km²

【目指す中心市街地の都市像】
～ ふくしまの個性と魅力を発信する生活都心づくり ～

【取組概要】

(1) 集客拠点づくりと回遊環境の向上

- ① 上町地区暮らし・にぎわい再生事業(都市機能立地支援事業)
- ② 腰浜町庭坂線道路整備事業
- ③ 栄町地区商業施設整備事業
- ④ 福島駅前通りリニューアル整備事業(修景まちづくり事業)

(2) 人が暮らし交流できる生活環境の向上

- ⑤ 早稲町地区暮らし・にぎわい再生事業
- ⑥ 八島町地区暮らし・にぎわい再生事業
- ⑦ 五老内町地区暮らし・にぎわい再生事業
- ⑧ 霞町地区暮らし・にぎわい再生事業
- ⑨ 文化交流施設整備事業(花の写真館)

【計画目標】

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値※
賑わいの創出	歩行者・自転車 通行量	34,918人/日 (H26)	35,970人/日 (R1)	34,012人/日 C (H30)
	新規出店舗数	22店舗 (H26)	25店舗 (R1)	34店舗 A (H30)
快適居住の促進	居住人口	16,750人 (H26)	16,820人 (R1)	16,203人 C (H30)
	文化・交流施設 利用者	2,330,327人/年 (H25)	2,524,700人/年 (R1)	2,165,803人/年 C (H29)

※「最新値」:基準値からの改善状況(A目標達成、B基準値達成、C基準値未達成)

【中心市街地】人口:16,750人(H26)、【面積】297ha



福島県福島市 中心市街地活性化基本計画の進捗状況 (H30定期フォローアップ等)

人が暮らし交流できる生活環境の向上

《主要事業の進捗状況》

■上町地区暮らし・にぎわい再生事業(都市機能立地支援事業) (ハード)【実施済】

〈概要〉中心市街地にある総合病院を地域医療を支えるため先進医療導入した拠点病院として整備する。

〈状況〉平成29年度に病院棟が完成、旧病院解体し駐車場が完成(国の支援措置)

・社会資本整備総合交付金(暮らし・にぎわい再生事業)(国土交通省)

■早稲町地区暮らし・にぎわい再生事業(ハード)【実施済】

〈概要〉医療施設を整備するとともに、併設して有料老人ホーム、分譲住宅、立体駐車場、店舗等の複合施設を整備する。

〈状況〉平成29年度事業完了

〈国の支援措置〉

・社会資本整備総合交付金(暮らし・にぎわい再生事業)(国土交通省)

■創業応援利子補給事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉創業にかかる融資の利子全額を補助する。

〈状況〉創業応援利子補給事業の補助件数は50件(H30は17件)

〈国の支援措置〉中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

《その他の国の支援措置の活用状況》

■腰浜町庭坂線道路事業(ハード)【実施済】

・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省)

■栄町地区商業施設整備事業(ハード)【実施済】

・中心市街地再興戦略事業費補助金(経済産業省)

■福島駅前通りリニューアル整備事業(ハード)【実施中】

・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業と一体の効果促進事業)(国土交通省)

■新規創業者等支援事業(ソフト)【実施中】

・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

《今後の方針》

事業年度ごとフォローアップを実施し、中心市街地の現状、各事業の効果を確認するとともに事業の改善も併せ、中心市街地活性化協議会と連携して活性化に取り組む。

人が暮らし交流できる生活環境の向上

《主要事業の進捗状況》

■(再掲)早稲町地区暮らし・にぎわい再生事業(ハード)【実施済】

■(再掲)上町地区暮らし・にぎわい再生事業(都市機能立地支援事業) (ハード)【実施済】

■文化交流施設整備事業(花の写真館)(ハード)【実施中】

〈概要〉東日本大震災で被災した「福島市写真美術館(花の美術館)」の復旧整備を行う。

〈状況〉実施設計が完了し令和元年から工事着手

〈国の支援措置〉公立社会教育施設災害復旧費補助金

■霞町地区暮らし・にぎわい再生事業(ハード)【実施済】

〈概要〉東日本大震災で被災した「福島体育館」において、新たに交流の場となる多目的スペース等を設置する再生整備を行う。

〈状況〉平成30年度事業完了

〈国の支援措置〉

・社会資本整備総合交付金(暮らし・にぎわい再生事業)(国土交通省)

《その他の国の支援措置の活用状況》

■八島町地区暮らし・にぎわい再生事業(ハード)【実施済】

・社会資本整備総合交付金(暮らし・にぎわい再生事業)(国土交通省)

■五老内町地区暮らし・にぎわい再生事業(ハード)【未実施】

・社会資本整備総合交付金(暮らし・にぎわい再生事業)(国土交通省)(活用予定)

■福島体育館整備事業(ハード)【実施済】

・学校施設環境改善交付金(文部科学省)

■「こむこむ館」運営事業(ハード)【実施中】

・電源立地地域対策交付金(経済産業省)

■駅前通り買い物客自転車駐車場整備事業(ソフト)【実施済】

・地方創生推進交付金(内閣府)

《今後の方針》

中心市街地に位置する魅力的な公共施設を回遊ネットワークにより繋げ、各施設で行うイベントを単発で行うのではなく、連携し一体的に行うことにより、より大きな集客性を確保できるよう官民あわせて取り組む。

福島県会津若松市 中心市街地活性化基本計画の概要

【計画期間】平成27年7月～令和2年3月
【人口】12.3万人(H26)、【面積】約383km²

【目指す中心市街地の都市像】

「城下町回廊の賑わい」～まちなかの生活の場・交流の場づくりによる、賑わいのあふれる、歩いて暮らせるまちづくり

【取組概要】

(1) 商業の活性化による魅力あふれるまちづくり

- ① 商業・アミューズメント施設「ロイヤルプラザ」改修整備事業
- ② 神明通り商店街一体的整備構想事業
- ③ 市役所通り商店街「ファサード改修等による通りや路地空間の魅力創出整備事業」
- ④ 会津版家守事業

(2) 会津若松らしさを活かした人が行き交うまちづくり

- ⑤ 七日町通り門前町づくり一体的整備事業
- ⑥ 歴史的建造物を活かしたまちなか賑わい拠点づくり事業

(3) 多くの人が暮らし、集い、ふれあい、活動する元気なまちづくり

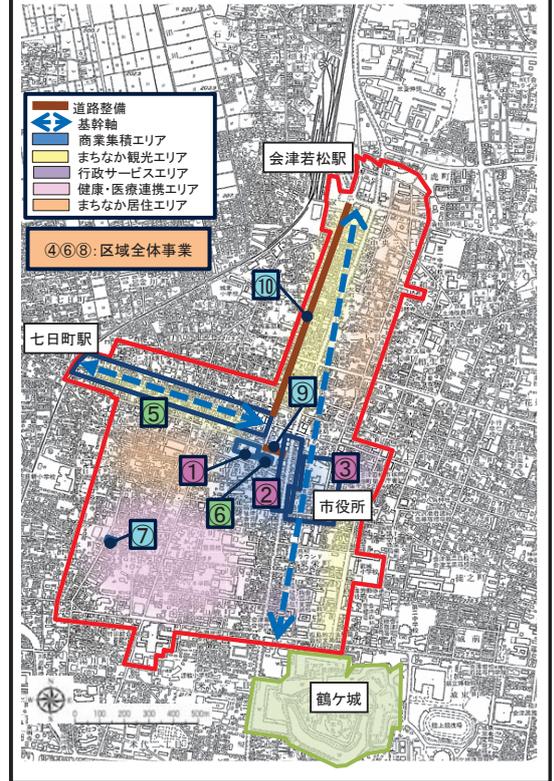
- ⑦ スマートウェルネスシティ事業
- ⑧ まちなかコミュニティ機能再生事業
- ⑨ 市道若3-221号線拡幅整備事業
- ⑩ (都)会津若松駅中町線道路美化事業

【計画目標】

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値※	
商機能の向上	新規出店者数 (過去5年平均)	8.8件 (H26)	13.6件 (R1)	15.0件 (H30)	A
交流人口の拡大	歩行者通行量 (平日と休日の加重平均)	26,151人/日 (H26)	27,675人/日 (R1)	24,205人/日 (H30)	C
まちなかにおける市民による活動量の増加	活動拠点施設 利用者数	512,179人/年 (H24)	530,233人/年 (R1)	489,133人/年 (H30)	C

※「最新値※」: 基準値からの改善状況(A目標達成、B基準値達成、C基準値未達成)

【中心市街地】人口: 10,602人(H26)【面積】約170ha



福島県会津若松市 中心市街地活性化基本計画の進捗状況 (H30定期フォローアップ等)

商機能の向上

《主要事業の進捗状況》

- 商業・アミューズメント施設「ロイヤルプラザ」改修整備事業(ハード)【未実施】
〈概要〉空きフロアとして有効活用されていない低未利用部分を改修し、集客力の高い飲食店や小売店舗(約10件)の再誘致を進める。
〈状況〉施設整備に要する事業費の増大や国の補助率変更等により、事業を再検討中
〈国の支援措置〉
・中心市街地再興戦略事業費補助金(先導的・実証的)事業(経済産業省)(活用予定)
- 神明通り商店街一体的整備構想事業(ハード)【実施中】
〈概要〉商店街の一つの大規模商業施設とみため、アーケード等の改修をする。
〈状況〉創業者の育成による商店街活性化と多世代の交流等を促進するコミュニティ活動拠点整備事業に着手し、令和元年6月完成予定
〈国の支援措置〉
・地域・まちなか商業活性化支援事業(地域商業自立促進事業)(経済産業省)
- 市役所通り商店街「ファサード改修等による通りや路地空間の魅力創出整備事業」(ハード)【実施済】
〈概要〉空き店舗を活用したテナントミックス事業、店舗ファサード改修事業、コミュニティ施設整備事業、路地裏整備事業、各種イベント等を実施する。
〈状況〉新規出店者数の増加(+7件)
〈国の支援措置〉
・地域商業自立促進事業(経済産業省)

《今後の方針》

「空き店舗対策事業」、「創業支援事業」の更なる推進と積極的な支援等により計画期間中の目標達成を目指していく。

交流人口の拡大

《主要事業の進捗状況》

- スマートウェルネスシティ事業(ソフト)【実施中】
〈概要〉ICTを活用して利用者個別の生活習慣、運動量、生体情報等のデータを蓄積し、個別指導に活用するとともに、まちなかを「歩く」ことを通した健康づくり等事業を実施する。
〈状況〉歩行者通行量の増加(+33人・日)
〈国の支援措置〉なし
 - (再掲) 商業・アミューズメント施設「ロイヤルプラザ」改修整備事業(ハード)【未実施】
 - (再掲) 神明通り商店街一体的整備構想事業(ハード)【実施中】
 - (再掲) 市役所通り商店街「ファサード改修等による通りや路地空間の魅力創出整備事業」(ハード)【実施済】
- 《その他の国の支援措置の活用状況》
- 七日町通り門前町づくり一体的整備事業(ハード)【実施中】
・地域・まちなか商業活性化支援事業(地域商業自立促進事業)(経済産業省)
 - ・歴史的建造物を活かしたまちなか賑わい拠点づくり事業(ハード)【実施中】
・地域・まちなか商業活性化支援事業(地域商業自立促進事業)(経済産業省)
 - ・商店街・まちなかインバウンド促進支援事業(中心市街地活性化事業)(経済産業省)
 - ・地方創生加速化交付金(内閣府)

《今後の方針》

新規事業の追加のほか、各通りをつなげる景観づくり事業、各種イベント等の取組を継続していく。

まちなかにおける市民による活動量の増加

《主要事業の進捗状況》

- まちなかコミュニティ機能再生事業(ソフト)【実施中】
〈概要〉地域の活動拠点として多くの人が集い、ふれあい、活動する場を提供する。
〈状況〉会津ふれあい通り(平成26年度)、市役所通り、本町通り(平成27年度)、大町通り(平成29年度)、野口英世青春通り(平成30年度)の計5件、コミュニティ施設が整備され、供用開始
〈国の支援措置〉なし
 - (再掲) スマートウェルネスシティ事業(ソフト)【実施中】
 - (再掲) 神明通り商店街一体的整備構想事業(ハード)【実施中】
 - (再掲) 市役所通り商店街「ファサード改修等による通りや路地空間の魅力創出整備事業」(ハード)【実施済】
- 《その他の国の支援措置の活用状況》
- 市道若3-221号線拡幅整備事業(ハード)【実施済】
・社会資本整備総合交付金(道路事業)(国土交通省)
 - (都)会津若松駅中町線道路美化事業(ハード)【実施中】
・社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)(国土交通省)

《今後の方針》

活動拠点施設同士の連携を図り、またPR・利用促進等を積極的に行うなど、利用者増加に向けた取組などを支援する。

福島県いわき市 中心市街地活性化基本計画の概要

【計画期間】平成29年4月～令和4年3月
【人口】32.9万人(H28)、【面積】1232.02km²

【目指す中心市街地の都市像】

人、暮らし、文化を大切にする豊かさと活力とを備えた中心市街地

【取組概要】

(1) 生活環境の充実によるまちなか居住の促進

- ① 都市公園整備事業
- ② いわき駅並木通り地区第一種市街地再開発事業
- ③ いわき都心型住宅整備事業
- ④ まちなか循環バス運行検討事業

(2) 新規出店の促進による事業活動の活性化

- ⑤ 地域密着型商業施設整備事業
- ⑥ まちなかを活用した起業家支援事業
- ⑦ リノベーションまちづくり支援事業

(3) 歴史・文化資源を活かした賑わいの創出

- ⑧ いわき芸術文化交流館アリオス自主企画事業
- ⑨ 伝えたい誇れるいわき醸成事業
- ⑩ 磐城平城本丸跡地に関する活用事業
- ① 都市公園整備事業(再掲)

【中心市街地】人口:4,133人(H28)、【面積】約116ha



【計画目標】

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値※
生活環境の充実によるまちなか居住の促進	中心市街地内の居住人口	4,133人 (H28)	4,400人 (R3)	4,202人 B (H30)
新規出店の促進による事業活動の活性化	中心市街地内の新規出店数	26件 (H23～27)	52件 (H29～R3)	26件 B (H26～30)
歴史・文化資源を活かした賑わいの創出	主要歴史・文化施設の入込客数	1,226,198人 (H27)	1,263,000人 (R3)	1,140,774人 C (H30)

※「最新値」: 基準値からの改善状況(A目標達成、B基準値達成、C基準値未達成)

福島県いわき市 中心市街地活性化基本計画の進捗状況 (H30定期フォローアップ等)

生活環境の充実によるまちなか居住の促進

《主要事業の進捗状況》

■いわき駅並木通り地区第一種市街地再開発事業

(ハード)【実施中】

〈概要〉まちなか居住のための住宅の供給とともに都市機能の充実を図る。

〈状況〉平成29年12月に「いわき駅並木通り地区第一種市街地再開発事業基本計画」を策定、平成30年3月に都市計画の決定及び変更を実施するとともに、事業計画の策定に向けた調査・設計に着手

〈国の支援措置〉

・社会資本整備総合交付金(市街地再開発事業等)
(国土交通省)

■いわき都心型住宅整備事業(ハード)【未実施】

〈概要〉商業や福利機能を複合した住宅を整備する。

〈状況〉着手に向け、具体的な施設整備の内容等を検討

〈国の支援措置〉なし

《その他の国の支援措置の活用状況》

■都市公園整備事業(ハード)【実施中】

・社会資本整備総合交付金(都市公園・緑地等事業)
(国土交通省)

■認知症ケア総合支援事業(ソフト)【実施中】

・地域支援事業交付金(厚生労働省)

《今後の方針》

中心市街地では複数の民間マンションの建設も進められており、引き続き、目標達成に向け、官民一体となって取り組んでいく。

新規出店の促進による事業活動の活性化

《主要事業の進捗状況》

■地域密着型商業施設整備事業(ハード)【未実施】

〈概要〉民間商業施設のリニューアルを実施する。

〈状況〉事業実施に向け協議中

〈国の支援措置〉なし

■まちなかを活用した起業家支援事業

(ソフト)【実施中】

〈概要〉中心市街地の遊休不動産を活用し、起業家育成の環境を整備する。

〈状況〉平成29年度に引き続き、リノベーションした施設の一部にデジタルもとのづくり機器を設置

〈国の支援措置〉なし

■リノベーションまちづくり関連事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉セミナーやリノベーションスクールを開催し、リノベーションまちづくりを知る機会を提供する。

〈状況〉民間事業者が実施するワークショップに対し、リノベーションまちづくりの専門家を派遣

〈国の支援措置〉なし

■いわき市商工業活性化事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉技術開発等のための調査、研究及び計画策定やイベント、イメージアップ事業に対し支援を行う。

〈状況〉民間事業者の事業費の一部を補助

〈国の支援措置〉

・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

■(再掲)いわき駅並木通り地区第一種市街地再開発事業

(ハード)【実施中】

■(再掲)いわき都心型住宅整備事業

(ハード)【未実施】

《今後の方針》

今後は、空き店舗情報の収集・発信と併せて、まちなかを活用した起業家支援事業やリノベーションまちづくり関連事業など、さらなる推進を図る。

歴史・文化資源を活かした賑わいの創出

《主要事業の進捗状況》

■いわき芸術文化交流館アリオス自主企画事業

(ソフト)【実施中】

〈概要〉生の演奏を届けるアウトリーチ活動、舞台芸術による人材育成・交流事業を実施する。

〈状況〉平成30年度の来館者数は、845,328人(基準値より14,874人の増)

〈国の支援措置〉

・文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等活性化事業)
(文部科学省)

■伝えたい誇れるいわき醸成事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉いわきの歴史・文化・伝統等の承継のため、歴史冊子の作成や地域学を開講する。

〈状況〉平成30年度利用者数は、192,898人、今後も多くの市民が地域の歴史や文化等を学ぶ、地域学「たいら学」等を継続して実施

〈国の支援措置〉なし

■磐城平城本丸跡地関連事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉磐城平城本丸跡地の活用に関わる維持・管理体制の構築、仕組みづくりを行う。

〈状況〉平成30年度の来場者数は5,914人、引き続き、公園整備を行い、観光スポットやイベント会場として活用

〈国の支援措置〉なし

■文化芸術の発展事業(ソフト)【未実施】

〈概要〉空き地空き店舗を活用し、アーティストレジデンスの整備や、美術・アート作品の展示を行う。

〈状況〉着手に向け、関係機関と協議中

〈国の支援措置〉

・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

《その他の国の支援措置の活用状況》

■(再掲)都市公園整備事業(ハード)【実施中】

《今後の方針》

中心市街地内の商業施設等とのネットワーク化を図り、文化施設間をはじめとするまちなかの回遊性を向上させ、入込客数の増加を図っていく。

福島県須賀川市 中心市街地活性化基本計画の概要

【計画期間】平成31年4月～令和6年3月
【人口】7.7万人(H30)、【面積】279.43km²

【目指す中心市街地の都市像】

また遊びに来たくなる 魅力にあふれた街

【取組概要】

(1) 休日の回遊性を向上する

- ①市民交流センターを核とした回遊推進事業
- ②(仮称)文化創造伝承館整備事業
- ③翠ヶ丘公園内老朽化施設リノベーション事業
- ④ウルトラマンを活用したまちづくり事業

(2) 新たに店舗を構える人を増やす

- ⑤まちなか出店推進事業
- ⑥須賀川駅西地区都市再生整備事業
- ⑦シェア店舗整備事業
- ⑧Rojima-すかがわの路地deマーケット-

(3) 公共施設・空間の民間活用を増やす

- ⑨中心市街地民間事業サポート事業

【計画目標】

目標	目標指標	基準値	目標値
休日の回遊性を向上する	休日歩行者通行量 (9地点合計)	1,960人/日 (H30)	2,689人/日 (R5)
新たに店舗を構える人を増やす	新規出店数 (5年合計)	18店舗 (H25-H30)	36店舗 (H31-R5)
公共施設・空間の民間活用を増やす	民間事業者における対象 施設利用件数 (6施設※合計)	19件 (H29)	102件 (R5)

※市庁舎、市民交流センター、(仮称)文化創造伝承館、JR須賀川駅(広場)、翠ヶ丘公園、結の辻

【中心市街地】人口:6,194人(H30)、【面積】130.8ha



福島県須賀川市 中心市街地活性化基本計画の進捗状況 (H31.3認定、定期フォローアップ未実施)

休日の回遊性を向上する

＜主要事業の進捗状況＞

- 市民交流センターを核とした回遊推進事業(ソフト)
〈概要〉施設内の各機能を活用しつつ官民連携によるイベントを実施するなど、集客効果を高める企画事業を行い、周辺への回遊を推進する。
〈国の支援措置〉
・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)
- (仮称)文化創造伝承館整備事業(ハード)
〈概要〉震災で被災した芭蕉記念館の機能を移転し、郷土の偉人顕彰と俳句を中心とした文化・伝統の継承施設として整備する。
〈国の支援措置〉
・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省)
- 翠ヶ丘公園内老朽化施設リノベーション事業(ハード)
〈概要〉翠ヶ丘公園の民間管理に向けた中核施設として、公園内の休憩施設を公募設置管理制度(Park-PFI)の活用により、収益施設にリノベーションする。
〈国の支援措置〉
・社会資本整備総合交付金(都市公園・緑地等事業)(国土交通省)
・都市開発資金貸付金(国土交通省)
- ウルトラマンを活用したまちづくり事業(ソフト)
〈概要〉ウルトラヒーローや怪獣のモニュメント、円谷英二ミュージアムなどを活用した官民連携によるイベントを実施するとともに、ウルトラマン関連商品の開発支援を行う。
〈国の支援措置〉
・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

＜今後の方針＞

H30定期フォローアップ対象外

新たに店舗を構える人を増やす

＜主要事業の進捗状況＞

- まちなか出店推進事業(ソフト)
〈概要〉まちづくり会社と協力し、空き店舗等の情報発信や物件発掘、物件の貸し手と借り手のマッチングや、創業塾などのセミナーの開催、出店相談窓口の設置など、新規出店を支援する。
〈国の支援措置〉
・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)
- 須賀川駅西地区都市再生整備事業(ハード)
〈概要〉JR須賀川駅周辺の魅力向上に向け、東西自由通路や駅西地区駅前広場、駐車場等を整備する。
〈国の支援措置〉
・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省)
- シェア店舗整備事業(ハード)
〈概要〉まちづくり会社が主体となり、空き店舗を廉価なスペース店舗(シェア店舗)に改修することにより、出店しやすい環境を整える。
〈国の支援措置〉なし
- Rojima-すかがわの路地deマーケット-(ソフト)
〈概要〉賑わいの向上と創業機運を高めるため、毎月第2日曜日に広場や駐車場、空き店舗などを活用し、マルシェを実施する。
〈国の支援措置〉なし

＜今後の方針＞

H30定期フォローアップ対象外

公共施設・空間の民間活用を増やす

＜主要事業の進捗状況＞

- 中心市街地民間事業サポート事業(ソフト)
〈概要〉民間事業者の使用が制限されていた市庁舎や市民交流センターなどの公共施設・空間の使用要件を緩和することで、認定された民間事業者が中心市街地内の公共施設・空間を活用した収益事業ができるよう支援をする。
〈国の支援措置〉なし

＜今後の方針＞

H30定期フォローアップ対象外

茨城県水戸市 中心市街地活性化基本計画の概要

【計画期間】2016(平成28)年7月～2022(令和4)年3月
【人口】270,289人(H30)、【面積】217.32km²

【目指す中心市街地の都市像】

『多様な人々が集い、暮らし、働き、皆が魅力を味わえる、快適でにぎわいのある水戸のまちなか』

【取組概要】

(1) まちなかにぎわい創出

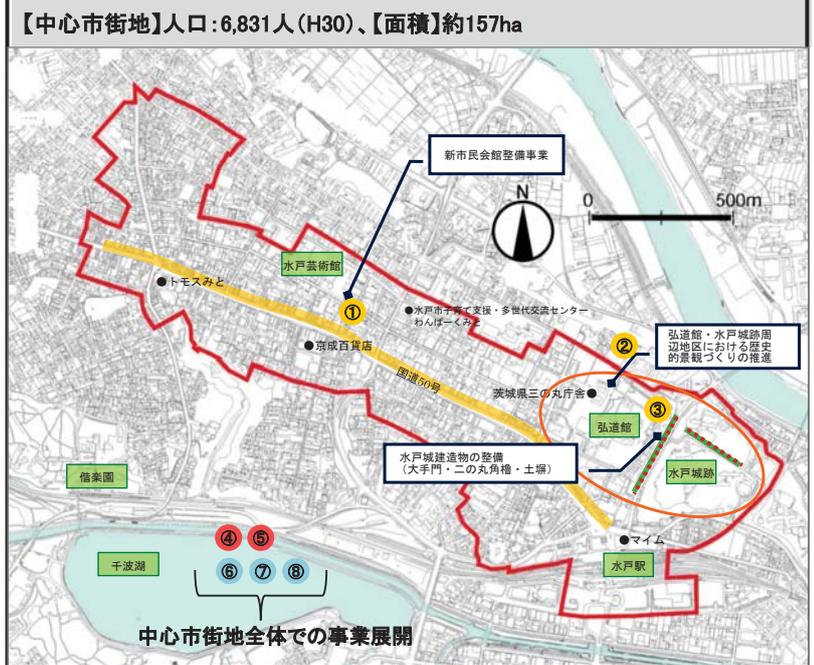
- ① 新市民会館整備事業
- ② 弘道館・水戸城跡周辺地区における歴史的景観づくりの推進
- ③ 水戸城建造物の整備(大手門・二の丸角櫓・土塙)

(2) まちなか居住の促進

- ④ まちなか共同住宅整備促進事業
- ⑤ 子育て世帯まちなか住みかえ支援事業

(3) 生活利便機能の再生

- ⑥ 空き店舗対策事業
- ⑦ 企業誘致推進事業
- ⑧ 中心市街地における商業施設等の立地促進事業



【計画目標】

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値※
まちなかにぎわい創出	歩行者通行量	109,794人(H26)	128,300人(R3)	106,543人 C(H30)
まちなか居住の促進	居住人口	6,778人(H26)	8,000人(R3)	6,831人 B(H30)
生活利便機能の再生	空き店舗率	21.4%(H26)	16.0%(R3)	20.3% B(H30)

※「最新値」: 基準値からの改善状況(A目標達成、B基準値達成、C基準値未達成)

茨城県水戸市 中心市街地活性化基本計画の進捗状況 (H30定期フォローアップ等)

まちなかにぎわい創出

《主要事業の進捗状況》

■新市民会館整備事業(ハード)【実施中】

〈概要〉水戸芸術館と一体となって芸術・文化活動を発信し、新たな交流や活力、にぎわいを創出する拠点として、コンベンションが可能な施設を整備する。
〈状況〉2022(令和4)年度の開館に向け、「泉町1丁目北地区市街地再開発事業」等による整備を推進しており、2018(平成30)年度は、実施設計等支援業務委託を実施した。
〈国の支援措置〉
・社会資本整備総合交付金(暮らし・にぎわい再生事業)(国土交通省)

■弘道館・水戸城跡周辺地区における歴史的景観づくりの推進(ハード)【実施中】

〈概要〉水戸城建造物の整備事業に取り組むなど、歴史的景観づくりを進める。
〈状況〉2021(令和3)年度の整備完了に向けて、事業スケジュールどおりに整備が進捗している。
〈国の支援措置〉
・社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)(国土交通省)

■水戸城建造物の整備(大手門・二の丸角櫓・土塙)(ハード)【実施中】

〈概要〉水戸市歴史的風致維持向上計画に基づき、歴史的資源の適切な保存、活用を図りながら、天下の魁・水戸にふさわしい風格ある歴史まちづくりを進める。
〈状況〉大手門については、2020(令和2)年2月の完成に向けて整備を進めている。
〈国の支援措置〉
・社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)(国土交通省)

《今後の方針》

新市民会館や水戸城歴史的建造物の整備により、回遊性の向上や観光客の増加による歩行者通行量の増加を図り、新たなにぎわいの創出に取り組む。

まちなか居住の促進

《主要事業の進捗状況》

■民間事業者共同住宅整備促進事業(ハード)【実施済】

〈概要〉民間事業者における良質な分譲型共同住宅の整備を促進する。
〈状況〉南町2丁目において整備された分譲マンション(158戸)は、2017(平成29)年度末から入居が始まり、中心市街地(都市中枢ゾーン)における居住人口が増加している。今後も、マンション等の建設が計画されていることから、居住人口の増加が見込まれる。
〈国の支援措置〉なし

■子育て世帯まちなか住みかえ支援事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉中心市街地(都市中枢ゾーン)へ転入する子育て世帯に対する住宅取得・賃貸に係る費用補助を実施する。
〈状況〉2016(平成28)年度に創設し、2018(平成30)年度は、43世帯(取得35件、賃貸8件)に対する補助を実施した。
〈国の支援措置〉
・社会資本整備総合交付金(地域住宅計画に基づく事業(地域住宅政策推進事業))(国土交通省)

《今後の方針》

民間事業者による共同住宅の整備促進とともに、「子育て世帯まちなか住みかえ支援事業」の活用促進を図りながら、まちなか居住を推進する。

生活利便機能の再生

《主要事業の進捗状況》

■空き店舗対策事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉中心市街地(都市中枢ゾーン)の空き店舗への新規出店について、店舗改装費の補助を行う。
〈状況〉2018(平成30)年度は、飲食店等の出店が7件あり、店舗面積計366.8m²が増加した。
〈国の支援措置〉
・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

■企業誘致推進事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉一定規模(500m²)以上の商業施設、オフィスの業務機能の新設に対して、市民の新規雇用に対する補助のほか、税制優遇措置等を行う。
〈状況〉2019(令和元)年、水戸駅北口に複合型オフィスが開設予定であり、本事業の活用が見込まれることから、事業効果が期待できる。
〈国の支援措置〉
・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

■中心市街地における商業施設等の立地促進事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉空きテナント等(100m²以上)へ出店する際、店舗改装及び償却資産購入等に係る費用等に対する補助を行う。
〈状況〉2016(平成28)年度に創設し、2018(平成30)年度は、3件あり、店舗面積計576.8m²が増加した。
〈国の支援措置〉
・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

《今後の方針》

商業活性化等に係る各種事業を進めながら、「空き店舗対策事業」や「中心市街地における商業施設等の立地促進事業」等を活用した新規出店を促進する。

茨城県土浦市 中心市街地活性化基本計画の概要

【計画期間】平成31年4月～令和6年3月
【人口】13.9万人(H30)、【面積】122.99km²

【目指す中心市街地の都市像】

歴史が息づき 人々が集う、魅力ある湖畔の都市(まち)

【取組概要】

(1) 休日のにぎわい創出

- ① サイクリング事業
- ② 土浦港周辺広域交流拠点整備事業
- ③ 土浦駅東西口エレベーター改良事業
- ④ 亀城公園整備事業
- ⑤ うらら大屋根広場・アルカス土浦プラザ利活用促進事業
- ⑥ 新図書館利用推進事業
- ⑦ ギャラリー利用推進事業

(2) 商業・業務機能の活性化

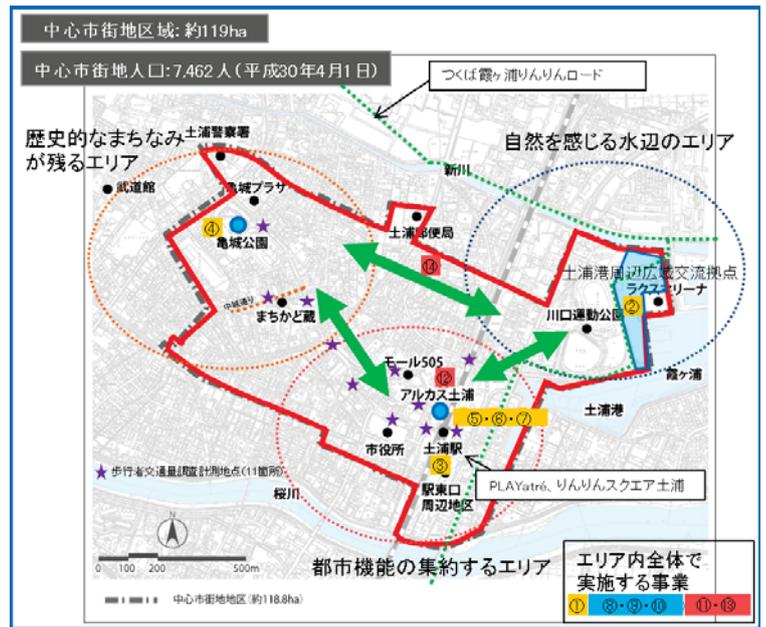
- ⑧ 中心市街地開業支援事業
- ⑨ 空き店舗・低未利用地活用推進事業
- ⑩ (仮称)まちなか商い体験学習事業

(3) まちなか居住人口の増加

- ⑪ まちなか定住促進事業
- ⑫ 土浦駅前北地区市有地有効活用事業
- ⑬ シティプロモーション推進事業
- ⑭ まちなか子育て支援事業

【計画目標】

目標	目標指標	基準値	目標値
休日のにぎわい創出	休日の歩行者・自転車交通量(人)	22,915 (H29)	28,164 (R5)
商業・業務機能の活性化	新規出店・起業数(店舗)	11 (H29)	年平均13 (5ヶ年累計65)
まちなか居住人口の増加	中心市街地居住者人口割合(%)	5.37 (H29)	5.56 (R5)



茨城県土浦市 中心市街地活性化基本計画の進捗状況 (H31.3認定 定期フォローアップ未実施)

休日のにぎわい創出

《主要事業の進捗状況》

- サイクリング事業(ハード・ソフト)
《概要》サイクリングによる市内散策ツアーの実施、路面の整備やサイクルマップの作製等、つくば霞ヶ浦りんりんロードを活用した広域観光及び訪れやすい環境づくりを推進する。
《国の支援措置》
・地方創生推進交付金(内閣府)
・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)
- 土浦港周辺広域交流拠点整備事業(ハード)
《概要》市有地である川口二丁目地区の未活用部分を含む約3.9haに民間事業者を誘致し、水辺空間を活かした温浴施設、観光物産施設等を整備する。
《国の支援措置》なし
- 土浦駅東西口エレベーター改良事業(ハード)
《概要》駅東西口の既設エレベーターについて、駅利用者やサイクリスト等が安全かつ便利に使用できるよう改良工事を行う。
《国の支援措置》
・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省)
- 亀城公園整備事業(ハード・ソフト)
《概要》本市の歴史的資源である土浦城址の亀城公園について、外濠の復元を行い、市民だけでなくサイクリスト等の観光客も訪れるような観光スポットとしての整備を行う。
《国の支援措置》
・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省)
- うらら大屋根広場・アルカス土浦プラザ利活用促進事業(ソフト)
《概要》当広場の利活用促進に係るPR等
《国の支援措置》なし
- 新図書館利用推進事業(ソフト)
《概要》図書館と併設する市民ギャラリーにより連携した企画展や講演会を実施する。
《国の支援措置》なし
- 市民ギャラリー利用推進事業(ソフト)
《概要》市民ギャラリーでの芸術文化に関する展示・イベントの開催、貸しギャラリーの利用促進
《国の支援措置》なし

《今後の方針》

H30定期フォローアップ対象外

商業・業務機能の活性化

《主要事業の進捗状況》

- 中心市街地開業支援事業(ソフト)
《概要》空き店舗に新規出店・開業する事業者に対する家賃補助を行う。建物所有者にも家賃の値下げ交渉を行い、意識付けをすするとともに、空き店舗解消につなげる。また、土浦商工会議所や地域金融機関において経営相談や創業支援の情報提供等を行う。
《国の支援措置》
・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省)
- 空き店舗・低未利用地活用推進事業(ソフト)
《概要》空き店舗や低未利用地の所有者に対し、市が相談窓口として、利活用の事例や国の制度等を紹介し、まちづくりへの理解を促すとともに、所有者と借り手のマッチングを推進する。
《国の支援措置》なし
- (仮称)まちなか商い体験学習事業(ソフト)
《概要》民間事業者が空きビルを改修し、学生等を対象にしたものづくりや商売の体験機会を提供し、将来の商工業の担い手育成のきっかけづくりを目指す。
《国の支援措置》なし

《今後の方針》

H30定期フォローアップ対象外

まちなか居住人口の増加

《主要事業の進捗状況》

- まちなか定住促進事業(ソフト)
《概要》市外から転入する新婚世帯及び子育て世帯を対象に、住宅購入や家賃に対する補助を行うことで、居住を誘導し、年少人口の増加を図る。また、業務系ビルを住居系に転用する場合の補助制度を新たに構築する。
《国の支援措置》
・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省)
- 土浦駅前北地区市有地有効活用事業(ハード)
《概要》アルカス土浦に隣接する市有地を活用し、民間事業者によるマンション建設(89戸)を行う。
《国の支援措置》なし
- シティプロモーション推進事業(ソフト)
《概要》イベントやキャンペーンを通してまちの魅力を発信し、Uターン・Iターン等の移住を推進する。
《国の支援措置》なし
- まちなか子育て支援事業(ハード)
《概要》郊外から中心市街地に子育て支援施設を移転整備し、若い世代が住みやすい環境整備を図る。
《国の支援措置》なし

《今後の方針》

H30定期フォローアップ対象外

群馬県高崎市 中心市街地活性化基本計画の概要

【計画期間】平成26年4月～令和2年3月
【人口】37.5万人(H24)、【面積】460km²

【目指す中心市街地の都市像】

高崎の活力と新しい文化を創造・発信する“賑わい・交流・文化都心”

【取組概要】

(1) 市民・まちなか居住者・広域来訪者が楽しく回遊できるまち

- ①おもてなし事業
- ②高崎まちなかオープンカフェ推進事業
- ③高崎まちなかコミュニティサイクル推進事業
- ④高崎公園・烏川緑地間人道橋整備事業

(2) 高い集客力を生かした経済活力にあふれるまち

- ⑤都市集客施設整備事業(地域交流センター整備事業(高崎文化芸術センター整備事業)、高崎駅東口栄町地区市街地再開発事業)
- ⑥新体育館建設事業
- ⑦群馬県コンベンション施設整備事業

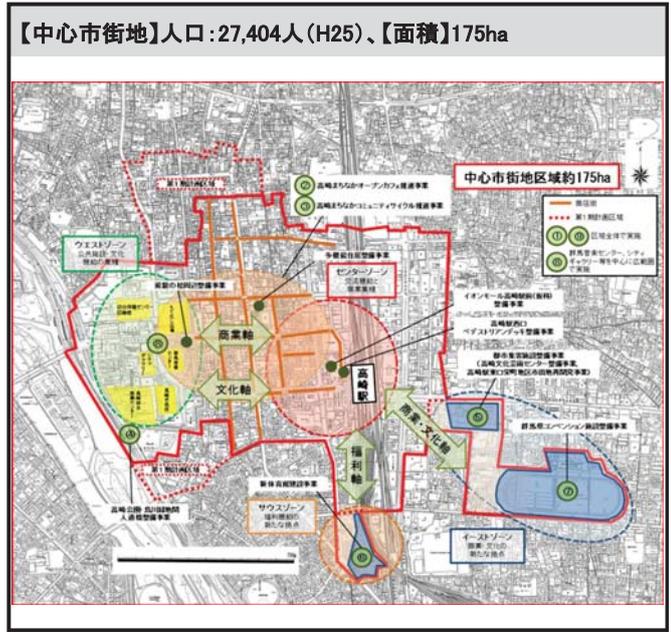
(3) 音楽を中心とした“高崎文化”を創造・発信するまち

- ⑧地域交流センター整備事業(高崎文化芸術センター整備事業)(再掲)
- ⑨既存イベントの充実(群馬交響楽団定期演奏会、高崎音楽祭、高崎マーチングフェスティバル、たかさぎ能、高崎映画祭 など)
- ⑩まちなか音楽活動助成事業

【計画目標】

目標	指標	基準値	目標値	最新値※
市民・まちなか居住者・広域来訪者が楽しく回遊できるまち	歩行者・自転車通行量 (休日・14地点)	101,411人/日 (H24)	108,500人/日 (R1)	159,734人/日 A (H30)
高い集客力を生かした経済活力にあふれるまち	小売業年間商品販売額	1,172億円/年 (H23)	1,375億円/年 (R1)	1,297億円/年 B (H30)
音楽を中心とした“高崎文化”を創造・発信するまち	文化施設の利用者数の合計値	612,251人/年 (H24)	1,070,770人/年 (R1)	597,922人/年 C (H30)

※「最新値」: 基準値からの改善状況(A目標達成、B基準値達成、C基準値未達成)



群馬県高崎市 中心市街地活性化基本計画の進捗状況 (H30定期フォローアップ等)

市民・まちなか居住者・広域来訪者が楽しく回遊できるまち

《主要事業の進捗状況》

- 高崎まちなか商店リニューアル助成事業 (ハード)【実施中】
〈概要〉市内の店舗等でリニューアル工事にかかった費用の一部を支援する。
〈状況〉平成30年度 支援件数約100件
〈国の支援措置〉なし
- 高崎まちなかオープンカフェ推進事業(ソフト)【実施中】
〈概要〉歩道上でオープンカフェを行えるよう推進する。
〈状況〉参加店舗数 平成30年度までに6店舗増加
〈国の支援措置〉なし
- 高崎まちなかコミュニティサイクル推進事業 (ソフト)【実施中】
〈概要〉まちの交通手段の多様化のため新たな交通手段として実施する。
〈状況〉自転車台数 平成30年度までに50台増加
サイクルポート数 平成30年度までに4箇所増加
〈国の支援措置〉なし
- 中心市街地活性化ソフト事業(総務省)
- 高崎公園・烏川緑地間人道橋整備事業 (ハード)【実施済】
〈概要〉高崎公園と烏川緑地を結ぶ人道橋を整備する。
〈状況〉平成26年度に完了。
〈国の支援措置〉なし
- (後掲)高崎駅東口栄町地区市街地再開発事業 (ハード)【実施中】

《今後の方針》

広域からの集客効果をもたらす高崎駅周辺の都市集客施設の事業を進めるとともに、回遊性を向上させる様々な施策との相乗効果により交流人口を増加させ、更に実績を伸ばしたい。

高い集客力を生かした経済活力にあふれるまち

《主要事業の進捗状況》

- 都市集客施設整備事業(地域交流センター整備事業(高崎文化芸術センター整備事業)、高崎駅東口栄町地区市街地再開発事業) (ハード)【実施中】
〈概要〉賑わいと情報発信の拠点として、芸術文化創造の中心となる施設(地域交流センター(高崎文化芸術センター))や商業・オフィスビルを整備する。
〈状況〉工期に遅れが生じ、計画期間内に効果の発現は一部のみとなる。
〈国の支援措置〉なし
- 新体育館建設事業(ハード)【実施済】
〈概要〉市民スポーツの普及と振興を図るため、体育館を移転・新築する。
〈状況〉平成29年4月 開館
平成30年度 年間利用者数 28万5千人
〈国の支援措置〉なし
- 群馬県コンベンション施設整備事業(ハード)【実施中】
〈概要〉競馬場跡地にコンベンション施設を整備する。
〈状況〉平成30年1月に工事着手。事業完了は令和元年度末のため、計画期間内に効果の発現は見込めない。
〈国の支援措置〉なし

《今後の方針》

主要事業の遅れにより、計画期間内での効果は見込めない状況となったが、今後も、中心市街地への誘引施策等、基本計画に掲載した事業を継続し、目標達成を目指していきたい。

音楽を中心とした“高崎文化”を創造・発信するまち

《主要事業の進捗状況》

- 高崎音楽祭(ソフト)【実施中】
〈概要〉クラシックやジャズなど、芸術鑑賞の機会を提供する。
〈状況〉中心市街地のいたるところでイベントを実施することにより多数の集客効果をもたらしており、年々その数は増加している。
〈国の支援措置〉なし
- (再掲)地域交流センター整備事業(ハード)【実施中】
- まちなか音楽活動助成事業(ソフト)【実施中】
〈概要〉街かどや商店などにおいて週末を中心に日常的に行われる音楽活動を支援する。
〈状況〉高崎駅西口商業エリアにおいて、地元ミュージシャンへの支援等を実施するなどにより、同エリアの振興、音楽関係団体やアーティストへの活動の場の提供と育成に寄与した。
〈国の支援措置〉なし
- おもてなし事業(ソフト)【実施中】
〈概要〉回遊型音楽イベントや文化施設でのイベントと、オープンカフェや飲食店と連携した割引サービスの実施など商店街と関係各所が連携して行う取組みを支援する。
〈状況〉支援を行うことにより、駅周辺への来訪者を中心市街地全体へ誘引する効果をもたらしている。
〈国の支援措置〉なし
- 《その他の国の支援措置の活用状況》
- 群馬交響楽団定期演奏会(ソフト)【実施中】
- 舞台芸術創造活動活性化事業(文部科学省)

《今後の方針》

測定対象施設である高崎文化芸術センターの完成時期が令和元年度に遅れるため、目標達成は厳しいが、新たなソフト事業を追加することにより、まちなかを訪れた人に文化施設に立ち寄ってもらうよう積極的な情報発信を行い、誘引・誘客を図る。

埼玉県川越市 中心市街地活性化基本計画の概要

【計画期間】平成27年4月～令和2年3月
【人口】34.9万人(H26)、【面積】109.13km²

【目指す中心市街地の都市像】

川越らしさを活かした交流とにぎわいのあるまち

【取組概要】

(1) 回遊性の向上 ～魅力あるまちなみづくり～

- ①旧鶴川座再生・利活用事業
- ②旧川越織物市場保存整備事業
- ③歴史的地区環境整備街路(立門前線)
- ④川越市文化芸術振興・市民活動拠点施設運営管理事業
- ⑤本川越駅西口開設事業

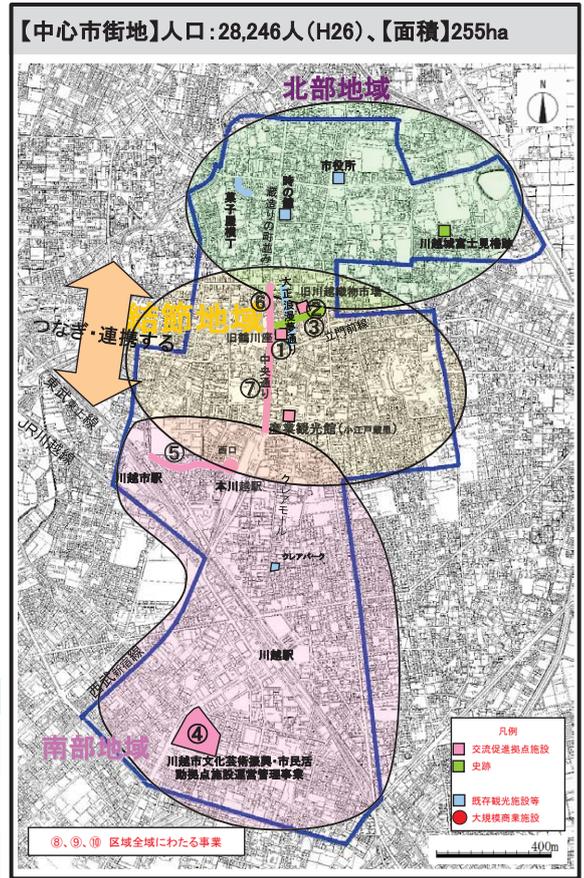
(2) 商業・サービス業の活性化 ～にぎわいの創出～

- ⑥中央通り線(連雀町交差点～仲町交差点)の整備検討
- ⑦中央通りまちなみ整備
- ⑧チャレンジショップ事業
- ⑨テナントミックス事業
- ⑩若手人材育成事業

【計画目標】

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値※
回遊性の向上	歩行者・自転車通行量 (平日・休日の平均)※8地点(人)	91,882人 (H26)	110,000人 (R1)	100,054人 B (H30.5)
	観光客の立ち寄り観光地点数 (か所)	4.27か所 (H25)	4.50か所 (R1)	4.30か所(H30.5) B
商業・サービス業の活性化	空き店舗数(店舗)	74店舗(H24)	64店舗 (R1)	67店舗(H30.12) B

※「最新値※」:基準値からの改善状況(A目標達成、B基準値達成、C基準値未達成)



埼玉県川越市 中心市街地活性化基本計画の進捗状況 (H30定期フォローアップ等)

回遊性の向上 ～魅力あるまちなみづくり～

＜主要事業の進捗状況＞

- 旧鶴川座再生・利活用事業(ハード)【実施中】
〈概要〉明治期に建てられた旧鶴川座を、民間主体による賑わい創出の拠点となる商業施設として整備する。
〈状況〉特定民間中心市街地経済活力向上事業計画の申請を行い、認定を得た。
〈国の支援措置〉
・特定民間中心市街地経済活力向上事業計画の経済産業大臣認定(経済産業省)
・商店街活性化・観光消費創出事業(経済産業省)(活用予定)
- 旧川越織物市場保存整備事業(ハード)【実施中】
〈概要〉市指定文化財として保存し、文化創造インキュベーション機能等を有する施設として整備する。
〈状況〉文化創造インキュベーション施設としての活用に向けて、意見や提案を求めるサウンディング型市場調査を実施
〈国の支援措置〉
・社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)(国土交通省)
- 歴史的地区環境整備街路(立門前線)(ハード)【実施中】
〈概要〉景観に配慮した道路整備を行う。
〈状況〉占用物件(電柱、電話柱、水道管、ガス管)の移設工事を実施
〈国の支援措置〉
・社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)(国土交通省)
- 伝統的建造物群保存地区保存整備事業(ソフト)【実施中】
〈概要〉伝統的建造物の保存修理に対して費用の助成を行うとともに、個別調査を実施し、具体的な修理方法の検討を行う。
〈状況〉平成30年度 修理件数2件
〈国の支援措置〉
・国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(重要伝統的建造物群保存地区・保存修理事業)(文部科学省)

＜その他の国の支援措置の活用状況＞

- 本川越駅西口開設工事(ハード)【実施済】
・社会資本整備総合交付金(道路事業、都市再生整備計画事業)(国土交通省)
- 川越市蔵造り資料館耐震化事業(ハード)【実施中】
・重要伝統的建造物群保存地区の公開活用事業(文部科学省)
- 川越まつり(ソフト)【実施中】
・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

＜今後の方針＞

目標指標は基準値を上回るなど、順調に推移している。今後は、各施設整備の推進とともに観光エリアの拡大を図るため、各観光スポットへの回遊性を高める施策や動線の整備などを進めていく。また、各実施主体と連携を図りながら、必要に応じ基本計画への事業の追加や修正等の見直しを行っている。

商業・サービス業の活性化 ～にぎわいの創出～

＜主要事業の進捗状況＞

- (再掲)旧川越織物市場保存整備事業(ハード)【実施中】
- チャレンジショップ事業(ソフト)【実施中】
〈概要〉空き店舗を借り上げて、チャレンジショップとして出店を希望する新規開業者等に貸し出し、経営指導を行い、独立を支援する。
〈状況〉30年度は2件出店。また、卒業生1名が新規出店予定
〈国の支援措置〉
・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)
- 空き店舗情報登録制度・空き店舗対策事業(ソフト)【実施中】
〈概要〉空き店舗の情報収集・情報提供を行う空き店舗情報登録制度により登録された空き店舗を利用した事業に関して、店舗改修費や賃借料を補助する。
〈状況〉30年度 空き店舗情報登録制度 情報提供件数5件
空き店舗対策事業 利用件数4件(ともに中心市街地内)
〈国の支援措置〉なし
- テナントミックス事業(ソフト)【実施中】
〈概要〉空き店舗を利用した魅力的な店舗の展開、個店の業種構成の見直し、不足業種や魅力的な店舗の誘致等を行う。
〈状況〉中心市街地活性化協議会の分科会活動の中で空き店舗リストの作成などを行った。
〈国の支援措置〉なし
- 若手人材育成事業(ソフト)【実施中】
〈概要〉商業経営の在り方等について、研究会・勉強会を実施・支援する。
〈状況〉新・事業承継税制セミナー 受講者数6名
〈国の支援措置〉なし

＜その他の国の支援措置の活用状況＞

- まちづくりアドバイザーの派遣(ソフト)【実施中】
- ・社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)(国土交通省)
- 地域子育て支援拠点事業(ソフト)【実施中】
- ・子ども・子育て支援交付金(地域子育て支援拠点事業)(内閣府)

＜今後の方針＞

空き店舗数は引き続き減少した。本市中心市街地は、地域の特徴により3つのエリアに分けられるが、全てのエリアで減少しており、各取組が順調に進められている。今後は、昨年から具体的な活動を行っている、中心市街地活性化協議会の分科会との連携をさらに深めていく。

埼玉県蕨市 中心市街地活性化基本計画の概要

【計画期間】平成27年4月～令和2年3月
【人口】約7.2万人(H26)、【面積】約5km²

【目指す中心市街地の都市像】

日本一小さな市域における日本一の人口密度を有するコンパクトシティとしての都市活力の持続性確保を目指した中心市街地活性化

【取組概要】

(1) 空間ストックの有効活用による新陳代謝の誘発

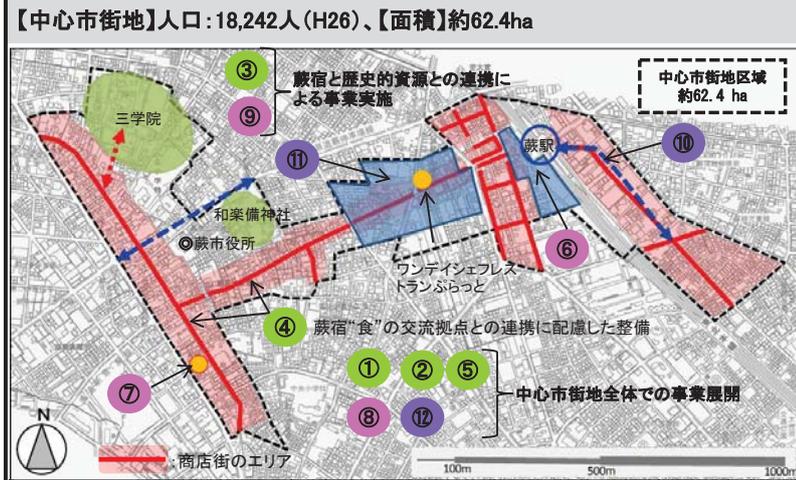
- ① 空き店舗有効活用事業
- ② コミュニティビジネス支援事業
- ③ 中仙道蕨宿手づくり体験工房整備事業
- ④ 「わらびりんご」ビジネス展開事業
- ⑤ わらび街なか共同住宅供給事業

(2) 来街目的の多様化による賑わい創出

- ⑥ 蕨駅西口地区第一種市街地再開発事業
- ⑦ 蕨宿“食”の交流拠点整備事業
- ⑧ 四季を味わう“日曜日の夕べ”交流会事業
- ⑨ 蕨宿観光パッケージ商品化事業

(3) 中心市街地への市民の支持向上

- ⑩ 東口コミュニティ・ショッピング道路整備事業
- ⑪ 中央第一地区まちづくり事業
- ⑫ 各商店街等による活性化事業



【計画目標】

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値※
空間ストックの有効活用による新陳代謝の誘発	空き店舗・低未利用地(件数)	128 (H26)	118 (R1)	117 A (H30)
来街目的の多様化による賑わい創出	休日の歩行者・自転車通行量(人/日)	41,980 (H24)	43,585 (R1)	41,589 C (H30)
	蕨市立歴史民俗資料館の来館者数(人/年度)	35,167 (H25)	38,610 (R1)	36,003 B (H30)
中心市街地への市民の支持向上	市民意識調査における「蕨駅周辺の整備」の満足率(%)	29.06 (H26)	36.8 (R1)	19.3 C (H30)
	市民意識調査における「商店街の活性化」の満足率(%)	9.93 (H26)	19.0 (R1)	6.0 C (H30)

※「最新値」: 基準値からの改善状況 (A目標達成、B基準値達成、C基準値未達成)

埼玉県蕨市 中心市街地活性化基本計画の進捗状況 (H30定期フォローアップ等)

空間ストックの有効活用による新陳代謝の誘発

《主要事業の進捗状況》

- 空き店舗有効活用事業(ソフト)【実施中】
〈概要〉物件情報と出店者ニーズとのマッチングを行う。
〈状況〉平成30年度の活用実績2件
〈国の支援措置〉なし
- コミュニティビジネス支援事業(ソフト)【実施中】
〈概要〉コミュニティビジネスの立ち上げや運営の適正化の誘導、商店街活動へのサポーター制度の構築を図る。
〈状況〉座学と店舗運営をセットにした、実践的な講座を継続して実施
〈国の支援措置〉なし
- 中仙道蕨宿手づくり体験工房整備事業(ハード)【未着手】
〈概要〉空き店舗を活用し、伝統織物の双子織の手作り体験工房を整備・運営する。
〈状況〉空き店舗を活用した店舗づくりまで至っておらず、事業に遅れが生じている。
〈国の支援措置〉なし
- ・ 中心市街地再興戦略事業費補助金(先導的、実証的) (経済産業省) (活用予定)
- 「わらびりんご」ビジネス展開事業(ソフト)【実施中】
〈概要〉わらびりんごを素材とした商品開発などのビジネス展開を推進する。
〈状況〉「わらびりんごサイダー」を商品化し、各種イベントにて数量限定販売を行い、完売した。
〈国の支援措置〉なし

《今後の方針》

空き店舗有効活用事業とコミュニティビジネス支援事業との連動を図り、市内創業へとつなげていく。また、未着手の事業について事業化ができるよう取り組んでいく。

来街目的の多様化による賑わい創出

《主要事業の進捗状況》

- 蕨駅西口地区第一種市街地再開発事業(ハード)【未着手】
〈概要〉商業施設や高層都市型住宅を整備するとともに、駅前広場や区画街路等の整備などを行う。
〈状況〉事業計画の認可取得に向けて取り組んでいる。
〈国の支援措置〉なし
- 蕨宿“食”の交流拠点整備事業(ハード)【未着手】
〈概要〉蕨市立歴史民俗資料館分館を有効活用し、飲食・交流拠点として整備する。
〈状況〉事業内容の見直しが必要となり、遅れが生じている。
〈国の支援措置〉なし
- ・ 中心市街地再興戦略事業費補助金(先導的、実証的) (経済産業省) (活用予定)
- 四季を味わう“日曜日の夕べ”交流会事業(ソフト)【実施中】
〈概要〉商店街が持ち回りで交流会を開催する。
〈状況〉「蕨市民音楽祭」にあわせて音楽活動を含めた交流会事業を開催
〈国の支援措置〉なし
- ・ 中心市街地商業活性化アドバイザー派遣事業(経済産業省) (活用予定)
- 蕨宿観光パッケージ商品化事業(ソフト)【未着手】
〈概要〉中仙道蕨宿歴史文化ガイドツアー等、観光誘客の強化を目指した取組を図る。
〈状況〉蕨宿“食”の交流拠点整備事業の進捗が遅れているため、着手できていない。
〈国の支援措置〉なし

《今後の方針》

大型店の出店に合わせて各種イベントや販売促進事業、賑わい創出事業により通行量の増加が見込める。また、計画変更により位置付けた蕨市民音楽祭により、更なる目標値の向上を目指すとともに、未着手のハード事業について早期事業実施を図る。

中心市街地への市民の支持向上

《主要事業の進捗状況》

- 東口コミュニティ・ショッピング道路整備事業(ハード)【実施済】
〈概要〉駐輪対策も含めた道路の環境整備事業により、コミュニティ・ショッピング道路として整備する。
〈状況〉快適で安全な道路に生まれ変わるとともに、一体的な空間として末広公園もリニューアルされたことから、駅周辺の魅力づくりに寄与した。
〈国の支援措置〉なし
- 中央第一地区まちづくり事業(ハード)【実施中】
〈概要〉地区施設の整備を行うとともに、土地高度利用と建物更新の誘発を図る。
〈状況〉平成30年度末までに約890平方メートルの道路用地を取得し、道路の拡張整備を実施
〈国の支援措置〉なし
- ・ 社会資本整備総合交付金(住宅市街地総合整備事業) (国土交通省)

《今後の方針》

中央第一地区まちづくり事業を継続するとともに、各商店街が実施主体となっている事業を着実に推進するため、平成30年度より蕨市にぎわいまちづくり連合会の事務局体制を強化した。引き続き、積極的な支援を行っていく。

埼玉県寄居町 中心市街地活性化基本計画の概要

【計画期間】平成30年4月～令和5年3月
【人口】3.4万人(H29)、【面積】64.25km²

【目指す中心市街地の都市像】
歩きたくなる・歩いてお得なまち

【取組概要】

(1) 集客と回遊性の向上

- ① 都市計画道路中央通り線整備事業
- ② 寄居駅南口駅前広場整備事業
- ③ 寄居駅南口駅前拠点整備事業
- ④ 川の国埼玉はつらつプロジェクト
- ⑤ 大規模小売店との販売促進連携事業

(2) 立ち寄り場所・機会の充実

- ⑥ 商いチャレンジ応援プロジェクト

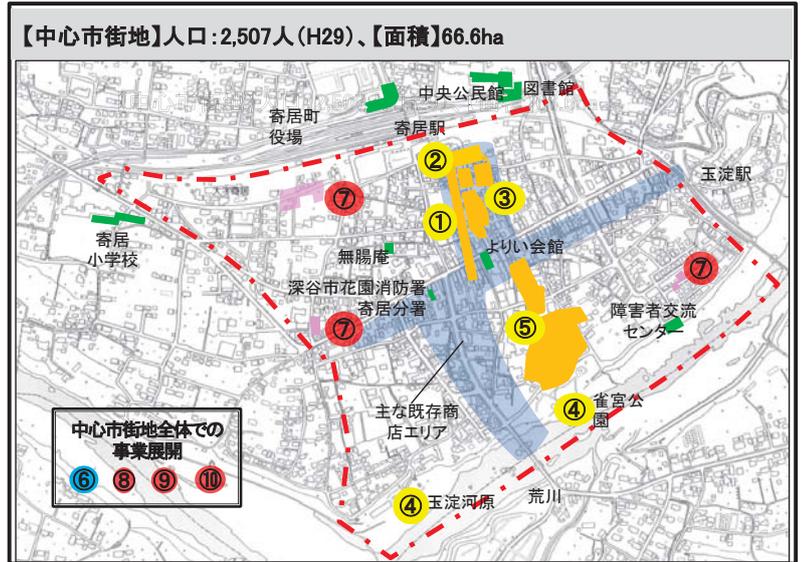
(3) 住まい手・担い手づくり

- ⑦ 寄居スタイルの住宅環境提供事業
- ⑧ 定住促進事業
- ⑨ 新婚応援家賃補助事業
- ⑩ 子育て支援ネットワークづくり事業

【計画目標】

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値※	
集客と回遊性の向上	歩行者・自転車通行量	平日	5,824人/日 (H27)	6,373人/日 (R4)	5,186人/日 (H30) C
		休日	5,591人/日 (H27)	6,173人/日 (R4)	4,755人/日 (H30) C
	玉淀河原の利用者・参加者数(補足目標)	64,500人/年 (H28)	74,200人/年 (R4)	64,150人/年 (H30) C	
立ち寄り場所・機会の充実	新規出店事業者数	13事業者(H24～H28の合計値)	20事業者(H30～R4の合計値)	3事業者 (H30) B	
住まい手・担い手づくり	居住人口の社会増減数	-14人/年(H24～H28の平均)	6人/年(H30～R4の平均)	-6人/年 (H30) B	

※「最新値※」: 基準値からの改善状況(A目標達成、B基準値より改善、C基準値より悪化)



埼玉県寄居町 中心市街地活性化基本計画の進捗状況 (H30定期フォローアップ等)

集客と回遊性の向上

《主要事業の進捗状況》

- 都市計画道路中央通り線整備事業(ハード)【実施中】
(概要)観光・散策行動における主要な路線であることから、現状の1車線歩道無し、一方通行規制となっている未整備区間の整備を行う。
(状況)地権者・居住者への説明を実施。
(国の支援措置)
・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業) (国土交通省)
- 寄居駅南口駅前広場整備事業(ハード)【実施中】
(概要)都市計画道路中央通り線整備とあわせて中心市街地の顔となる寄居駅南口駅前広場を整備する。
(状況)地権者・居住者への説明を実施。
(国の支援措置)
・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業) (国土交通省)
- 寄居駅南口駅前拠点整備事業(ハード)【実施中】
(概要)地域消費者の利便性の向上とともに、観光来訪者へのもてなし提供・立ち寄り施設としての商業施設や多目的交流広場の一体的な整備を行う。
(状況)計画エリア調整及び住民への事業説明を実施。
(国の支援措置)
・地域・まちなか商業活性化支援事業費補助金(中心市街地再興戦略事業)のうち先導的・実証的事業(経済産業省)
- 大規模小売店との販売促進連携事業(ソフト)【実施中】
(概要)大規模小売店の新規立地を契機として、ふるさと寄居商店会などとの連携・協働による販売促進事業を展開する。
(状況)大規模小売店舗の駐車場においてマルシェを開催。
(国の支援措置)なし

《今後の方針》

寄居駅から玉淀河原や雀宮公園までの基盤整備を進めるとともに、寄居駅南口の商業施設や基盤整備に向けて地権者との合意形成をはかり、事業の推進を図っていく。

立ち寄り場所・機会の充実

《主要事業の進捗状況》

- 商いチャレンジ応援プロジェクト (ソフト)【実施中】
(概要)商工会やまちづくり会が中心となり、空き店舗の有効活用やリノベーション事業の推進とともに、新規創業者の育成などを含めたシステム・体制づくりにより、商業機能の強化とにぎわいづくりを行う。
(状況)新規出店3件等の実績。
(国の支援措置)
・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)
- 《その他の国の支援措置の活用状況》
- 寄居玉淀水天宮祭(ソフト)【実施中】
- ・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)
- 寄居北條まつり(ソフト)【実施中】
- ・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

《今後の方針》

昨年に引き続き、目標達成に向けて、商いチャレンジ応援プロジェクトの各事業を行っていく。

住まい手・担い手づくり

《主要事業の進捗状況》

- 寄居スタイルの住宅環境提供事業 (ソフト)【未実施】
(概要)親・子・孫それぞれの世代が支えあい、子育てなどで助け合える関係を育むことの出来る環境づくりを目指し、中心市街地内の未利用町有地を多世代住宅用地として積極的に活用する。
(状況)未着手
(国の支援措置)なし
- 定住促進事業(ソフト)【実施中】
(概要)定住転入希望者への支援や3世代で暮らすゆとりあるライフスタイルづくりを応援するため、新築住宅の取得に対し補助を行う。
(状況)平成30年度1件(3名)の申請。
(国の支援措置)
・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業) (国土交通省)
- 新婚応援家賃補助事業(ソフト)【実施中】
(概要)住宅購入前の新婚夫婦の回帰と転入促進を図り、将来の定住に繋げるため、寄居町に転入した新婚夫婦が賃貸住宅に入居する場合、一定期間の家賃補助を行う。
(状況)平成30年度実績なし
(国の支援措置)なし
- 《その他の国の支援措置の活用状況》
- 市街地地区山車の改修事業(ハード)【実施中】
- ・文化遺産総合活用推進事業(文部科学省)
- デマンドタクシー運営事業(ソフト)【実施中】
- ・地域内フィーダー系統補助金(国土交通省)

《今後の方針》

寄居スタイルの住宅環境提供事業を推進し、定住促進事業等の周知を行い、転入者数増加を見込む。

東京都八王子市 中心市街地活性化基本計画の概要

【計画期間】平成30年4月～令和5年3月
【人口】56.3万人(H28.)、【面積】186,38km²

【目指す中心市街地の都市像】

世代をつなぎ、輝き続けるにぎわいのまち
～来心地(きごち)と居心地(いごち)の良さの両立を目指して～

【取組概要】

(1) 歩きやすく憩いやすいまち

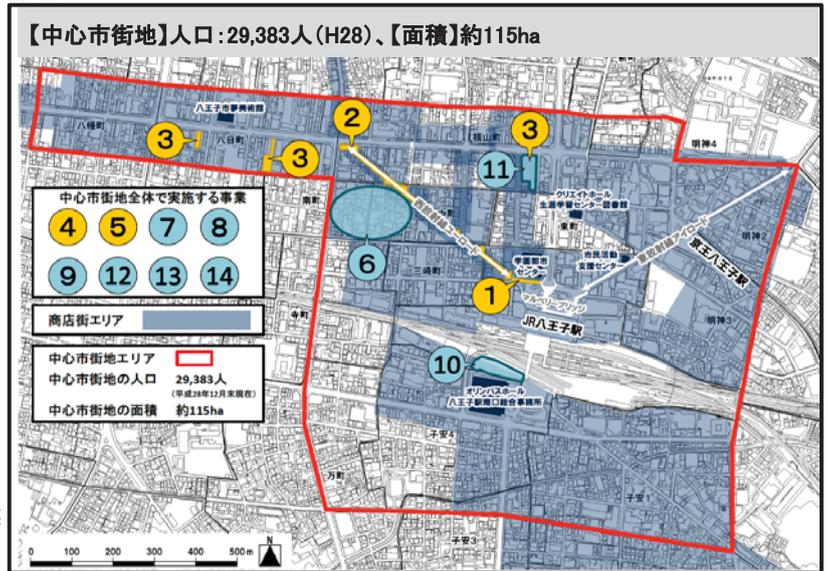
- ① マルベリーブリッジの西側延伸
- ② ユーロード周辺のにぎわい創出事業
- ③ 民間共同住宅建設事業
- ④ 魅力づくり・にぎわい創出支援事業
- ⑤ 中心市街地ソフト事業支援事業

(2) 新たな老舗を生み出すまち

- ⑥ 中町民間駐車場及び周辺遊休地利活用事業
- ⑦ 空き店舗改修・リノベーション事業
- ⑧ 空き店舗マッチング事業
- ⑨ 本気の創業塾

(3) 買い物をするのが楽しくなるまち

- ⑩ 民間商業施設建設事業
- ⑪ 民間商業施設出店事業
- ⑫ 目印は八王子暖簾事業
- ⑬ MICE開催による八王子ブランドの手土産等の販売促進事業
- ⑭ 地域経済応援ポイントによる販売促進事業



【計画目標】

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値※
歩きやすく憩いやすいまち	歩行者通行量(平休日平均)	124,297人/日 (H28)	128,764人/日 (R4)	125,644人/日 B (H30)
新たな老舗を生み出すまち	新規出店数	30店舗 (H24～H28合計)	57店舗 (H30～R4合計)	4店舗 C (H30)
買い物をするのが楽しくなるまち	小売業年間商品販売額(独自調査)	7,742,391万円 (H28)	8,050,462万円 (R4)	7,564,316万円 C (H30)

※「最新値」:基準値からの改善状況(A目標達成、B基準値達成、C基準値未達成)

東京都八王子市 中心市街地活性化基本計画の進捗状況 (H30定期フォローアップ等)

歩きやすく憩いやすいまち

《主要事業の進捗状況》

■マルベリーブリッジの西側延伸(ハード)【実施中】
(概要)JR八王子駅北口と駅周辺を接続するデッキである「マルベリーブリッジ」を西側へと延伸し、中心市街地の東側と西側を繋ぎ、京王八王子駅前からJR八王子駅前の歩行者を西放射線ユーロードへと誘引し、回遊性と賑わいの向上を実現する。
(状況)平成30年度は、西放射線ユーロードの完了を予定。
(国の支援措置)

・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)
(国土交通省)

■ユーロード周辺のにぎわい創出事業(ハード)【実施中】
(概要)西放射線ユーロードにおいて、舗装や道路附属物(車止め等)の更新、植栽の設置など、景観に配慮した歩きやすくなる道路空間の整備を行う。
(状況)平成30年度は、西放射線ユーロード西側の横山町エリアの整備を実施
(国の支援措置)

・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)
(国土交通省)

■魅力づくり・にぎわい創出支援事業(ソフト)【実施中】
(概要)民間による民地を活用した滞留拠点の整備や一体的なファサードの整備等に対して補助を行い、新たな魅力創出による回遊性促進を支援する。
(状況)平成30年度は、1件の補助を実施
(国の支援措置)

・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

《その他の国の支援措置の活用状況》

■旭町・明神町地区周辺まちづくりの推進(ハード)【実施中】

・防災・安全交付金(交通安全施設等整備事業)
(国土交通省)

《今後の方針》

「民間共同住宅建設事業」や「民間商業施設出店事業」により、増加する居住者・来街者のにぎわいを中心市街地全体に波及させる歩行空間の整備を着実に推進し、さらに官民が連携して回遊性の向上を図っていく。

新たな老舗を生み出すまち

《主要事業の進捗状況》

■中町民間駐車場及び周辺遊休地利活用事業(ハード)【実施中】
(概要)駅と甲州街道の間に位置し、多摩地域唯一の花街がある中町の駐車場や遊休地を活用し、商業施設や憩いのスペース等の整備を行い、来街者やまちなか居住者の購買へ繋げるとともに、出店者支援も充実させ、周辺への出店を促進する。
(状況)平成30年度は、商業施設の基本計画、基本構想の検討とあわせて地元との合意形成を図るため中心市街地活性化協議会にワーキンググループを設置した。
(国の支援措置)

・地域・まちなか商業活性化支援事業費補助金(中心市街地再興戦略事業)のうち調査事業、専門人材活用支援事業(経済産業省)

■空き店舗改修・リノベーション事業(ソフト)【実施中】
(概要)中心市街地内の空き店舗を改修・リノベーションして出店する事業者に対して、その費用の一部を補助し、魅力的な店舗の出店を誘導する。
(状況)平成30年度は、3店舗に補助を実施
(国の支援措置)

・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

■本気の創業塾(ソフト)【実施中】
(概要)八王子商工会議所により運営されている「サイバーシルクロード八王子」により実施する、基本的な創業ノウハウの学習や、実践的なマーケティング、ビジネスプランのブラッシュアップ等を行うことで、創業を目指す人材育成を図る。
(状況)平成30年度は、1店舗が本事業を活用して中心市街地に店出しており、毎年度約20名が受講。
(国の支援措置)なし

《その他の国の支援措置の活用状況》

■子育てひろば事業(ソフト)【実施中】
・子ども・子育て支援交付金(内閣府)
■八王子音楽祭(ソフト)【実施中】
・文化芸術創造拠点形成事業(文部科学省)

《今後の方針》

出店希望者と空き店舗のマッチングを行うとともに、各種出店支援策と連携することにより新規出店を促進していく。

買い物をするのが楽しくなるまち

《主要事業の進捗状況》

■民間商業施設建設事業(ハード)【実施済】
(概要)JR八王子駅周辺地区の開発において新たな大型商業施設の建設を誘引することで、更なる広域集客力の向上を図る。
(状況)平成30年11月末に「八王子オーバ」が開業
(国の支援措置)なし

■民間商業施設出店事業(ソフト)【実施済】
(概要)甲州街道沿道地区にマンション建設と合わせて新たな商業施設の出店を誘引し、エリアの買い物利便性を向上させ、買い物をすることが楽しくなるまちに繋げる。
(状況)平成31年1月にマンションが竣工し、同年3月に「イオンフードスタイル八王子店」が開業
(国の支援措置)なし

■MICE開催による八王子ブランドの手土産等の販売促進事業(ソフト)【実施中】
(概要)八王子観光コンベンション協会が取組を進めている、展示会、学会、イベントなどのMICE誘致に合わせて、商業分野の事業者と連携して参加者等へ八王子ブランドの銘菓や織物製品などのお土産品をPRし、販売を促進する。
(状況)平成30年度に、実施主体が行ったMICE開催支援件数は30件、うち中心市街地の小売業店舗を利用した開催支援件数は17件(参加者約10,000人)で、711万円の売上げ。
(国の支援措置)なし

《その他の国の支援措置の活用状況》

■子育てひろば事業(ソフト)【実施中】
・子ども・子育て支援交付金(内閣府)
■八王子音楽祭(ソフト)【実施中】
・文化芸術創造拠点形成事業(文部科学省)

《その他の国の支援措置の活用状況》

《今後の方針》
計画期間後半に実施される事業だけでなく、計画に掲載しているソフト事業とも連携し、官民が一体となって取組を進めていく。

東京都府中市 中心市街地活性化基本計画の概要

【計画期間】平成28年7月～令和4年3月
【人口】25.2万人(H28)、【面積】29.43km²

【目指す中心市街地の都市像】

にぎわい創出により市民や来訪者が集い交流する
文化・歴史ある中心市街地の形成

【取組概要】

(1) 経済活力の向上

- ① 府中駅南口第一地区第一種市街地再開発事業
- ② エリアマネジメントを進める組織機構の創設による地域マネジメント
- ③ 決済強化及び免税店制度活用事業

(2) 回遊性の創出

- ④ 武蔵国府跡(国司館地区)保存活用事業
- ⑤ 宮西町地区道路整備事業

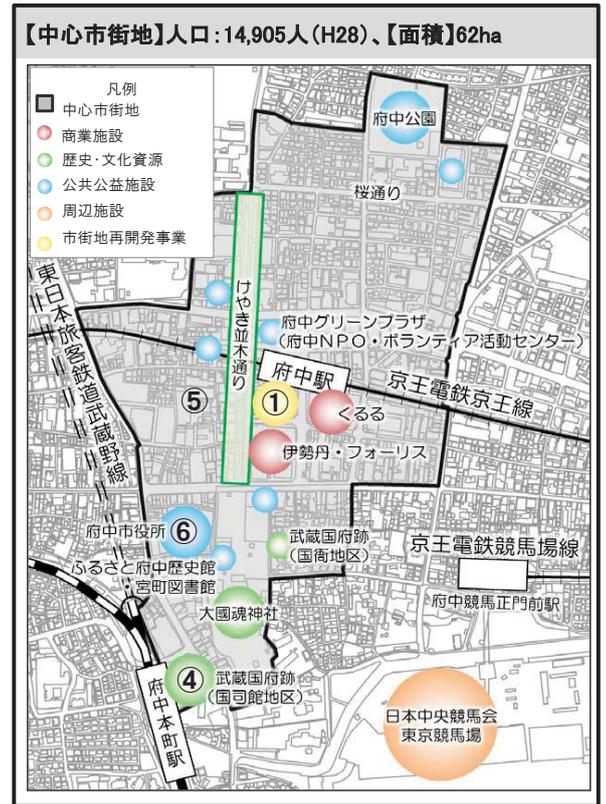
(3) 市民交流の増進

- ⑥ 新庁舎整備事業
- ⑦ コミュニティバス運行補助事業

【計画目標】

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値※
経済活力の向上	大規模商業施設 年間販売額	339億円 (H26)	370億円 (R3)	350億円 B (H29)
回遊性の創出	東京競馬場タイアップ 年間利用組数	104組 (H27)	16,000組 (R3)	2,236組 B (H30)
市民交流の増進	公共施設 年間利用者数	378,455人 (H27)	400,000人 (R3)	1,194,651人 A (H30)

※「最新値」: 基準値からの改善状況(A目標達成、B基準値達成、C基準値未達成)



東京都府中市 中心市街地活性化基本計画の進捗状況 (H30定期フォローアップ等)

経済活力の向上

《主要事業の進捗状況》

■府中駅南口第一地区第一種市街地再開発事業(ハード)【実施済】

〈概要〉商業機能、市民交流施設、住宅等の複合施設(ル・シーニュ)を整備する。

〈状況〉平成29年7月開業

〈国の支援措置〉

- ・防災・安全交付金(市街地再開発事業等)
(国土交通省)
- ・防災・安全交付金(道路事業(街路))
(国土交通省)

- ・社会資本整備総合交付金(暮らし・にぎわい再生事業)(国土交通省)

■(後掲)エリアマネジメントを進める組織機構の創設による地域マネジメント(ソフト)【実施中】

《その他の国の支援措置の活用状況》

■第一種大規模小売店舗立地法特例区域の設定(ソフト)【未実施】

- ・大規模小売店舗立地法の特例(経済産業省)

■決済強化及び免税店制度活用事業(ソフト)【未実施】

- ・地域・まちなか商業活性化支援事業(中心市街地再開発戦略事業)のうち先導的・実証的事業
(経済産業省)(活用予定)

■商店街イベント事業(ソフト)【実施中】

- ・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

《今後の方針》

ル・シーニュの開業やエリアマネジメント推進の効果もあり、前年度比で50億円程度の増額となったが、令和元年度中には、府中駅周辺の商用環境に変化が生じることから、これまで以上に関係団体等との連携を強化し、目標の達成に向けた事業展開を図る。

回遊性の創出

《主要事業の進捗状況》

■エリアマネジメントを進める組織機構の創設による地域マネジメント(ソフト)【実施中】

〈概要〉エリアマネジメントの考え方に基づいたイベント間の連携や、事業者、関係団体等との調整を図ったり、中心市街地の魅力を発信する新たな事業を作り上げる。

〈状況〉エリアマネジメントの推進に向け、引き続き関係者等と協力しながら効果的な事業展開を図る。

〈国の支援措置〉

- ・地域・まちなか商業活性化支援事業(中心市街地再開発戦略事業)のうち専門人材活用支援事業(経済産業省)

■国史跡武蔵国府跡(国司館地区)保存活用事業(ハード)【実施中】

〈概要〉国史跡武蔵国府跡を適切に保存し、歴史的価値を発信するとともに、にぎわいと魅力ある空間を創出する。

〈状況〉平成30年3月末第一期工事完了

〈国の支援措置〉

- ・社会資本整備総合交付金(暮らし・にぎわい再生事業)(国土交通省)

■東京競馬場タイアップ事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉市内飲食店をお得に利用しながら、スタンプを集めてプレゼントに応募できる「府中クーポン&スタンプラリー」を実施する。

〈状況〉平成29年度が、スマートフォンを用いた「デジタル方式」のみを採用したことにより利用者が限定されたことを受け、上記内容に並行して「アナログ方式」も採用したが、目標達成には至らなかった。

〈国の支援措置〉

- ・地方創生推進交付金(内閣府)

《その他の国の支援措置の活用状況》

■ラグビーのまち府中推進事業(ソフト)【実施中】

- ・地方創生推進交付金(内閣府)

《今後の方針》

これまでは、秋競馬の開催時期に本キャンペーンを実施していたが、より多くの方が訪れる春競馬開催時期に実施するなどの見直しや、実施回数、内容についても再度検討を行い、計画満了時の達成に向けて最善を尽くす。

市民交流の増進

《主要事業の進捗状況》

■新庁舎建設事業(ハード)【実施中】

〈概要〉市庁舎の建て替えとともに、多彩な市民活動や市民交流を支えるための空間を整備する。

〈状況〉埋蔵文化財調査中

〈国の支援措置〉

- ・社会資本整備総合交付金(住宅・建築物安全ストック形成事業)
(国土交通省)

■(再掲)府中駅南口第一地区第一種市街地再開発事業(ハード)【実施済】

■(再掲)国史跡武蔵国府跡(国司館地区)保存活用事業(ハード)【実施中】

《その他の国の支援措置の活用状況》

■「けやきフェスタ」よさこいin府中

- (ソフト)【実施中】
- ・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

《今後の方針》

平成29年7月に開業した「府中市市民活動センター」及び「府中の森芸術劇場分館」の利用者が順調に増加し、前年を上回る結果となった。今後も施設のPRを図るための各種取り組みを展開し、さらなる利用者の増加を目指す。

新潟県長岡市 中心市街地活性化基本計画の概要

【計画期間】平成31年4月～令和6年3月
【人口】27.2万人(H30)、【面積】891km²

【目指す中心市街地の都市像】

みんなが創るまちなかの価値

～誰もが楽しみ安心できる場所、誰もがつながり育てるまち～

【取組概要】

(1) まちを「歩く人」を増やす

- ① 大手通坂之上町地区第一種市街地再開発事業
- ② 歩道の有効活用「まちカフェ」事業

(2) まちで「起業する人」を増やす

- ③ NaDeC構想先行実施事業
- ④ ながおか若者チャレンジショップ事業

(3) まちに「集う若者」を増やす

- ⑤ 若者のまち居場所づくり推進事業
- ⑥ NaDeC BASE活用事業
- ⑦ 学生交流「ちよい乗りバス券」実証実験事業
- ⑧ まちなか居住区域定住促進事業



【計画目標】

基本方針	目標指標	基準値	目標値
まちを「歩く人」を増やす	大手通交差点より西側の歩行者・自転車通行量 (平日: 8地点13時間)	24,409人/日 (H30)	26,652人/日 (R5)
まちで「起業する人」を増やす	中心市街地内の起業数	25件/5年 (H26年度～H29年度の平均×5年)	40件/5年 (H31～R5)
まちに「集う若者」を増やす	まちなか居住人口 (30代以下人口)	1,656人 (H29)	1,724人 (R5)
	【参考指標】 学生限定のバスサービス利用者人数	78,881人 (H29.4～H30.3)	80,419人 (R5)

新潟県長岡市 中心市街地活性化基本計画の進捗状況 (H31.3認定、定期フォローアップ未実施)

まちを「歩く人」を増やす	まちで「起業する人」を増やす	まちに「集う若者」を増やす
<p>《主要事業の進捗状況》</p> <p>■ 大手通坂之上町地区第一種市街地再開発事業 (ハード) 〈概要〉賑わいの芽が始めている大手通交差点西側のエリアで、市街地再開発事業により、人づくりと産業振興を支える地方創生の拠点施設を整備する。 〈国の支援措置〉 ・社会資本整備総合交付金(市街地再開発事業等) (国土交通省)</p> <p>■ まちなか図書館(仮称)整備事業(ハード) 〈概要〉大手通坂之上町地区市街地再開発事業のうち、図書館機能の導入により未来の長岡を支える人づくり・学びの拠点を整備する。 〈国の支援措置〉 ・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業) (国土交通省)</p> <p>■ 産学連携情報交流センター(仮称)整備事業(ハード) 〈概要〉大手通坂之上町地区市街地再開発事業のうち、3大学1高専等と連携した産業人の育成と産業基盤の強化の拠点を整備する。 〈国の支援措置〉 ・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業) (国土交通省)</p> <p>■ 歩道の有効活用「まちカフェ」事業(ソフト) 〈概要〉広幅員の歩道上に露店、商品置場、看板、旗ざおなどを設置し、オープンカフェを実施する。 〈国の支援措置〉 ・道路占用の特例(国土交通省)</p>	<p>《主要事業の進捗状況》</p> <p>■ NaDeC構想先行実施事業(ソフト) 〈概要〉大手通坂之上町地区市街地再開発事業に導入する機能として3大学1高専から提案を受けたNaDeC構想について、中心市街地の既存施設で先行的に実施し効果検証を行う。 〈国の支援措置〉 ・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)</p> <p>■ ながおか若者チャレンジショップ事業(ソフト) 〈概要〉起業を目指す若者を支援するため、長岡商工会議所、起業支援センターながおかclipと連携し、中心市街地での体験出店、セミナー、個別相談を実施する。 〈国の支援措置〉 ・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)</p> <p>■ 学生起業家創出モデル事業(ソフト) 〈概要〉NaDeC BASEをメイン会場に、産学金官の関係団体と力を合わせ、学生等の起業創業のサポートを行う。 〈国の支援措置〉なし</p> <p>■ 長岡まちなかリノベーション推進事業(ソフト) 〈概要〉中心市街地に増えてきている空き店舗活用策の一つとして、リノベーション手法を用いた建物利用を支援し普及啓発を図る。 〈国の支援措置〉なし</p>	<p>《主要事業の進捗状況》</p> <p>■ 若者のまち居場所づくり推進事業(ソフト) 〈概要〉旧柳原庁舎跡地を活用し、若者が居住できる環境を整備するとともに、地元住民にとって有益となる生活利便施設の整備を検討する。 〈国の支援措置〉なし</p> <p>■ NaDeC BASE活用事業(ソフト) 〈概要〉中心市街地において、若者が気軽に集い、活動し、交流が生まれる機会を提供する。 〈国の支援措置〉なし</p> <p>■ 学生交流「ちよい乗りバス券」実証実験事業(ソフト) 〈概要〉中心市街地から離れた場所に立地する市内の大学、専門学校等と中心市街地を結ぶバスを、学生限定割引運賃で乗車できるようにし、交流を促進する。 〈国の支援措置〉 ・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)</p> <p>■ まちなか居住区域定住促進事業(ソフト) 〈概要〉まちなかへの転入者が住宅を購入等して居住する場合に、この住宅に係る固定資産税を3年間半額に免除する。 〈国の支援措置〉なし</p> <p>■ まちなか建物更新等支援事業(ソフト) 〈概要〉老朽建築物や空き地の共同化による市街地環境の整備・改善を行う事業者を支援する。 〈国の支援措置〉なし</p>
<p>《今後の方針》 H30定期フォローアップ対象外</p>	<p>《今後の方針》 H30定期フォローアップ対象外</p>	<p>《今後の方針》 H30定期フォローアップ対象外</p>

富山県富山市 中心市街地活性化基本計画の概要

【計画期間】平成29年4月～令和4年3月
【人口】41.9万人(H27)、【面積】1,241.77km²

【目指す中心市街地の都市像】

人が集い、人で賑わう、誰もが生き生きと活躍できるまち

【取組概要】

(1) 公共交通の強化と魅力ある都市空間の創出

①【富山駅周辺整備】

- ・富山駅路面電車南北接続事業 ・富山駅周辺地区土地地区画整理事業
- ・富山駅自由通路整備事業 ・富山駅周辺地区南北一体的なまちづくり事業

(2) 伝統と革新が融合した商業・賑わいの再生

- ②総曲輪三丁目地区第一種市街地再開発事業
- ③桜町一丁目4番地区第一種市街地再開発事業
- ④まちなか学生連携事業

(3) 誰もが生き生きと暮らし活躍している選ばれるまち

- ⑤まちなか居住推進事業
- ⑥地域包括ケア拠点施設運営事業
- ⑦地域包括ケアシステム構築事業

【計画目標】

目 標	目標指標	基準値	目標値	最新値※
【公共交通・都市空間】 公共交通の強化と魅力 ある都市空間の創出	路面電車(市内電車及び富山ライトレール) 一日平均乗車人数	19,193人/日 (H27)	20,000人/日 (R3)	20,084人/日 A (H30)
【商業・賑わい】 伝統と革新が融合した 商業・賑わいの再生	中心商業地区及び富山駅周辺地区の 歩行者通行量(日曜日)	44,374人/日 (H27)	46,000人/日 (R3)	47,181人/日 A (H30)
【暮らし】 誰もが生き生きと暮らし 活躍している選ばれるまち	中心市街地の居住人口の社会増加	747人増(74人増/年) (H17-H27)	370人増(74人増/年) (H28-R3)	274人増 B(137人増/年) (H28-H30)
	中心市街地の健康な高齢者の割合	前期高齢者 95.5% 後期高齢者 62.9% (H27)	前期高齢者 95.6%以上 後期高齢者 62.9%以上 (R3)	前期高齢者:96.3% A 後期高齢者:64.8% A (H30)

「最新値※」:基準値からの改善状況(A目標達成、B基準値達成、C基準値未達成)

【中心市街地】人口:21,600人(H27)、【面積】約436ha



富山県富山市 中心市街地活性化基本計画の進捗状況 (H30定期フォローアップ等)

公共交通の強化と魅力ある 都市空間の創出	伝統と革新が融合した 商業・賑わいの再生	誰もが生き生きと暮らし 活躍している選ばれるまち
<p>≪主要事業の進捗状況≫</p> <p>■富山駅路面電車南北接続事業(ハード) 【実施中】</p> <p>〈概要〉新幹線及び在来線の高架下に停留場を設置し、南北の路面電車を接続する。 〈状況〉平成30年7月より、富山駅高架下から富山ライトレール富山駅北電停までの区間の整備を開始し、令和2年3月に完了予定 〈国の支援措置〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市・地域交通戦略推進事業費補助金 (国土交通省) ・社会資本整備総合交付金(道路事業(街路)) (国土交通省) <p>■交通空間の利活用交流推進事業 (ハード・ソフト)【実施中】</p> <p>〈概要〉LRTが走行する大手モールを中心とした交通空間を利活用する。 〈状況〉一般車両の進入を禁止し、歩行者と路面電車のための空間を創出するとともに道路をイベントスペースとして活用 〈国の支援措置〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方創生拠点整備交付金(内閣府) ・地方創生推進交付金(内閣府) <p>≪その他の国の支援措置の活用状況≫</p> <p>■中心市街地における公共施設跡地活用事業(ハード・ソフト)【実施中】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方創生推進交付金(内閣府) <p>≪今後の方針≫</p> <p>鉄軌道をはじめとする公共交通沿線に地域の核となる拠点を整備するとともに、日常生活に必要な都市機能の誘導を図り、全市的にコンパクトなまちづくりを推進していく。</p>	<p>≪主要事業の進捗状況≫</p> <p>■総曲輪三丁目地区第一種市街地再開発事業(ハード) 【実施中】</p> <p>〈概要〉商業施設、業務施設、住宅施設(206戸)の複合施設を整備する。 〈状況〉令和元年5月の完成に向けて着実に事業は進捗 〈国の支援措置〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業) (国土交通省) ・社会資本整備総合交付金(都市・地域再生緊急促進事業) (国土交通省) <p>■桜町一丁目4番地区第一種市街地再開発事業(ハード) 【実施済】</p> <p>〈概要〉商業施設、業務施設、宿泊施設、住宅施設(75戸)の複合施設を整備する。 〈状況〉事業が完了し、平成30年4月に商業施設15店舗が開店 〈国の支援措置〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会資本整備総合交付金(市街地再開発事業) (国土交通省) ・社会資本整備総合交付金(都市・地域再生緊急促進事業) (国土交通省) <p>■中心商店街出店促進・空店舗活用事業(ソフト)【実施中】</p> <p>〈概要〉新たな出店者に店舗改装費や賃借料等を支援し、商店街に不足する業種の出店を促進する。 〈状況〉店舗改装費に対し4件、賃借料に対し7件の補助を実施 〈国の支援措置〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地活性化ソフト事業(総務省) <p>≪その他の国の支援措置の活用状況≫</p> <p>■大規模小売店舗立地法の特例措置(ソフト)【実施済】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模小売店舗立地法の特例(第一種大規模小売店舗立地法特例区域)(経済産業省) <p>≪今後の方針≫</p> <p>「総曲輪三丁目地区」の市街地再開発事業による新たな賑わい拠点と、「グランドプラザ」や「富山駅前広場」等との間における回遊性を高め、賑わいを創出することにより、歩行者通行量を増加させていく。</p>	<p>≪主要事業の進捗状況≫</p> <p>■(再掲)総曲輪三丁目地区第一種市街地再開発事業(ハード)【実施中】</p> <p>■(再掲)桜町一丁目4番地区第一種市街地再開発事業(ハード)【実施済】</p> <p>■地域包括ケアシステム構築事業(ソフト) 【実施中】</p> <p>〈概要〉住民、医療、福祉、行政が一体となり、患者や家族を支える体制を構築する。 〈状況〉平成29年4月、総曲輪レガートスクエア内にまちなか診療所を開所し、住民が地域で健やかに生活できる体制を整備 〈国の支援措置〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域支援事業交付金(厚生労働省) <p>≪その他の国の支援措置の活用状況≫</p> <p>■地域包括ケア拠点施設運営事業(ソフト) 【実施中】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども・子育て支援交付金(内閣府) ・母子保健衛生費補助金(厚生労働省) ・障害児入所給付費等国庫負担金(厚生労働省) ・地域生活支援事業費補助金(厚生労働省) <p>■高齢者外出促進事業(ソフト)【実施中】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地活性化ソフト事業(総務省) <p>≪今後の方針≫</p> <p>公共交通の利便性の向上や生活利便施設の整備などで、まちなかでの居住ニーズが高まり、民間の住宅供給が続く好循環を続けていくとともに、高齢者の外出や多世代交流を促していく。</p>

富山県高岡市 中心市街地活性化基本計画の概要

【計画期間】平成29年4月～令和4年3月
【人口】17.4万人(H28)、【面積】209.57km²

【目指す中心市街地の都市像】

光り輝くまちなかの創生

～ 400年の資産を守り、育み、繋ぐ ～

【取組概要】

(1) 交流人口の拡大

- ①高岡駅前東地区整備事業
- ②金屋鋳物師町工房(仮称)整備事業
- ③旧赤レンガの銀行活用事業
- ④富山県高岡看護専門学校運営事業

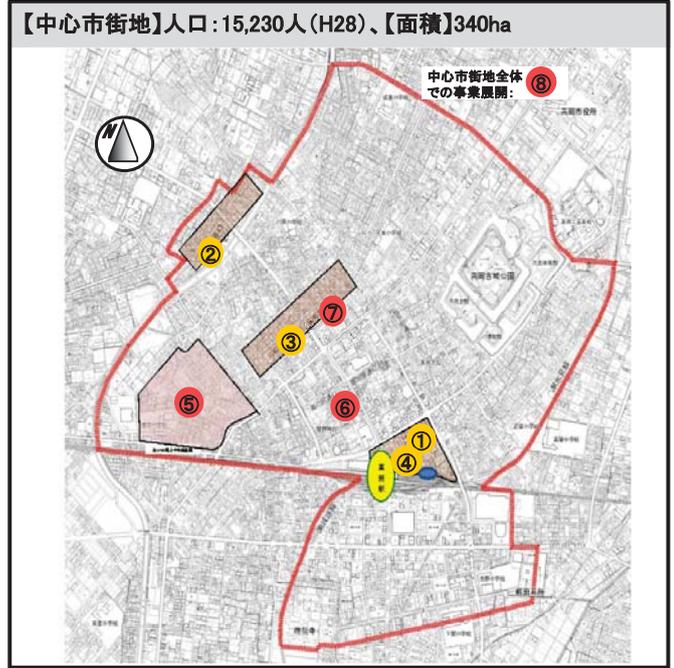
(2) まちなか居住と生活サービス・事業創出機能の充実

- ⑤まちなか防災モデル事業(博労地区)
- ⑥中心商店街拠点開発事業(末広西地区)
- ⑦歴史的資産を活用した町家再生事業
- ⑧開業支援事業

【計画目標】

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値※
交流人口の拡大	主要観光施設における観光客入込み数	447,000人(H27)	528,000人(R3)	347,412人(H30) C
	中心商店街・観光地周辺(6地点)における平日・休日の歩行者・自転車通行量の平均値	16,670人(H27)	17,670人(R3)	17,517人(H30) B
まちなか居住と生活サービス・事業創出機能の充実	中心市街地における居住人口の社会増減数	△33人(H27/10～H28/9)	600人(H29～R3)	△158人(H29～30) C
	中心市街地・観光地周辺における新規店舗数	39件(H23～H27)	50件(H29～R3)	26件(H29～30) B

※「最新値※」: 基準値からの改善状況(A目標達成、B基準値達成、C基準値未達成)



富山県高岡市 中心市街地活性化基本計画の進捗状況 (H30定期フォローアップ等)

交流人口の拡大

《主要事業の進捗状況》

■金屋鋳物師町工房(仮称)整備事業(ハード)【実施中】

〈概要〉地区住民及び来訪者の交流に資する施設を整備し活用を図る。
〈状況〉平成30年度において設計作業を完了、令和元年度以降の着工を見込み。
〈国の支援措置〉

・社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)(国土交通省)

■旧赤レンガの銀行活用事業(ハード)【実施中】

〈概要〉大正3年に建築された赤レンガの銀行建物を、銀行本店の高岡駅前東地区への移転後に新たな観光・交流施設等として活用を図る。
〈状況〉銀行本店の建設工事が着工、令和元年度秋の完成後に銀行建物を本市に無償譲渡の予定。
〈国の支援措置〉なし

■(後掲)歴史的資産を活用した町家再生事業(ハード)【実施済み】

■日本遺産魅力発信推進事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉日本遺産のストーリーの魅力を図内外に発信し、中心市街地に多くある歴史・文化資産の魅力を広く周知する。
〈状況〉平成30年度は、日本遺産サミットin高岡をウイングウイング高岡をメイン会場に開催し、全国から67団体が集まりPRを実施した。
〈国の支援措置〉なし

■高岡駅前東地区整備事業(ハード)【実施中】

〈概要〉民間事業の開発支援(業務施設、マンション等)、周辺環境の整備(道路、広場等)を実施する。
〈状況〉平成30年1月に銀行本店の工事が着工、同2月にはホテルとマンションが同時着工
〈国の支援措置〉

・社会資本整備総合交付金(暮らし・にぎわい再生事業)(国土交通省)

■富山県高岡看護専門学校運営事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉高岡市内にある3つの看護専門学校を統合し新たな看護専門学校を高岡駅前東地区に新設した。
〈状況〉平成29年4月から開校し、300名を超える学生が通学
〈国の支援措置〉なし

《今後の方針》

完成した平成の御車山の展示による集客効果に加え、北陸新幹線を利用した旅行商品の販売実績が好調であることから、山町筋及び金屋町への観光客増加を目指し、主要事業の進捗に努め、更に実績を伸ばしていきたい。

まちなか居住と生活サービス・事業創出機能の充実

《主要事業の進捗状況》

■中心商店街拠点開発事業(末広西地区)(ハード)【実施済み】

〈概要〉高岡駅前の中心商店街のメイン通りに面した街区の一角を、商業施設及び住居の複合施設に再編するとともに、公益施設を整備する。
〈状況〉平成28年度に建築工事が着工し、平成30年度に完工
〈国の支援措置〉

・社会資本整備総合交付金(暮らし・にぎわい再生事業)(国土交通省)

■まちなか住宅取得支援事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉高岡市が指定した「まちなかの区域」において、家屋の新築や、建売・中古住宅の取得などを行う者に対し、費用の一部を支援する。
〈状況〉平成30年度は34件の利用実績
〈国の支援措置〉

・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

■まちなか共同住宅建設促進事業(ハード)【実施済み】

〈概要〉分譲又は賃貸による共同住宅を建築する者に対し、費用の一部を支援する。
〈状況〉平成30年度は0件の利用実績
〈国の支援措置〉

・社会資本整備総合交付金(地域住宅計画に基づく事業(地域住宅政策推進事業))(国土交通省)

■中心市街地における開業支援事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉空き店舗を活用した開業者及び空き店舗の所有者に対し、支援を行う。
〈状況〉平成30年度には本事業を活用し4店舗が新規開業
〈国の支援措置〉

・地方創生推進交付金(内閣府)

■歴史的資産を活用した町家再生事業(ハード)【実施済み】

〈概要〉空き店舗となっている伝統的建造物を、まちづくり会社がリノベーションする。
〈状況〉平成29年に空き店舗をリノベーションした「山町ヴァレー」が開館
〈国の支援措置〉

・国宝重要文化財等保存整備費補助金(文部科学省)

《今後の方針》

住環境の向上を図るための防災対策の強化や、空き家に対する利活用を含めた各種事業を総合的に推進していくとともに、新規開業店舗の増加に努め、新たに整備されるテナントスペースに入居が進むよう支援に努めていきたい。

石川県金沢市 中心市街地活性化基本計画の概要

【計画期間】平成29年4月～令和4年3月
【人口】46.5万人(H27)、【面積】468.64km²

【目指す中心市街地の都市像】

「住む」、「訪れる」、「働く」魅力にあふれ交流と生活が調和した
中心市街地を目指して

【取組概要】

- (1) まちなかの定住者を増やす
 - ① 金沢駅武蔵南地区第一種市街地再開発事業
 - ② 金澤町家情報館運営事業
 - ③ まちなか定住促進事業
- (2) 幅広い年代を対象とする魅力ある商業環境を作る
 - ④ 近江町市場複合商業施設整備事業
 - ⑤ ファッション・アート交流拠点人材育成事業
- (3) 公共交通を優先したまちなかの交通環境を整える
 - ⑥ 第2次金沢交通戦略推進事業
 - ⑦ パーク・アンド・ライド事業
- (4) 歴史文化資産を活かし市民・来街者を引きつける
 - ⑧ 建築文化拠点施設整備事業
 - ⑨ KOGEIかなざわ開催事業



【計画目標】

目標	目標指標	現状値	目標値	最新値※
まちなかの定住者を増やす	中心市街地の45歳未満人口の年間社会動態	+94人/年(H24-H27平均)	+156人/年(H29-R3平均)	▲100人/年(H29-H30平均) C
	まちなか住宅支援制度の活用による県外からの移住者数	23人/年(H27)	38人/年(H29-R3平均)	9人/年(H29-H30平均) C
幅広い年代を対象とする魅力ある商業環境を作る	商店街店舗の新規出店数	21店舗(H27)	28店舗(H29-R3平均)	18店舗(H29-H30平均) C
公共交通を優先したまちなかの交通環境を整える	バス乗客数	80,466人/日(H27)	82,650人/日(R3)	82,315人/日(H30) B
歴史文化資産を活かし市民・来街者を引きつける	中心市街地の市文化施設(14施設)の利用者数	338,677人(H27)	393,000人(R3)	339,853人(H30) B
	外国人入り込み客数	256,000人(H27)	400,000人(R3)	522,343人(H30) A

※「最新値」: 基準値からの改善状況 (A目標達成、B基準値達成、C基準値未達成)

石川県金沢市 中心市街地活性化基本計画の進捗状況 (H30定期フォローアップ等)

まちなかの定住者を増やす	幅広い年代を対象とする 魅力ある商業環境を作る	公共交通を優先したまちなかの 交通環境を整える	歴史文化資産を活かし 市民・来街者を引きつける
<p>《主要事業の進捗状況》</p> <p>■金沢駅武蔵南地区第一種市街地再開発事業(ハード)【実施中】 《概要》市街地再開発事業により、住宅及び商業施設の整備を行う。 《状況》平成29年度実施設計等実施、平成30年度着工、令和2年度完成予定(国の支援措置) ・社会資本整備総合交付金(市街地再開発事業等)(国土交通省)</p> <p>■金澤町家情報館運営事業(ソフト)【実施中】 《概要》金澤町家の保全及び活用と定住促進を支援するための総合窓口・情報発信拠点を運営する。 《状況》相談件数128件(H30) イベント参加人数218人(H30) 《国の支援措置》 ・地方創生推進交付金(内閣府)</p> <p>■まちなか定住促進事業(ソフト)【実施中】 《概要》戸建て住宅や共同住宅の建設購入に助成を行う。 《状況》近年の活用件数は微増 《国の支援措置》なし</p> <p>《今後の方針》 引き続き住宅支援、共同住宅や商業施設の整備を進めるとともに、情報発信強化によりまちなかへの定住者を増やす。</p>	<p>《主要事業の進捗状況》</p> <p>■近江町市場複合商業施設整備事業(ハード)【実施中】 《概要》近江町市場の老朽化している商業施設を地区の交流拠点となる複合商業施設として再整備する。 《状況》平成29年度は仮設店舗を設置平成30年度着工、令和元年度完成予定(国の支援措置) ・社会資本整備総合交付金(暮らし・にぎわい再生事業)(国土交通省)</p> <p>■ファッション・アート交流拠点人材育成事業(ソフト)【実施中】 《概要》ファッション関連の専門学校内に整備した交流拠点において、人材育成に繋がる事業を実施する。 《状況》公開講座参加人数227人(H30) 《国の支援措置》 ・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)</p> <p>《その他の国の支援措置の活用状況》</p> <p>■中心市街地賑わい創出事業(ソフト)【実施中】 ・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)</p> <p>■中心市街地出店促進事業(ソフト)【実施中】 ・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)</p> <p>《今後の方針》 近年の新規出店数は微増だが、まちなかの公開講座やイベントにより、交流人口が増加している。計画的に事業を推進し、さらなる出店数の増加をめざす。</p>	<p>《主要事業の進捗状況》</p> <p>■第2次金沢交通戦略推進事業(ソフト)【実施中】 《概要》郊外から中心市街地へ向かう主要な路線の公共交通利用環境等の向上を図る。 《状況》都心軸を主として道路環境の改善に向けて検討中 《国の支援措置》 ・社会資本整備総合交付金(街路交通調査)(国土交通省)</p> <p>■パーク・アンド・ライド事業(ソフト)【実施中】 《概要》郊外の民間商業施設等の駐車場を利用したパーク・アンド・ライドシステムを実施する。 《状況》通勤時利用204台(H30末時点) 観光期利用2,345台(H30) 《国の支援措置》 ・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)</p> <p>《今後の方針》 事業の進捗が順調であり、バスの乗客数は増加している。引き続き取組の周知を図り、事業を総合的かつ計画的に推進していく。</p>	<p>《主要事業の進捗状況》</p> <p>■建築文化拠点施設整備事業(ハード/ソフト)【実施中】 《概要》連続と受け継がれてきた本市の質の高い建築文化を国内外に永続的に発信する拠点を整備する。 《状況》平成29年度に着工、令和元年7月26日開館 《国の支援措置》 ・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省) ・地方創生推進交付金(内閣府)</p> <p>■KOGEIかなざわ開催事業(ソフト)【実施中】 《概要》「工芸」をテーマとしたイベントを開催する。 《状況》「金沢21世紀工芸祭」参加人数約71,000人(H30)、「KOGEIフェスタ！」参加人数 21,904人(H30) 《国の支援措置》 ・文化芸術創造活用プラットフォーム形成事業(文化芸術創造拠点形成事業)(文部科学省) ・地方創生推進交付金(内閣府)</p> <p>《その他の国の支援措置の活用状況》</p> <p>■東京国立近代美術館工芸館移転整備事業(ハード/ソフト)【実施中】 ・地方創生推進交付金(内閣府)</p> <p>《今後の方針》 新たな文化施設の開館や歴史文化資産を活かした各事業の実施により、外国人を含めた来街者のさらなる増加を見込んでいる。</p>

福井県越前市 中心市街地活性化基本計画の概要

【計画期間】平成28年12月～令和4年3月
【人口】8.3万人(H28)、【面積】230.70km²

【目指す中心市街地の都市像】

越前国府1300年の歴史と文化が薫る安らぎのまち「武生」
～全ての世代が共に支え合い、住み・働き・交流するまち～

【取組概要】

(1) まちの顔づくり

- ①新庁舎建設事業(交流施設)
- ②武生中央公園再整備事業
- ③大学連携事業

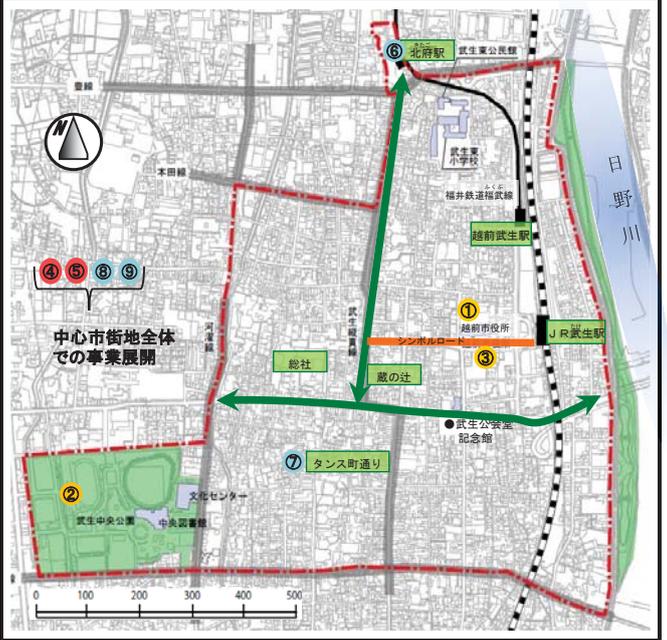
(2) 暮らしの再生

- ④まちなか住宅取得支援事業
- ⑤新婚夫婦定住化支援事業

(3) にぎわいの再生

- ⑥北府駅鉄道ミュージアム整備事業
- ⑦工芸の里構想推進事業(タンス町界隈まちづくり推進事業)
- ⑧まちなかイベントサポート事業
- ⑨まちなか開業支援事業

【中心市街地】人口:5,500人(H28)、【面積】140.8ha



【計画目標】

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値※
まちの顔づくり	市民交流施設の利用者数	64,541人 (H27)	77,420人 (R3)	39,477人 C (H30)
暮らしの再生	施策による移住者数	64人増 (H27)	400人増 (H28-R3)	216人増 C (H28-H30)
にぎわいの再生	活性化に寄与する市民活動の回数	56回 (H27)	92回 (R3)	92回 A (H30)
	施策によるまちなか開業件数	5件 (H25-H27)	24件 (H28-R3)	17件 B (H28-H30)

※「最新値」: 基準値からの改善状況 (A目標達成、B基準値達成、C基準値未達成)

福井県越前市 中心市街地活性化基本計画の進捗状況 (H30定期フォローアップ等)

まちの顔づくり

《主要事業の進捗状況》

■新庁舎建設事業(ハード)【実施中】

〈概要〉越前市が、本庁舎内に多目的ホールや控室、和室、調理室、視聴覚室などの生涯学習施設を中心に、屋内交流施設を整備する。
〈状況〉平成29年度に基礎工事を着工、令和元年度内の完成予定
〈国の支援措置〉

- ・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省)

《その他の国の支援措置の活用状況》

■武生中央公園再整備事業(ハード)【実施済】

〈国の支援措置〉
・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省)

■市道第1801号線整備事業(ハード)【実施済】

・社会資本整備総合交付金(道路事業(街路))(国土交通省)

・地方創生道整備推進交付金(内閣府)

《今後の方針》

今後は、市民とともに新庁舎や(仮称)市民センターを協働で活用し、官民連携による活性化を推進するとともに、これらの拠点施設を道路整備等でネットワークしていく。

暮らしの再生

《主要事業の進捗状況》

■新婚夫婦定住化支援事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉越前市が、婚姻1年以内の新婚夫婦が中心市街地活性化基本計画の認定区域に居住するか、夫婦いずれかが転入して市内の民間賃貸住宅に居住する場合に、家賃の一部を補助する。
〈状況〉平成30年度は中心市街地内で1件の申請
〈国の支援措置〉

- ・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省)

■まちなか住宅取得支援事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉中心市街地内において住宅を取得する場合に、越前市がその取得費の一部を補助する。
〈状況〉平成30年度は中心市街地内で11件の申請
〈国の支援措置〉

- ・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省)

《その他の国の支援措置の活用状況》

■子ども子育て総合相談窓口(ソフト)【実施中】

・子ども・子育て支援交付金(内閣府)

■地域子育て支援センター運営事業(ソフト)【実施中】

・子ども・子育て支援交付金(内閣府)

■地域包括支援センター運営事業(ソフト)【実施中】

・地域支援事業交付金(厚生労働省)

《今後の方針》

まちづくり会社等と空き地の情報を共有し、土地所有者や関係する工務店等への積極的なアプローチを行うとともに、事業者の発掘に努める。より一層、制度の周知やPRを推進し、更なるまちなか居住を図っていく。

にぎわいの再生

《主要事業の進捗状況》

■まちなかイベントサポート事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉まちづくり会社が、蔵の辻を中心とするまちなかで実施するイベントのサポートを行う。
〈状況〉武生まちなか情報サイト「武ナビ」を作成し、近況のイベントや飲食店情報を配信することにより、賑わいの創出に寄与することができた。
〈国の支援措置〉なし

■まちなか出店・改装促進事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉中心市街地において店舗等を開設、改装する場合に、まちづくり会社が助成金を交付する。
〈状況〉平成30年度は4件が開業
〈国の支援措置〉なし

《その他の国の支援措置の活用状況》

■京町界隈の空き家再生事業(ハード・ソフト)【実施中】

・地域・まちなか商業活性化支援事業費補助金(中心市街地再興戦略事業)のうち先導的・実証的事業(経済産業省)

・中心市街地商業活性化診断・サポート事業(総務省)

■工芸の里構想推進事業(越前草笥振興事業)(ソフト)【実施中】

・伝統的工芸品産業支援補助金(経済産業省)

■「ちひろの生まれた家」記念館運営事業(ソフト)【実施中】

・地方創生推進交付金(内閣府)

■武生国際音楽祭(ソフト)【実施中】

・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

《今後の方針》

令和元年度は重点エリア商業活性化事業の対象エリアを拡張し、今後も引き続き、まちづくり会社と市が連携を深めていくことにより、空き店舗の活用や新店舗の誘致を促進し、恒常的な賑わいの創出を目指していく。

山梨県甲府市 中心市街地活性化基本計画の概要

【計画期間】平成26年11月～令和2年3月
【人口】19万人(H25)、【面積】212.41km²

【目指す中心市街地の都市像】

「かがやく個性、ひびく感性、ふれあう心、そして心地よい景観のまち甲府」

【取組概要】

(1) 見て、楽しみ、買って楽しめる中心市街地

- ① 空き店舗活用事業
- ② 小グループ自主的取組支援事業
- ③ ストリート再生チーム事業

(2) 歴史、文化、芸術が薫る中心市街地

- ④ まちなか回遊道路整備事業
- ⑤ 県庁耐震化等整備事業
- ⑥ 甲府駅南口周辺地域景観事業

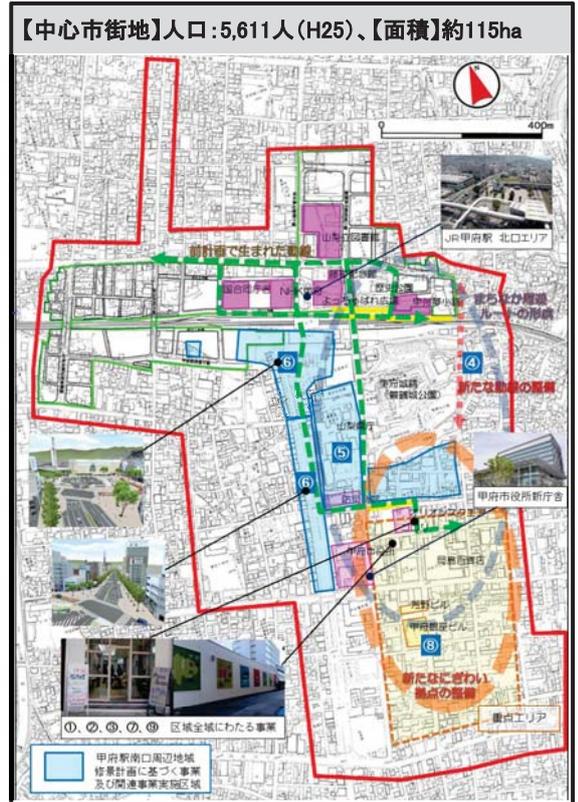
(3) まちとつながる、人とつながる中心市街地

- ⑦ 中心市街地定住促進住宅取得・改修支援事業
- ⑧ (仮称)甲府中央一丁目地区優良建築物等整備事業
- ⑨ まちなか不動産バンク事業

【計画目標】

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値※
快適な歩行空間と人が集う魅力的な商店街の整備によるまちの活力の発揮	空き店舗数(店舗)	231店舗(H25)	173店舗(R1)	159店舗A(H30)
にぎわいの場を結ぶルートの整備とまちの魅力の創出	歩行者通行量(人/3日)	151,626人/3日(H25)	186,564人/3日(R1)	142,569人/3日C(H30)
アクセスしやすく、多世代が安心して暮らせる都市・生活基盤の創造	居住人口(人)	5,527人(H26.4.1)	5,817人(R2.4.1)	5,303人C(H31.4.1)

※「最新値」: 基準値からの改善状況(A目標達成、B基準値達成、C基準値未達成)



山梨県甲府市 中心市街地活性化基本計画の進捗状況 (H30定期フォローアップ等)

快適な歩行空間と人が集う魅力的な商店街の整備によるまちの活力の発揮

《主要事業の進捗状況》

■ **空き店舗活用事業(ソフト)【実施中】**
 〈概要〉甲府市による、整備対象の空き店舗への出店の際の家賃及び改修費用を補助する。
 〈状況〉平成26年度～平成30年度の実績平均約10件
 〈国の支援措置〉
 ・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

■ **小グループ自主的取組支援事業(ソフト)【実施中】**

〈概要〉甲府市が、小グループが行うファサード整備など、中心市街地の活性化に寄与する自主的取組を支援する。
 〈状況〉平成30年度は、商店街魅力創出事業2件、調査・分析・計画策定事業2件、買物弱者支援事業1件、情報発信事業1件を支援
 〈国の支援措置〉
 ・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

《その他の国の支援措置の活用状況》

■ **ストリート再生チーム事業(ソフト)【実施中】**
 ・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

《今後の方針》

現在のところ各事業は見込み以上に進捗しており、目標値は達成しているが、今後も空き店舗が増加しないよう引き続き事業を推進していく。

にぎわいの場を結ぶルートの整備とまちの魅力の創出

《主要事業の進捗状況》

■ **まちなか回遊道路整備事業(ハード)【実施中】**
 〈概要〉歩行空間の改良等の指導整備、桜町道路切の拡幅等を行う。
 〈状況〉平成30年度に工事着手し、令和元年度完成予定
 〈国の支援措置〉
 ・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画)(国土交通省)

■ **県庁舎耐震化等整備事業(ハード)【実施済】**
 〈概要〉県庁敷地内の歩道の整備と、敷地内の緑化や多目的広場を整備する。
 〈状況〉平成27年度完了
 〈国の支援措置〉
 ・社会資本整備総合交付金(暮らし・にぎわい再生事業)(国土交通省)

《その他の国の支援措置の活用状況》

■ **甲府駅南口周辺地域景観整備事業・平和通り(ハード)【実施済】**
 ・防災・安全交付金(道路事業)(国土交通省)
 ■ **甲府駅南口周辺地域景観整備事業・甲府駅南口駅前広場(ハード)【実施済】**
 ・社会資本整備総合交付金(道路事業(街路))(国土交通省)
 ■ **古府中環状浅原橋線整備事業(中央四丁目工区)(ハード)【実施中】**
 ・社会資本整備総合交付金(道路事業(街路))(国土交通省)

《今後の方針》

今後は、効果が発現する事業に加え、リノベーションによるまちづくり活動を普及・啓発し、人が集う魅力的な商店街の創出を目指していく。

アクセスしやすく、多世代が安心して暮らせる都市・生活基盤の創造

《主要事業の進捗状況》

■ **甲府中央一丁目地区優良建築物等整備事業(ハード)【実施済】**
 〈概要〉民間主体による住居整備等。
 〈状況〉平成30年2月に完成
 〈国の支援措置〉
 ・社会資本整備総合交付金(優良建築物等整備事業)(国土交通省)

■ **中心市街地定住促進住宅取得・改修支援事業(ソフト)【実施中】**

〈概要〉住宅の建築、購入並びに中古住宅等取得時の修繕等を支援する。
 〈状況〉平成30年度までに79件の支援
 〈国の支援措置〉
 ・社会資本整備総合交付金(地域住宅計画に基づく事業)(国土交通省)

■ **まちなか不動産バンク事業(ソフト)【実施中】**

〈概要〉甲府市が、遊休不動産所有者等へのバンク登録の呼びかけ、登録物件情報の発信を行う。
 〈状況〉平成26年度から、事業用物件10件の登録に対し3件の成約実績
 〈国の支援措置〉
 ・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

《今後の方針》

平成30年1月に「空き家改修助成制度」と「子育て世帯家賃助成制度」を開始するなど、空き家の有効活用等についても対応を始めており、空き家所有者等への働きかけを強化する中で、バンクでの情報発信を行い、居住誘導を推進していく。

長野県上田市 中心市街地活性化基本計画の概要

【計画期間】平成27年4月～令和2年3月
【人口】15.9万人(H30)、【面積】552km²

【目指す中心市街地の都市像】

「400年の歴史を超えた城下町ルネッサンス」

～ALL UEDAで中心市街地の価値を共有し活性化を図る～

【取組概要】

(1) 居住満足度の高い安全・安心な中心市街地の形成

- ① 優良建築物等整備事業(原町一番街地区)
- ② 新参町線無電柱化事業
- ③ 子育て中の女性がいいききと働くための環境整備事業

(2) 市民、事業者等が連携した地域活力の向上

- ④ 上田城跡関連整備事業
- ⑤ 観光交流センター(まちなかの駅)設置運営事業
- 街なか健幸ウォーク

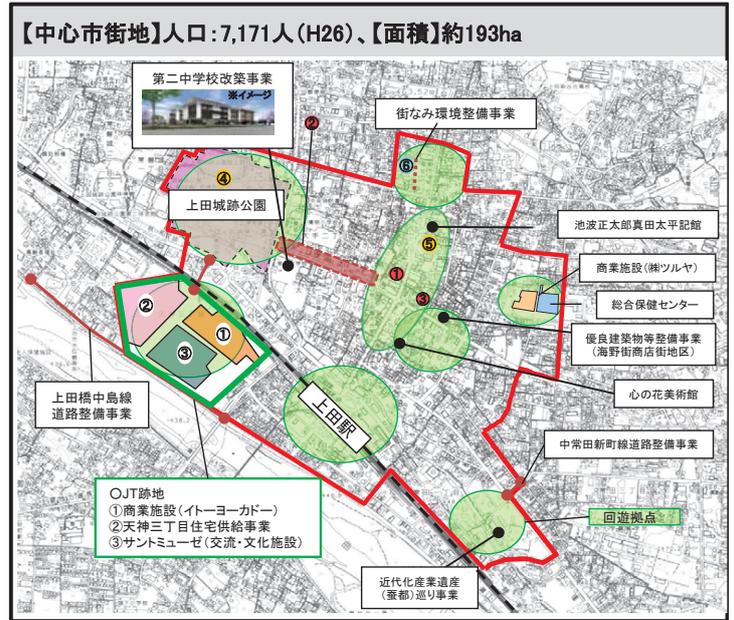
(3) 地域経済の活性化

- ⑥ コミュニティ施設等整備事業
- 中心市街地空き店舗活用助成事業

【計画目標】

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値※
居住満足度の高い安全・安心な中心市街地の形成	居住人口	7,171人(H26)	7,210人(R1)	7,121人 C(H30)
市民、事業者等が連携した地域活力の向上	歩行者通行量	21,530人/日(H26)	24,900人/日(R1)	22,483人/日 B(H30)
地域経済の活性化	空き店舗数	30件(H26)	27件(R1)	31件 C(H30)

※「最新値」: 基準値からの改善状況(A目標達成、B基準値達成、C基準値未達成)



長野県上田市 中心市街地活性化基本計画の進捗状況 (H30定期フォローアップ等)

居住満足度の高い安全・安心な中心市街地の形成

市民、事業者等が連携した地域活力の向上

地域経済の活性化

《主要事業の進捗状況》

■優良建築物等整備事業(原町一番街地区)
(ハード)【実施済】
〈概要〉老朽化が進む中央二丁目(原町)の共同ビルを建替え、店舗と分譲マンションを整備する。
〈状況〉平成30年7月下旬から入居開始
〈国の支援措置〉
・社会資本整備総合交付金(優良建築物等整備事業)(国土交通省)

■優良建築物等整備事業(海野町商店会地区)
(ハード)【未実施】
〈概要〉老朽化が進む複数の店舗を建替え、1階には店舗、高層部は共同住宅の分譲マンションを整備する。
〈状況〉地権者をはじめとする関係者と事業者の調整協議中であり、早期の事業化に向けて取り組んでいる。
〈国の支援措置〉なし

《その他の国の支援措置の活用状況》

■サポートステーション運営事業(ソフト)【実施中】
・地域若者サポートステーション事業(厚生労働省)
■第二中学校改築事業(ハード)【実施済】
・公立学校施設費国庫負担金(文部科学省)
・学校施設環境改善交付金(文部科学省)
■新参町線無電柱化事業(ハード)【実施中】
・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省)

《今後の方針》

海野町商店会地区における優良建築物等整備事業について、早期の事業化に向けて関係者間の調整協議を着実に進め、計画の推進を図る。

《主要事業の進捗状況》

■史跡上田城跡整備事業(ハード)【実施中】
〈概要〉本丸櫓の復元等、次世代への継承に向けた整備を行う。
〈状況〉発掘調査の継続や調査の公開、特別企画展を実施
〈国の支援措置〉
・国宝重要文化財等保存整備費補助金(文部科学省)

■交流文化芸術センター運営事業(ソフト)【実施中】
〈概要〉地域文化や歴史的文化的遺産等の資源を活用し、子どもたちの育成を行う事業やコンサートなどのイベント事業を開催する。
〈状況〉平成30年度の入館者数は201,395人で、オープン以降最多
〈国の支援措置〉なし

《その他の国の支援措置の活用状況》

■上田城跡公園バリアフリー化事業(ハード)【実施済】
・社会資本整備総合交付金(都市公園等事業)(国土交通省)
■上田城千本桜まつり事業(ソフト)【実施中】
・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

《今後の方針》

ラグビーワールドカップ2019のイタリア代表キャンプを契機として、上田市、上田商工会議所及び商店街等が連携し、中心商店街においてイタリアをテーマとする講座やイベントなどを定期的に開催する「上田まちなかイタリア交流促進事業」を計画している。

《主要事業の進捗状況》

■子育て中の女性がいいききと働くための環境整備事業(ハード)【実施中】
〈概要〉商店街の空き店舗を改修し、子育て中の若い母親を対象としたワーキングスペース、利用者のための託児所、コミュニティ施設を整備する。
〈状況〉空き店舗の減少1件に寄与
〈国の支援措置〉なし

■テナント出店支援事業(ソフト)【実施中】
〈概要〉商店街の誘致により出店する際の改修費を助成する。
〈状況〉平成27～30年度の補助件数15件
〈国の支援措置〉
・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

■まちなか創業空き店舗活用事業(ソフト)【実施中】
〈概要〉複合型チャレンジショップの創設・運営や空き店舗を活用した新規出店者への賃借料助成、空き店舗見学会や創業セミナー開催等を実施する。
〈状況〉チャレンジショップ出店2件、賃借料補助3件、空き店舗見学会参加者140名等
〈国の支援措置〉
・地方創生推進交付金(内閣府)

《今後の方針》

平成30年度から開始した「まちなか創業空き店舗活用事業」の活用等により、空き店舗件数が減少しており、今後もテナント出店支援に力を入れるとともに、創業支援や移住定住推進などと連動した総合的な空き店舗対策を推進していく。

岐阜県大垣市 中心市街地活性化基本計画の概要

【計画期間】平成27年12月～令和3年3月
【人口】16.2万人(H26)、【面積】206.57km²

【目指す中心市街地の都市像】

選ばれるまち大垣へ にぎわいと魅力あふれるまちづくり
～中心市街地での定住人口・交流人口の増加～

【取組概要】

(1) 観光・交流拠点の整備や商業機能の再生による「にぎわいの創出」

- ① 中心市街地商店街元気ハツラツ市事業
- ② 新庁舎建設事業
- ③ 大垣駅南街区第一種市街地再開発事業
- 大垣駅南街区広場整備事業

(2) 都市基盤の推進による「まちなか居住の推進」

- ③ (再掲) 大垣駅南街区第一種市街地再開発事業
- 大垣住まいるサポート事業

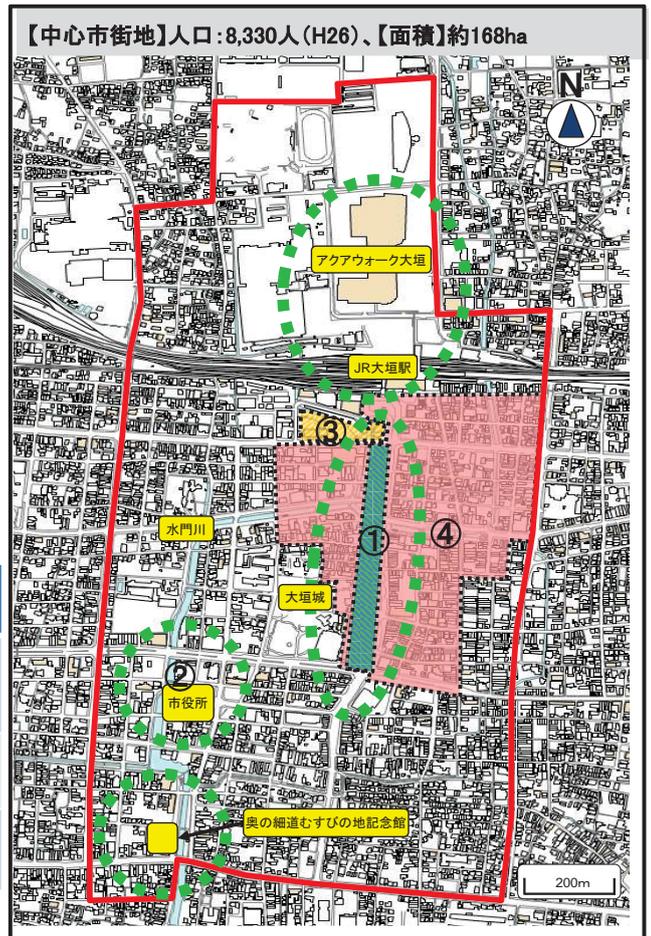
(3) 中心市街地の商業再生による「空き店舗の減少」

- ④ 中心市街地リフレッシュサポート事業
- まちゼミ

【計画目標】

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値※
観光・交流拠点の整備や商業機能の再生による「にぎわいの創出」	中心市街地の休日歩行者・自転車通行量	12,189人/日 (H26)	12,688人/日 (R2)	15,510人/日 A (H30)
都市基盤の推進による「まちなか居住の推進」	中心市街地の居住人口	8,330人 (H26)	8,430人 (R2)	8,058人 C (H30)
中心市街地の商業再生による「空き店舗の減少」	商店街振興組合連合会内空き店舗数	36店舗 (H26)	27店舗 (R2)	28店舗 B (H30)

「最新値※」: 基準値からの改善状況(A目標達成、B基準値達成、C基準値未達成)



岐阜県大垣市 中心市街地活性化基本計画の進捗状況 (H30定期フォローアップ等)

にぎわいの創出

《主要事業の進捗状況》

■ 大垣駅南街区第一種市街地再開発事業

(ハード)【実施済】

〈概要〉大垣駅南口の老朽化したビル周辺を再開発し、住宅、商業施設、自転車駐輪場、広場、駐車場を整備する。

〈状況〉平成28年9月に完成、112戸全て入居済

〈国の支援措置〉

- ・社会資本整備総合交付金(市街地再開発事業等) (国土交通省)

■ 新庁舎建設事業(ハード)【実施中】

〈概要〉老朽化した市役所庁舎の建て替え及び周辺の整備を行う。

〈状況〉平成30年度は新庁舎の建方工事が完了

〈国の支援措置〉

- ・社会資本整備総合交付金(住宅・建築物安全ストック形成事業) (国土交通省)

《その他の国の支援措置の活用状況》

■ 中心市街地商店街元気ハツラツ市事業

(ソフト)【実施中】

- ・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

■ 大垣駅南街区広場整備事業(ハード)【実施済】

- ・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業) (国土交通省)

■ 郭町東西街区市街地再開発検討事業

(ソフト)【実施中】

- ・街路交通調査費補助(土地区画整理事業調査)

《今後の方針》

大垣駅南街区広場整備事業において整備された「水都の泉」等、整備された空間を活用し、市民の憩いの場として、にぎわいの創出に引き続き取り組んでいく。

まちなか居住の推進

《主要事業の進捗状況》

■ マンション建設(東外側町地内)(ハード)【実施済】

〈概要〉民間企業により分譲マンションを建設する。

〈状況〉平成28年11月に完成、47戸の住宅は全て入居済

〈国の支援措置〉なし

■ (再掲) 大垣駅南街区第一種市街地再開発事業

(ハード)【実施済】

《その他の国の支援措置の活用状況》

■ キッズピアおおがき交流サロン事業

(ソフト)【実施中】

- ・子ども・子育て支援交付金(地域子育て支援拠点事業) (内閣府)

《今後の方針》

子育て支援施設の活用や子育て世代を対象とした住宅取得による借入金の利子補給、転入者への引越越し費用の一部助成を行うなど、子育て世代を中心に中心市街地居住人口を増加させていく。

空き店舗の減少

《主要事業の進捗状況》

■ 中心市街地リフレッシュサポート事業

(ソフト)【実施中】

〈概要〉中心市街地内の空き店舗に出店するときの改装費及び賃借料の一部を補助する。

〈状況〉平成30年度は4件の実績

〈国の支援措置〉

- ・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

■ 中心市街地個店魅力アップ事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉「既存店舗」の改修を行う事業者等に対し店舗の改修費の一部を補助する。

〈状況〉平成30年度は2件の実績

〈国の支援措置〉

- ・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

■ 空き店舗撲滅プロジェクト(ソフト)【実施中】

〈概要〉空き店舗調査による借り手と貸し手のマッチングから空き店舗を撲滅する。

〈状況〉平成30年度は駅前商店街エリアを中心に実施

〈国の支援措置〉

- ・中心市街地商業活性化診断・サポート事業(プロジェクト型) (経済産業省)

《今後の方針》

新規出店を考えている事業者と空き店舗のマッチングを円滑にすることで、更なる空き店舗の減少を図っていく。

岐阜県高山市 中心市街地活性化基本計画の概要

【計画期間】平成27年4月～令和2年3月
【人口】9.2万人(H26)、【面積】2,177.6km²

【目指す中心市街地の都市像】

人が住み 人が訪れ にぎわいとやさしさにあふれるまち「飛騨高山」

【取組概要】

(1) 住みやすいまち

- ① 旧森邸等整備事業
- ② 駅東口駐車場整備事業
- ③ 駅東口駐輪場整備事業

(2) にぎわいのあるまち

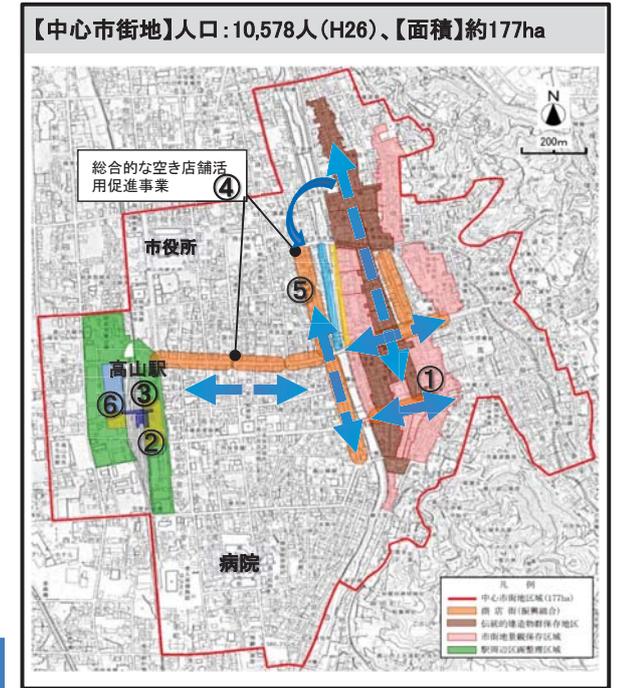
- ④ 総合的な空き店舗活用促進事業
- ⑤ 外国人対応おもてなし拠点施設整備事業

(3) やさしさにあふれるまち

- ⑥ 高山駅東西線(自由通路)整備事業

【計画目標】

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値※
住みやすいまち	中心商店街 歩行者自転車 通行量	16,369人/日 (H26)	17,349人/日 (R1)	20,945人/日 A (H30)
にぎわいのあるまち	中心商店街 営業店舗数	365店舗 (H25)	371店舗 (R1)	357店舗 C (H30)
やさしさにあふれる まち	公共施設 利用者数	349,081人/年 (H25)	370,354人/年 (R1)	343,028人/年 C (H30)



※「最新値」: 基準値からの改善状況(A目標達成、B基準値達成、C基準値未達成)

岐阜県高山市 中心市街地活性化基本計画の進捗状況 (H30定期フォローアップ等)

住みやすいまち

《主要事業の進捗状況》

■旧森邸等整備事業(ハード)【実施済】

〈概要〉伝統文化をテーマとした文化交流拠点施設を整備する。
〈状況〉平成29年度に着工、平成30年3月に完成
〈国の支援措置〉

・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省)

■駅東口駐車場整備事業(ハード)【実施済】

〈概要〉駅東口に駐車場を新たに整備する。
〈状況〉平成28年度に着工、平成30年3月に供用開始
〈国の支援措置〉

・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省)

■駅東口駐輪場整備事業(ハード)【実施済】

〈概要〉駅東口に駐輪場を新たに整備する。
〈状況〉平成30年8月完成
〈国の支援措置〉

・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省)

《その他の国の支援措置の活用状況》

■車両進入規制実験事業(ソフト)【未実施】

・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省)(活用予定)

■若者定住促進事業(ソフト)【実施中】

・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

《今後の方針》

運営方針を見直したイータウン飛騨高山を軌道に乗せ利用者の増加を図ることや、交流広場の利用促進を図ることで、中心市街地全体における回遊性を高め、さらに実績を伸ばしていく。

にぎわいのあるまち

《主要事業の進捗状況》

■総合的な空き店舗活用促進事業

(ソフト)【実施中】

〈概要〉チャレンジショップ、アンテナショップを実施する。

〈状況〉空き店舗の継続調査と所有者との交渉を実施中
〈国の支援措置〉

・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

■外国人対応おもてなし拠点施設整備事業

(ハード)【実施済】

〈概要〉誰もが気軽に立ち寄れることのできる店舗が集結した屋台村を整備する。

〈状況〉平成28年度に着工、完成

〈国の支援措置〉

・商店街・まちなかインバウンド促進支援事業(商店街インバウンド促進支援事業)(経済産業省)

《その他の国の支援措置の活用状況》

■中小企業高度化事業(ハード)【未実施】

・中小小売商業高度化事業に係る特定民間中心市街地活性化事業計画の経済産業大臣認定(経済産業省)(活用予定)

■インキュベーション推進事業

(ハード・ソフト)【実施中】

・地方創生推進交付金(内閣府)

《今後の方針》

チャレンジショップ事業については、より実効性の高い取組とするため事業内容の見直しを検討する。イータウン飛騨高山については、空きスペースの出入誘致を引き続き推進し、目標値に近づきよう取り組む。

やさしさにあふれるまち

《主要事業の進捗状況》

■高山駅東西線(自由通路)整備事業

(ハード)【実施済】

〈概要〉駅東西を結ぶ自由通路の新設、修景・モニュメントを設置する。

〈状況〉平成27年度に着工し、平成28年度に完成

〈国の支援措置〉

・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省)

《その他の国の支援措置の活用状況》

■まちひととが座かかこかん運営事業

(ソフト)【実施中】

・子ども・子育て支援交付金(地域子育て支援拠点事業)(内閣府)

《今後の方針》

ソフト面の充実を図ってきたが、利用者数は伸び悩んでいるため、今後も各施設の利用啓発に引き続き取り組んでいく。

岐阜県中津川市 中心市街地活性化基本計画の概要

【計画期間】平成30年7月～令和6年3月
【人口】7.9万人(H29)、【面積】676.45km²

【目指す中心市街地の都市像】

人をつなぐ、地域をつなぐ、未来につなぐ中心市街地

【取組概要】

(1) 商業の活性化による吸引力の強化

- ① 空き店舗対策事業
- ② トライアルショップ事業
- ③ 中山道中津川宿六斎市事業
- ④ 中津川まちゼミ事業
- ⑤ 歴史的資産を活用した町家再生事業

(2) 観光客を惹きつける資源活用の強化

- ⑤ 歴史的資産を活用した町家再生事業【再掲】
- ⑥ 間家大正の蔵活用事業
- ⑦ まちなか歴史発見散歩事業
- ⑧ 地域文化資源活用交流事業
- ⑨ 統一案内サイン整備事業

(3) 市民の居場所や活動の場所としての魅力の強化

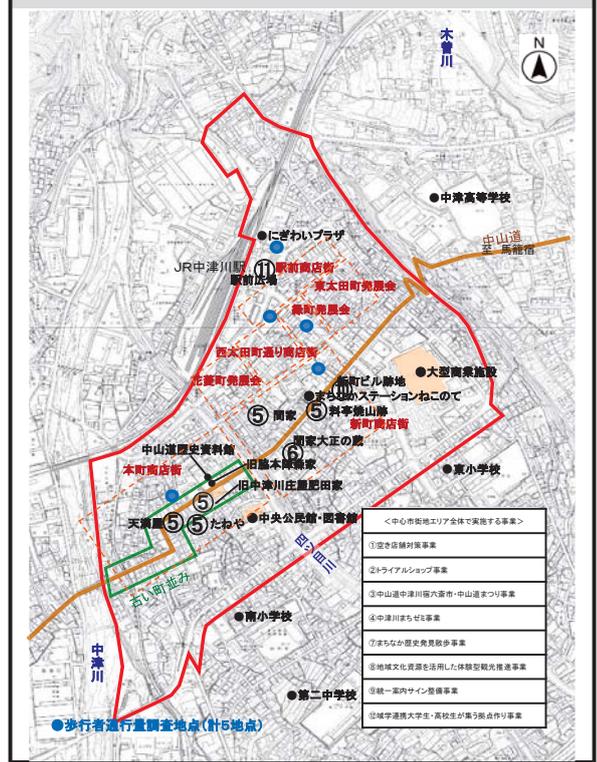
- ⑩ 新町ビル跡地開発事業
- ⑪ 駅前広場整備事業
- ⑫ 域学連携大学生・高校生が集う拠点づくり事業

【計画目標】

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値※
商業の活性化による吸引力の強化	新規出店数	31店舗 (H24～H29合計値)	50店舗 (H30～R5合計値)	32店舗 B (基準値+H30合計値)
観光客を惹きつける資源活用の強化	特定施設等観光客入込数 (人/年) (※1)	123,000人/年 (H28)	149,200人/年 (R5)	138,378人/年 B (H30)
市民の居場所や活動の場所としての魅力の強化	都市福祉施設利用者数 (人/年) (※2)	153,330人/年 (H28)	170,400人/年 (R5)	154,115人/年 B (H30)
	歩行者通行量 (平日・5地点計)	4,525人/日 (H29)	4,954人/日 (R5)	4,750人/日 B (H30)

※1 特定施設等観光客入込数計測場所：中山道まつり、六斎市、中山道歴史資料館、地域文化資源活用交流事業、まちなか歴史発見散歩事業、歴史的資産を活用した町家再生事業、間家大正の蔵
※2 都市福祉施設利用者数計測場所：新町ビル活用事業、まちなかステーションねこのて

【中心市街地】人口：2,826人(H29)、【面積】66.2ha



※1 特定施設等観光客入込数計測場所：中山道まつり、六斎市、中山道歴史資料館、地域文化資源活用交流事業、まちなか歴史発見散歩事業、歴史的資産を活用した町家再生事業、間家大正の蔵
※2 都市福祉施設利用者数計測場所：新町ビル活用事業、まちなかステーションねこのて

岐阜県中津川市 中心市街地活性化基本計画の進捗状況 (H30定期フォローアップ等)

商業の活性化による吸引力の強化

観光客を惹きつける資源活用の強化

市民の居場所や活動の場所としての魅力の強化

《主要事業の進捗状況》

■空き店舗対策事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉民学官で連携して空き店舗の調査・発掘、改修、情報発信と出店希望者への補助制度の充実などに取り組む。
〈状況〉空き家等の現況調査を行い、地図を作成(国の支援措置)なし

■空き店舗活用支援事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉空き店舗を活用して出店する場合に、改修費用の1/2を上限として最大50万円を補助する。
〈状況〉事業を利用した出店：1件
〈国の支援措置〉なし

■トライアルショップ事業(ソフト)【未実施】

〈概要〉まちづくり会社が休業日の店舗等を借り受け、トライアルショップとして活用する。
〈状況〉令和元年度実施予定
〈国の支援措置〉
・中心市街地商業活性化診断・サポート事業(経済産業省)(活用予定)

《今後の方針》

空き店舗調査等の調査結果を活用し、不動産所有者と出店希望者のマッチングを進めていく。

《主要事業の進捗状況》

■歴史的資産を活用した町家再生事業

(ハード)【実施中】

〈概要〉官民が連携して中津川宿に現存する歴史的建築物を改修し、ゲストハウスや飲食店などとして活用する。
〈状況〉地域住民・市内宿泊施設利用者を対象に、ニーズ調査、マーケティング調査を実施(国の支援措置)

・地域・まちなか商業活性化支援事業費補助金(中心市街地再興戦略事業)のうち調査事業(経済産業省)
・地域まちなか活性化・魅力創出支援事業費補助金(中心市街地活性化支援事業)のうち先導的・実証的事業(経済産業省)(活用予定)

■間家大正の蔵活用事業(ソフト)【未実施】

〈概要〉大正時代の旧家の蔵を展示会や飲食等ができる施設として整備する。
〈状況〉令和元年度実施予定
〈国の支援措置〉なし

■まちなか歴史発見散歩事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉まちなかの観光名所をガイドによりめぐる歴史散策ツアーを定期開催する。
〈状況〉平成30年度参加者95名(定員80名)
〈国の支援措置〉なし

■地域文化資源を活用した体験型観光推進事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉まちづくり会社と商店街が連携して、地域の伝統や文化に触れ、体験するツアーを実施する。
〈状況〉ツアー実施の方向性を検討
〈国の支援措置〉なし

《今後の方針》

外国人観光客や六斎市来客数は増加しており、未実施の事業を着手することで、更なる集客を図る。

《主要事業の進捗状況》

■新町ビル跡地開発事業(ハード)【未実施】

〈概要〉子育て支援や市民交流・活動・学びの拠点となる複合施設を建設する。
〈状況〉令和元年度着手予定
〈国の支援措置〉なし

■にぎわい広場駐車場整備事業(ハード)【未実施】

〈概要〉新町ビル跡地開発事業に合わせて駐車場を整備する。
〈状況〉令和4年度着手予定
〈国の支援措置〉なし

《その他の国の支援措置の活用状況》

■新町往來庭観光客受入環境整備事業(ハード)【実施中】

・訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策・旅行環境整備事業(消費拡大)(国土交通省)
■域学連携大学生・高校生が集う拠点づくり事業(ソフト)【未実施】

・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

《今後の方針》

外国人観光客等が商店街を周遊するように、飲食店や商店情報の発信を図る。

静岡県静岡市 中心市街地活性化基本計画の概要

【計画期間】平成28年4月～令和3年3月
【人口】71.6万人(H22)、【面積】1411.90km²

【目指す中心市街地の都市像】 まちで豊かな時間を過ごす(市民生活の向上) 事業活動の好転(地域経済の発展)

【取組概要】

(1) “わくわくドキドキ、にぎわいと活力のまち

≪静岡地区≫

- ①静岡呉服町第二地区第一種市街地再開発事業
- ②静岡七間町地区優良建築物等整備事業
- 企業立地促進助成(クリエイター事務所賃借料補助)実施事業

≪清水地区≫

- ①(仮称)清水区本郷町大規模小売店舗跡整備事業
- ②富士山コスプレ世界大会・大道芸ワールドカップin 静岡
- 清水港客船誘致事業

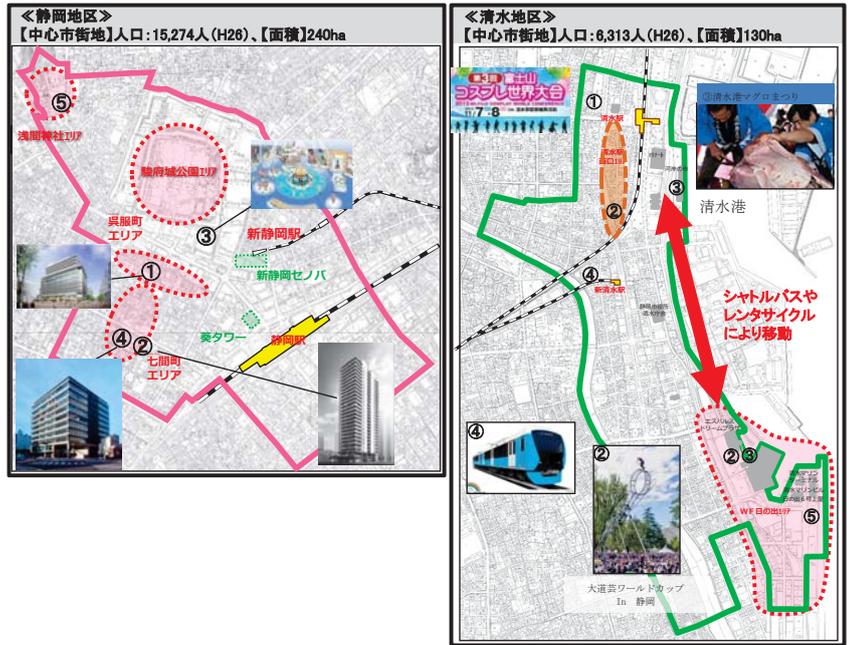
(2) “てくてくらくらく、あちこち巡るずっと居たいまち

≪静岡地区≫

- ③静岡市歴史文化施設建設事業
- ④静岡市文化・クリエイティブ産業振興センター移転・運営事業
- ⑤静岡浅間神社保存修理事業
- 静岡駅北口周辺整備事業(紺屋町地区)

≪清水地区≫

- ③清水港まぐろきっぷ・清水港マグロまつり
- ④静岡鉄道新車両導入事業
- ⑤清水都心ウォーターフロント活性化推進事業



【計画目標】

	目標	目標指標	基準値(H26)	目標値(R2)	最新値※
静岡地区	“わくわくドキドキ、にぎわいと活力のまち	主要な通りの店舗・事業所数	540件	555件	548件(H30) B
	“てくてくらくらく、あちこち巡るずっと居たいまち	歩行者通行量	6,445人	7,123人	6,919人(H30) B
清水地区	“わくわくドキドキ、にぎわいと活力のまち	観光客数	646万人	677万人	674万人(H29) B
	“てくてくらくらく、あちこち巡るずっと居たいまち	滞在時間	2.8時間	3.0時間	2.7時間(H30) C

※「最新値」: 基準値からの改善状況(A目標達成、B基準値達成、C基準値未達成)

静岡県静岡市 中心市街地活性化基本計画の進捗状況 (H30定期フォローアップ等)

≪静岡地区≫

“わくわくドキドキ、にぎわいと活力のまち

≪主要事業の進捗状況≫
■静岡呉服町第二地区第一種市街地再開発事業(ハード)【実施済】
〈概要〉商業・業務、駐車場、多目的ホール等の整備を図る再開発を実施。
〈状況〉平成30年秋に竣工・オープン
〈国の支援措置〉
・社会資本整備総合交付金(住環境整備事業-市街地再開発事業)(国土交通省)
・防災・省エネまちづくり緊急促進事業(国土交通省)
・地域・まちなか商業活性化支援事業(中小企業庁)

≪今後の方針≫
主要事業の竣工により、歩行者通行量の増加等の効果が表れている。賑わいが継続するよう今後も各種事業を実施していく。

“てくてくらくらく、あちこち巡るずっと居たいまち

≪主要事業の進捗状況≫
■静岡市歴史文化施設建設事業(ハード)【実施中】
〈概要〉博物館機能とビジターセンター機能を備えた文化施設を建設する。
〈状況〉(仮称)静岡市歴史文化施設展示実施設計業務等を実施
〈国の支援措置〉
・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業-都市再構築戦略事業)(国土交通省)
■静岡浅間神社保存修理事業(ハード・ソフト)【実施中】
〈概要〉静岡浅間神社の保存修理するとともに、修理状況を公開する。
〈状況〉楼門の保存修理事業等を実施
〈国の支援措置〉
・国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(文部科学省)

≪その他の国の支援措置の活用状況≫
■駿府城公園周辺ランニング等環境整備事業(ハード)【実施済】
〈状況〉平成30年5月にオープン
〈国の支援措置〉なし

≪今後の方針≫
今後も歴史文化施設の建設や民間事業の実施が予定されていることから、今後も引き続き目標達成に向けて計画事業の実施をしていく。

“わくわくドキドキ、にぎわいと活力のまち

≪主要事業の進捗状況≫
■(仮称)清水区本郷町大規模小売店舗跡整備事業(ハード)【実施済】
〈概要〉商業店舗、ホテル、マンション等を整備する。
〈状況〉平成30年度に上記施設が全て竣工
〈国の支援措置〉なし
■富士山コスプレ世界大会(ソフト)【実施中】
〈概要〉コスプレ大会を実施する。
〈状況〉平成30年度来場者数37,000人
〈国の支援措置〉
・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)
■清水港客船誘致事業(ソフト)【実施中】
〈概要〉清水港に客船や帆船を誘致し外国人客の来街につなげる。
〈状況〉平成30年度29隻入港
〈国の支援措置〉
・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

≪今後の方針≫
コスプレ世界大会や清水港への客船寄港数が増加しており国外からの誘客が進んでいる。今後も観光機能拡充を図る。

“てくてくらくらく、あちこち巡るずっと居たいまち

≪主要事業の進捗状況≫
■清水港まぐろきっぷ・清水港マグロまつり(ソフト)【実施中】
〈概要〉食事券とバス利用券がセットになった切符の発行やまぐろ関連イベントを行う。
〈状況〉切符発行は継続実施、10月7日清水港マグロまつり2018開催
〈国の支援措置〉
・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)
■静岡鉄道新車両導入事業(ハード)【実施中】
〈概要〉新車両全24両(12編成)を導入する。
〈状況〉平成30年度に随時新型車両を導入
〈国の支援措置〉
・訪日外国人旅行者受入加速化事業費補助金(国土交通省)
■清水都心ウォーターフロント活性化推進事業(ソフト)【実施中】
〈概要〉フリトラ市、オープンカフェ等を実施する。
〈状況〉フリトラ市を毎月開催、その他各種イベントを実施
〈国の支援措置〉
・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

≪今後の方針≫
清水地区・静岡地区においてホテルの建設・オープンが増加していることから、観光客の増加による滞在時間の増加を見込んでいる。

静岡県浜松市 中心市街地活性化基本計画の概要

【計画期間】平成27年1月～令和2年3月
【人口】81.1万人(H26)、【面積】1558km²

【目指す中心市街地の都市像】

- 『浜松版コンパクトシティ』の核づくり
- 『創造都市・浜松』の顔づくり
- 『浜松版都心経営モデル』の確立

【取組概要】

(1) 来たい都心(まち)～にぎわいのある魅力あふれる空間の創出～

- ① 浜松城公園整備事業
徳川家康公顕彰400年記念事業
「出世の街浜松」プロモーション事業

- ② 新駐車場システム構築事業
- ③ まちなかアート整備事業

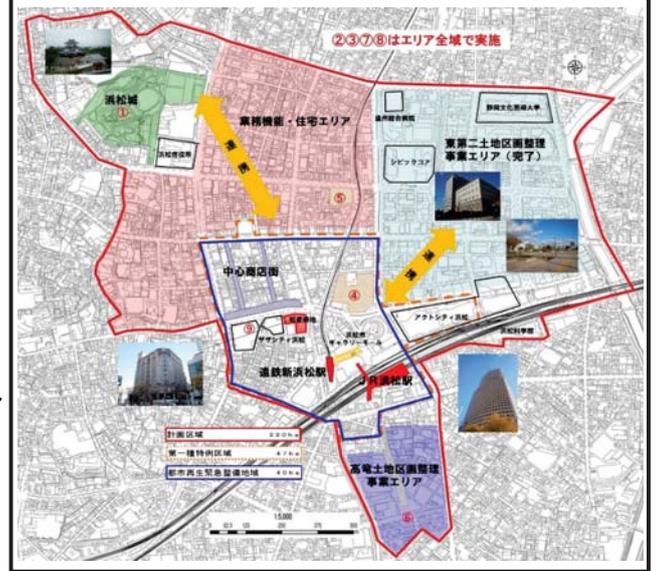
(2) 住みたい都心(まち)～快適な都心生活空間の創出～

- ④ 旭・板屋A地区市街地再開発事業
- ⑤ 常盤町優良建築物等整備事業
- ⑥ 高竜土地区画整理事業

(3) 参加したい都心(まち)～市民協働による浜松型都心経営モデル～

- ⑦ 都心既存ストックの利活用事業
- ⑧ 創業都市浜松推進事業
- ⑨ 浜松こども館を核としたまちなか子育て支援事業

【中心市街地】人口：11,359人(H26)、【面積】220ha



【計画目標】

目標	目標指標	基準値(H26)	目標値(R1)	最新値※(H30)
来たい都心(まち) ～にぎわいのある魅力あふれる空間の創出～	歩行者通行量	99,392人/日	109,300人/日	102,049人/日 B
	公共施設入場者数	1,493,078人(H25)	1,550,000人	1,502,660人 B
住みたい都心(まち) ～快適な都心生活空間の創出～	居住人口	11,359人	13,100人	11,832人 B
参加したい都心(まち) ～市民協働による浜松型都心経営モデル～	空き店舗区画数	71区画	53区画	87区画 C

※「最新値※」: 基準値からの改善状況(A目標達成、B基準値達成、C基準値未達成)

静岡県浜松市 中心市街地活性化基本計画の進捗状況 (H30定期フォローアップ等)

来たい都心(まち)

～にぎわいのある魅力あふれる空間の創出～

《主要事業の進捗状況》

■ **浜松城公園整備事業(ハード)【実施中】**
 〈概要〉「浜松城公園歴史ゾーン整備基本計画」に基づき浜松城の整備を行う。
 〈状況〉令和元年度完了予定
 〈国の支援措置〉
 ・社会資本整備総合交付金(都市公園等事業)
 (国土交通省)(活用予定)

■ **浜松こども館管理・運営事業(ソフト)【実施中】**
 〈概要〉子育て支援機能を持った複合施設を管理運営する。
 〈状況〉平成29年度来場者数206,264人
 〈国の支援措置〉
 ・子ども・子育て支援交付金(内閣府)

■ **観光客誘致等事業(ソフト)【実施中】**
 〈概要〉産業観光の推進と観光プロモーション強化、インバウンド戦略の推進に関する事業を実施する。
 〈状況〉平成29年度は大河ドラマの影響が大きく、主要観光施設の来客数が増加
 〈国の支援措置〉
 ・地方創生推進交付金(内閣府)

《その他の国の支援措置の活用状況》

■ **出世の街浜松家康公祭り事業(ソフト)【実施中】**
 ・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

《今後の方針》

各事業とも概ね順調に進捗しており、効果が表れつつある状況にある。また、公共施設入場者は目標値を上回る結果となっており、引き続き各種事業を継続的に取り組むとともに、魅力創出と日常的な来街者の獲得に注力していく。

住みたい都心(まち)

～快適な都心生活空間の創出～

《主要事業の進捗状況》

■ **旭・板屋A地区市街地再開発事業(ハード)【実施中】**
 〈概要〉商業・住居の複合施設建設による土地の高度利用と都市機能の更新を図る。
 〈状況〉平成29年度建築工事に着手、令和元年度完了予定
 〈国の支援措置〉
 ・社会資本整備総合交付金(市街地再開発事業等)
 (国土交通省)

■ **常盤町優良建築物等整備事業(ハード)【実施中】**
 〈概要〉土地の高度利用を図り、快適な居住空間を提供する。
 〈状況〉平成29年度西区第1期建築工事に着手、令和元年度工事完了予定
 〈国の支援措置〉
 ・社会資本整備総合交付金(優良建築物等整備事業)
 (国土交通省)

《その他の国の支援措置の活用状況》

■ **高竜土地区画整理事業(ハード)【実施済】**
 ・社会資本整備総合交付金(道路事業(区画))
 (国土交通省)

《今後の方針》

民間事業者によるマンション建設等により、中心市街地の居住人口はほぼ前年並みである状況。当初計画通り事業を推進すること及び、民間事業者による新規マンション建設案件が出てきていること等により居住人口の増加を見込む。

参加したい都心(まち)

～市民協働による浜松型都心経営モデル～

《主要事業の進捗状況》

■ **都心既存ストックの利活用事業(ソフト)【実施中】**
 〈概要〉リノベーションスクールを開催し、サブリース事業の実施主体を育成し、遊休不動産活用を促進する。
 〈状況〉リノベーションスクールを中心として遊休不動産活用及びまちづくりの担い手の発掘・育成を実施
 〈国の支援措置〉なし

■ **創業都市浜松推進事業(ソフト)【実施中】**
 〈概要〉遊休不動産のリノベーション等による創業支援施設やシェアオフィスの設置・運営等を実施する。
 〈状況〉雑貨市を開催し起業候補者の発掘・育成に寄与している一方、事業化に繋がっておらず進捗が停滞
 〈国の支援措置〉なし

■ **浜松こども館を核としたまちなか子育て支援事業(ソフト)【実施中】**
 〈概要〉子育てしやすい街の環境整備を検討するとともに、子育て関連店舗の出店を図る。
 〈状況〉浜松こども館は順調な集客効果を生んでおりこども館だけでなく街中へ出ていくイベントも開催されている。
 〈国の支援措置〉なし

《今後の方針》

新規出店者が少ないことや廃業、施設老朽化による閉店等により空き店舗区画数が大きく増加している状況であり、今後、都心既存ストックの利活用やはままつり創業カフェの活用といった施策を積極的に推進する。

静岡県掛川市 中心市街地活性化基本計画の概要

【計画期間】平成27年4月～令和2年3月
【人口】11.8万人(H26)、【面積】265.63km²

【目指す中心市街地の都市像】

協働による新たな賑わい創出
～協働によるまちづくり～

【取組概要】

(1) まちなかの賑わい創出

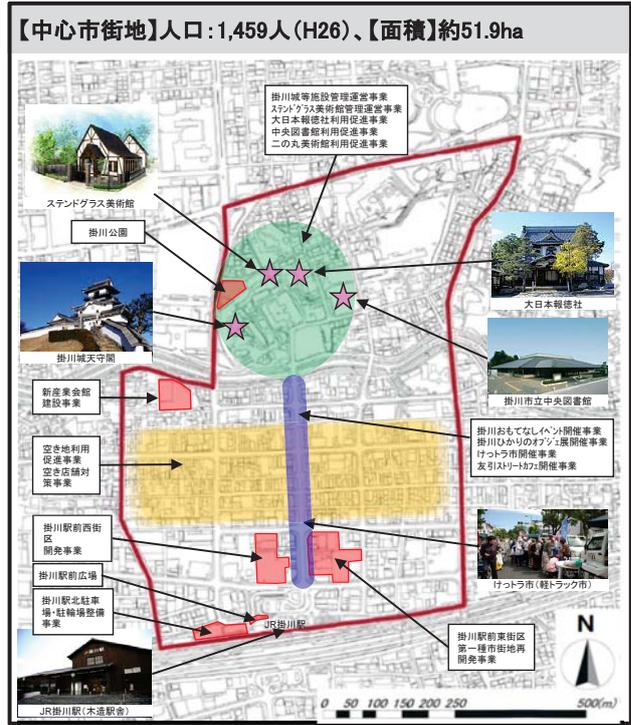
- ① 掛川駅北駐車場・駐輪場整備事業
- ② 全国軽トラック市サミット誘致・開催事業

(2) まちなか居住の促進

- ③ 掛川駅前東街区第一種市街地再開発事業
- ④ 掛川駅前西街区開発事業

(3) まちなか交流人口の増加

- ⑤ 掛川城等施設管理運営事業
- ⑥ ステンドグラス美術館管理運営事業



【計画目標】

目標	目標指標	基準値	目標値(R1)	最新値※(H30)
まちなかの賑わい創出	歩行者通行量(平日)	5,285人(H26)	6,750人	5,938人 B
まちなか居住の促進	居住人口	1,459人(H26)	1,660人	1,498人 B
まちなか交流人口の増加	施設利用者数	469,834人(H25)	541,000人	543,718人 A

※「最新値」：基準値からの改善状況(A目標達成、B基準値達成、C基準値未達成)

静岡県掛川市 中心市街地活性化基本計画の進捗状況 (H30定期フォローアップ等)

まちなかの賑わい創出

《主要事業の進捗状況》

■東街区商業集積整備事業(ハード)【実施済】

〈概要〉再開発事業により整備される商業施設を取得し、不足業種や集客力の高い業種による商業集積を形成する。

〈状況〉平成27年10月1日開業

〈国の支援措置〉

- ・特定民間中心市街地経済活力向上事業計画の経済産業大臣認定(経済産業省)
- ・商店街まちづくり事業(中心市街地活性化事業)(経済産業省)

《その他の国の支援措置の活用状況》

■掛川駅北駐車場・駐輪場整備事業

(ハード)【未実施】

- ・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省)(活用予定)

■全国軽トラック市サミット誘致・開催事業

(ソフト)【実施中】

〈概要〉『第6回全国軽トラ市inかけがわ』開催概要令和元年12月7日(土)にシンポジウムや交流会を実施し、8日(日)には全国軽トラ市を掛川駅から掛川城を舞台に開催。全国各地で軽トラ市を開催している団体が参加

- ・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)(活用予定)

《今後の方針》

主要事業は概ね順調に進捗している。今後は再開発事業により整備された「にぎわい広場」を活用して誘客イベントを商店街と一体となってイベントを開催し回遊性を持たせることで、中心市街地全体に効果を波及させ、賑わい創出へ繋げたい。また全国軽トラ市を開催することで全国へ情報発信をする。

まちなか居住の促進

《主要事業の進捗状況》

■掛川駅前東街区第一種市街再開発事業

(ハード)【実施済】

〈概要〉まちなかの大規模遊休地を解消し、商業施設、住宅等を整備する。

〈状況〉平成28年9月からマンションの入居を開始し、77戸での入居が完了

〈国の支援措置〉

- ・社会資本整備総合交付金(市街地再開発事業等)(国土交通省)

■掛川駅前西街区開発事業(ハード)【未実施】

〈概要〉民間活力を活用し、住宅、多目的ホール、商業施設、駐車場等の整備を行う。

〈状況〉平成27年度に市議会特別委員会において、公募型民間開発が望ましいと報告を受けた。事業実施に向け民間事業者へ働きかけを行っている。

〈国の支援措置〉

- ・社会資本整備総合交付金(優良建築物等整備事業)(国土交通省)(活用予定)

《その他の国の支援措置の活用状況》

■都市計画道路塩町中央線他整備事業(ハード)【実施済】

(ハード)【実施済】

- ・社会資本整備総合交付金(市街地再開発事業等)(国土交通省)

《今後の方針》

平成30年4月現在では居住人口が1,498人となり、再開発事業の効果が継続して発現している。西街区の開発事業者が決定したが、事業スケジュールは計画期間内の完了は見込めず、目標達成は厳しい状況になった。今後は、出来るだけアパートやマンションなど民間事業者の投資を呼び込むようソフト事業を実施していく。

まちなか交流人口の増加

《主要事業の進捗状況》

■掛川城等施設管理運営事業

(ソフト)【実施中】

〈概要〉掛川城、二の丸茶室等の各施設を民間企業への指定管理により一元管理する。

〈状況〉施設を利用した多彩なイベントを開催したが、平成30年度来場者数25千人減少

〈国の支援措置〉なし

■ステンドグラス美術館管理運営事業

(ソフト)【実施中】

〈概要〉ステンドグラス美術館を民間企業への指定管理により運営する。

〈状況〉平成27年6月に開業、29年度来館者数28千人となり、29年度に比べ2千人減少

〈国の支援措置〉なし

■大日本報徳社利用促進事業

(ソフト)【実施中】

〈概要〉掛川城等施設の指定管理者等と連携し、国指定重要文化財である大講堂などの利用者の増加を図る。

〈状況〉平成30年度の施設有料入館者数は、26千人

〈国の支援措置〉なし

《今後の方針》

ステンドグラス美術館は、入館者数が減少傾向である。それでも、その他の施設は掛川城等の周辺施設や商店街と協働で観光パスポートを発行するなど交流人口を伸ばしており、目標値を達成している。今後も継続して連携を図り、各施設全てが施設毎の目標を達成するよう実績を伸ばしていきたい。

静岡県藤枝市 中心市街地活性化基本計画の概要

【計画期間】平成30年4月～令和5年3月
【人口】14.6万人(H28)、【面積】194.06km²

【目指す中心市街地の都市像】

質の高い暮らし 溢れる賑わい しずおか中部の生活・交流拠点

【取組概要】

(1) 都市機能集積による生活利便性の向上

- ① 藤枝駅前一丁目6街区第一種市街地再開発事業
- ② 田沼一丁目3地区・16地区マンション整備事業
- ③ 子育てファミリー移住定住促進事業

(2) 個性的で魅力ある店舗の出店促進によるエリアの求心力向上

- ④ 大学を核に、情報ビジネスで人の流れをつくる藤枝“活動・交流都心”創造計画
- ⑤ リノベーション総合支援事業
- ⑥ 空き店舗開業支援事業

(3) 街なかの活動・交流機会の創出による屋間の賑わいの向上

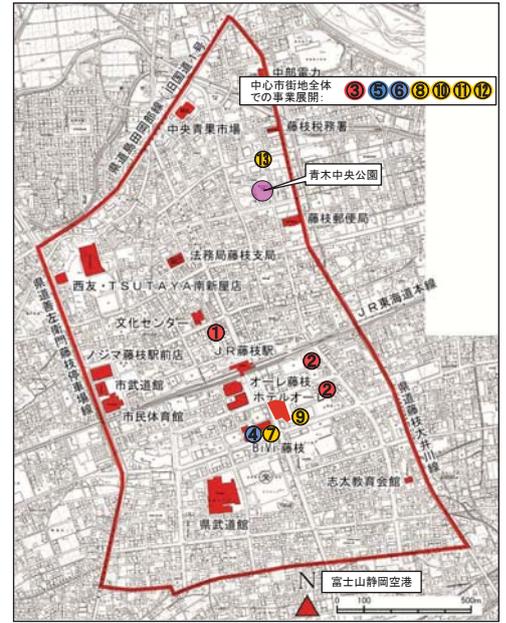
- ⑦ 大学を核に、情報ビジネスで人の流れをつくる藤枝“活動・交流都心”創造計画【再掲】
- ⑧ ICTで人の流れを呼び込むまちづくりの取組み
- ⑨ 田沼一丁目18地区商業施設整備事業

(4) 中心市街地外との連携による街なかへの集客力の向上

- ⑩ 藤まつり連携事業
- ⑪ さわかウォーキング連携事業
- ⑫ 駅周辺広場・道路空間賑わい創出事業
- ⑬ 青木地区回遊型イベント事業

【計画目標】

【中心市街地】人口：10,629人(H28)、【面積】約160ha



目標	目標指標	基準値	目標値	最新値※
都市機能集積による生活利便性の向上	居住人口【社会増】	93人/年(H25～H28)	103人/年(H30～R4)	198人/年(H30) A
個性的で魅力ある店舗の出店促進によるエリアの求心力向上	空き店舗数	49件(H28)	36件(R4)	46件(H30) B
街なかの活動・交流機会の創出による屋間の賑わいの向上	屋間の歩行者通行量	7,356人/日(H29)	8,020人/日(R4)	7,380人/日(H30) B
中心市街地外との連携による街なかへの集客力の向上	イベント来場者数	53,319人/年(H28)	62,000人/年(R4)	53,833人/年(H30) B

※「最新値」：基準値からの改善状況(A目標達成、B基準値達成、C基準値未達成)

静岡県藤枝市 中心市街地活性化基本計画の進捗状況 (H30定期フォローアップ等)

都市機能集積による生活利便性の向上	個性的で魅力ある店舗の出店促進によるエリアの求心力向上	街なかの活動・交流機会の創出による屋間の賑わいの向上	中心市街地外との連携による街なかへの集客力の向上
<p>《主要事業の進捗状況》</p> <p>■藤枝駅前一丁目6街区第一種市街地再開発事業(ハード)【実施中】 〈概要〉駅前商店街の中心に位置する立地特性を活かし、居住環境整備とともに、暮らしを支える施設、商業施設等を整備し、“街なか居住支援拠点”を形成する。 〈状況〉権利者の合意形成に時間を要し、事業化には至っていない状況 〈国の支援措置〉 ・社会資本整備総合交付金(市街地再開発事業等)(国土交通省) 【活用予定】</p> <p>■子育てファミリー移住定住促進事業(ソフト)【実施中】 〈概要〉子育てファミリーが市内で新築住宅を建築又は購入する際に要する経費等に対して助成をする。 〈状況〉助成件数5件(18人増加) 〈国の支援措置〉なし</p> <p>《その他の国の支援措置の活用状況》</p> <p>■情報メディア研究展開事業(ソフト)【実施中】 ・地方創生推進交付金(内閣府)</p>	<p>《主要事業の進捗状況》</p> <p>■街なかストックリノベーション事業(ソフト)【実施中】 〈概要〉空き店舗等への出店に向けたプロセスや開業等の支援を行う。 〈状況〉リノベーションまちづくり構想、ガイドブックの作成、推進体制の構築 〈国の支援措置〉 ・地方創生推進交付金(内閣府)</p> <p>■リノベーション総合支援事業(ソフト)【未実施】 〈概要〉リノベーションスクールの開催等により、空き店舗等の活用を推進する。 〈状況〉街なかストックリノベーション事業への統合を検討 〈国の支援措置〉 ・地域・まちなか商業活性化支援事業費補助金(中心市街地再興戦略事業)のうち調査事業、専門人材活用支援事業(経済産業省)</p> <p>■空き店舗開業支援事業(ソフト)【実施中】 〈概要〉空き店舗への出店・開業をサポートし、特に課題となっている屋間の賑わいづくりを推進する。 〈状況〉9店舗の出店に対し助成を実施 〈国の支援措置〉なし</p>	<p>《主要事業の進捗状況》</p> <p>■大学を核に、情報ビジネスで人の流れをつくる藤枝“活動・交流都心”創造計画(ソフト)【実施中】 〈概要〉地域産業の成長と新たなビジネス創出、就職の支援等を行う産学官連携の情報・経営ビジネスの拠点を形成する。 〈状況〉施設利用者28,000人(前年度比20,000人増)、歩行者通行量基準年比266人増 〈国の支援措置〉 ・地方創生推進交付金(内閣府)</p> <p>■地元企業ICT導入促進事業(ソフト)【実施中】 〈概要〉産業界に向けた説明会やICT導入コーディネートを実施する。 〈状況〉セミナー参加者245人(5回開催) 〈国の支援措置〉 ・地方創生推進交付金(内閣府)</p> <p>■ICT活用エキスパート養成事業(ソフト)【実施中】 〈概要〉高校生以上を対象にICTの実践的な講座を実施する。 〈状況〉講座参加者144人(6講座) 〈国の支援措置〉 ・地方創生推進交付金(内閣府)</p> <p>《その他の国の支援措置の活用状況》</p> <p>■大規模小売店舗立地法の特例措置(ソフト)【実施済】 ・大規模小売店舗立地法の特例(第二種大規模小売店舗立地法特例区域)(経済産業省)</p>	<p>《主要事業の進捗状況》</p> <p>■駅周辺広場・道路空間賑わい創出事業(ソフト)【実施中】 〈概要〉道路空間等を活用した各種イベント事業を毎月1回以上開催する。 〈状況〉イベント来場者数5,709人(5回開催) 〈国の支援措置〉 ・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省)</p> <p>■青木地区回遊型イベント事業(ソフト)【実施中】 〈概要〉民間事業者による青木中央公園等の拠点施設を中心に店舗や施設と連携した回遊イベントを実施する。 〈状況〉周辺自治会と協議が進まず、平成30年度の開催は断念 〈国の支援措置〉なし</p> <p>■街なか物産市開催事業(ソフト)【実施中】 〈概要〉駅周辺広場や道路空間等を活用し、物産市を開催する。 〈状況〉平成30年度は台風により中止 〈国の支援措置〉なし</p> <p>《その他の国の支援措置の活用状況》</p> <p>■スマイルキッズタウンふじえだ(ソフト)【実施中】 ・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)</p>
<p>《今後の方針》</p> <p>藤枝駅前一丁目6街区第一種市街地再開発事業のさらなる推進とその他のソフト事業の継続展開をしていく。</p>	<p>《今後の方針》</p> <p>引き続き、空き店舗開業支援事業や街なかストックリノベーション事業を中心に、事業の見直しを行いながら魅力ある店舗の出店を促進していく。</p>	<p>《今後の方針》</p> <p>追加した田沼一丁目18地区商業施設整備事業や主要事業を引き続き推進していく。</p>	<p>《今後の方針》</p> <p>新規イベントの開催や中心市街地地区外のイベントとの連携により、引き続き主要事業を中心に積極的に推進していく。</p>

愛知県豊田市 中心市街地活性化基本計画の概要

【計画期間】平成30年4月～令和5年3月
【人口】42.5万人(H30)、【面積】918.32km²

【目指す中心市街地の都市像】

緑の環境都市軸(スタジアムアベニュー)の創造

【取組概要】

(1) まちなかにぎわい創出

- ① まちなかにぎわい・回遊性向上事業
- ② まちなかコミュニティ施設連携事業
- ③ 低炭素社会モデル地区整備事業
- ④ 新豊田駅東口駅前広場整備事業
- ⑤ 豊田市駅西口ペDESTリアンデッキ整備事業
- ⑥ 駐車場利便性向上事業

(2) 公民連携による活性化

- ⑦ 公共的空間活用等研究事業
- ⑧ エリアマネジメント推進組織『一般社団法人TCCM』によるまちづくり及びプロモーション事業

【中心市街地】人口：13,425人(H30)、【面積】196ha



【計画目標】

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値
まちなかにぎわい創出	歩行者通行量 (昼間9～17時)	31,507人/日 (H28)	32,584人/日 (R4)	32,094人/日 B (H30)
	フリーパーキング 対象駐車場の総利用時間	601万台・時間 (H28)	700万台・時間 (R4)	645万台・時間 B (H30)
公民連携による活性化	公共的空間の利用率	27.2% (H28)	36.5% (R4)	27.4% B (H30)

【最新値※】: 基準値からの改善状況(A目標達成、B基準値達成、C基準値未達成)

愛知県豊田市 中心市街地活性化基本計画の進捗状況 (H30定期フォローアップ等)

まちなかにぎわい創出

《主要事業の進捗状況》

■まちなかにぎわい・回遊性向上事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉「中心市街地まちなか宣伝会議」が情報発信、集客イベント等を合同で実施する。
〈状況〉映画チケットを利用したサービス事業やシネコンでの上映作品と連動した集客イベントを実施することで、シネコンを含めた商業ビル全体で年間約25万人が来訪。

〈国の支援措置〉なし

■新豊田駅東口駅前広場整備事業(ハード)【実施中】

〈概要〉一般車、バス、タクシーなどの交通処理施設及び多様な利活用が可能な広場としての再整備を実施する。

〈状況〉市民や広場利用者とのワークショップの実施や実験をもとにリニューアル工事を実施

〈国の支援措置〉

・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省)

■豊田市駅西口ペDESTリアンデッキ整備事業(ハード)【実施中】

〈概要〉鉄道、バス等の利用者の円滑な移動を確保するとともに、周辺の商業施設等との一体利用やイベント利用を図るためユニバーサル対応のペDESTリアンデッキの再整備を行う。

〈状況〉西口ペDESTリアンデッキ再整備に係る詳細設計及び関連事業者との協議・調整を実施

〈国の支援措置〉

・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省)

■駐車場利便性向上事業(ソフト・ハード)【実施中】

〈概要〉駐車場施設再整備やフリーパーキング駐車場の誘導方法及びシステムの見直しを行う。

〈状況〉車番認証システムや、事前に空き台数を知らせる場外誘導設備の導入を実施。

〈国の支援措置〉なし

《その他の国の支援措置の活用状況》

■豊田市駅前通り北地区第一種市街地再開発事業(ハード)【実施済】

・社会資本整備総合交付金(市街地再開発事業等)(国土交通省)

■中心市街地テナントミックス整備事業(ハード)【実施中】

・地域・まちなか活性化・魅力創出支援事業費補助金(中心市街地活性化支援事業)のうち先導的・実証的の事業(経済産業省)

■まちなか案内事業(ソフト)【実施中】

・中心市街地商業活性化診断・サポート事業(経済産業省)

《今後の方針》

主要事業は概ね順調に進捗しており、さらに中心市街全体の回遊性を高める取組を重点的に行う。

公民連携による活性化

《主要事業の進捗状況》

■公共的空間活用等研究事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉公共的空間の活用に関する検討及び社会実験を実施する。

〈状況〉都市公園を活用した「STREET & PARK MARKET」を年に11回開催し、約50～90店舗の出店やラグビーワールドカップ2019™のおもてなしに向けた実証実験として、豊田市駅前の道路空間を活用した「Toyota Street Market」を開催。

〈国の支援措置〉なし

■エリアマネジメント推進組織((一社)TCCM)による

まちづくり及びプロモーション事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉法人格を持ったまちづくり組織がまち・エリアの価値を維持及び向上させる事業を展開していく。

〈状況〉「まちづくり事業」として、公共的空間を活用したマーケットの開催やカフェの運営、「プロモーション事業」として、まちなかの集客や魅力を発信する「まちなか宣伝会議」の運営を実施。

〈国の支援措置〉

・地域・まちなか活性化・魅力創出支援事業費補助金(中心市街地活性化支援事業)のうち調査事業、専門人材活用支援事業(経済産業省)

《今後の方針》

主要事業は概ね順調に進捗しているものの、目標達成に向けて事業の実施方法の見直しをはじめとする対策が必要である。

愛知県田原市 中心市街地活性化基本計画の概要

【計画期間】平成28年4月～令和3年3月
【人口】6.2万人(H26)、【面積】191.12km²

【目指す中心市街地の都市像】

花・緑・歴史的景観など「田原らしさ」を感じられ、歩いて楽しい
活気あるまち

【取組概要】

(1) まちなかを歩く人を増やす

- ① 三河田原駅前工場跡地活用事業
- ② 歴史ウォーキングトレイル修景事業
- ③ 水辺ウォーキングトレイル修景事業
- ④ 幸せの四つ葉プロジェクト事業
- ⑤ まちなか賑わいイベント開催事業

(2) まちなかに住む人を増やす

- ⑥ 居場所づくり支援事業
- ⑦ 在宅高齢者御用聞きサポート事業

(3) 新規出店や活動場所を増やす

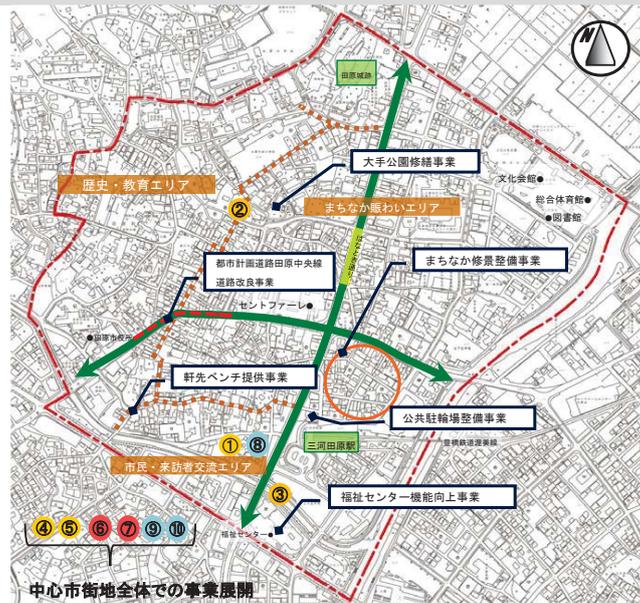
- ⑧ まちなか広場整備事業
- ⑨ 起業チャレンジ促進事業
- ⑩ 産業人材育成事業

【計画目標】

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値※
まちなかを歩く人を増やす	歩行者・自転車通行量 (平・休日3地点平均値)	1,769人 (H27)	2,100人 (R2)	1,701人 C (H30)
まちなかに住む人を増やす	居住人口 (中心市街地内)	2,941人 (H27)	3,040人 (R2)	2,916人 C (H31)
新規出店や活動場所を増やす	新規出店・開設施設数 (中心市街地内)	17件 (H22-H26)	25件 (H28-R2)	16件 C (H28-H30)

※「最新値」: 基準値からの改善状況(A目標達成、B基準値達成、C基準値未達成)

【中心市街地】人口: 2,941人(H27)、【面積】約88ha



愛知県田原市 中心市街地活性化基本計画の進捗状況 (H30定期フォローアップ等)

まちなかを歩く人を増やす

《主要事業の進捗状況》

- 三河田原駅前工場跡地活用事業(ハード)【実施済】
〈概要〉飲食店や子育て施設等の複合施設を整備する。
〈状況〉平成31年4月に親子交流施設が開業。
〈国の支援措置〉
・地域未来投資促進事業(まちなか集客力向上支援事業)(経済産業省)
- 歴史ウォーキングトレイル修景事業(ハード)【実施中】
〈概要〉歴史資源を結ぶ道路を散策道として修景整備する。
〈状況〉平成30年度は今後の工事に向けた地域住民との意見交換を実施。
〈国の支援措置〉
・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省)
- 水辺ウォーキングトレイル修景事業(ハード)【実施中】
〈概要〉桜並木整備や舗装美装など修景整備する。
〈状況〉平成30年度は140.4mの整備を実施。
〈国の支援措置〉
・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省)
- シンボルロード花いっぱい事業(ソフト)【実施中】
〈概要〉田原駅前通り線及びはなとき通りを中心に花が咲く植物を市民との協働により植栽し管理する。
〈状況〉年間を通じて事業を実施している。
〈国の支援措置〉
・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)
- 《その他の国の支援措置の活用状況》
- 田原市街地バス運行事業(ソフト)【実施中】
・地域公共交通確保維持改善事業(地域公共交通確保維持事業)(国土交通省)

《今後の方針》

今後も、三河田原駅前工場跡地活用事業等による環境整備(子育て施設の整備・道路修景など)と合わせ、まちなか賑わいイベントといったソフト事業を総合的に実施することで、人の賑わいを伸ばしていく。

まちなかに住む人を増やす

《主要事業の進捗状況》

- 空き家・空き地バンク活性化事業(ソフト)【実施中】
〈概要〉既存の空き家・空き地バンク制度の物件数を増やすとともに、家主や地域と居住希望者とのマッチングを強化する。
〈状況〉平成30年度の成約実績は0件。
〈国の支援措置〉なし
- 住宅供給推進事業(ソフト)【実施中】
〈概要〉ファミリー世帯の定住や高齢者の居住安定に向けた民間の住宅供給へ支援を行う。
〈状況〉平成30年度は民間事業者への情報提供・交渉を実施。
〈国の支援措置〉なし
- 《その他の国の支援措置の活用状況》
- 市道東大浜4号線道路改良事業(ハード)【実施済】
・社会資本整備総合交付金(道路事業(街路))(国土交通省)
- 在宅高齢者御用聞きサポート事業(ソフト)【実施中】
・地域商業自立促進事業(経済産業省)(活用予定)
- 公共駐輪場整備事業(ハード)【実施済】
・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省)

《今後の方針》

空き家・空き地バンク制度の積極的な周知や住宅開発など民間事業者の投資を呼び込むことにより、中心市街地の魅力を向上させ、実績を伸ばしていく。

新規出店や活動場所を増やす

《主要事業の進捗状況》

- (再掲)三河田原駅前工場跡地活用事業(ハード)【実施済】
- 居場所づくり支援事業(ソフト)【未実施】
〈概要〉市民主体のコミュニティ空間の整備・運営に対して、市が経費を助成する。
〈状況〉平成30年度は事例研究のみ実施。
〈国の支援措置〉
・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)(活用予定)
- 空き店舗活用モデルリノベーション事業(ソフト)【実施中】
〈概要〉空き店舗を借り上げてモデル改修し、新規出店者に賃貸する。
〈状況〉平成30年度は情報収集、勉強会、制度設計を実施。
〈国の支援措置〉
・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)(活用予定)
- 産業人材育成事業(ソフト)【実施中】
〈概要〉新規創業者などの人材を育成するため、商人塾、各種講座等を開催する。
〈状況〉平成30年度はセミナーを6回開催。
〈国の支援措置〉
・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)(活用予定)
- 出店促進事業(ソフト)【実施中】
〈概要〉空き店舗を活用した出店への経費を助成する。
〈状況〉平成30年度の助成実績は0件。
〈国の支援措置〉なし
- 《その他の国の支援措置の活用状況》
- まちなか広場整備事業(ハード)【実施済】
・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省)

《今後の方針》

三河田原駅前工場跡地活用事業における環境整備、産業人材育成事業や出店促進事業といったソフト事業を総合的に実施し、中心市街地の魅力の向上や希望事業者への支援を行い、出店の促進を図っていく。

三重県伊勢市 中心市街地活性化基本計画の概要

【計画期間】平成28年4月～令和3年3月
【人口】12.7万人(H26)、【面積】208.35km²

【目指す中心市街地の都市像】

暮らしやすく、また訪れたいくなる 伊勢のまち

【取組概要】

(1) 中心市街地の魅力増進によるにぎわいの創出とまちなかの回遊性の向上

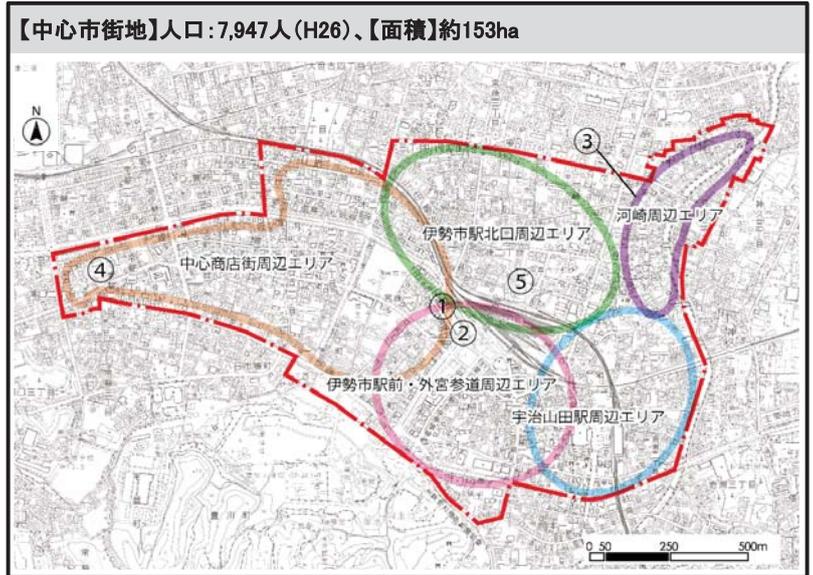
- ①伊勢市駅前地区第一種市街地再開発事業
- ②優良建築物等整備事業
- ③河崎まちなみ環境整備事業

(2) 商店街の魅力創出による商業の活性化

- 伊勢やまだ大学事業
- 商業魅力アップ支援事業
- 商店街空き店舗対策事業

(3) 都市機能の強化によるまちなか居住の促進

- ④JT用地活用事業
- ⑤伊勢市駅北口広場等整備事業



【計画目標】

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値※
中心市街地の魅力増進によるにぎわいの創出とまちなかの回遊性の向上	商店街の歩行者通行量	2,957人(H26年度)	3,105人(R2年度)	2,838人(H30年度) C
商店街の魅力創出による商業の活性化	空き店舗率	33.9%(H26年度)	26.4%(R2年度)	36.6%(H30年度) C
都市機能の強化によるまちなか居住の促進	人口の社会増減	△160人(H22～26年度の合計)	±0人(H28～R2年度の合計)	△104人(H28～29年度の合計) B

※「最新値」：基準値からの改善状況(A目標達成、B基準値達成、C基準値未達成)

三重県伊勢市 中心市街地活性化基本計画の進捗状況（H30定期フォローアップ等）

中心市街地の魅力増進によるにぎわいの創出とまちなかの回遊性の向上

商店街の魅力創出による商業の活性化

都市機能の強化によるまちなか居住の促進

《主要事業の進捗状況》

■伊勢市駅前地区第一種市街地再開発事業(ハード)【実施中】
〈概要〉伊勢市駅前地区の土地の高度利用を目的に複合施設を整備する。
〈状況〉B地区は権利変換認可を受け、C地区は推進計画を策定
〈国の支援措置〉
・社会資本整備総合交付金(市街地再開発事業)(国土交通省)

■優良建築物等整備事業(ハード)【実施済】
〈概要〉伊勢市駅の南側において宿泊施設を整備する。
〈状況〉平成28年11月に開業、平成30年度も高い稼働率を維持
〈国の支援措置〉
・社会資本整備総合交付金(優良建築物等整備事業)(国土交通省)

《その他の国の支援措置の活用状況》
■河崎まちなみ環境整備事業(ハード)【未実施】
・社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)(国土交通省)(活用予定)
■無電柱化整備事業(ハード)【実施中】
・防災・安全交付金(道路事業(街路))(国土交通省)

《今後の方針》
伊勢市駅前商店街の歩行者通行量は伸びつつあるが、他の商店街は減少傾向であることから、効果が中心市街地全域に波及されていないため、引き続きハード整備とあわせて、各ソフト事業にも取り組む。

《主要事業の進捗状況》
■商業魅力アップ支援事業(ソフト)【実施中】
〈概要〉商業環境の整備やにぎわいの創出に新たに取り組む商業団体に対して、事業費の一部を補助する。
〈状況〉平成30年度は2事業を実施
〈国の支援措置〉
・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

■商店街空き店舗対策事業(ソフト)【実施中】
〈概要〉空き店舗を活用して出店しようとする事業者に対して改装費や家賃の一部を補助する。
〈状況〉平成30年度利用件数12件
〈国の支援措置〉
・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

《その他の国の支援措置の活用状況》
■商店街活性化事業(ソフト)【実施中】
・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)
■中心市街地活性化協議会タウンマネージャー設置事業(ソフト)【実施中】
・地域・まちなか商業活性化支援事業費補助金(中心市街地再興戦略事業)のうち調査事業、専門人材活用支援事業(経済産業省)

《今後の方針》
空き店舗対策に対する補助制度のさらなる周知、商店街ビジョンに基づいた事業の進捗・管理を行うことによって、商店街の活動を活性化し、空き店舗解消に向けた取組を実施していく。

《主要事業の進捗状況》
■JT用地活用事業(ハード)【実施済】
〈概要〉大型複合施設(特定施設生活介護、サービス付高齢者住宅等)の整備及び運営を行う。
〈状況〉平成29年5月開業
〈国の支援措置〉
・サービス付高齢者向け住宅整備事業(国土交通省)

■空家等の改善整備事業(ハード・ソフト)【実施中】
〈概要〉耐震性の無い木造住宅の除却を促進し、効果的な土地利用及び地域の安全等を図るほか、空家バンク制度等の活用により、空家の利活用を促進する。
〈状況〉平成29年8月に創設した空家バンクへの物件登録、利用者登録が増加している。また、平成30年8月から新たな補助事業を運用
〈国の支援措置〉
・防災・安全交付金(社会資本総合整備計画(地域住宅支援))(国土交通省)

《今後の方針》
住宅整備により転出者は減ったが、依然として社会増に至っていない。今後は、空き家バンク制度のさらなる啓発、地域住民等と連携した空家対策により、移住に対する取り組みを進めていく。

滋賀県長浜市 中心市街地活性化基本計画の概要

【計画期間】平成26年4月～令和2年3月
【人口】12.3万人(H25)、【面積】約539.48km²(琵琶湖面積除く)

【目指す中心市街地の都市像】

- 統・博物館都市
- ～伝統と自然をくらしのなかに生かして美しく住む～
- ～新たな文化創造に挑戦し進取の気性を継承する～

【取組概要】

(1) 活発に人が行き交うまちの実現

- ①長浜駅南地区第一種市街地再開発事業
- ②長浜駅東地区第一種市街地再開発事業
- ③歴史的環境形成総合事業
- ④ライフスタイルショップ整備事業
- ⑤豊公園長寿命化事業

(2) 新たな交流を生み出すまちの実現

- ⑥盆梅展魅力強化事業
- ⑦長浜浪漫パスポート事業
- ⑧体験型観光推進事業
- ⑨ライフスタイルツーリズム事業
- ⑩長浜城歴史博物館魅力強化事業

(3) 暮らしやすいまちの実現

- ⑪元浜町13番街区第一種市街地再開発事業
- ⑫長浜駅北地区整備事業
- ⑬町家活用型まちなか居住推進事業
- ⑭公共公益ゾーン整備事業

【計画目標】

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値※
活発に人が行き交うまちの実現	歩行者・自転車通行量 (平日・休日平均)	35,018人 (H24)	36,800人 (R1)	26,713人 C (H30)
新たな交流を生み出すまちの実現	宿泊者数	410,000人 (H24)	420,000人 (R1)	419,400人 B (H30)
暮らしやすいまちの実現	市全体に占める中心市街地の 居住人口の割合	8.04% (H25.3末)	8.17% (R2.3末)	7.73% C (H30.3末)

※「最新値」: 基準値からの改善状況(A目標達成、B基準値達成、C基準値未達成)



滋賀県長浜市 中心市街地活性化基本計画の進捗状況 (H30定期フォローアップ等)

活発に人が行き交うまちの実現

新たな交流を生み出すまちの実現

暮らしやすいまちの実現

《主要事業の進捗状況》

- 長浜駅南地区第一種市街地再開発事業 (ハード)【実施済】
〈概要〉老朽化した商業施設を移転・新築し、生活密着型のコミュニティ商業施設を整備する。
〈状況〉平成27年2月に新施設オープン。当該事業箇所の通行量は、基準年と比べ721人増加
〈国の支援措置〉
・社会資本整備総合交付金(市街地再開発事業等)
(国土交通省)
- 長浜駅東地区第一種市街地再開発事業 (ハード)【実施済】
〈概要〉商業施設跡地に、新たな商業交流空間を創出する。
〈状況〉平成29年7月に施設オープン。当該箇所の通行量は、事業実施前と比べ418人増加
〈国の支援措置〉
・社会資本整備総合交付金(市街地再開発事業等)
(国土交通省)

- 《その他の国の支援措置の活用状況》
- 歴史的環境形成総合事業(ハード)【実施済】
・社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)
(国土交通省)
- ライフスタイルショップ整備事業(ハード)【実施済】
・地域・まちなか商業活性化支援事業費補助金(中心市街地再興戦略事業)のうち、先導的、実証的事業
(経済産業省)
- 豊公園長寿命化事業(ハード)【実施中】
・社会資本整備総合交付金(都市公園等事業)
(国土交通省)

- 《今後の方針》
- 主要事業の進捗に遅れが生じているが、駅周辺のエリアマネジメントを実施するえきまち長浜(株)や地域が協力して中心市街地の玄関口に新たな賑わいの創出を図っていく。

《主要事業の進捗状況》

- 盆梅展魅力強化事業(ソフト)【実施中】
〈概要〉旅行閑散期において、地域資源を活用したイベントを開催し、宿泊観光客を呼び込む。
〈状況〉平成30年度の入館者数は、48,455人
〈国の支援措置〉
・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)
- 長浜浪漫パスポート事業(ソフト)【実施中】
〈概要〉有料観光施設に入館できる共通パスポートを発行し、旅行者の滞在時間延長を促進する。
〈状況〉平成30年度の販売数は17,651冊
〈国の支援措置〉なし
- 体験型観光推進事業(ソフト)【実施中】
〈概要〉本市ならではの魅力を体験するオプションツアーを造成し、新たな顧客層を獲得する。
〈状況〉平成30年度の延べ宿泊者数は1,067人
〈国の支援措置〉なし
- ライフスタイルツーリズム事業(ソフト)【実施中】
〈概要〉市のライフスタイルを丁寧に紹介する高品質旅行商品を造成し、新たな顧客層を獲得する。
〈状況〉平成30年度のツアー利用者数は4,627人
〈国の支援措置〉なし

- 《その他の国の支援措置の活用状況》
- 長浜城歴史博物館魅力強化事業(ソフト)【実施中】
・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)
- 地域コンテンツ創造拠点整備事業(ハード)【実施済】
・中心市街地再生事業費補助金(商業施設改修等事業)(経済産業省)

- 《今後の方針》
- 来訪者の満足度を高めるソフト面の充実を図り、幅広い顧客層の獲得に向けた取組を継続することで、現状数値を維持していきたい。

《主要事業の進捗状況》

- 元浜町13番街区第一種市街地再開発事業 (ハード)【実施中】
〈概要〉商業施設及び集合住宅を整備する。
〈状況〉平成30年5月解体着工、工事完了は令和2年2月予定
〈国の支援措置〉
・社会資本整備総合交付金(市街地再開発事業等)
(国土交通省)
- 長浜駅北地区整備事業(ハード)【実施中】
〈概要〉都市福利機能を有する集合住宅を整備する。
〈状況〉平成30年6月解体着工、工事完了は令和2年3月予定
〈国の支援措置〉
・社会資本整備総合交付金(優良建築物等整備事業)
(国土交通省)
- まちなか居住推進事業(ソフト)【実施中】
〈概要〉まちなかで住宅を取得、空き家を改修を促進するインセンティブ制度
〈状況〉平成30年度の活用件数は8件(居住人数19人)
〈国の支援措置〉
・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業と一体の提案事業)(国土交通省)
- 《その他の国の支援措置の活用状況》
- 公共公益ゾーン整備事業(ハード)【実施済】
・社会資本整備総合交付金(暮らしにぎわい再生事業)
(国土交通省)
- 地域密着型サービス施設整備事業(ハード)【実施中】
・地域介護・福祉空間整備等交付金(厚生労働省)

- 《今後の方針》
- 居住人口を維持し、持続可能なまちを構築するため、平成30年度から実施する空き家の再活用及び地域コミュニティの再生にかかる取組を継続して実施することで、目標達成に努める。

滋賀県草津市 中心市街地活性化基本計画の概要

【計画期間】平成31年4月～令和6年3月
 【人口】13.3万人(H30)、【面積】48.65km²(琵琶湖面積除く)

【目指す中心市街地の都市像】

ひとが行き交い ひとが集い にぎわいと交流が広がる健幸なまち

【取組概要】

(1) 歴史と景観を活かした“ひとが行き交うまち”

- ①くさつ夢本陣前スペースの活用
- ②東海道沿道無電柱化事業
- ③中心市街地公共空間賑わい創出事業

(2) 「健幸づくり」を核として“ひとが集い交流するまち”

- ④(仮称)草津市立プール等整備事業
- ⑤野村スポーツゾーン利活用促進事業
- ⑥(仮称)市民総合交流センター整備事業
- ⑦健幸づくり交流事業

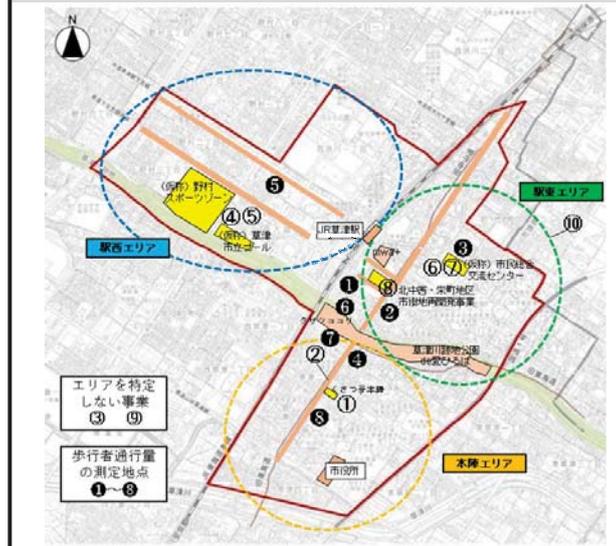
(3) 魅力ある店舗がつながる“にぎわいが広がるまち”

- ⑧北中西・栄町地区市街地再開発事業
- ⑨魅力店舗誘致事業
- ⑩(仮称)市民総合交流センタープロムナード利活用促進事業

【計画目標】

基本方針	目標指標	基準値	目標値
歴史と景観を活かした “ひとが行き交うまち”	歩行者通行量(休日)	9,717人/日(H29)	11,282人/日(R5)
	【参考指標】 にぎわい創出イベント参加者数	14,300人/年(H29)	15,730人/年(R5)
「健幸づくり」を核として “ひとが集い交流するまち”	健幸・観光・交流施設の利用者数	371,077人/年(H29)	592,427人/年(R5)
魅力ある店舗がつながる “にぎわいが広がるまち”	営業店舗数	692店舗(H29)	735店舗(R5)

【中心市街地】人口:23,621人(H30)、【面積】197ha



滋賀県草津市 中心市街地活性化基本計画の進捗状況 (H31.3認定、定期フォローアップ未実施)

歴史と景観を活かした “ひとが行き交うまち”

《主要事業の進捗状況》

■東海道沿道無電柱化事業(ハード)

〈概要〉本陣を含めた東海道沿いの歴史的な景観を後世に残しつつ、より美しい景観の形成を推進するため、無電柱化を実施する。

〈国の支援措置〉

- ・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省)

■中心市街地公共空間賑わい創出事業(ソフト)

〈概要〉中心市街地の広場や公共空間において、市がまちづくり会社と連携して、イベント開催など定期的な活用を行い、各拠点の魅力を高めることで回遊性の向上を図る。

〈国の支援措置〉

- ・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

■草津駅周辺地区バリアフリー化整備事業(ハード)

〈概要〉歩道や路肩の通行帯の段差の解消や、誘導ブロックの設置等により、安心・安全・快適な道路を整備する。

〈国の支援措置〉

- ・社会資本整備総合交付金(道路事業)(国土交通省)

《今後の方針》

H30定期フォローアップ対象外

「健幸づくり」を核として “ひとが集い交流するまち”

《主要事業の進捗状況》

■(仮称)草津市立プール等整備事業(ハード)

〈概要〉誰もが幅広く利用できる機能を備えた(仮称)草津市立プールを整備することにより、周辺施設との連携を図りながら、交流人口の拡大につなげる。

〈国の支援措置〉

- ・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省)

■(仮称)市民総合交流センター整備事業(ハード)

〈概要〉中心市街地に人、モノ、情報が交流する施設整備を進め、地域振興と市民交流の促進を図る。

〈国の支援措置〉

- ・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省)

■史跡草津宿本陣保存整備事業(ハード)

〈概要〉文化財的価値を持つ草津宿本陣の保存活用計画等を策定するとともに、公開施設の耐震補強工事等を行う。

〈国の支援措置〉

- ・史跡等保存活用計画等策定(文部科学省)
- ・歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業(文部科学省)

《今後の方針》

H30定期フォローアップ対象外

魅力ある店舗がつながる “にぎわいが広がるまち”

《主要事業の進捗状況》

■北中西・栄町地区市街地再開発事業(ハード)

〈概要〉駅前における、密集市街地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新を図る市街地再開発事業を支援し、居住環境の整備と店舗の集積によるまちなかの魅力向上を図る。

〈国の支援措置〉

- ・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省)

■魅力店舗誘致事業(ハード)

〈概要〉拠点施設への集客を活かした周辺への店舗誘致やテナントミックス等の手法で魅力ある店舗を増やすことで、活気ににぎわいを創出する。

〈国の支援措置〉

- ・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省)

■東海道・草津宿テナントミックス事業(ソフト)

〈概要〉空き家・空き店舗となっており活用可能な町家等において、顧客ニーズ等から必要な商業機能を分析し、戦略的に商業店舗を誘致する。

〈国の支援措置〉

- ・地域まちなか活性化・魅力創出支援事業費補助金(中心市街地活性化支援事業)のうち、先導的・実証的的事业(経済産業省)

《今後の方針》

H30定期フォローアップ対象外

滋賀県守山市 中心市街地活性化基本計画の概要

【計画期間】平成27年4月～令和2年3月
【人口】8.0万人(H26)、【面積】55.73km²

【目指す中心市街地の都市像】

住み続けたくなる“絆と活力ある共生都市”の創造

【取組概要】

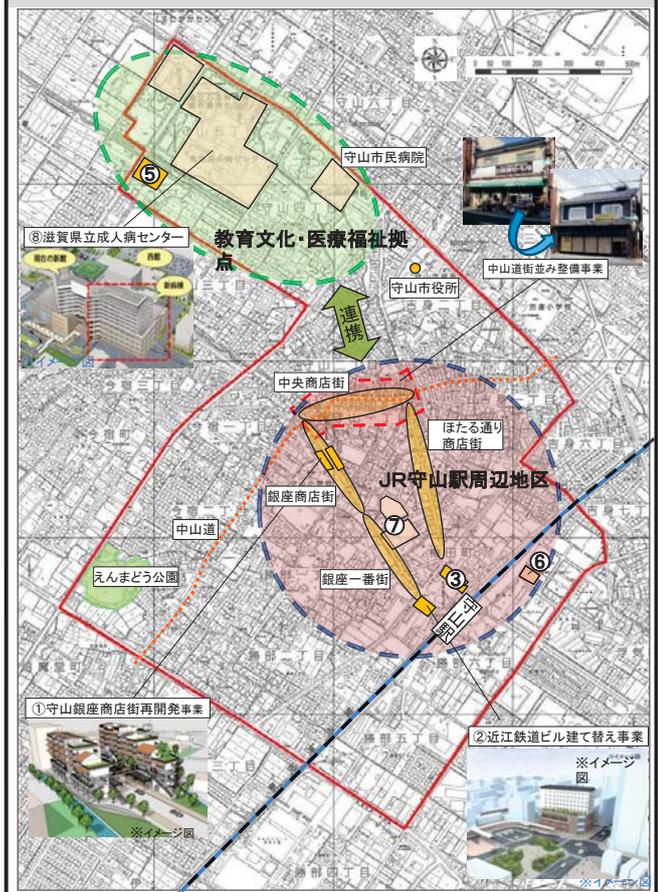
- (1) 新たなサービスにより、にぎわいが感じられるまち
 - ① 守山銀座ビル地区第一種市街地再開発事業
 - ② 守山駅前の顔づくり事業(近江鉄道ビル建て替え事業)
 - ③ セルバ守山1・2階活性化事業
 - ④ 空き店舗対策事業
- (2) こどもから高齢者まで幅広い世代が誇りと愛着を持ち共生できるまち
 - ⑤ 守山市立図書館整備事業
 - ⑥ 守山野洲市民交流プラザ福祉文化事業の充実
- (3) 地域資源を活かし、魅力的で歩いて楽しく回遊できるまち
 - ⑦ 平和堂守山店建て替え事業
 - ⑧ 滋賀県立成人病センター第二期改築工事・聴覚・コミュニケーション医療センター構想推進事業
 - ① 守山銀座ビル地区第一種市街地再開発事業(再掲)
 - ② 守山駅前の顔づくり事業(近江鉄道ビル建て替え事業)(再掲)

【計画目標】

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値※
新たなサービスにより、にぎわいが感じられるまち	新規出店店舗数	7店舗/年(H25)	35店舗(H27～R1)	61店舗(累計) A(H27～H30)
こどもから高齢者まで幅広い世代が誇りと愛着を持ち共生できるまち	中心市街地内の福祉・文化・交流施設の利用者数	466,854人/年(H25)	507,000人/年(R1)	570,583人/年 A(H30)
地域資源を活かし、魅力的で歩いて楽しく回遊できるまち	歩行者・自転車通行量(平日)	15,742人/年(H25)	16,200人/年(R1)	14,726人/年 C(H30)

※「最新値」:基準値からの改善状況(A目標達成、B基準値達成、C基準値未達成)

【中心市街地】人口:13,276人(H26)、【面積】約177ha



滋賀県守山市 中心市街地活性化基本計画の進捗状況 (H30定期フォローアップ等)

新たなサービスにより、にぎわいが感じられるまち

《主要事業の進捗状況》

- 守山銀座ビル地区第一種市街地再開発事業(ハード)【実施中】

〈概要〉建築から50年が経過し、老朽化が進んでいる銀座商店街東西ビルの建て替えを行う。

〈状況〉平成30年度に建設工事を開始し、令和元年度に完成予定

〈国の支援措置〉

 - ・社会資本整備総合交付金(市街地再開発事業等)(国土交通省)
 - ・地域・まちなか商業活性化支援事業費補助金(中心市街地再興戦略事業)のうち先導的・実証的事業(経済産業省)
- 守山駅前の顔づくり事業(近江鉄道ビル建て替え事業)(ハード)【実施済】

〈概要〉近江鉄道ビルにおいて、商業施設を整備する。

〈状況〉平成29年度に9店舗のテナント進出を達成

〈国の支援措置〉なし
- セルバ守山1・2階活性化事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉リニューアルした地下商業施設の効果を活かしながら、訪れたい環境を創出する。

〈状況〉平成30年度に1階に飲食店が1店舗オープン

〈国の支援措置〉なし
- 空き店舗対策事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉市民ニーズを踏まえ、魅力ある店舗を誘致し、にぎわいの創出を図る。

〈状況〉平成30年度に飲食店2店舗が新規オープン

〈国の支援措置〉なし

《今後の方針》

守山銀座ビル地区第一種市街地再開発事業により更なるテナント進出が見込まれるほか、株式会社みらいもりやま21が中心となり、セルバ守山1・2階の活性化事業やまちなかの空き店舗対策事業を進める。

こどもから高齢者まで幅広い世代が誇りと愛着を持ち共生できるまち

《主要事業の進捗状況》

- 守山市立図書館整備事業(ハード)【実施中】

〈概要〉文化・芸術の拠点として多世代の利用が活発になると共に、文化芸術交流の質的向上が図れるよう、図書館の再整備を行う。

〈状況〉平成30年11月に開館

〈国の支援措置〉

 - ・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省)
 - ・地方創生拠点整備交付金(内閣府)
- 守山野洲市民交流プラザ福祉文化事業の充実(ソフト)【実施中】

〈概要〉守山野洲市民交流プラザの福祉文化事業の充実を図る。

〈状況〉市民教養講座やコンサートなどの福祉・文化に関連する講座等を充実させる。

〈国の支援措置〉なし
- 《その他の国の支援措置の活用状況》
- ルシオールアートキッズフェスティバル(ソフト)【実施済】

・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省)

- 民間活力導入事業(ソフト)【実施中】

・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

《今後の方針》

9つの対象施設の全てにおいて基準年度を上回り、とりわけ守山市立図書館のリニューアルオープンにより利用者が大幅に増加したことで、目標数値を上回った。他施設も横ばいまたは微増であるため、最終年度においても目標達成を見込む。

地域資源を活かし、魅力的で歩いて楽しく回遊できるまち

《主要事業の進捗状況》

- 平和堂守山店建て替え事業(ハード)【未実施】

〈概要〉平和堂守山店を建て替える。

〈状況〉事業者の事情もあり実施に至っていない。

〈国の支援措置〉なし
- 滋賀県立成人病センター第二期改築工事・聴覚・コミュニケーション医療センター構想推進事業(ハード・ソフト)【実施中】

〈概要〉既存の滋賀県立総合病院の改築および聴覚・コミュニケーション医療センター構想の推進に合わせ、当該施設の周辺に位置する施設と連携を図りながら「健康・予防医学の取り組み」を進める。

〈状況〉新棟の建設が、平成28年11月に完了、行政や教育文化施設、民間事業者等が連携を図り、「健康・予防医学」をテーマとしたソフト事業に取り組んでいる。

〈国の支援措置〉なし
- (再掲)守山銀座ビル地区第一種市街地再開発事業(ハード)【実施中】
- (再掲)守山駅前の顔づくり事業(近江鉄道ビル建て替え事業)(ハード)【実施済】
- 《その他の国の支援措置の活用状況》
- 火まつり等伝統行事継承事業(火まつり交流館整備事業)(ハード)【実施済】

・地域・まちなか商業活性化支援事業費補助金(中心市街地再興戦略事業)のうち先導的・実証的事業(経済産業省)

- ・中心市街地商業活性化診断・サポート事業(経済産業省)

《今後の方針》

最終年度までには目標を達成できるよう、本計画における中心市街地活性化の取り組みを通して、歩いて楽しく回遊できる仕掛けづくりを更に検討する。

滋賀県東近江市 中心市街地活性化基本計画の概要

【計画期間】平成29年4月～令和4年3月
【人口】11.5万人(H28)、【面積】388.37km²

【目指す中心市街地の都市像】

暮らし続けたい 訪れたい 商いしたいまちの創造

【取組概要】

(1) 暮らし続けたいと思えるまち

- ① 定住移住推進事業(住宅取得、空家改修)
- ② 延命公園再整備事業
- ③ すくすく東近江市事業

(2) 歩いて楽しい回遊性の高いまち

- ④ 八日市駅前活性化事業(交流拠点整備)
- ⑤ 道路空間有効活用事業
- ⑥ 八日市駅前宿泊施設整備事業

(3) 様々な世代が訪れたいと思える魅力ある店舗の集積するまち

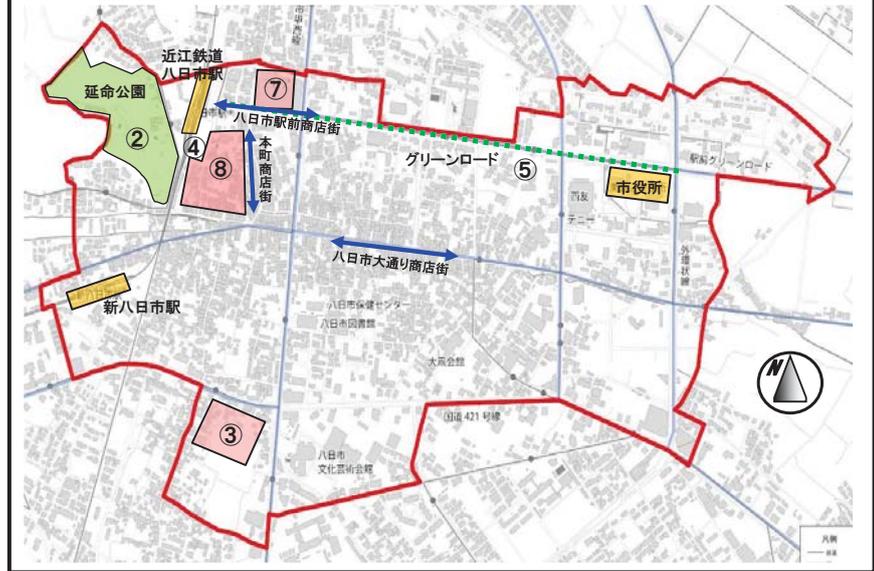
- ⑦ 大規模商業施設再整備事業
- ⑧ 中心市街地テナントミックス事業

【計画目標】

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値※
暮らし続けたいと思えるまち	市全体に占める中心市街地内人口の割合	6.39% (H28)	6.74% (R3)	6.51% B (H30)
歩いて楽しい回遊性の高いまち	歩行者・自転車通行量	平日7,471人 休日6,195人 (H27)	平日8,300人 休日6,900人 (R3)	平日8,036人 B 休日6,613人 B (H30)
様々な世代が訪れたいと思える魅力ある店舗の集積するまち	八日市駅周辺及び商店街での新規出店事業者数	—	15店舗 (R3)	27店舗(基準値なし) A (H30)

※「最新値」: 基準値からの改善状況(A目標達成、B基準値達成、C基準値未達成)

【中心市街地】人口:7,365人(H28)、【面積】約159ha



滋賀県東近江市 中心市街地活性化基本計画の進捗状況 (H30定期フォローアップ等)

暮らし続けたいと思えるまち

《主要事業の進捗状況》

■定住移住推進事業(住宅取得)【ソフト】 【実施中】

〈概要〉移住、多世帯同居、近居又は小学校以下の子育て世帯が新築住宅を取得及びそれ以外で新築・中古住宅を取得した場合に取得費の一部を補助する。

〈状況〉平成30年度の利用実績は13軒
〈国の支援措置〉なし

■定住移住推進事業(空家改修)【ソフト】 【実施中】

〈概要〉東近江市空家バンクを活用し住宅を取得又は賃貸する場合に改修費の一部を補助する。

〈状況〉中心市街地内での補助利用実績はなかったものの、中心市街地の空家バンク登録数の増加を図ることで、補助利用件数の増加につなげる。
〈国の支援措置〉なし

《その他の国の支援措置の活用状況》

■すくすく東近江市事業(子育て支援拠点整備事業)(ハード)【実施中】

・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省)

■空家活用事業(ハード)【実施中】

・空家対策総合支援事業(国土交通省)

■都市公園再整備事業(ハード)【実施中】

・社会資本整備総合交付金(都市公園・緑地等事業)(国土交通省)(活用予定)

《今後の方針》

今後は、東近江市空家バンクの登録数の増加を図り、貸主と借主とのマッチングを増やすことで、まちなか居住の促進を図る。

歩いて楽しい回遊性の高いまち

《主要事業の進捗状況》

■八日市駅前活性化事業(交流拠点整備) (ハード)【実施中】

〈概要〉物産販売、観光案内、情報発信機能等の拠点施設を八日市駅前広場と一体的に整備する。
〈状況〉平成30年度は、八日市駅周辺整備に係る整備構想をもとに八日市駅前広場の測量設計に取り組んだ。

〈国の支援措置〉

・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省)

■八日市駅前宿泊施設整備事業(ハード)【実施済】

〈概要〉八日市駅前に宿泊施設を整備する。

〈状況〉平成29年3月にホテルが開業

〈国の支援措置〉なし

■延命公園再整備事業(ハード・ソフト)【実施中】

〈概要〉老朽化施設のトイレの改修、遊具の更新及び植栽を行う。
〈状況〉平成30年度は、八日市駅周辺整備に係る整備構想をもとに関係者との事業調整に取り組んだ。

〈国の支援措置〉なし

《その他の国の支援措置の活用状況》

■新八日市駅周辺整備事業(ハード)【未実施】

・地域まちなか活性化・魅力創出支援事業費補助金(中心市街地活性化事業)のうち、先導的、実証的、事業(経済産業省)(活用予定)

■歩道バリアフリー化事業(ハード)【実施中】

・社会資本整備総合交付金(バリアフリー環境整備促進事業)(国土交通省)(活用予定)

《今後の方針》

「八日市駅前活性化事業」などの実施による様々な世代が訪れたいと思うまちづくりを推進するとともに、商店街が実施する集客イベントの開催により街の魅力を向上させ官民が連携して来街者の増加とまちなかへ回遊性の向上を図る。

様々な世代が訪れたいと思える魅力ある店舗の集積するまち

《主要事業の進捗状況》

■大規模商業施設再整備事業(ハード)【実施中】

〈概要〉大規模商業店舗において、歩道と一体的な利用が出来るような施設壁面の開放、子育て世代のニーズに応えるキッズスペースの再整備や公共施設等との連携も含めた更なる集客拠点とする事業である。

〈状況〉平成30年度は、施設再整備を進める上で必要となる施設運営体制の強化に向けた取組を進めた。

〈国の支援措置〉

・地域まちなか活性化・魅力創出支援事業費補助金(中心市街地活性化事業)のうち、先導的、実証的、事業(経済産業省)(活用予定)

■中心市街地テナントミックス事業(ハード・ソフト)【実施中】

〈概要〉空家や空店舗、未利用地を活用した店舗誘致を行う。
〈状況〉平成30年度は、古民家改修による中心市街地まちなか交流館(HON6GARDEN)が竣工。引き続き、新たな物件の利活用を図る。

〈国の支援措置〉

・地域まちなか活性化・魅力創出支援事業費補助金(中心市街地活性化事業)のうち、先導的、実証的、事業(経済産業省)(活用予定)

■新規出店者支援事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉八日市駅周辺及び商店街区域について、新規出店事業者の支援を行う。
〈状況〉新規出店を行う事業者に対して、店舗改修費用の一部補助制度を創設し実施した結果、1件の利用実績があった。

〈国の支援措置〉なし

《その他の国の支援措置の活用状況》

■商業活性化アドバイザー派遣事業(ソフト)【実施中】

・中心市街地商業活性化アドバイザー派遣事業(経済産業省)(活用予定)

《今後の方針》

中心市街地テナントミックス事業の継続的な取組や他の新規出店者向けのソフト事業を推進することで、更なる新規出店事業者の増加につなげるとともに、八日市駅前活性化事業の取組を進める。

京都府福知山市 中心市街地活性化基本計画の概要

【計画期間】平成28年4月～令和3年3月
【人口】8.0万人(H28)、【面積】552.57km²

【目指す中心市街地の都市像】

「歴史と文化が育んだ豊かな暮らしと賑わい交流のまちづくり」

～城下町福知山の個性を現代的にアレンジし、新たな価値を創造する～

【取組概要】

(1) まちなか観光による人々が集う賑わいあるまち

- ① 大規模歴史建築活用事業
- ② 駅正面リニューアル事業
- ③ 町家活用ゲストハウス施設整備事業
- ④ まち歩き観光促進事業

(2) 「人・もの・情報」が集まり、誰もが快適に暮らせるまち

- ⑤ 厚生会館改修事業
- ⑥ 町家活用シェアハウス整備事業
- ⑦ 駅北口公園賑わい事業

(3) 生活の質を高め、「しごと」の場がある活力あるまち

- ⑧ 中心市街地テナントミックス推進事業
- ⑨ 中心市街地創業支援事業
- ⑩ 空き店舗・空き家流動化システム構築事業



【計画目標】

目標	指標	現状値	目標値	最新値※
まちなか観光による人々が集う賑わいあるまち	歩行者・自転車通行量(平日・休日の平均)	3,871人/日(H27)	4,200人/日(R2)	3,330人/日 C(H30)
「人・もの・情報」が集まり、誰もが快適に暮らせるまち	歴史文化・交流施設利用者数	356,104人/年(H26)	390,000人/年(R2)	386,774人/年 B(H30)
生活の質を高め、「しごと」の場がある活力あるまち	新規店舗開業数	10店舗(H23～H27)	20店舗(H28～R2)	13店舗 B(H28～H30)

※「最新値」: 基準値からの改善状況(A目標達成、B基準値達成、C基準値未達成)

京都府福知山市 中心市街地活性化基本計画の進捗状況 (H30定期フォローアップ等)

まちなか観光による人々が集う賑わいあるまち

＜主要事業の進捗状況＞

■大規模歴史建築活用事業(ハード)【実施中】

〈概要〉中心市街地内の大規模歴史建築を活用し、宿泊・飲食施設にリノベーションする。
〈状況〉平成28年7月に該当物件を民間が購入し、活用に向けた事業計画を進めている。
〈国の支援措置〉
・商店街活性化・観光消費創出支援事業(経済産業省)(活用予定)

■駅正面リニューアル事業(ソフト・ハード)【実施中】

〈概要〉コンセプトを策定し、テナントミックス事業を行う。
〈状況〉空き家・空き店舗のヒアリング調査が進められ、家主と利用者のマッチングが促進されている。
〈国の支援措置〉
・地域・まちなか商業活性化支援事業(中心市街地再興戦略事業)のうち先導的・実証的事業(経済産業省)
・地方創生推進交付金(内閣府)

■町家活用ゲストハウス施設整備事業(ハード)【実施済】

〈概要〉中心市街地にある旅館を活用し、ゲストハウスとして改修する。
〈状況〉平成29年3月、駅正面通り商店街にゲストハウスが開業
〈国の支援措置〉
・商店街・まちなかインバウンド促進支援事業(中心市街地活性化事業)(経済産業省)

■まち歩き観光促進事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉駐車場不足を解消し、中心市街地の利用頻度を高める。
〈状況〉福知山パーキングの一定時間の無料化に取り組んだ。
〈国の支援措置〉
・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

＜今後の方針＞

大規模歴史建築事業、駅正面リニューアル事業の進捗が図られること併せて、誘客・回遊を促すソフト事業の実施、民間によるマンション建設、大河ドラマ放送を契機としたリピーターの獲得等により、集客拠点及びその動線上の通行量の増加が見込まれ、目標達成は可能であるとする。

「人・もの・情報」が集まり、誰もが快適に暮らせるまち

＜主要事業の進捗状況＞

■厚生会館改修事業(ハード)【実施中】

〈概要〉文化振興の拠点である厚生会館について、社会環境に即した改修を行なうとともに、機能改善を目指す。
〈状況〉方針を策定し、「機能集約も図る中で新たな建設も含めて検討する」という方向性を示した。
〈国の支援措置〉なし

■佐藤太清記念美術館特別展事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉福知山市佐藤太清記念美術館で特別展を開催する。
〈状況〉平成30年度は4回の特別・企画展を開催し集客に努めた。
〈国の支援措置〉
・地方創生推進交付金(内閣府)

■駅北口公園賑わい事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉福知山駅北口公園を活用し、賑わいあるイベントなど、活用のマネジメントを行う。
〈状況〉月1回程度のイベント開催、また複数拠点でのイベントの同時開催により、集客・回遊に寄与した。
〈国の支援措置〉なし

＜その他の国の支援措置の活用状況＞

■まちなか循環路線バス運行事業(ソフト)【実施中】

・地域公共交通確保維持改善事業(国土交通省)

＜今後の方針＞

歴史文化・交流施設利用者数は順調に伸びており、今後は、各施設において大河ドラマ放送を契機としたリピーター獲得に向け、工夫を凝らした事業と周辺活性化施策との連携により、更に実績を伸ばしていきたい。

生活の質を高め、「しごと」の場がある活力あるまち

＜主要事業の進捗状況＞

■中心市街地テナントミックス推進事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉中心市街地内における空き家を利用した飲食・物販等のショップ開業に対し、補助金等を支援する。
〈状況〉平成30年度、3店舗開業
〈国の支援措置〉なし

■中心市街地創業支援事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉中心市街地での起業・創業対象者に、起業塾や先進事例の視察などを開催し、開業支援を行う。
〈状況〉平成30年度、2店舗開業
〈国の支援措置〉なし

＜その他の国の支援措置の活用状況＞

■空き家・空き店舗等ストックバンク推進事業(ソフト)【実施中】

・地方創生推進交付金(内閣府)

■中心市街地活性化専門人材活用事業(ソフト)【実施中】

・地域・まちなか商業活性化支援事業(中心市街地再興戦略事業)のうち専門人材活用支援事業(経済産業省)

＜今後の方針＞

主要事業の推進により新規店舗開業は順調に進捗すると見込まれる。今後は、開業に向けたチャレンジとマーケティングの場であるチャレンジショップの開業もあり、多面的な支援をすることで更に実績を伸ばしていきたい。

大阪府堺市 中心市街地活性化基本計画の概要

【計画期間】平成27年4月～令和2年3月
【人口】84.1万人(H25)、【面積】約150km²

【目指す中心市街地の都市像】

人が集い 賑わいと魅力あふれる
「歴史文化のまち・堺」の玄関づくり

【取組概要】

(1) まちの活力の源となる来街者の増加

- ①市民会館建替え事業
- ②市民交流広場整備事業
- ③大浜北町市有地活用事業

(2) まちなかの回遊性向上による賑わい創出

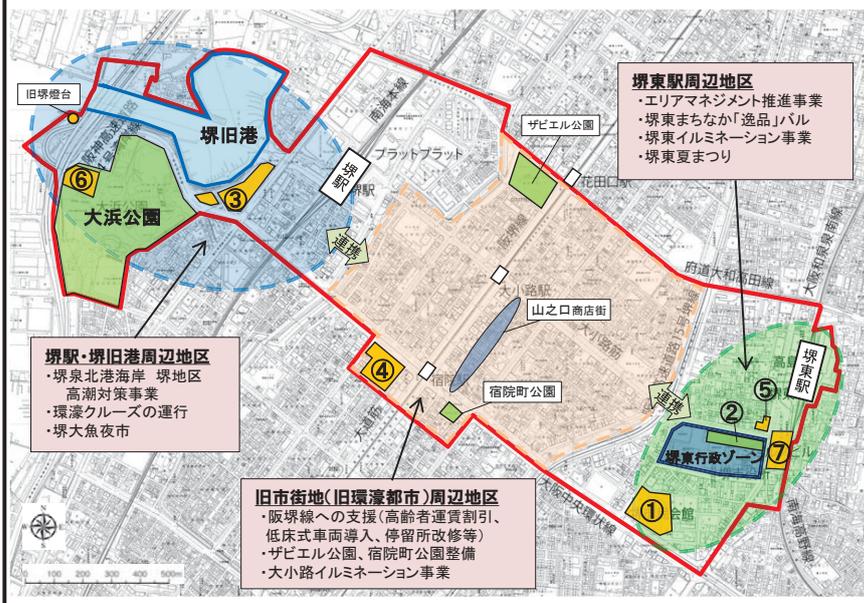
- ④堺市文化観光拠点(さかい利晶の社)運営事業
- ⑤博愛ビル活用事業
- ⑥大浜体育館建替え(武道館併設)事業

(3) 商業の魅力向上による賑わい創出

- ⑦堺東駅南地区第一種市街地再開発事業
- ⑧空き店舗活用促進事業
- ⑨都心地域業務系機能集積促進事業

【計画目標】

【中心市街地】人口：16,906人(H25)、【面積】約190ha



目標	目標指標	基準値	目標値	最新値※
まちの活力の源となる来街者の増加	定期利用者を除く駅乗降客数	41,925人/日 (H24)	43,900人/日 (R1)	44,050人/日 A (H30)
まちなかの回遊性向上による賑わい創出	歩行者通行量	3,885人/日 (H24)	4,390人/日 (R1)	3,232人/日 C (H30)
商業の魅力向上による賑わい創出	空き店舗等の率	17.8% (H26)	11.1% (R1)	11.4% B (H30)

※「最新値」：基準値からの改善状況(A目標達成、B基準値達成、C基準値未達成)

大阪府堺市 中心市街地活性化基本計画の進捗状況 (H30定期フォローアップ等)

まちの活力の源となる来街者の増加

《主要事業の進捗状況》

- 市民会館建替え事業(ハード)【実施中】
〈概要〉老朽化した市民会館を、新しい芸術文化の創造・交流・発信の拠点として整備する。
〈状況〉令和元年度10月グランドオープン予定
〈国の支援措置〉
・社会資本整備総合交付金(暮らし・にぎわい再生事業)(国土交通省)
- 市民交流広場整備事業(ハード)【実施済】
〈概要〉市の玄関口となる堺東駅前において、イベントの開催等多目的な活用が可能な広場を整備する。
〈状況〉平成29年9月完成
〈国の支援措置〉
・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省)
- ガン横エリアを核とした堺東商店街活性化プロジェクト(ハード・ソフト)【実施中】
〈概要〉テナントミックス事業に伴う施設リニューアルや来街者の回遊を促進するイベント等を実施する。
〈状況〉平成28年度から継続的にイベントを実施
〈国の支援措置〉
・地域・まちなか商業活性化支援事業(中心市街地再興戦略事業)のうち先導的・実証的の事業(経済産業省)

《その他の国の支援措置の活用状況》

- 大浜北町市有地活用事業(ハード)【実施中】
・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省)
- キッズサポートセンターさかい運営事業(ソフト)【実施中】
・子ども・子育て支援交付金(内閣府)

《今後の方針》

「市民会館建替え事業」を着実に進めるとともに、堺市文化観光拠点の運営や、市民交流広場におけるイベント等、来街者の増加に資する取組を実施することにより、更なる改善を行っていく。

まちなかの回遊性向上による賑わい創出

《主要事業の進捗状況》

- 博愛ビル活用事業(ハード)【実施中】
〈概要〉博愛ビルを建て替え、公益施設(地域交流施設)・商業施設等を導入した施設を整備する。
〈状況〉平成30年度から引き続き除却・施設建築物工事を実施
〈国の支援措置〉
・社会資本整備総合交付金(暮らし・にぎわい再生事業)(国土交通省)
- 堺市文化観光拠点(さかい利晶の社)運営事業(ソフト)【実施中】
〈概要〉歴史文化の魅力発信し、文化振興や観光集客に資する文化観光拠点を運営する。
〈状況〉想定以上の来館者数を記録している。
〈国の支援措置〉なし
- 大浜体育館建替え(武道館併設)事業(ハード)【実施中】
〈概要〉老朽化した大浜体育館を整備し、武道館を併設することで、新たなスポーツ拠点とする。
〈状況〉令和3年度オープン予定
〈国の支援措置〉なし
- 堺東まちなか「逸品」バル(ソフト)【実施中】
〈概要〉堺東地域の飲食店等を中心とした魅力発信によるまちの賑わいの創出を図る。
〈状況〉毎年度継続して開催されている。
〈国の支援措置〉なし
- 堺東イルミネーション事業(ソフト)【実施中】
〈概要〉堺東駅周辺のイルミネーションを実施する。
〈状況〉毎年度継続して開催されている。
〈国の支援措置〉なし
- SAKAI散走による魅力発信事業(ソフト)【実施中】
〈概要〉自転車で散歩するようにまちを回遊する自転車観光ガイド付き「SAKAI散走」を実施する。
〈状況〉平成30年度から実施
〈国の支援措置〉なし

《今後の方針》

「市民会館建替え事業」等、既存の事業を着実に進めるとともに、市民交流広場におけるイベントなど、歩行者通行量の増加に資する取組を実施することにより、目標の達成を目指す。

商業の魅力向上による賑わい創出

《主要事業の進捗状況》

- 堺東駅南地区第一種市街地再開発事業(ハード)【実施中】
〈概要〉老朽化したビルを建替え、商業施設に加え都市型住宅の供給による居住機能や公益施設の整備による交流機能の充実を図る。
〈状況〉平成28年度から引き続き除却工事・施設建築物工事を実施
〈国の支援措置〉
・社会資本整備総合交付金(市街地再開発事業)(国土交通省)
- 空き店舗活用促進事業(ソフト)【実施中】
〈概要〉補助事業により、空き店舗への商店街の不足業種等の誘致や空き店舗でのコミュニティ活性化事業を支援する。
〈状況〉平成30年度 利用実績0件
〈国の支援措置〉なし
- 都心地域業務系機能集積促進事業(ソフト)【実施中】
〈概要〉都心地域に業務系機能を集積させることにより、市内産業の活性化、雇用の拡大及びまちの賑わい創出を図る。
〈状況〉平成30年度 利用実績1件
〈国の支援措置〉なし

《今後の方針》

既存事業を引き続き着実に進めるとともに、空き店舗率の目標の達成を目指す。

大阪府高槻市 中心市街地活性化基本計画の概要

【計画期間】平成29年7月～令和5年3月
【人口】35.4万人(H28)、【面積】105.29km²

【目指す中心市街地の都市像】

訪れたい、住んでみたいまち 高槻
～生活を楽しむ交流空間『高槻まちなか』～

【取組概要】

(1) 来街機会の増加と回遊性の向上

- ①安満遺跡公園整備事業
- ②市民会館建替事業
- ③城跡公園再整備事業
- ④歴史・文化施設間の連携による集客性向上事業

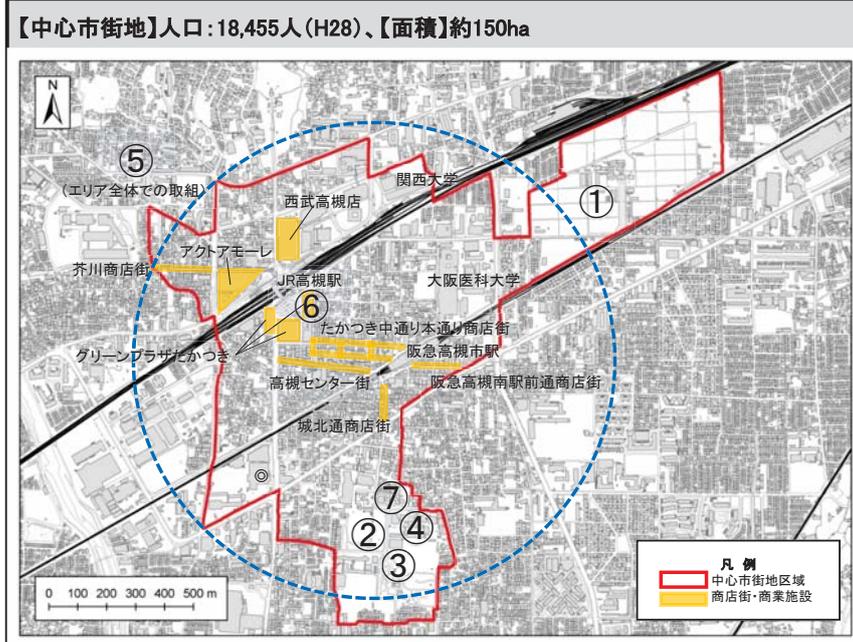
(2) 経済活力の増進

- ⑤魅力ある個店への出店支援
- ⑥空き店舗等情報ストックバンク事業
- ⑦たかつき創業塾の開催

【計画目標】

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値※
来街機会の増加と回遊性の向上	歩行者・自転車通行量	72,970人/日 (H28)	77,300人/日 (R4)	81,442人/日 A (H30)
	歴史・文化施設の年間利用者数	161,601人/年 (H26)	197,000人/年 (R4)	127,490人/年 C (H30)
経済活力の増進	中心市街地の新規出店数	30件 (H22～H27の累計)	51件 (H29～R4の累計)	9件 B (H29～H30)

※「最新値」: 基準値からの改善状況 (A目標達成、B基準値達成、C基準値未達成)



大阪府高槻市 中心市街地活性化基本計画の進捗状況 (H30定期フォローアップ等)

来街機会の増加と回遊性の向上

《主要事業の進捗状況》

- 安満遺跡公園整備事業(ハード)【実施中】
(概要)史跡安満遺跡を保存活用しながら防災機能も備えた緑豊かな公園として整備する。
(状況)平成31年3月に1次開園。令和2年度の2次開園に向けて整備中
(国の支援措置)
・防災公園街区整備事業(国土交通省)
・歴史活き活き! 史跡等総合活用整備事業、史跡等購入費補助金(文部科学省)
- 「高槻子ども未来館」の整備事業(ハード)【実施済】
(概要)安満遺跡公園整備にあわせて隣接地に整備する。
(状況)平成31年4月より供用開始
(国の支援措置)
・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省)
・子ども・子育て支援整備交付金(内閣府)
- 民間事業者による複合施設整備事業(ハード)【実施中】
(概要)新たな機能導入に向けた複合施設の共同建替の推進を図る。
(状況)整備の実施に向け、事業者や地権者等の当事者において協議を実施
(国の支援措置)
・地域まちなか活性化・魅力創出支援事業費補助金(中心市街地活性化支援事業)のうち先導的・実証的事業(経済産業省)
- 市民会館建替事業(ハード)【実施中】
(概要)市民会館を文化振興の発展に資する施設として建て替える。
(状況)建設地の埋蔵文化財調査を実施、令和4年度に完成予定
(国の支援措置)
・社会資本整備総合交付金(暮らし・にぎわい再生事業)(国土交通省)
- 城跡公園再整備事業(ハード)【実施中】
(概要)市民会館の建替にあわせて城跡公園を再整備することでエリア内の回遊性を強化し、新たな客層を取り込む施設を整備する。
(状況)中央エリアの実施設計及び北・南エリアの基本設計を実施
(国の支援措置)
・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省)
- 新文化施設を活用した市民交流事業(ソフト)【未実施】
(概要)城跡公園を含む周辺敷地を活用した市民の活動などを促進する。
(状況)新市民会館が開館する令和4年度以降実施予定
(国の支援措置)
・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)(活用予定)

《今後の方針》

新たな集客拠点として開園した安満遺跡公園及び高槻子ども未来館による来街機会の増加を活かすため、民間活力による公園の魅力向上等に取り組む。
また、市民会館の建替および城跡公園の再整備の進捗に合わせ、歴史施設との連携による集客性向上に取り組んでいく予定である。

経済活力の増進

《主要事業の進捗状況》

- 魅力ある個店への出店支援(ソフト)【実施中】
(概要)出店に向けた支援を行うとともに、出店後はPRや経営面のサポートを行う。
(状況)平成30年度 支援件数4件
(国の支援措置)なし
 - 空き店舗等情報ストックバンク事業(ソフト)【実施中】
(概要)空き店舗等の情報を収集、一元管理・活用するストックバンクを立ち上げ、空き店舗等の利活用を促進する。
(状況)平成30年度 実施件数0件
(国の支援措置)なし
 - たかつき創業塾の開催(ソフト)【実施中】
(概要)創業に関して必要な知識を学ぶための連続セミナーを開催する。
(状況)全5回開催 29名参加
うち5名が創業
うち2名は中心市街地内に出店
(国の支援措置)なし
- 《その他の国の支援措置の活用状況》
- 市有地を活用したホテル等整備事業(ハード)【実施中】
・特定民間中心市街地経済活力向上事業計画の経済産業大臣認定(経済産業省)
・地域まちなか活性化・魅力創出支援事業費補助金(中心市街地活性化支援事業)のうち先導的・実証的事業(経済産業省)
・特定民間中心市街地経済活力向上事業の用に供する不動産の取得又は建物の建築をした際の登録免許税の軽減(経済産業省)
・中心市街地における低利融資(企業活力強化貸付(企業活力強化資金))(経済産業省)
 - 中心市街地まちなかあるき事業(ソフト)【実施中】
・地方創生推進交付金(内閣府)
 - 商店街のイベント開催(ソフト)【実施中】
・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

《今後の方針》

「たかつき創業塾」受講生の創業実績、「創業・個店支援事業補助金」の活用実績は概ね目標どおり進捗しており、さらなる活用促進に向けて取り組む。
空き店舗活用については、実施体制が十分でないことから、手法等について検討するとともに、事業推進に向けた支援を行う。

兵庫県姫路市 中心市街地活性化基本計画の概要

【計画期間】平成27年4月～令和2年3月
【人口】53.2万人(H26)、【面積】534.43km²

【目指す中心市街地の都市像】

姫路駅周辺整備をはじめ、姫路城大天守閣保存修理工事が完成を迎えるこの機会に、駅前広場等で始動した官民連携による公共空間の利活用やまちづくりへの取り組みを街なか全体に拡大することで、多くの人々が暮らし、国内外の人々が訪れ、多様な目的で集い、楽しく歩くことができるまちづくりを進める。

【取組概要】

(1) 新たな魅力の創出と移動環境の向上による来訪者数の増加

①キャスト21コアゾーン整備事業(A～Cブロック)

(2) 新陳代謝の促進による街なか(商店街)の活性化

②中心市街地商店街空き店舗対策事業

○街なか起業家支援事業

(3) 多世代が快適・便利に暮らせる居住環境の向上

③キャスト21イベントゾーン整備事業

④駅南地区土地区画整理事業

(4) 市民が躍動できる仕組み・体制の構築

⑤姫路駅北駅前広場活用事業

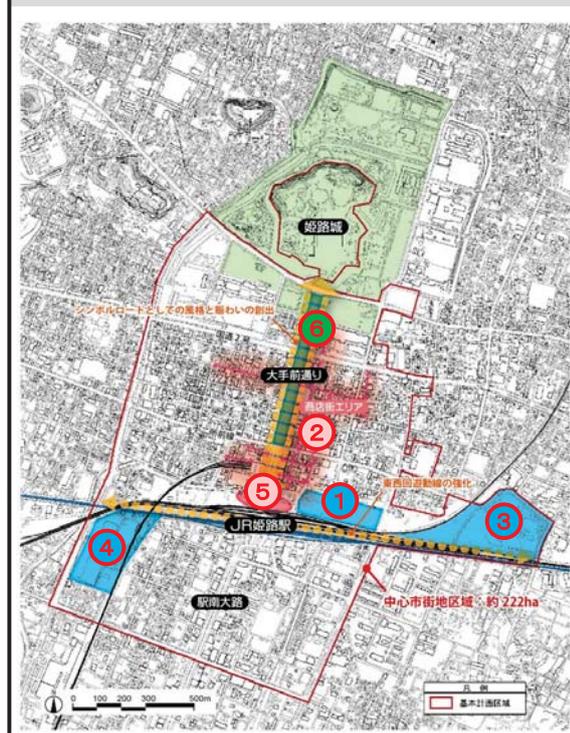
⑥大手前通り(十二所前線以北)再整備事業

○タウン・エアーマネジメントを視野に入れた仕組み・体制づくり

【計画目標】

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値※
新たな魅力の創出と移動環境の向上による来訪者数の増加	歩行者・自転車通行量	63,639人/日 (H22～25平均)	82,000人/日 (R1)	70,118人/日 B (H30)
新陳代謝の促進による街なか(商店街)の活性化	空き店舗数	36店舗 (H25)	28店舗 (R1)	31店舗 B (H30)
多世代が快適・便利に暮らせる居住環境の向上	居住者数	8,797人 (H25)	8,894人 (R1)	10,520人 A (H30)
市民が躍動できる仕組み・体制の構築	公共空間利活用のルールのもとで行われるイベント実施日数	286日/年 (H25.9～ H26.8)	321日/年 (R1)	468日/年 A (H30)

【中心市街地】人口：10,520人(H30)、【面積】約222ha



「最新値※」: 基準値からの改善状況
(A)目標達成、(B)基準値達成、(C)基準値未達成

兵庫県姫路市 中心市街地活性化基本計画の進捗状況 (H30定期フォローアップ等)

新たな魅力の創出と移動環境の向上による来訪者数の増加

《主要事業の進捗状況》

■キャスト21コアゾーン整備事業(A～Cブロック)(ハード)【実施中】

〈概要〉ゾーン内に都市型ホテルやシネマコンプレックスなど高次都市機能を有する施設を整備。
〈状況〉平成30年秋のCブロックにおける福祉関係施設の供用開始をもって、A,B,C全てのブロックにおける事業が完了した。

〈国の支援措置〉

・特定民間中心市街地経済活力向上事業計画の経済産業大臣認定(経済産業省)

・商店街まちづくり事業(中心市街地活性化事業)(経済産業省)

・大規模小売店舗立地法の特例(経済産業省)

・株式会社日本政策金融公庫による低利融資(経済産業省)

・当該事業の用に供する建築物及び構築物を取得した際の割増償却制度(経済産業省)

・当該事業の用に供する不動産の取得又は建物の建築をした際の登録免許税の軽減(経済産業省)

■コミュニティサイクル事業(ハード)【実施中】

〈概要〉駅前や姫路城周辺など都心部でコミュニティサイクルを導入する。

〈状況〉

平成30年度 サイクルポート20箇所稼働中
利用者数69,883人

〈国の支援措置〉

・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業と一体の効果促進事業)(国土交通省)

《今後の方針》

計画記載事業を着実に実施し、歩道の賑わい空間を活用した賑わい創出や、公衆無線LANの拡充など、新たな取り組みや事業の拡充を実施し、回遊性の向上を図りたい。

新陳代謝の促進による街なか(商店街)の活性化

《主要事業の進捗状況》

■中心市街地商店街空き店舗対策事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉空き店舗への出店に対する家賃補助と共に、テナントミックスやチャレンジショップ実現に向けた事業を展開する。

〈状況〉

平成30年度内装設備費補助8店、家賃補助16店

〈国の支援措置〉

・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

■街なか起業家支援事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉街なかにおける起業家に対する支援事業を展開する。

〈状況〉平成30年度実績4名

〈国の支援措置〉

・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

《今後の方針》

商店街空き店舗数は改善はしている。引き続き商店街との情報共有をしながら、ニーズに合った支援施策を検討していきたい。

多世代が快適・便利に暮らせる居住環境の向上

《主要事業の進捗状況》

■駅南地区土地区画整理事業(ハード)【実施中】

〈概要〉区画整理を施行し、都市基盤施設の整備改善を行い、宅地の利用増進を図る。

〈状況〉支障物件の移転交渉及び区画道路の築造工事を実施

〈国の支援措置〉

・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省)

■姫路駅周辺土地区画整理事業(ハード)【実施中】

〈概要〉新都心拠点としてふさわしい街区を形成し、多様な機能立地を図る。

〈状況〉支障物件の移転交渉を実施

〈国の支援措置〉

・社会資本整備総合交付金(道路事業(街路))(国土交通省)

《その他の国の支援措置の活用状況》

■キャスト21イベントゾーン整備事業(ハード)【実施中】

・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省)

・社会資本整備総合交付金(暮らし・にぎわい再生事業)(国土交通省)

《今後の方針》

商店街をはじめ各商業施設の魅力を高め賑わいを創出するとともに、街なかを回遊してもらい取組を図ることで実績を伸ばしていきたい。

市民が躍動できる仕組み・体制の構築

《主要事業の進捗状況》

■姫路駅北駅前広場活用事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉市民による広場の積極的な活用(継続的なイベントの実施)を促進する。

〈状況〉平成30年度活用回数324日

〈国の支援措置〉なし

■商店街にぎわい創出事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉商店街等が、商店街の活性化のために実施する賑わい創出事業を展開する。

〈状況〉30年度イベント事業7件

〈国の支援措置〉

■大手前通り(十二所前線以北)再整備事業(ハード)【実施中】

〈概要〉駅と姫路城を結ぶ大手前通りを再整備し、高質空間を創出する。

〈状況〉南工区の工事が完了し、引き続き北工区の工事が進行中であるまた整備後の歩道空間の利活用について、仕組みづくりを検討している。

〈国の支援措置〉

・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省)

《今後の方針》

目標達成可能と見込む。引き続き街なかの賑わい創出と回遊性向上、エアーマネジメントに向けた事業に取り組む。

兵庫県明石市 中心市街地活性化基本計画の概要

【計画期間】平成28年4月～令和3年3月
【人口】29.7万人(H27)、【面積】49.42km²

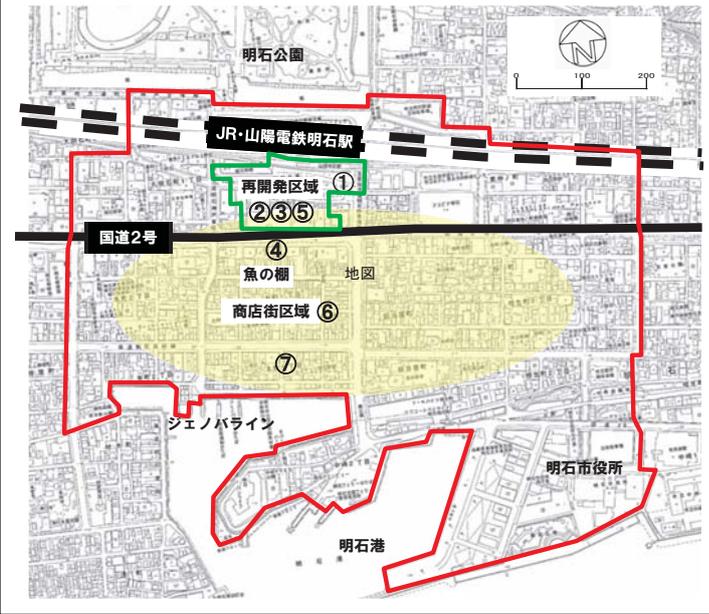
【目指す中心市街地の都市像】

「海・食・時」のまちに更なる魅力を創造し
賑わいあふれるまちへ

【取組概要】

- (1)『便利で暮らしやすいまち』にする
①明石駅前南地区第一種市街地再開発事業
②あかし市民図書館整備事業・本のまち明石関連事業
③あかしこども広場整備事業
- (2)『一歩足を伸ばして楽しめるまち』にする
④国道2号立体横断歩行者道路整備
⑤あかし市民広場整備事業
⑥明石まちなかバル事業
⑦ほんまち三白館活用事業

【中心市街地】人口：8,084人(H30)、【面積】約60ha



【計画目標】

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値※
『便利で暮らしやすいまち』にする	駅至近にある都市福祉施設の年間利用者数	452,001人/年 (H26)	900,000人/年 (R2)	1,415,487人/年 A (H30)
『一歩足を伸ばして楽しめるまち』にする	歩行者・自転車通行量(平日・休日平均)	16,737人/日 (H27)	20,000人/日 (R2)	19,724人/日 B (H30)
	国道2号南側商店街区域における新規出店者数	12店/年 (H27)	12店/年(60店/5年) (H28～R2)	17店/年 A 21店(H28～H30)

※「最新値」：基準値からの改善状況(A目標達成、B基準値達成、C基準値未達成)

兵庫県明石市 中心市街地活性化基本計画の進捗状況 (H30定期フォローアップ等)

『便利で暮らしやすいまち』にする

《主要事業の進捗状況》

■あかし市民図書館整備事業

(ハード)【実施済】

〈概要〉明石市立図書館を明石駅前再開発ビル(パピオスあかし)に移転整備、運営を行う。
〈状況〉平成29年1月オープン。目標利用者数を大きく上回っており、賑わいの中心となっている。
〈国の支援措置〉なし

■あかしこども広場整備事業

(ハード・ソフト)【実施中】

〈概要〉明石駅前再開発ビル内に子育て支援、幅広い世代間交流及び学びの場を担う拠点として整備、運営を行う。
〈状況〉平成29年4月全面オープン。目標利用者数を大きく上回っている。
〈国の支援措置〉なし

・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

■あかし総合窓口事業(ハード)【実施済】

〈概要〉明石駅前再開発ビル内に証明書発行及び保険・福祉等の行政窓口機能を整備する。
〈状況〉平成29年1月オープン。目標利用者数とほぼ同じ水準となっている。
〈国の支援措置〉なし

《その他の国の支援措置の活用状況》

■明石駅前広場再整備事業(ハード)【実施済】

・社会資本整備総合交付金(市街地再開発事業等および一体の効果促進事業)
(国土交通省)

『一歩足を伸ばして楽しめるまち』にする

《主要事業の進捗状況》

■明石駅前南地区第一種市街地再開発事業(ハード)【実施済】

〈概要〉商業や行政サービス機能、高層住宅からなる中心市街地の拠点となる複合施設を整備する。
〈状況〉平成29年3月完了。商業施設・公共施設、医療モール及び住宅等が入居する複合ビルで、集客効果が高い。
〈国の支援措置〉なし

・社会資本整備総合交付金(市街地再開発事業等)(国土交通省)

■国道2号立体横断歩行者道路整備(ハード)【実施済】

〈概要〉老朽化した横断歩道橋を撤去し、明石駅前再開発ビルから国道2号を横断する立体横断デッキを整備する。
〈状況〉平成28年12月供用開始。横断歩行者道路通行量は事業開始前と比べ約5倍となっている。
〈国の支援措置〉なし

・社会資本整備総合交付金(道路事業(街路)および一体の効果促進事業)(国土交通省)

■あかし市民広場整備事業(ハード・ソフト)【実施中】

〈概要〉明石駅前再開発ビル内にイベント広場空間を整備し、観光等の情報発信やイベントを実施する。
〈状況〉平成28年12月オープン。イベント利用率は平均78%(平日68% 休日99%)となっている。
〈国の支援措置〉なし

・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

■明石まちなかバル事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉商店街が一体となり、各店連携しながら販売促進を兼ねた事業として飲食店を中心としたバル事業を行う。
〈状況〉平成30年度は2回開催している。魚の棚商店街西口通行量は4,078人となっている。
〈国の支援措置〉なし

■ほんまち三白館活用事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉大衆演劇場に改修されたほんまち三白館において、大衆演劇の講演や近隣店舗との提携事業を実施する。
〈状況〉平成30年度は337日間(1日2回公演)合計674回公演を行っている。
〈国の支援措置〉なし

■中心市街地の空間有効活用事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉事業者と住民等が主体になって、未利用地や公共空間において、イベントなどの有効活用を行う。
〈状況〉具体的な事業の実施方法等については、検討を重ねている。
〈国の支援措置〉なし

・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

《今後の方針》

都市福祉施設の運営内容の改善及び積極的な情報発信を進め、さらなる利用者の増加を図る。併せて、都市福祉施設を活用したイベントや周辺の商店街等と連携したイベントを実施し、中心市街地の活性化を推進していく。

《今後の方針》

あかし市民広場をイベントスペースだけでなく、中心市街地全域へ人を流すポンプ機能として有効活用し、ほんまち三白館等の各施設の集客力を活かすとともに、明石まちなかバル等のまちおこしイベントを継続し、定着させることで、中心市街地の魅力向上と来街目的の創出機会を増やしていく。また、商店街の魅力を積極的に発信することにより、来街者を増やし、商店街の価値を高め、継続的な新規出店を推進していく。

兵庫県伊丹市 中心市街地活性化基本計画の概要

【計画期間】平成28年4月～令和3年3月
【人口】19.6万人(H22)、【面積】25.09km²

【目指す中心市街地の都市像】

質の高い地域資源を活かし、選ばれるまちに

【取組概要】

(1) 歩いて楽しい、文化の香り高い郷町(まち)なか

- ① 図書館交流事業
- ② 市道中央天津線他電線共同溝整備事業
- ③ 自転車駐車場整備事業
- ④ 文化施設連携事業

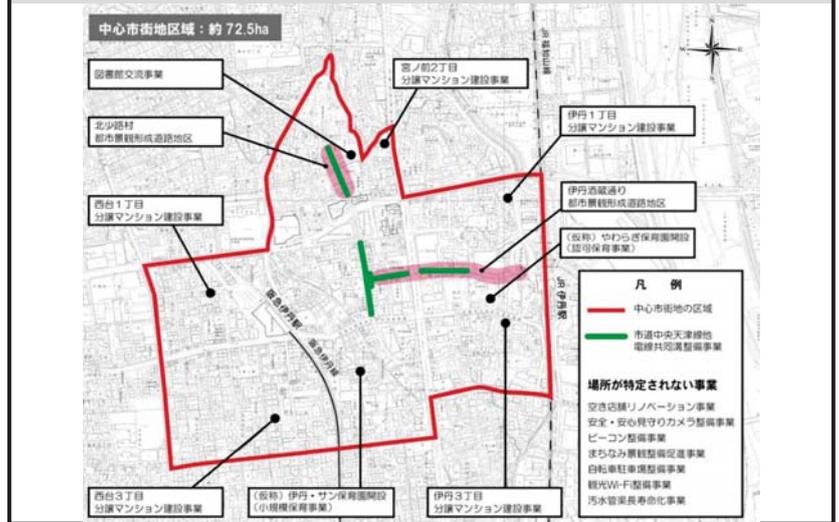
(2) まちの魅力を高め、訪れたい郷町(まち)なか

- ⑤ 空き店舗リノベーション事業
- ⑥ 空き店舗出店促進事業
- ⑦ まちなか大規模イベントの開催・拡充事業
- ⑧ まちなみ景観整備促進事業

(3) もてなし心のある、住みたい郷町(まち)なか

- ⑨ 安全・安心見守りカメラ整備事業
- ⑩ ビーコン整備事業
- ⑪ シティプロモーション事業
- ⑫ 宮ノ前2丁目等分譲マンション建設事業
- ⑬ (仮称)やわらぎ保育園開設

【中心市街地】人口：14,939人(H22)、【面積】約72.5ha



【計画目標】

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値※
歩いて楽しい、文化の香り高い郷町(まち)なか	文化施設利用者数	950,104人(H26)	1,146,000人(R2)	1,074,961人 B(H30)
まちの魅力を高め、訪れたい郷町(まち)なか	空き店舗数	121店舗(H27)	90店舗(R2)	117店舗 B(H30)
	歩行者・自転車通行量	35,719人(H26)	41,000人(R2)	41,927人 A(H30)
もてなし心のある、住みたい郷町(まち)なか	中心市街地における居住人口	13,928人(H27)	15,638人(R2)	14,468人 B(H30)

※「最新値」：基準値からの改善状況(A目標達成、B基準値達成、C基準値未達成)

兵庫県伊丹市 中心市街地活性化基本計画の進捗状況 (H30定期フォローアップ等)

歩いて楽しい、文化の香り高い郷町(まち)なか

【主要事業の進捗状況】
■図書館交流事業(ソフト)【実施中】
 (概要)図書館に交流ゾーンを設け、市民・図書館職員による交流事業を実施する。
 (状況)イベント数 259件
 参加者数 9,638人
 (国の支援措置)
 ・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)
■文化施設連携事業(ソフト)【実施中】
 (概要)連携した情報発信や社会教育施設、中心市街地商店街等とのタイアップやスタンプラリーを実施する。
 (状況)文化施設や中心市街地内のイベント案内を発行、また、企画と連携した図書展示や交流イベントを図書館で実施
 さらに、文化施設と飲食店がタイアップした事業を実施
 (国の支援措置)なし
■観光Wi-Fi整備事業(ハード)【実施済】
 (概要)公衆無線LANの環境整備を行う。
 (状況)平成29年度事業完了
 (国の支援措置)なし
■自転車駐車場整備事業(ハード)【実施済】
 (概要)自転車駐輪場の整備を行う。
 (状況)平成30年度整備実績 1か所255台分
 (国の支援措置)なし

【その他の国の支援措置の活用状況】
■市道中央天津線他電線共同溝整備事業(ハード)【実施中】
 ・防災・安全交付金(道路事業)(国土交通省)

【今後の方針】
 自転車駐輪場の整備等、来街者が回遊しやすい環境整備が実施されたことを活かし、新たな文化施設の連携事業を実施し、回遊性向上に努める。

まちの魅力を高め、訪れたい郷町(まち)なか

【主要事業の進捗状況】
■空き店舗リノベーション事業(ハード)【実施中】
 (概要)空き店舗や空きフロア等を改修し、集客力の高い飲食店や小売店舗の誘致を図る。
 (状況)民間事業者等による空き店舗リノベーションに向け調査分析事業を実施
 (国の支援措置)
 ・地域・まちなか商業活性化支援事業費(中心市街地再興戦略事業)のうち調査事業(経済産業省)
■創業塾の開催(ソフト)【実施中】
 (概要)創業塾を開催し、開業に向けてのサポートを行い、商業の担い手を育成する。
 (状況)受講者 26人
 (国の支援措置)なし
■空き店舗出店促進事業(ソフト)【実施中】
 (概要)空き店舗を使って新規開業する方に一定期間の家賃補助をするなど、出店の際に支援を行う。
 (状況)平成30年度申請件数 1件
 (国の支援措置)
 ・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)
■まちなか大規模イベントの開催・拡充事業(ソフト)【実施中】
 (概要)四季折々のイベントを開催するとともに、他のイベントと合同で実施し、中心市街地の賑わいへと繋げる。
 (状況)宮前まつりで模擬店やフリーマーケット、冬の蔵まつりはダンスイベントを併せて開催
 (国の支援措置)
 ・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

【その他の国の支援措置の活用状況】
■商業活性化アドバイザー派遣事業(ソフト)【実施中】
 ・中心市街地商業活性化アドバイザー派遣事業(経済産業省)

【今後の方針】
 空き店舗出店促進事業の周知やリノベーション事業を実施し、創業塾について継続的に力を入れて実施及び空き店舗の発生要因や現状分析に取組むことにより、商業活動を活性化させる。

もてなし心のある、住みたい郷町(まち)なか

【主要事業の進捗状況】
■(仮称)やわらぎ保育園開設事業(ハード)【実施済】
 (概要)JR伊丹駅周辺において認可保育事業を行う。
 (状況)平成28年度保育園開園(定員60名)
 (国の支援措置)なし
■安全・安心見守りカメラ整備事業(ハード)【実施済】
 (概要)安全・安心見守りカメラを整備し、防犯にとどまらず多目的に利用することで、安全・安心な街なか居住を推進する。
 (状況)平成28年度約40台設置
 (国の支援措置)なし
■ビーコン整備事業(ハード)【実施済】
 (概要)ビーコン受信機を整備し、子どもや認知症高齢者の位置情報を通知するサービスを官民協働で実施する。
 (状況)平成28年度約40台設置
 (国の支援措置)なし
■民間賃貸住宅ストック活用事業(ソフト)【実施中】
 (概要)優良な民間賃貸住宅の空き家を借り上げ、市営住宅として提供する。市営住宅の公設公営から民設公営へと転換していく。
 (状況)計画期間中借り上げ数66戸
 (国の支援措置)
 ・公的賃貸住宅家賃調整補助金(国土交通省)

【その他の国の支援措置の活用状況】
■分譲マンションバリアフリー化推進事業(ハード)【実施中】
 ・社会資本整備総合交付金(民間住宅対策事業)(国土交通省)

【今後の方針】
 今後も継続して「三世同居・近居促進事業」や「民間賃貸住宅ストック活用事業」をはじめとした定住促進事業を進め、中心市街地人口の増加を図っていく。

兵庫県川西市 中心市街地活性化基本計画の概要

【計画期間】平成27年4月～令和2年3月
【人口】16.1万人(H26)、【面積】53.44km²

【目指す中心市街地の都市像】

活力があり、環境にやさしく、暮らしたくなる中心市街地の創造

【取組概要】

(1) 多彩な活動や交流が広がる中心市街地の創造

- ① 川西市低炭素型複合施設整備事業
- ② 中央公園整備事業
- ③ 都市計画道路せせらぎ遊歩道整備事業
- タウンマネージャー事業

(2) 暮らしたくなる魅力的な中心市街地の創造

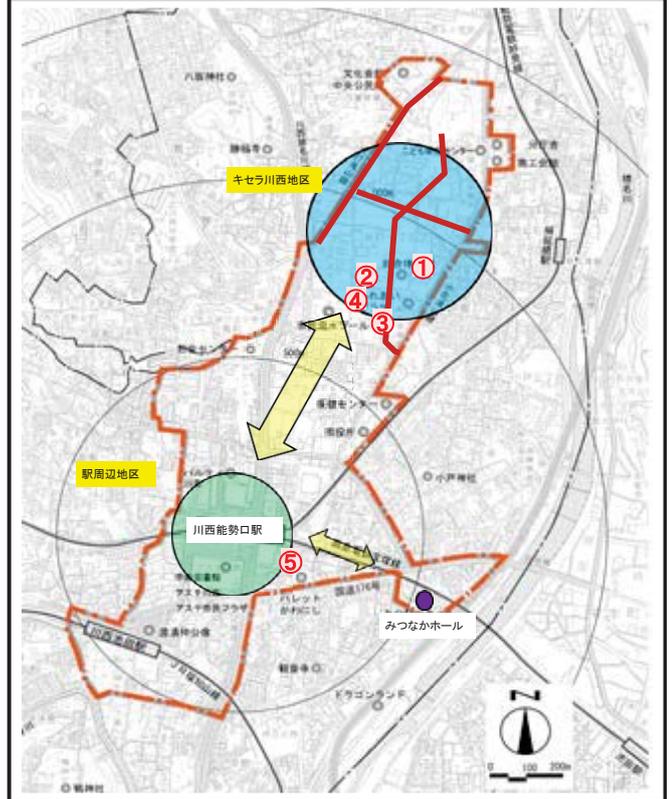
- ④ キセラ川西マンション建設事業
- ⑤ サービス付き高齢者向け住宅施設整備事業

【計画目標】

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値※
多彩な活動や交流が広がる中心市街地の創造	歩行者・自転車 通行量(休日)	67,830人/日 (H26)	71,727人 (R1)	66,026人 C (H30)
	来街者の 平均滞留時間	2.04時間 (H26)	2.42時間 (R1)	2.77時間 A (H30)
暮らしたくなる魅力的な中心市街地の創造	人口の社会増 減	4人/年 (H21fy-H24fy平均)	106人/年 (H27fy-R1fy平均)	126人/年 A (H27fy-H30fy平均)

※「最新値」: 基準値からの改善状況(A目標達成、B基準値達成、C基準値未達成)

【中心市街地】人口: 8,345人(H26)、【面積】約80ha



兵庫県川西市 中心市街地活性化基本計画の進捗状況 (H30定期フォローアップ等)

多彩な活動や交流が広がる中心市街地の創造

《主要事業の進捗状況》

■キセラ川西プラザ整備事業(ハード)【実施済】

〈概要〉文化ホールに加えて、福祉・保険・公民館機能が連携した複合施設を整備する。

〈状況〉平成30年9月オープン

〈国の支援措置〉

・社会資本整備総合交付金(暮らし・にぎわい再生事業)(国土交通省)

■中央公園整備事業(ハード)【実施済】

〈概要〉市民の憩いの場であるとともに、防災機能を有した公園を整備する。

〈状況〉平成29年7月開園

〈国の支援措置〉

・社会資本整備総合交付金(都市公園等事業)(国土交通省)

■都市計画道路せせらぎ遊歩道整備事業(ハード)【実施済】

〈概要〉遊歩道を整備することにより、キセラ川西内の回遊性を高めるとともに、コミュニケーションの場としての空間を創出する。

〈状況〉平成29年11月遊歩道全面開通

〈国の支援措置〉

・社会資本整備総合交付金(都市再生区画整理事業・効果促進事業)(国土交通省)

《その他の国の支援措置の活用状況》

■タウンマネージャー事業(ソフト)【実施中】

・地域・まちなか商業活性化支援事業(中心市街地再興戦略事業)のうち専門人材活用支援事業(経済産業省)

■かわにし健康マイレージ事業(ソフト)【実施中】

・地方スポーツ振興費補助金(文部科学省)

・地方創生推進交付金(内閣府)

■藤ノ木さんかく広場整備・運営事業(ハード・ソフト)【実施中】

・中心市街地再活性化特別対策事業(総務省)

《今後の方針》

まちなかを歩くイベントの開催を継続的に実施していくほか、賑わいを中心市街地活性化につなげられる事業を実施したい。日常的な賑わいとして定着させ、滞留時間の増加を図るとともに、新たに誕生したキセラ川西と駅周辺という2つの拠点の回遊性を高め歩行者通行量の増加を目指したい。

暮らしたくなる魅力的な中心市街地の創造

《主要事業の進捗状況》

■キセラ川西マンション建設事業(ハード)【実施済】

〈概要〉環境共生型ライフスタイルを提案・実践する住宅供給を促進することで、人口増加を図る。

〈状況〉平成27年度末 事業完了

平成29年度 202戸すべてが契約済み

〈国の支援措置〉なし

■サービス付き高齢者向け住宅施設整備事業(ハード)【実施済】

〈概要〉高齢者の居住機能の強化を図るために、駅前にデイサービス付き住宅施設を整備する。

〈状況〉平成27年7月 事業開始

平成29年4月 55戸がほぼ入居済み

〈国の支援措置〉なし

《その他の国の支援措置の活用状況》

■子育て支援事業(ソフト)【実施中】

・子ども・子育て支援交付金(内閣府)

■ファミリーサポートセンター運営事業(ソフト)【実施中】

・子ども・子育て支援交付金(内閣府)

《今後の方針》

中心市街地内で建設中の(仮称)キセラ川西商業複合施設整備事業の完成や、今後、(仮称)市立総合医療センター及び民間保育施設や市立認定こども園の整備などが行われることから、中心市街地への居住の需要は増加すると考えられるため、更なる社会増が見込まれる。

兵庫県丹波市 中心市街地活性化基本計画の概要

【計画期間】平成28年4月～令和3年3月
【人口】6.7万人(H27)、【面積】493.21km²

【目指す中心市街地の都市像】

「時の太鼓が響き、とどく“ロマン城下町かいばら”の創造」
～丹波の魅力を磨き発信し、集客と生活の基盤を創造するまちづくり～

【取組概要】

(1) ストック活用による集客・交流機能の強化

- ① 旧役場等公共建物活用事業
- 丹波らしい宿泊機能の整備事業

(2) 暮らしを支える文化・社会サービスの提供

- ② 柏原藩陣屋活用事業
- 大手会館(たんば黎明館)利活用促進事業

(3) 地域経済の新陳代謝を生む起業・創業支援

- ③ 商工会館リノベーション事業
- ④ テナントミックス推進事業

【中心市街地】人口:1,861人(H27)、【面積】69ha



【計画目標】

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値※
ストック活用による集客・交流機能の強化	歩行者・自転車通行量(平日)	714人/日(H26)	1,348人/日(R2)	1,516人/日 A(H30)
暮らしを支える文化・社会サービスの提供	文化・交流施設の利用者数	22,478人/年(H26)	30,000人/年(R2)	31,647人/年 A(H30)
地域経済の新陳代謝を生む起業・創業支援	新規店舗開業数	7店舗(H21～H26累計)	11店舗(H28～R2累計)	4店舗 C(H28～H30累計)

※「最新値」: 基準値からの改善状況 (A目標達成、B基準値達成、C基準値未達成)

兵庫県丹波市 中心市街地活性化基本計画の進捗状況 (H30定期フォローアップ等)

ストック活用による集客・交流機能の強化

《主要事業の進捗状況》

■ 商工会館リノベーション事業(ハード)【未実施】
〈概要〉商工会館をシェアオフィスなどのインキュベーション施設としてリニューアルを行う。
〈状況〉平成30年度 国の調査分析事業実施
令和1～2年度 実施予定

〈国の支援措置〉

- ・地域・まちなか活性化・魅力創出支援事業費補助金(中心市街地活性化支援事業)(経済産業省)(活用予定)

■ 丹波らしい宿泊機能の整備事業(ハード)【未実施】

〈概要〉古民家活用によるゲストハウス、オーベルジュ、体験型宿泊施設等の企画・運営を行う。
〈状況〉令和2年度 実施予定

〈国の支援措置〉

- ・地域・まちなか活性化・魅力創出支援事業費補助金(中心市街地活性化支援事業)(経済産業省)(活用予定)

■ 旧役場等公共建物活用事業(ハード)【実施中】

〈概要〉旧役場跡地を利用し、観光施設や集客の拠点施設整備を行う。
〈状況〉平成30年度は事業内容の検討及び調整を実施
令和2年度事業完了予定

〈国の支援措置〉なし

《その他の国の支援措置の活用状況》

■ たんば黎明館前句碑広場整備事業(ハード)【実施済】
・社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)(国土交通省)

《今後の方針》

既存のテナントミックス事業を引き続き進展させるとともに、店舗のみから宿泊施設・居住施設に空家・空店舗活用の内容を広げていくことが重要となっている。

暮らしを支える文化・社会サービスの提供

《主要事業の進捗状況》

■ 大手会館(たんば黎明館)利活用促進事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉プライダル・イベント等文化財建築の利活用による地域の価値を向上させる。
〈状況〉空きスペース(会議室)を活用して地元作家のギャラリー展示を行う等、積極的な賑わい創出を図っている。

〈国の支援措置〉なし

■ 柏原藩陣屋活用事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉柏原陣屋をイベントや講座等の開催場所として有効活用する。
〈状況〉平成30年度は陣屋正面スペースを舞台にみたて能を披露するなど貴重な文化遺産としての有効活用の観点からその魅力を最大限生かせる事業に取り組んでいる。

〈国の支援措置〉なし

■ 八幡公園整備事業(ハード)【未着手】

〈概要〉リハビリ・機能強化の要素を持つ公園を整備する。
〈状況〉土地所有者等との調整が整っていない

〈国の支援措置〉

- ・社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)(国土交通省)(活用予定)

■ 木の根橋周辺観光空間整備事業(ハード)【未実施】

〈概要〉木の根橋周辺を観光空間として整備する。
〈状況〉平成30年度は、基本的な整備方針について関係機関との調整を実施

〈国の支援措置〉

- ・社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)(国土交通省)(活用予定)

《今後の方針》

木の根橋周辺観光空間整備事業の推進が大きな鍵を握っているため、ソフト面での観光・文化情報発信拠点整備事業が連動することで相乗効果が発揮できるものと考えている。

地域経済の新陳代謝を生む起業・創業支援

《主要事業の進捗状況》

■ テナントミックス推進事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉空家・空き店舗活用によるテナントミックスを実施する。
〈状況〉平成30年度 実施店舗数1店舗

〈国の支援措置〉

- ・地域・まちなか商業活性化支援事業費補助金(中心市街地再興戦略事業)のうち、先導的・実証的の事業(経済産業省)

■ 新規起業支援事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉新規起業に対して設備投資等開業時の費用に対する支援を行う。
〈状況〉国の補助事業には適さない事業内容や小規模な起業に対する措置として、支援の隙間がないようにする役割を果たしている。

〈国の支援措置〉なし

■ シェア店舗整備事業(ソフト)【未実施】

〈概要〉小規模スペースのシェア店舗・シェアオフィスの設置を行う。
〈状況〉平成30年度は活用可能なスペースの抽出を実施

〈国の支援措置〉なし

《その他の国の支援措置の活用状況》

■ 起業塾開催事業(ソフト)【実施中】

- ・地方創生推進交付金(内閣府)

《今後の方針》

テナントミックス事業を着実に続けることと合わせて旧町役場・商工会館といった拠点施設活用と同時に、小規模・小スペース、そして業種業態の多様化により、その可能性を広げるターゲットの拡大につなげたい。

鳥取県鳥取市 中心市街地活性化基本計画の概要

【計画期間】平成30年4月～令和5年3月
【人口】19.0万人(H29)、【面積】765.31km²

【目指す中心市街地の都市像】

集い、つながる、とっりのまち 山陰東部の都市核づくり

【取組概要】

(1) 地域資源等を活かした交流人口の拡大

- 鳥取城跡大手登城路復元整備事業
- 文化観光施設等運営事業
- 民藝館通り周辺活性化事業
- インバウンド促進事業
- 地域交流センター整備事業

(2) 回遊・滞在による経済活力の向上

- まるにわガーデン活用事業
- リノベーションまちづくり事業
- まちなか観光促進事業
- 市道駅前太平線賑わい空間活用事業

(3) 若年層のまちなか暮らしの促進

- 既存ストック活用居住推進地域連携事業
- 鳥取市役所駅南庁舎整備事業(健康づくり、子育て支援)
- まちなか子育て支援事業
- 鳥取赤十字病院整備事業

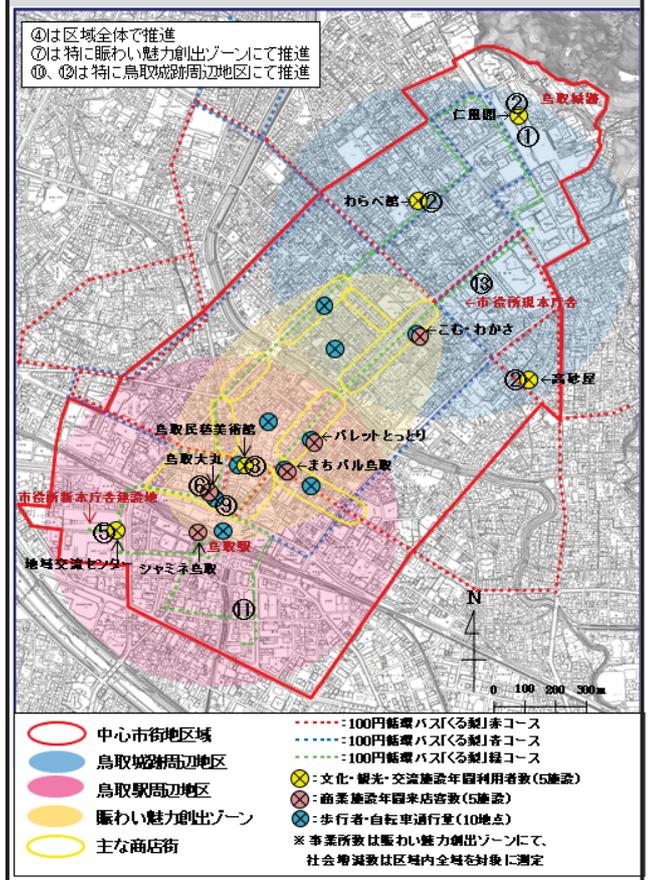
【計画目標】

「最新値※」: 基準値からの改善状況
(A目標達成、B基準値達成、C基準値未達成)

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値※
地域資源等を活かした交流人口の拡大	文化観光・交流施設年間利用者数(5施設※1)	199,154人/年(H28)	264,000人/年(R4)	193,778人/年(H30)
	商業施設年間来店客数(5施設※2)	3,322,007人/年(H28)	3,449,000人/年(R4)	3,020,229人/年(H30)
回遊・滞在による経済活力の向上	8商店街の事業所数	455事業所(H29)	467事業所(R4)	456事業所(B)
	※補足指標 10地点歩行者・自転車通行量(平日・休日の平均)	21,946人/日(H29)	23,000人/日(R4)	20,947人/日(H30)
若年層のまちなか暮らしの促進	中心市街地の45歳未満居住人口(社会増減数)	47人/年(H24-28平均)	60人/年(H30-R4平均)	175人/年(A)

※1 仁風閣、わらべ館、高砂屋、鳥取民藝美術館、地域交流センター
※2 シャミネ鳥取、鳥取大丸、まちバル鳥取、パレットとっとり、こむ・わかさ

【中心市街地】人口: 12,347人(H29)、【面積】約210ha



鳥取県鳥取市 中心市街地活性化基本計画の進捗状況 (H30定期フォローアップ等)

地域資源等を活かした交流人口の拡大

《主要事業の進捗状況》

■鳥取城跡大手登城路復元整備事業

(ハード)【実施中】

〈概要〉国指定史跡である鳥取城跡の石垣、櫓門等を復元整備することにより、市民の憩いの場として、また観光資源としての魅力向上を図る。

〈状況〉平成30年10月にその一部である「擬宝珠橋」の復元が完成

〈国の支援措置〉

・国重要文化財等保存整備費補助金(文部科学省)

■文化観光施設等運営事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉仁風閣、わらべ館等の文化観光施設において、各施設の展示品等を活かした体験事業の実施や、鳥取城跡整備とあわせてPR等を行う。

〈状況〉平成30年度の入込客数は、仁風閣は37,975人、わらべ館は126,700人

〈国の支援措置〉なし

■民藝館通り周辺活性化事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉国登録文化財である鳥取民藝美術館を活用し、地元の文化である「民藝」を発信していくとともに、旧吉田医院をはじめ空き店舗活用、通り環境の整備により、鳥取民藝美術館周辺一帯で観光交流の促進を図る。

〈状況〉平成30年度の来客数は6,063人

〈国の支援措置〉なし

■地域交流センター整備事業(ハード)【実施中】

〈概要〉多目的スペース、活動スペース、展示場、スタジオなどの機能を備えた地域交流センターを市役所新本庁舎建設地に整備する。

〈状況〉市役所新本庁舎を建設中(8月末完成)

〈国の支援措置〉

・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

(国土交通省)

《今後の方針》

R1秋の市役所新本庁舎開設にあわせ、地域交流センターを供用開始予定としているほか、引き続き各種事業を推進する。

回遊・滞在による経済活力の向上

《主要事業の進捗状況》

■まるにわガーデン活用事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉鳥取大丸屋上の芝生広場を活用したマルシェイベントの開催等により集客増を図る。

〈状況〉イベントを開催することで来店者の増加に一定の効果が発現

〈国の支援措置〉なし

■リノベーションまちづくり事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉事業者や民間まちづくり会社の育成、遊休不動産所有者への啓発などを通じて、民間自立型での遊休不動産の利活用を進め新たな魅力の創出につなげる。

〈状況〉リノベーションまちづくり会議を設置したほか、地域住民を交え空き家会議を実施

〈国の支援措置〉

■地方創生推進交付金(内閣府)

■まちなか観光促進事業(ソフト)【未実施】

〈概要〉100円循環バス等を活用した観光周遊ルートの設定、情報発信により、中心市街地の集客増、来街者の回遊性の向上、公共交通の利用促進を図る。

〈状況〉平成30年度事業実績なし

〈国の支援措置〉なし

■市道駅前太平線賑わい空間活用事業

(ソフト)【実施中】

〈概要〉道路空間の全天候型広場に椅子、テーブル等の休憩施設を設置し、歩行者にとって憩いやすい滞在空間を設けることで、来街者の回遊性の向上や沿道店舗の集客増を図る。

〈状況〉平成30年度には約52,000人(前年度比約15,000人増)の集客

〈国の支援措置〉

・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

・道路の占用の特例(国土交通省)

《今後の方針》

鳥取大丸のリニューアルオープンにあわせ、駅周辺エリアの活性化に取り組みとともに、空き店舗について、マッチング強化等起業しやすい仕組みづくりに取り組んでいくほか、引き続き各種事業を推進する。

若年層のまちなか暮らしの促進

《主要事業の進捗状況》

■既存ストック活用居住推進地域連携事業

(ソフト)【実施中】

〈概要〉若年層のまちなか暮らしを促進するための空き家等既存ストックの活用方策を、地域住民とともに検討し実施することにより中心市街地への居住促進を図る。

〈状況〉大学と連携し中心市街地の空き家実態の調査を実施

〈国の支援措置〉なし

■鳥取市役所駅南庁舎整備事業(ハード)【実施中】

〈概要〉中核市への移行に伴い、市役所駅南庁舎に保健所・保健センター・子育て支援機能を集め、健康づくりと子育て支援の総合拠点として整備することにより、中心市街地への居住促進を図る。

〈状況〉平成30年9月に実施設計を開始、令和2年春頃完了予定

〈国の支援措置〉なし

■まちなか子育て支援事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉子どもたちの遊びの場や託児サービスの提供、各種教室を運営することなどにより、中心市街地における子育て支援機能の充実による居住促進並びに子育て世代の交流促進を図る。

〈状況〉教室の受講や一時預かり等を実施

〈国の支援措置〉

・子ども・子育て支援交付金(内閣府)

■鳥取赤十字病院整備事業(ハード)【実施中】

〈概要〉中心市街地に総合的な医療機能を確認し、安全・安心な生活環境の充実により、中心市街地への居住促進を図る。

〈状況〉平成30年5月に新本館がグランドオープン

〈国の支援措置〉なし

《今後の方針》

H30に行った空き家調査結果を踏まえ、空き家等既存ストックの居住コミュニティ機能等の利活用について検討するほか、引き続き各種事業を推進する。

鳥取県米子市 中心市街地活性化基本計画の概要

【計画期間】平成27年12月～令和3年3月
【人口】14.8万人(H27)、【面積】676km²

【目指す中心市街地の都市像】

『人が集まり、歩いて楽しみ、元気に暮らせる中心市街地』
～生活充実都市・米子～

【取組概要】

(1) 人が集いにぎわうまち

- ① 米子駅南北自由通路整備事業
- ② 商都米子再興戦略・キッズサポート施設整備事業
- ③ 商都米子再興戦略・商業施設整備事業
- ④ チャレンジショップ事業

(2) 歴史や文化、自然に触れ合えるまち

- ⑤ 山陰歴史館整備事業
- ⑥ 地域おこし協力隊活用事業
- ⑦ 米子下町観光ガイド

(3) 住みたくなるまち

- ⑧ 民間共同住宅建設事業
- ⑨ 移住定住推進事業
- ⑩ 小規模保育所設置事業

【計画目標】

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値※
人が集いにぎわうまち	歩行者通行量(自転車を含む) (人/年度)	12,945人 (H26)	13,200人 (R2)	12,477人 C (H30)
	駐車場の利用台数(時間貸しのみ) (台/年度)	1,498,308台 (H26)	1,515,000台 (R2)	1,298,837台 C (H30)
歴史や文化、視線に触れ合えるまち	文化施設の利用者数 (人/年度)	1,138,317人 (H25)	1,140,000人 (R2)	1,083,073人 C (H29)
	下町観光ガイドの利用者数 (人/年度)	956人 (H26)	1,380人 (R2)	2,106人 A (H30)
住みたくなるまち	人口の社会増減 (人)	▲5人 (H22～H27の平均・3月末時点)	H28～R3の平均をプラスに	▲22人 C (H28～H31の平均)

※「最新値」: 基準値からの改善状況(A目標達成、B基準値達成、C基準値未達成)

【中心市街地】人口: 5,004人(H27)、【面積】約196ha



鳥取県米子市 中心市街地活性化基本計画の進捗状況 (H30定期フォローアップ等)

人が集いにぎわうまち

＜主要事業の進捗状況＞

■米子駅南北自由通路整備事業(ハード)【実施中】
〈概要〉米子駅の南北地区をバリアフリー化に配慮した自由通路で連絡する。
〈状況〉当初の計画より遅れが生じ、計画期間内での効果の発現は困難

- 〈国の支援措置〉
- ・社会資本整備総合交付金(道路事業(街路))(国土交通省)
- ・防災・安全交付金(道路事業(街路))(国土交通省)

■にぎわいのある商店街づくり事業(ソフト)【実施中】
〈概要〉空き店舗に出店する事業者に改修費等の助成を行う。
〈状況〉平成30年度 新規出店数4店舗

- 〈国の支援措置〉
- ・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

■商都米子再興戦略・キッズサポート施設整備事業(ハード)【未着手】
〈概要〉知育・体育プログラムを提供する施設の整備、子育てカフェの設置、育児グッズ等の売り場の新設等を行う。
〈状況〉デパート撤退の影響もあり、事業内容の見直しを行っている。

- 〈国の支援措置〉
- ・地域・まちなか商業活性化支援事業費補助金(中心市街地再興戦略事業)のうち先導的・実証的事業(経済産業省)(活用予定)

■商都米子再興戦略・商業施設整備事業(ハード)【未着手】
〈概要〉キッズサポート施設との相乗効果が期待できる商業施設の整備を行う。
〈状況〉キッズサポート施設整備事業の事業見直し等により、事業再構築が必要となり、事業実施に至っていない。

- 〈国の支援措置〉
- ・地域・まちなか商業活性化支援事業費補助金(中心市街地再興戦略事業)のうち先導的・実証的事業(経済産業省)(活用予定)

■商業活動新規参入支援事業(チャレンジショップ事業)(ソフト)【実施中】
〈概要〉新規参入事業者の支援を行う。
〈状況〉平成30年度 新規参入事業者1名

- 〈国の支援措置〉
- ・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

＜今後の方針＞

来街者の利便性を高めるサービス連携が周辺エリア全体に浸透することで、賑わいの再生を期待したい。未着手の事業については事業の再構築をはかり、2つの核であるエリアを起点に中心市街地全体に賑わいの効果を波及させたい。

歴史や文化、自然に触れ合えるまち

＜主要事業の進捗状況＞

■山陰歴史館整備事業(ハード)【未着手】
〈概要〉米子の通史を学ぶ場として、また、城山のガイダンスや下町散策の拠点施設として整備する。
〈状況〉平成27年度に庁内プロジェクトチームを組織、利活用についての検討を重ねている。平成30年度は小規模な改修を行い来客者の利便性を向上させ、ソフト事業を通じて入館者の増加につなげた。

- 〈国の支援措置〉なし

■新生米子市立図書館の運営(ソフト)【実施中】
〈概要〉図書のみならず、ビジネス支援、多目的スペースを活用した市民の生涯学習の発表の機会を提供などを含めた図書館を運営する。
〈状況〉HPやSNSを活用し、多目的スペースのPRやイベント案内、研修室解放状況などの情報発信を行うとともに、特定のテーマに特化した展示コーナーを増やすなど利用促進に努めた。

- 〈国の支援措置〉なし
- ・米子のまち 小路めぐりマップ作成(ソフト)【実施済】

〈概要〉小路の歴史的な背景を学ぶとともに、現代の町の魅力や歴史的背景を味わえるよう楽しいまち歩きを提案とマップを作成する。
〈状況〉平成29年3月にマップが完成、また、平成29年度末にはガイドブック「よなごの小路八十八選」が発刊され、下町観光ガイドやまち歩きイベントでの活用が期待される。

- 〈国の支援措置〉なし

■もっと知りたい米子城事業(ソフト)【実施中】
〈概要〉米子城の魅力を伝えるための事業を行う。
〈状況〉平成30年度 米子城めぐりマップ作成

- 〈国の支援措置〉なし
- ・国宝重要文化財等保存整備費補助金(文部科学省)

■米子下町観光ガイド(ソフト)【実施中】
〈概要〉米子下町の魅力を伝えるための事業を行う。
〈状況〉平成30年度 米子下町観光ガイド作成

- 〈国の支援措置〉なし
- ・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

■米子下町観光ガイド(ソフト)【実施中】
〈概要〉米子下町の魅力を伝えるための事業を行う。
〈状況〉平成30年度 米子下町観光ガイド作成

- 〈国の支援措置〉なし
- ・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

下町観光ガイドについて実施主体が変更され、メニューのスケールアップが図られることとなり、観光ガイドの利用者が大幅に増加している。引き続き、官民が連携して利用者の増加に努めていく。

下町観光ガイドについて実施主体が変更され、メニューのスケールアップが図られることとなり、観光ガイドの利用者が大幅に増加している。引き続き、官民が連携して利用者の増加に努めていく。

住みたくなるまち

＜主要事業の進捗状況＞

■民間共同住宅建設事業(ハード)【実施中】
〈概要〉民間事業者による共同住宅を建設する。
〈状況〉平成30年度 1棟(18戸)竣工
〈国の支援措置〉なし

■まちなか空き家活用プロジェクト(ハード・ソフト)【実施中】
〈概要〉空き家を改修し、地域交流スペース機能を備えた若者向けシェアハウスの整備及び「岩倉ふらっと」を管理・運営する。
〈状況〉新規物件については掘り起し中

- 〈国の支援措置〉なし
- ・「岩倉ふらっと」での開催イベント数 4回

〈その他の国の支援措置の活用状況〉
■小規模保育設置促進補助事業(ハード)【実施済】

- ・子育て支援対策臨時特例交付金(厚生労働省)

■歩道のバリアフリー化事業(ハード)【実施済】
・防災・安全交付金(道路事業)(国土交通省)

■中心市街地情報発信事業(まちなかなう事業)(ソフト)【実施中】

- ・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)(活用予定)

■中心市街地情報発信事業(まちなかなう事業)(ソフト)【実施中】

- ・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

■中心市街地情報発信事業(まちなかなう事業)(ソフト)【実施中】

今後も、中心市街地の高い機能性や利便性を情報発信し、民間共同住宅の建設や空き家活用を促すことに積極的に取り組んでいく。また、社会減について分析を行うとともに既存事業の内容の拡充について検討する。

今後も、中心市街地の高い機能性や利便性を情報発信し、民間共同住宅の建設や空き家活用を促すことに積極的に取り組んでいく。また、社会減について分析を行うとともに既存事業の内容の拡充について検討する。

今後も、中心市街地の高い機能性や利便性を情報発信し、民間共同住宅の建設や空き家活用を促すことに積極的に取り組んでいく。また、社会減について分析を行うとともに既存事業の内容の拡充について検討する。

鳥取県倉吉市 中心市街地活性化基本計画の概要

【計画期間】平成27年7月～令和2年3月
【人口】5.0万人(H26)、【面積】272.06km²

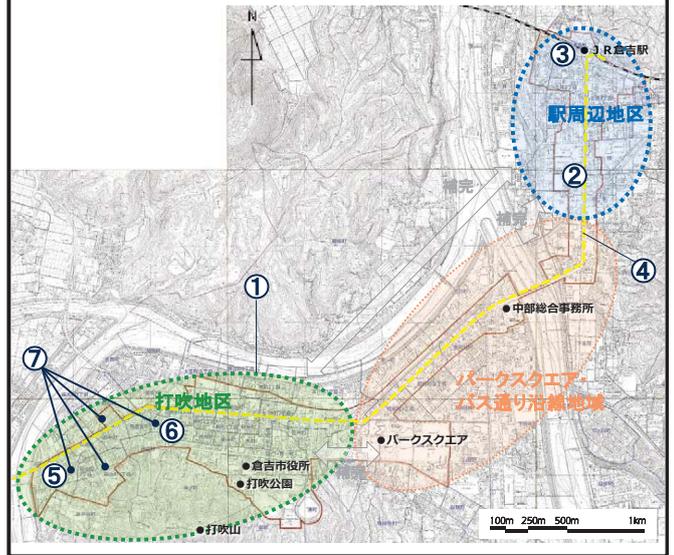
【目指す中心市街地の都市像】

みんなでつくる活気ににぎわいの場、暮らしよい元気な中心市街地

【取組概要】

- (1) 誰もが持続的に住みたく暮らしやすい生活環境を備えたまち
 - ① リノベーション居住推進事業
 - ② シニアステージ上井(サービス付き高齢者向け賃貸住宅)
 - ③ 倉吉駅前ファーマーズマーケット整備事業
 - ④ 夕夜間時間帯のバス運行事業
- (2) 歴史的・文化資源を活かした回遊型観光のまち
 - ⑤ 小川記念館整備事業
 - ⑥ 倉吉淀屋活用事業
 - ⑦ アーティストとの交流によるまちづくり拠点整備事業
- (3) 小規模でも高付加価値な事業活動を創出するまち
 - ① リノベーション居住推進事業【再掲】
 - ⑧ 地域産業活性化推進事業
 - ⑨ 倉吉市中心市街地活性化協議会タウンマネージャー設置事業

【中心市街地】人口:6,748人(H26)、【面積】約195ha



【計画目標】

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値※
誰もが持続的に住みたく暮らしやすい生活環境を備えたまち	中心市街地全体の人口の社会増減	▲121人 (H21～H26)	±0人 (H27～R2)	▲145人 C (H27～H30)
歴史的・文化資源を活かした回遊型観光のまち	中心市街地における観光入込客数	375,500人/年 (H25)	421,400人/年 (R1)	344,420人/年 C (H30)
小規模でも高付加価値な事業活動を創出するまち	中心市街地における創業事業所数	平均5件/年 (H21～H25の平均)	平均8件/年 (H27～R1の平均)	平均6.8件/年 B (H27～H30の平均)

※「最新値」: 基準値からの改善状況(A目標達成、B基準値達成、C基準値未達成)

鳥取県倉吉市 中心市街地活性化基本計画の進捗状況 (H30定期フォローアップ等)

誰もが持続的に住みたく暮らしやすい生活環境を備えた街

《主要事業の進捗状況》

- リノベーション居住推進事業(ソフト)【実施中】
〈概要〉移住相談窓口の設置、移住初期経費等の一部補助、家賃助成を行う。
〈状況〉247件の移住相談対応、4件の県外からの移住に対する補助支援を実施
〈国の支援措置〉なし
- サービス付高齢者向け賃貸住宅事業(ハード)【実施済】
〈概要〉設備の整った利便性の高いサービス付高齢者向け賃貸住宅の整備を行う。
〈状況〉平成31年3月末時点48名入居
〈国の支援措置〉なし
- 住民運営のサロン事業(ソフト)【実施中】
〈概要〉介護予防ボランティア養成、立ち上げ支援、運営者育成、運営支援を行う生活支援コーディネーターを設置する。
〈状況〉生活支援コーディネーターの活動を支える「協議体」の設置検討を実施
〈国の支援措置〉なし
- ・地域支援事業交付金(厚生労働省)
- 倉吉駅前ファーマーズマーケット整備事業(ソフト・ハード)【実施中】
〈概要〉JA支所を建替え、農産物直売所と多目的ホールを整備する。
〈状況〉調査事業は終了、令和元年度以降のハード整備を目指す。
〈国の支援措置〉なし
- ・中心市街地再興戦略事業費補助金(調査事業)(経済産業省)

《その他の国の支援措置の活用状況》

- 夕夜間時間帯のバス運行事業(ソフト)【実施中】
・乗合バスの利用者の利便の増進のための事業に係る特定民間事業計画の主務大臣認定(国土交通省)
- 放課後児童クラブ運営(ソフト)【実施中】
・子ども・子育て支援交付金(内閣府)

《今後の方針》

リノベーション推進事業等、既存の事業を継続的に実施する。また、中心市街地活性化協議会においても、空き家・空き店舗情報の整理や活用策の検討を進めており、官民連携で推進していきたい。

歴史的・文化資源を活かした回遊型観光のまち

《主要事業の進捗状況》

- 小川記念館整備事業(ハード)【未実施】
〈概要〉小川家の主屋、酒造、庭園の改修・整備を行い、集客施設として整備するとともに、蔵の一部は土産物・喫茶・軽食販売が行える店舗として整備する。
〈状況〉平成30年度から庭園の復旧改修事業に着手
〈国の支援措置〉なし
- 倉吉淀屋活用事業(ハード)【実施中】
〈概要〉倉吉淀屋付属屋の修理・復原・修繕・施設整備等を行う。
〈状況〉30年度に施設全体の修理が終了
〈国の支援措置〉なし
- ・社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)(国土交通省)
- 歴史的景観整備事業(ハード)【実施中】
〈概要〉既存の伝統的建物群保存地区の修理・修景事業の維持・更新とともに、新たな伝建地区の指定やそれに伴う修理・修景事業の実施、街なみ環境整備を行う。
〈状況〉震災による修理・修景整備を実施
〈国の支援措置〉なし
- ・伝統的建造物群保存修理等事業(文部科学省)

《その他の国の支援措置の活用状況》

- アーティストとの交流によるまちづくり拠点整備事業(ハード)【未実施】
・地域・まちなか商業活性化支援事業費補助金(中心市街地再興戦略事業)のうち先導的・実証的(経済産業省)(活用予定)
- 円形校舎活用事業(ハード)【実施済】
・地域・まちなか商業活性化支援事業費補助金(中心市街地再興戦略事業)のうち先導的・実証的(経済産業省)

《今後の方針》

新たな集客拠点の整備により期待される来街者を既存の観光施設へと回遊を促進するとともに、スポーツ催事を活用し観光客を呼び込みたい。

小規模でも高付加価値な事業活動を創出するまち

《主要事業の進捗状況》

- (再掲)リノベーション居住推進事業(ソフト)【実施中】
- 地域の暮らしを支える商店街づくり事業(ソフト)【実施中】
〈概要〉空き店舗等を活用した日常生活を支える店舗の設置や地域コミュニティスペースの設置・運営を行う事業者・地域団体の取り組みを支援する。
〈状況〉家賃補助5件 店舗改装2件 チャレンジショップ運営事業利用 3件
〈国の支援措置〉なし
- 地域産業活性化推進事業(ソフト)【実施中】
〈概要〉地域産業活性化推進員の配置による就業情報提供、空き店舗のマッチング支援、市内事業者の販路開拓を支援する。
〈状況〉相談受付件数 12件 市内新規開業数 9件 販路開拓補助 5件
〈国の支援措置〉なし
- 倉吉市中心市街地活性化協議会タウンマネージャー設置事業(ソフト)【実施中】
〈概要〉中心市街地活性化協議会にタウンマネージャーを設置する。
〈状況〉平成28年10月よりタウンマネージャーを設置、事業のブラッシュアップ・推進を行った。
〈国の支援措置〉なし
- ・地域・まちなか商業活性化支援事業(中心市街地再興戦略事業)のうち専門人材活用支援事業(経済産業省)

《今後の方針》

リノベーション居住推進事業などの取組みを着実に実施することや、市において中心市街地活性化に向けた専属的な職員を1名増員するなど支援体制をブラッシュアップする。

島根県江津市 中心市街地活性化基本計画の概要

【計画期間】平成27年4月～令和2年3月
【人口】2.5万人(H26)、【面積】268.2km²

【目指す中心市街地の都市像】
「人がつながる、まちがつながる、さんかくタウン」

【取組概要】

(1) 中心市街地の回遊性の向上

- ① 公共公益複合施設建設事業
- ② 宿泊施設建設事業
- ③ コンテナショップ建設事業
- ④ グリーンモール環境整備事業
- ⑤ レンタサイクル実証実験・サイクルマップ作成

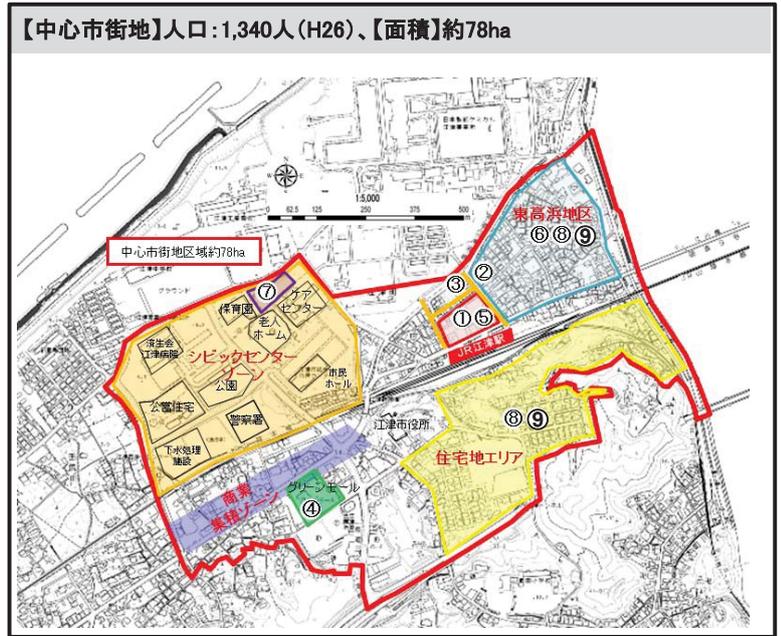
(2) 街なか居住の推進

- ⑥ 東高浜地区密集市街地整備事業
- ⑦ 中心市街地共同住宅供給事業
- ⑧ 石州赤瓦利用促進事業
- ⑨ 中心市街地新築住宅取得事業

【計画目標】

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値※
中心市街地の回遊性の向上	歩行者・自転車通行量	986人/日 (H26)	1,376人/日 (R1)	940人/日 C (H30)
	新規店舗出店数	11店舗 (H21~25)	14店舗 (H27~R1)	15店舗 A (H27~30)
街なか居住の推進	中心市街地の人口	1,340人 (H25)	1,498人 (R1)	1,225人 C (H30)

※「最新値」: 基準値からの改善状況(A目標達成、B基準値達成、C基準値未達成)



島根県江津市 中心市街地活性化基本計画の進捗状況 (H30定期フォローアップ等)

中心市街地の回遊性の向上

《主要事業の進捗状況》

■ 公共公益複合施設建設事業(ハード)【実施済】

〈概要〉市民交流センター機能、総合福祉センター機能、子育て支援機能、観光案内機能を有する公共公益複合施設を整備する。

〈状況〉平成28年8月オープン

〈国の支援措置〉

・社会資本整備総合交付金(都市再生整備事業)(国土交通省)

■ アンテナカフェ52(ハード・ソフト)【実施済】

〈概要〉空き店舗を改修し、アンテナカフェとしてワーキングスペース及びカフェを整備、運営する。

〈状況〉平成29年4月に新規店舗オープン

〈国の支援措置〉

・地方創生加速化交付金(内閣府)

■ 空き店舗活用事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉中心市街地内に新たに出店する際に必要な改装費及び家賃の一部を補助する。

〈状況〉平成30年度実績は2件

〈国の支援措置〉

・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

《その他の国の支援措置の活用状況》

■ 江津市地域公共交通網形成計画策定事業(ソフト)【実施済】

・地域公共交通確保維持改善事業(調査等事業)(国土交通省)

■ GOつくる大学(ソフト)【実施中】

・地方創生推進交付金(内閣府)

《今後の方針》

公共公益複合施設やビジネスホテルの利用者は、計画策定当初の見込みより大幅に増加し、新規店舗の出店も順調に伸びている。今後は公共公益複合施設のソフト事業の充実や周辺商業の情報発信を行い、中心市街地への来街機会の創出と回遊性の向上を図る。

街なか居住の推進

《主要事業の進捗状況》

■ 東高浜地区密集市街地整備事業(ハード)【実施中】

〈概要〉東高浜地区において、道路整備等を行いながら、良好な居住環境の整備を行う。

〈状況〉平成30年度の新築件数は3件

〈国の支援措置〉

・防災・安全交付金(地域住宅計画に基づく事業(住宅市街地総合整備事業))(国土交通省)

■ 中心市街地共同住宅供給事業(ハード)【未実施】

〈概要〉市営住宅1団地の建て替えを中心市街地内でを行い、42戸の住宅を整備する。

〈状況〉事業計画の見直しにより遅延している。

〈国の支援措置〉

・社会資本整備総合交付金(地域住宅計画に基づく事業(公営住宅整備事業))(国土交通省)(活用予定)

■ 石州赤瓦利用促進事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉屋根の実面積が30m²以上となる建築物の新築、増築、大規模修繕(屋根替え)などをされる建物所有者に石州瓦の資材費の一部を補助する。

〈状況〉平成29年度の助成金申請数は5件

〈国の支援措置〉

・社会資本整備総合交付金(地域住宅計画に基づく事業(地域住宅政策推進事業))(国土交通省)

■ 中心市街地新築住宅取得事業(ソフト)【未実施】

〈概要〉中心市街地において新築住宅を取得した者に対し費用の一部を助成する。

〈状況〉平成31年度から実施

〈国の支援措置〉なし

《今後の方針》

当初の見込みより自然減による人口減少が進行しているため、今後は東高浜地区密集整備事業などと連携した新築促進策を講じるなど、居住、定住促進にむけたソフト事業を追加する必要がある。

島根県雲南市 中心市街地活性化基本計画の概要

【計画期間】平成28年12月～令和4年3月
【人口】3.9万人(H27)、【面積】553.18km²

【目指す中心市街地の都市像】

商業の中心・まちの顔を作る

【取組概要】

(1) 購買力流出の抑制

- ① SAKURAマルシェ整備事業
- ② 民間商業施設整備事業
- ③ 創業者育成セミナー事業

(2) 定住人口の増加

- ④ 定住推進住宅改修助成事業
- ⑤ 子育て世帯定住宅地購入補助金
- ⑥ 住宅リフォーム支援事業

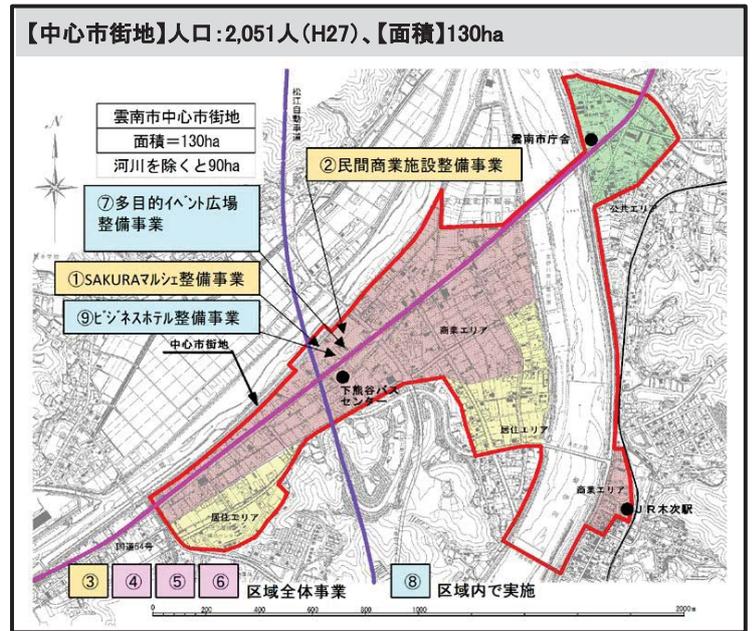
(3) 交流人口の増加

- ⑦ 多目的イベント広場整備事業
- ⑧ まめなカー市実施事業
- ⑨ ビジネスホテル整備事業

【計画目標】

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値※
購買力流出の抑制	中心市街地の新規出店数(店舗)	10(店舗) [H23～H27年度]	15(店舗) [H28～R3年度]	17(店舗) A [H28～H30年度]
定住人口の増加	中心市街地の人口(人)	2,051(人) [H27年度]	2,094(人) [R3年度]	1976(人) C [H30年度]
交流人口の増加	中心市街地で実施するまめなカー市の年間入込客数(人/年)	5,800(人/年) [H27年度]	10,000(人/年) [R3年度]	2,500(人/年) C [H30年度]

※「最新値」: 基準値からの改善状況(A目標達成、B基準値達成、C基準値未達成)



島根県雲南市 中心市街地活性化基本計画の進捗状況 (H30定期フォローアップ等)

購買力流出の抑制

《主要事業の進捗状況》

■ **SAKURAマルシェ整備事業(ハード)【実施中】**
 〈概要〉個性的な店舗が集まるオープンモールを整備する。
 〈状況〉新規商業施設を建設中。関係機関協議に不測の日数を要したため繰越事業となったが、令和元年7月オープンを目指して進めている。
 〈国の支援措置〉
 ・特定民間中心市街地経済活力向上事業計画の経済産業大臣認定(経済産業省)
 ・地域・まちなか商業活性化支援事業費補助金(中心市街地再興戦略事業)のうち先導的・実証的的事业(経済産業省)
 ・中心市街地における低利融資(企業活力強化貸付(企業活力強化資金))(経済産業省)(活用予定)
 ・特定民間中心市街地経済活力向上事業の用に供する不動産の取得又は建物の建築をした際の登録免許税の軽減(経済産業省)(活用予定)
 ■ **民間商業施設整備事業(ハード)【実施済】**
 〈概要〉商業エリアの一角を担う民間商業施設を整備する。
 〈状況〉整備は全て完成、明るい照明設備に加えイトインコーナーの設置や商品を探しやすい陳列棚の設置を行い、整備前と比較し買い物客が増加する見込み。
 〈国の支援措置〉なし

《その他の国の支援措置の活用状況》

- **空き家・空き店舗再生事業(ソフト)【未実施】**
- ・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)(活用予定)
- **創業者育成セミナー事業(ソフト)【未実施】**
- ・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)(活用予定)

《今後の方針》

「SAKURAマルシェ整備事業」により建設する商業施設については、令和元年7月のオープンを目指しており、着実に実施することで新規出店数を増加させる。

定住人口の増加

《主要事業の進捗状況》

■ **定住推進住宅改修助成事業(ソフト)【実施中】**
 〈概要〉子育て世代の入居を目的とした賃貸住宅の改修に対して支援する。
 〈状況〉これまでに8戸の支援実績があり、UターンやIターンにより子育て世代が入居した。
 〈国の支援措置〉なし
 ■ **子育て世帯定住宅地購入補助金(ソフト)【実施中】**
 〈概要〉子育て世帯が、定住や市外からの移住をする際に、土地購入費に対して補助金を交付する。
 〈状況〉平成30年度は実績なし。
 〈国の支援措置〉なし
 ■ **住宅リフォーム支援事業(ソフト)【実施中】**
 〈概要〉住宅をバリアフリー化、耐震化など、エコ住宅に改修する際に改修費用に対して補助金を交付する。
 〈状況〉平成30年度の実績は4件。
 〈国の支援措置〉なし

《その他の国の支援措置の活用状況》

- **病後児保育事業(ソフト)【実施中】**
- ・子ども子育て支援交付金(内閣府)
- **市民バス路線改善調査事業(ソフト)【未実施】**
- ・地域公共交通確保維持改善事業(地域公共交通等調査事業)(国土交通省)(活用予定)

《今後の方針》

定住推進住宅改修助成事業を活用した賃貸住宅へ、更なる入居を促進する。そのほか、宅地購入の補助やリフォームの支援を積極的に行うことで、定住人口を増加させる。

交流人口の増加

《主要事業の進捗状況》

■ **多目的イベント広場整備事業(ハード)【実施中】**
 〈概要〉まめなカー市を主とした様々なイベントが実施できる広場を整備する。
 〈状況〉これまでに測量が終わり、令和元年度は設計を行う予定。
 〈国の支援措置〉
 ・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省)
 ■ **まめなカー市実施事業(ソフト)【実施中】**
 〈概要〉様々なジャンルの商品を積んだ軽トラックが並列し、市場を開催する。
 〈状況〉平成30年度は計画した5回のうち2回は雨天中止となったが、イベントとしては定着している。
 〈国の支援措置〉
 ・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)
 ■ **ビジネスホテル整備事業(ハード)【実施中】**
 〈概要〉商業エリアにビジネスホテルを整備する。
 〈状況〉平成30年度に用地を取得。令和2年オープンを目指して調整中。
 〈国の支援措置〉なし

《その他の国の支援措置の活用状況》

- **元氣パーク整備事業(ハード)【実施中】**
- ・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省)

《今後の方針》

整備を予定している多目的広場や、区域内の施設を活用したイベントを開催することで来街者の増加を図り、近隣の商業施設への集客にも結びつけていく。

岡山県倉敷市 中心市街地活性化基本計画の概要

【計画期間】平成27年4月～令和2年3月
【人口】48.3万人(H30) 【面積】約355.63km²

【目指す中心市街地の都市像】

「世界に誇る伝統文化 居心地のよいまち 暮らしき」

【取組概要】

(1) 倉敷がまもり育ててきた伝統文化を活かし、まちの魅力を向上させる

- ①(仮称)倉敷歴史顕彰館整備事業
- ②(仮称)倉敷美観地区新魅力集客拠点創出事業
- ③(仮称)倉敷アイビースクエア施設整備事業
- ④(仮称)中心市街地町家・古民家イノベーション事業

(2) 歩いて楽しい、暮らしやすいまちを形成する

- ⑤阿知3丁目東地区市街地再開発事業
- ⑥JR倉敷駅北ペDESTリアンデッキ魅力創出
- ⑦倉敷中央病院地域連携活動

(3) まちなかに人を誘導し、交流を促進する

- ⑧ピオスの広場活用事業
- ⑨倉敷物語館周辺再生整備事業
- ⑩JR倉敷駅北大規模複合型商業施設増床

【中心市街地】人口：7,983人(H27)、【面積】175ha



【計画目標】

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値※
倉敷がまもり育ててきた伝統文化を活かし、まちの魅力を向上させる	主要有料観光施設入場者数	526,598人(H25)	610,000人(R1)	501,090人(H30) C
歩いて楽しい、暮らしやすいまちを形成する	歩行者・自転車通行量(休日)	96,263人/日(H26)	120,000人/日(R1)	116,656人/日(R1) B
	居住人口	7,983人(H26)	8,800人(R1)	7,524人(R1) C
まちなかに人を誘導し、交流を促進する	市民交流施設利用者数	597,223人(H25)	600,000人(R1)	799,487人(H30) A

※「最新値」：基準値からの改善状況(A目標達成、B基準値達成、C基準値未達成)

岡山県倉敷市 中心市街地活性化基本計画の進捗状況 (H30定期フォローアップ等)

倉敷がまもり育ててきた伝統文化を活かし、まちの魅力を向上させる

《主要事業の進捗状況》

- (仮称)愛文社再生生活用整備事業(ハード)【実施済】
〈概要〉倉敷市最古の書店をインバウンド対応の書店としてレストランとの複合施設にリノベーション
〈状況〉「愛文舎」(江戸創業期名称に変更)が平成31年3月29日開業
〈国の支援措置〉
・地域文化資源活用空間創出事業費補助金(中心市街地活性化事業)のうち先導的・実証的(経済産業省)
- (仮称)旧中国銀行本町出張跡跡再生整備事業(ハード)【実施中】
〈概要〉大原美術館が所蔵する貴重なコレクションを調査、研究、修復し展示施設を開設する。
〈状況〉平成30年度からリノベーション計画を策定中
〈国の支援措置〉
・商店街活性化・観光消費創出事業のうち消費創出事業(経済産業省)
- (仮称)倉敷美観地区新魅力集客拠点創出事業(ハード・ソフト)【実施中】
〈概要〉倉敷美観地区の町家群をリノベーションし、地元企業主体でインバウンドにも対応した新たな業態の広域集客拠点を創出する。
〈状況〉平成30年度は、新魅力集客拠点を構成する3複合施設のうち、きび美ミュージアムを事業化、他2施設の事業化を進めている。
〈国の支援措置〉
・商店街活性化・観光消費創出事業のうち消費創出事業(経済産業省)
・地域・まちなか商業活性化支援事業(中心市街地再興戦略事業)のうち先導的・実証的(経済産業省)
- (仮称)倉敷アイビースクエア施設整備事業(ハード・ソフト)【実施中】
〈概要〉明治22年建築の紡績工場を昭和46年にホテルにリノベーションした宿泊施設の大規模高質化による更なる広域集客拠点化
〈状況〉平成30年度は客室等の高質化計画を策定
〈国の支援措置〉
・商店街活性化・観光消費創出事業のうち消費創出事業(経済産業省)
・地域・まちなか商業活性化支援事業(中心市街地再興戦略事業)のうち先導的・実証的(経済産業省)
- 《その他の国の支援措置の活用状況》
■伝統的建造物群等保存事業(ハード)【実施済】
・国宝重要文化財等保存整備費補助金(文部科学省)

《今後の方針》

倉敷市中心市街地の最大の魅力である面的な拡がりがある町家・古民家の町並みは人の営みとともにある個性と魅力を最大限発揮するため、創出した拠点連携による魅力の相乗効果と総合力を高めるとともに、新たな拠点創出を継続する。

歩いて楽しい、暮らしやすいまちを形成する

《主要事業の進捗状況》

- 阿知3丁目東地区市街地再開発事業(ハード)【実施中】
〈概要〉老朽化建築物が密集する街区を再開発により住宅・店舗・オフィス・公益的施設から成る高層複合施設に再生し、安全・安心・快適な都市空間にし、中心市街地内の居住促進を図るとともに、商業機能によりJR倉敷駅南の新たな広域集客拠点として賑わいと活力創出も図る
〈状況〉平成30年度は権利変換計画認可を受け、令和元年度から解体に着手する予定
〈国の支援措置〉
・社会資本整備総合交付金(市街地開発事業等)
・暮らしにぎわい再生事業(都市機能まちなか立地支援)
・社会資本整備総合交付金(中心市街地活性化基本計画新計画地区)(上記全て、国土交通省)
- 美観地区電線類地中化事業(ハード)【実施中】
〈概要〉倉敷美観地区に続く商店街の電線を埋設し、電柱を抜柱し、町家・古民家が連なる町並み景観美を向上する。
〈状況〉仮電柱を整備し、工事に着手
〈国の支援措置〉
・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省)
・倉敷物語館周辺再生整備事業(市所有広場)(ハード)【実施中】
〈概要〉市所有広場と隣接する土地建物を倉敷市歴史・文化・ものづくり力を発信する広域集客拠点化を図る。
〈状況〉施設業態、事業スキームを検討中
〈国の支援措置〉
・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省)
・地域・まちなか商業活性化支援事業(中心市街地再興戦略事業)のうち先導的・実証的(経済産業省)
- 中央交番跡地活用事業(ハード)【実施中】
〈概要〉中心市街地内の違法駐車、迷惑駐輪問題解決策を試行する
〈状況〉H30年度から荷捌き場、自動二輪車駐輪、事業者用自転車駐車を試行し、倉敷美観地区内の安全・安心・快適な公共空間確保を図っている。
〈国の支援措置〉
・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省)

《今後の方針》

様々な都市機能が集積しているエリアを「一体かつ巨大な魅力拠点」として発信し、人々の関心を高め、まちなかへの居住意欲を掻き立て、新たな居住者を誘導することで目標達成を目指す。

まちなかに人を誘導し、交流を促進する

《主要事業の進捗状況》

- (再掲)阿知3丁目東地区市街地再開発事業(ハード)【実施中】
■地域創造支援事業(まちなか回遊促進事業：フラッグ・デジタルサイネージ・イルミネーションイベント実施等)(ソフト)【実施中】
〈概要〉サインフラッグ設置、デジタルサイネージへの観光・イベント情報提供などを実施する。
〈状況〉映像やサイン等の視覚情報やイベント実施により、来街者の駅南北集客拠点間の回遊を促進する
〈国の支援措置〉
・社会資本整備総合交付金 都市再生整備計画事業(国土交通省)
- 《その他の国の支援措置の活用状況》
■市内大学による連携講座(ソフト)【実施中】
・大学改革推進等補助金(文部科学省)
■子育て親子つどいの広場事業(ソフト)【実施中】
・地域子育て支援拠点事業(厚生労働省)

《今後の方針》

倉敷市中心市街地活性化協議会に「中心市街地インバウンド対応WG」を立ち上げ、拡大するインバウンド需要への対応を強化している。

広島県三原市 中心市街地活性化基本計画の概要

【計画期間】平成27年12月～令和3年3月
【人口】9.9万人(H26)、【面積】471.02km²

【目指す中心市街地の都市像】

「おもてなしのこころでつくる、にぎわいのある、暮らしやすい、歴史・文化が薫るまち」

【取組概要】

(1)賑わいの創出

- ①駅前東館跡地活用整備事業
- ②三原城跡周辺整備事業
- ③瀬戸内三原 築城450年事業

(2)商業の活性化

- ④シネパティオ再生事業
- ⑤山脇邸リノベーション事業
- ⑥中心市街地空き店舗対策事業

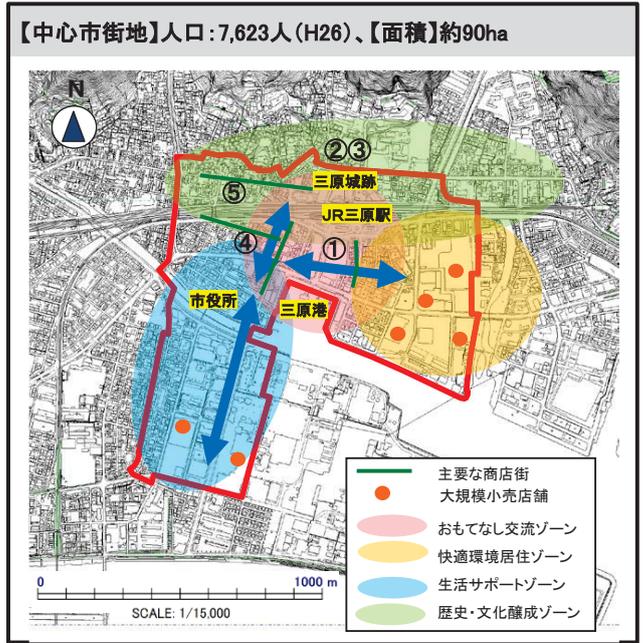
(3)街なか居住の推進

- ⑦空き家バンク事業

【計画目標】

目標	目標指標	現況値	目標値	最新値※
賑わいの創出	歩行者・自転車通行量(平日・休日)	(平日)24,373人/日 (休日)14,175人/日(H26)	(平日)24,560人/日 (休日)14,900人/日(R2)	(平日)22,180人/日 C (休日)19,859人/日(H30) A
	JR三原駅の1日当たりの乗降者人員数	12,694人(H25)	13,200人(R2)	12,396人(H30) C
商業の活性化	小売業事業所数及び小売業年間商品販売額	196事業所 22,232百万円(H24)	200事業所 22,767百万円(R2)	214事業所 A 19,850百万円(H30) C
	商店街の空き店舗数	43件(H24)	28件(R2)	48件(H30) C
街なか居住の推進	居住人口	7,823人(H26)	7,810人(R2)	7,825人(H30) B

※「最新値」: 基準値からの改善状況(A目標達成、B基準値達成、C基準値未達成)



広島県三原市 中心市街地活性化基本計画の進捗状況 (H30定期フォローアップ等)

賑わいの創出

《主要事業の進捗状況》

- 駅前東館跡地活用整備事業(ハード)【実施中】
〈概要〉集客拠点として図書館を含めた公民複合施設や広場、駐車場等を整備する。
〈状況〉平成29年度は事業提案募集を行い優先交渉者を決定令和元年度着工、令和2年度中供用開始予定
〈国の支援措置〉
・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省)
- 三原城跡周辺整備事業(ハード)【実施中】
〈概要〉三原城を市民の憩い・交流の場として整備する。
〈状況〉平成27年度着工、令和元年度にかけて整備
〈国の支援措置〉
・史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備補助金(文部科学省)
- 瀬戸内三原 築城450年事業(ソフト)【実施済】
〈概要〉平成29年の三原城築城450年に向け、歴史的・文化的資源を活用した賑わいを創出する。
〈状況〉平成29年2月から11月のメイン期間の間に各種イベントや講演会、情報発信等を実施
〈国の支援措置〉なし

《その他の国の支援措置の活用状況》

- シネパティオクリエイティブギャラリー事業性調査事業(ソフト)【実施済】
・地域・まちなか商業活性化支援事業費補助金(中心市街地再興戦略事業)のうち調査事業、専門人材活用支援事業(経済産業省)

《今後の方針》

実施予定である事業の完了により目標達成を見込むとともに、ハード整備で創出された賑わいを継続できるよう、セミナー・イベント開催等のソフト事業を一体的に実施していくことで、集客力の向上及び回遊性の向上を図る。

商業の活性化

《主要事業の進捗状況》

- シネパティオ再生事業(ハード・ソフト)【実施中】
〈概要〉商業ビルのリノベーション事業により、飲食やものづくりを中心とした施設として活用する。
〈状況〉平成29年度は3階部分の活用に向けた調査事業を実施、ライブイベント等の会場として活用できるスペースを整備予定
〈国の支援措置〉
・地域・まちなか商業活性化支援事業(中心市街地再興戦略補助金)のうち調査事業(経済産業省)
- 山脇邸リノベーション事業(ハード)【実施済】
〈概要〉歴史的建物を整備保存するとともに、交流施設を備えた集客施設として整備する。
〈状況〉平成29年4月に飲食店及び物販店舗をオープン
〈国の支援措置〉
・商店街・まちなかインバウンド促進支援事業(中心市街地活性化事業)(経済産業省)

《その他の国の支援措置の活用状況》

- タウンマネージャー設置事業(ソフト)【実施済】
・地域・まちなか商業活性化支援事業費補助金(中心市街地再興戦略事業)のうち調査事業、専門人材活用支援事業(経済産業省)
- こころネットみはらまつり(ソフト)【実施中】
・地域生活支援事業費(理解促進研修・啓発事業)として、他の事業と合算で算定(厚生労働省)

《今後の方針》

主要事業は概ね順調に進捗しており、加えて各商店街における新規出店者創出等の相乗効果による商品販売額の増加や空き店舗対策事業の拡大による空き店舗の削減を図る。

街なか居住の推進

《主要事業の進捗状況》

- 空き家バンク事業(ソフト)【実施中】
〈概要〉空き家所有者と利用者のマッチングにより、空き家を有効活用する。
〈状況〉平成30年度末空き家登録件数2件
〈国の支援措置〉なし

《その他の国の支援措置の活用状況》

- 街路本町古浜線4工区道路改良事業(ハード)【実施中】
・防災・安全交付金(道路事業(街路))(国土交通省)
- 三原市立地適正化計画策定事業(ソフト)【実施済】
・集約都市形成支援事業(国土交通省)

《今後の方針》

居住人口は前年度より増加しているが、これは民間のマンション建設が一因と考えられる。現在建築中のマンションによる人口増に加え、空き家バンクや若年及び子育て世代を対象とした事業により定住を促進する。

山口県山口市 中心市街地活性化基本計画の概要

【計画期間】平成26年4月～令和2年3月
【人口】19.4万人(H25)、【面積】約1,023km²

【目指す中心市街地の都市像】

都市機能の集積を促進しつつ、既成市街地の再編・再生を図る。

【取組概要】

(1) まちに来る人を増やし、楽しんでもらう

- ①一の坂川周辺地区整備事業
- ②一の坂川周辺地区整備事業((仮称)ほたる広場)
- ③中心市街地情報提供事業

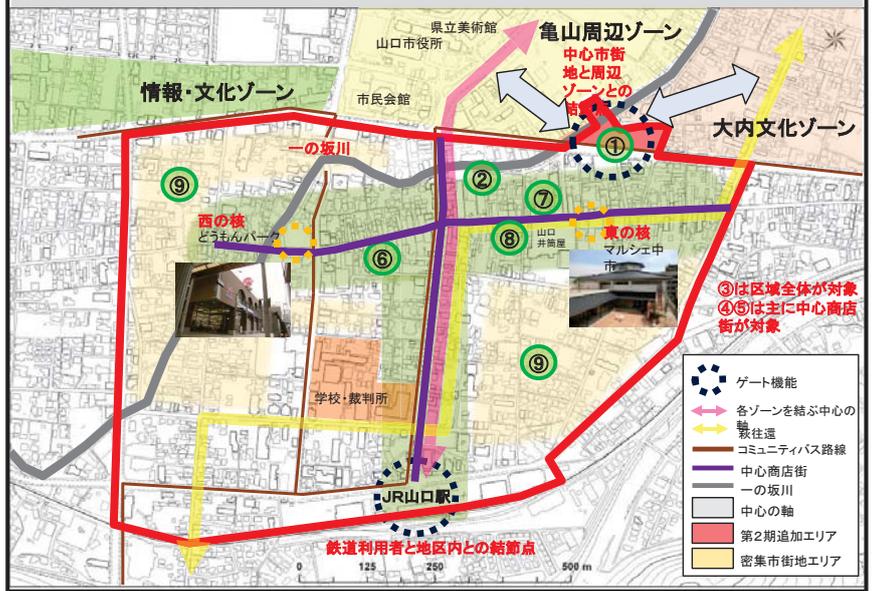
(2) まちの新陳代謝を図り、活力を高める

- ④あきないのまち支援事業
- ⑤まちなかサポートセンター事業
- ⑥「オアシスどうもん」交流サロン事業

(3) まちの定住人口を増やす

- ⑦中市町1番地区優良建築物等整備事業
- ⑧米屋町東地区優良建築物等整備事業
- ⑨山口駅前地区住宅市街地総合整備事業

【中心市街地】人口:4,351人(H25)、【面積】約76ha



【計画目標】

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値※
まちに来る人を増やし、楽しんでもらう	商店街等通行量(休日・11地点)	55,294人/日(H24)	58,000人/日(R1)	47,733/日(H30) C
まちの新陳代謝を図り、活力を高める	中心商店街の空き店舗数	45店舗(H25)	30店舗(R1)	34店舗(H30) B
まちの定住人口を増やす	居住人口の社会増減(5年間の総数)	168人増(H20～H24)	250人増(H26～R1)	311人増(H26～H30) A

※「最新値」: 基準値からの改善状況(A目標達成、B基準値達成、C基準値未達成)

山口県山口市 中心市街地活性化基本計画の進捗状況 (H30定期フォローアップ等)

まちに来る人を増やし、楽しんでもらう

まちの新陳代謝を図り、活力を高める

まちの定住人口を増やす

《主要事業の進捗状況》

■中市町1番地区優良建築物等整備事業 (ハード)【実施済】

〈概要〉商業施設や共同住宅等の整備を行う。
〈状況〉平成27年度完成、本事業等により、約140人の居住人口の増加が図られた。
〈国の支援措置〉
・社会資本整備総合交付金(優良建築物等整備事業)(国土交通省)

■(後援)米屋町東地区優良建築物等整備事業 (ハード)【未実施】

■(後援)黄金町地区第一種市街地再開発事業 (ハード)【実施中】

《その他の国の支援措置の活用状況》

- 一の坂川周辺地区整備事業(地域生活基盤施設((仮称)ほたる広場)(ハード)【実施済】
・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省)
- 一の坂川周辺地区整備事業(地域創造支援事業)(ハード)【実施済】
・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省)
- 中心市街地情報提供事業(ソフト)【実施中】
・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)
- 地域子育て支援拠点事業(ソフト)【実施中】
・子ども・子育て支援交付金(内閣府)

《今後の方針》

中心市街地内の道路の拡幅やバリアフリー化、中心商店街内での回遊を促すイベントのさらなる充実などに鋭意取り組んでいく。

《主要事業の進捗状況》

■あきないのまち支援事業(ソフト)【実施中】
〈概要〉山口市が、中心市街地内の空き店舗への新規開業希望者に対して、出店時の店舗改装費等の支援を行う。
〈状況〉平成30年度は、19店舗が空き店舗を活用した新規開業を行い、このうち8店舗が補助金の交付を受けた。
〈国の支援措置〉
・社会資本整備総合交付金(優良建築物等整備事業と一体の効果促進事業)(国土交通省)

《その他の国の支援措置の活用状況》

- 中心市街地活性化整備事業(ハード)【実施中】
・防災・安全交付金(住宅市街地総合整備事業と一体の効果促進事業)(国土交通省)
- 中心市街地活性化事業(ソフト)【実施中】
・社会資本整備総合交付金(優良建築物等整備事業と一体の効果促進事業)(国土交通省)

《今後の方針》

「あきないのまち支援事業」の周知啓発、新規開業希望者の掘り起こし、商工会議所や中心商店街と連携した空き店舗の活用促進等を継続して行うことで、にぎわいの創出を図っていく。

《主要事業の進捗状況》

■(再掲)中市町1番地区優良建築物等整備事業 (ハード)【実施済】

■米屋町東地区優良建築物等整備事業(ハード)【未実施】
〈概要〉商業施設、デイサービスセンター、サービス付き高齢者向け住宅等の整備
〈状況〉事業完了の見通しが立っていない。
〈国の支援措置〉
・社会資本整備総合交付金(優良建築物等整備事業)(国土交通省)

■黄金町地区第一種市街地再開発事業(ハード)【実施中】

〈概要〉老朽化した道場門前大駐車場の再整備に併せて、共同住宅や駐車場等の整備を行う。
〈状況〉平成30年9月より建設工事に着手
〈国の支援措置〉
・社会資本整備総合交付金(市街地再開発事業等)
・防災・安全交付金(市街地再開発事業等)(国土交通省)

《その他の国の支援措置の活用状況》

- 山口駅前地区住宅市街地総合整備事業(ハード)【実施中】
・防災安全交付金(住宅市街地総合整備事業)(国土交通省)

《今後の方針》

「黄金町地区第一種市街地再開発事業」により共同住宅の供給が開始されること、さらに「山口駅前地区住宅市街地総合整備事業」の狭路道路拡幅等により、更なる居住人口の社会増に取り組む。

山口県岩国市 中心市街地活性化基本計画の概要

【計画期間】平成26年11月～令和2年3月
【人口】14.1万人(H26)、【面積】約874km²

【目指す中心市街地の都市像】

県東部の中核都市にふさわしい『多くの人が集まり、楽しく暮らせるにぎわいのあるまちづくり』

【取組概要】

(1) 快適な交通環境の創出

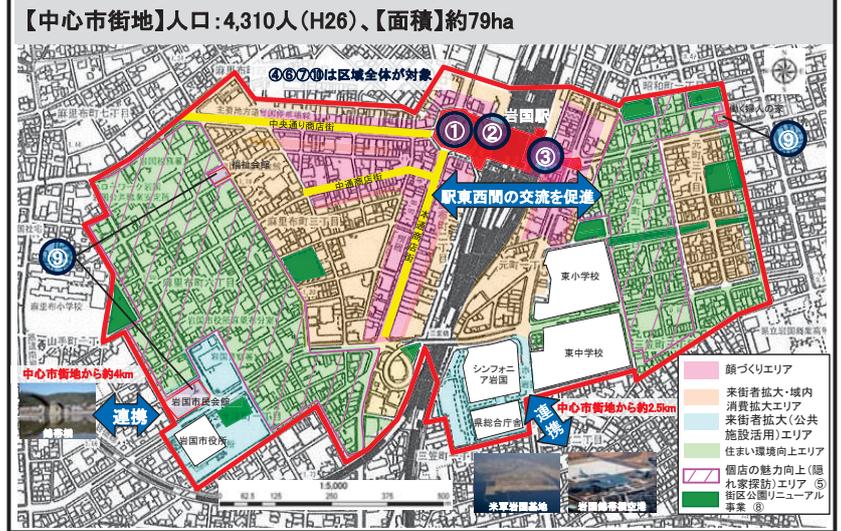
- ① 岩国駅周辺整備事業
- ② 岩国駅舎改修(橋上化)事業
- ③ 岩国駅東口自転車駐輪場整備事業
- ④ モビリティ・マネジメント事業

(2) 活力と魅力あふれる商環境の創出

- ⑤ 隠れ家探訪事業
- ⑥ 起業家スター誕生支援事業
- ⑦ タウンマネージャー活用事業

(3) 誰もが住み良い環境の創出

- ⑧ 街区公園リニューアル事業
- ⑨ 公共施設リニューアル・耐震化事業
- ⑩ 各種イベント事業



【計画目標】

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値※
快適な交通環境の創出	JR岩国駅の乗降客数	11,646人/日(H25年度)	13,470人/日(R1年度)	11,942人/日(H29年度) B
活力と魅力あふれる商環境の創出	卸売・小売業、宿泊・飲食サービス業の事業所数	687店舗(H24年度)	695店舗(R1年度)	718店舗(H30年度) A
	中心市街地内商店街の空き店舗率	17.5%(H25年度)	11.8%(R1年度)	14.7%(H30年度) B
誰もが住み良い環境の創出	歩行者等通行量(平日・休日)	(平日)33,716人/日 (休日)32,436人/日 (H22～25年度平均)	(平日)35,470人/日 (休日)34,080人/日 (R1年度)	(平日)31,380人/日 C (休日)28,142人/日 C (H30年度)
	イベント・教室等開催件数	5,296件(H25年度)	6,140件(R1年度)	5,676件(H30年度) B

※「最新値」: 基準値からの改善状況(A目標達成、B基準値達成、C基準値未達成)

山口県岩国市 中心市街地活性化基本計画の進捗状況 (H30定期フォローアップ等)

快適な交通環境の創出

《主要事業の進捗状況》

- 岩国駅周辺整備事業(ハード)【実施中】
〈概要〉岩国市と西日本旅客鉄道株式会社が、JR岩国駅のバリアフリー化、東西自由通路の整備、東西の駅前広場の再整備等を行う。
〈状況〉東西自由通路・橋上駅舎については、平成29年11月に完成・供用開始、東西駅前広場は、令和元年度完成予定
〈国の支援措置〉
・社会資本整備総合交付金(道路事業(街路)) (国土交通省)
・防災・安全交付金(道路事業(街路)) (国土交通省)

- モビリティ・マネジメント事業(ソフト)【実施中】
〈概要〉岩国市による過度の自動車利用の抑制と公共交通の利用促進を目的とした啓発活動。
〈状況〉平成30年度は、これまで配布している公共交通総合時刻表とマップに追加情報を掲載する等、よりわかりやすく便利になるよう更新して配布。
〈国の支援措置〉
・地域公共交通確保維持改善事業(地域公共交通確保維持事業) (国土交通省)

《その他の国の支援措置の活用状況》

- 元町12号線・三笠橋の耐震補強事業 (ハード)【実施中】
・防災・安全交付金(道路事業) (国土交通省)
- 岩国駅東口自転車駐輪場整備事業 (ハード)【実施済】
・防災・安全交付金(道路事業(街路)) (国土交通省)

《今後の方針》

現在、令和元年度の完成を目指し駅前広場の整備を進めており、目標達成可能と見込んでいる。

活力と魅力あふれる商環境の創出

《主要事業の進捗状況》

- 空き店舗活用奨励事業(家賃補助・融資)(ソフト)【実施中】
〈概要〉岩国市が、中心市街地計画区域内の空き店舗の新規出店者に奨励措置を行う。
〈状況〉平成30年度は、14店舗を奨励措置の事業所に指定した。
〈国の支援措置〉
・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)
・中心市街地・商店街に出店・事業を行う中小小売業者等の設備投資資金等に対する低利融資 (経済産業省)

- 隠れ家探訪事業(ソフト)【実施中】
〈概要〉隠れ家的に存在する個店の情報を発信する。
〈状況〉地元情報誌に中心市街地の店舗やイベントの情報を継続掲載している。
〈国の支援措置〉
・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)
- 起業家スター誕生支援事業(ソフト)【実施中】
〈概要〉岩国市が、起業を目指す者に対し、ノウハウの習得を支援する。
〈状況〉平成30年度は、いわくに創業カレッジ2018として31名が、まちなか創業セミナーとして延べ20名が受講した。
〈国の支援措置〉
・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)
・再編交付金(防衛省)

《今後の方針》

予定している各事業のほか、基本計画掲載事業の着実な進捗を図り目標達成に向けて取り組んでいく。

誰もが住み良い環境の創出

《主要事業の進捗状況》

- 働く婦人の家リニューアル事業(ハード)【実施済】
〈概要〉岩国市による老朽化した働く婦人の家のリニューアル。
〈状況〉平成28年度に完了
〈国の支援措置〉なし
- 地域交流センター等活用事業(ソフト)【実施中】
〈概要〉岩国市と民間事業者が、主として街づくり機運を高める勉強会等を開催する。
〈状況〉平成30年度は、198件の開催実績があった。
〈国の支援措置〉なし

《その他の国の支援措置の活用状況》

- 岩国駅東口元町地区優良建築物等整備事業 (ハード)【実施中】
・社会資本整備総合交付金(優良建築物等整備事業) (国土交通省)(活用予定)
- 東地区街路灯改修事業(ハード)【実施済】
・特定防衛施設周辺整備調整交付金(防衛省)
- 街路樹リニューアル事業(ハード)【実施中】
・再編交付金(防衛省)
- 街区公園リニューアル事業(ハード)【実施中】
・再編交付金(防衛省)
- 東小中学校施設整備事業(ハード)【実施中】
・再編交付金(防衛省)
・学校施設環境改善交付金(文部科学省)

《今後の方針》

まちづくり会社が、運営するまちなか情報アプリ「ぶち岩国」による情報発信の強化や基地内外に住む軍人、その家族などに対する情報発信、利便性の向上により来街に繋げ、歩行者通行量の増加を図る。

愛媛県松山市 中心市街地活性化基本計画の概要

【計画期間】平成26年11月～令和2年3月
【人口】51.7万人(H26)、【面積】429.06km²

【目指す中心市街地の都市像】

1. 広域の中心にふさわしい魅力と厚みのある機能を備えた都心への再生
2. 松山独自の歴史や資源によって国内外の人から愛される観光・交流の舞台づくり
3. 住みたい、住み続けたい魅力ある暮らしの場となる暮らしやすさを実感できるまち

【取組概要】

(1) 訪れたい都心としての機能強化

- ① 大街道二丁目東地区優良建築物等整備事業
(ラフォーレ原宿・松山跡地)
- ② まちなか子育て・市民交流事業
- ③ 松山アーバンデザインセンター[UDCM]の設置
- ④ まちなか広場事業

(2) 都市観光地としての魅力向上

- ⑤ 椿の湯施設整備事業
- ⑥ 瀬戸内・松山観光ビジネス戦略事業
- ⑦ 道後温泉活性化事業

(3) 安心して住み続けられる豊かな生活環境の充実

- ⑧ 松山駅周辺土地区画整理事業
- ⑨ 松山赤十字病院整備事業
- ⑩ 民間再開発による住宅整備の推進



【計画目標】

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値※
訪れたい都心としての機能強化	中央商店街歩行者通行量	127.9千人 (H25)	170.6千人 (R1)	145.5千人 B (H30)
都市観光地としての魅力向上	観光入込客数	1,710千人 (H25)	1,810千人 (R1)	1,946千人 A (H30)
安心して住み続けられる豊かな生活環境の充実	中心市街地内の居住人口	18,091人 (H25)	18,600人 (R1)	18,041人 C (H30)

※「最新値」: 基準値からの改善状況 (A目標達成、B基準値達成、C基準値未達成)

愛媛県松山市 中心市街地活性化基本計画の進捗状況 (H30定期フォローアップ等)

訪れたい都心としての機能強化

《主要事業の進捗状況》

- 大街道二丁目東地区優良建築物等整備事業(ラフォーレ原宿・松山跡地)【実施済】
〈概要〉ホテル・商業・プライダルの複合施設を整備するとともに、良好な歩行者空間を整備する。
〈状況〉平成27年8月完成
〈国の支援措置〉
・社会資本整備総合交付金(優良建築物等整備事業)(国土交通省)
- まちなか子育て・市民交流事業(ソフト)【実施中】
〈概要〉託児サービスや休憩場所の提供、情報発信及びイベント等が開催できる交流拠点施設を運営する。
〈状況〉平成31年3月に開館7周年を迎え、累計で約87万人が利用
〈国の支援措置〉
・子どものための教育・保育給付費(内閣府)
- 松山アーバンデザインセンター[UDCM]の設置(ソフト)【実施中】
〈概要〉公・民・学の連携のもと、専門スタッフが、地域の民間のまちづくり活動への技術的支援を行う。
〈状況〉平成30年度の月毎の利用者数は2,000人程度
〈国の支援措置〉
・地方創生推進交付金(内閣府)
- まちなか広場事業(ハード)【実施中】
〈概要〉駐車場を借り受け芝生広場化するとともに、交流施設を併設、各種イベント等の社会実験を実施する。
〈状況〉地域のイベントと連携して利用時間を延ばすなど、地域に根差した取組みを実施
〈国の支援措置〉
・社会資本整備総合交付金(優良建築物等整備事業と一体の効果促進事業)(国土交通省)

《今後の方針》

最新値は基準値より14%上昇しているが、来街者の約8割を占める市民の人口減少が進んでおり、目標達成が難しい状況となっている。今後、官民一体となって追加事業の検討を行う。

都市観光地としての魅力向上

《主要事業の進捗状況》

- 椿の湯施設整備事業(ハード)【実施済】
〈概要〉市民と観光客が歴史・文化を体感しながら交流できる施設として整備する。
〈状況〉平成29年9月末に新たな温泉文化の発信拠点となる道後温泉別館 飛鳥乃湯泉を開館
〈国の支援措置〉
・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省)
 - 瀬戸内・松山観光ビジネス戦略事業(ソフト)【実施中】
〈概要〉広島地域の資源と愛媛・松山の資源を組み合わせ、磨き上げ、各種事業を展開する。
〈状況〉瀬戸内・松山ツーリズム推進会議を設立し、広域観光周遊ルートの定着を促進
〈国の支援措置〉
・地方創生推進交付金(内閣府)
 - 道後温泉活性化事業(ソフト)【実施済】
〈概要〉シンポジウムや企画展示、各種イベント等を行う。
〈状況〉道後温泉本館を改築した伊佐庭如矢氏を紹介する冊子等を製作し、周知を図った。
〈国の支援措置〉
・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業と一体の効果促進事業)(国土交通省)
- 《その他の国の支援措置の活用状況》
■観光誘致促進事業(修学旅行、国際観光客)(ソフト)【実施中】
・地方創生推進交付金(内閣府)

《今後の方針》

道後温泉をはじめ、多くの施設が昨年の高水準を維持していることから、引き続き事業を進めていく。

安心して住み続けられる豊かな生活環境の充実

《主要事業の進捗状況》

- 松山駅周辺土地区画整理事業(ハード)【実施中】
〈概要〉「集客・集住・コンパクトシティ」を目標に、関係機関が一体となり、連続立体交差事業と土地区画整理事業に取り組む。
〈状況〉平成28年3月、仮換地指定した土地の使用収益を開始
〈国の支援措置〉
・社会資本整備総合交付金(都市再生区画整理事業)(国土交通省)
・社会資本整備総合交付金(道路事業(街路))(国土交通省)
・防災・安全交付金(道路事業(街路))(国土交通省)
- 二番町三丁目南第一地区優良建築物等整備事業(ハード)【実施済】
〈概要〉商業ビルを建築するとともに、地区全体の環境改善と安全かつ快適な歩行者空間を整備する。
〈状況〉平成29年2月竣工
〈国の支援措置〉
・社会資本整備総合交付金(優良建築物等整備事業)(国土交通省)
- 松山赤十字病院整備事業(ハード)【実施中】
〈概要〉機能更新を含む建て替え事業を進め、地域住民に安全で良質な医療を提供する。
〈状況〉平成30年1月1期棟オープン、同月2期工事着工
〈国の支援措置〉
・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省)

《今後の方針》

松山駅周辺土地区画整理事業の進捗等による一定の効果は見込まれるが、人口減少の影響は大きく、目標達成が難しい状況となっている。今後、官民一体となって追加事業の検討を行う。

高知県高知市 中心市街地活性化基本計画の概要

【計画期間】平成30年4月～令和5年3月
【人口】33.2万人(H29)、【面積】309.00km²

【目指す中心市街地の都市像】

地域資源の魅力が織り成す「暮らし」と「交流」の調和したまち

【取組概要】

(1)「すべての世代が長く住み続けられるまち」の実現

- ①(仮称)帯屋町一丁目地区複合施設整備事業
- ②民間分譲マンション整備事業
- ③移住・定住促進事業
- ④丸ノ内緑地整備事業

(2)「多くの人が回遊するまち」の実現

- ⑤街なか空間有効活用事業
- ⑥高知大丸リニューアル事業
- ⑦オーテピアにおけるソフト事業
- ⑧創業支援情報発信事業
- ⑨レンタサイクル事業

(3)「また訪れたいと思うまち」の実現

- ⑩高知城歴史博物館ソフト事業
- ⑪高知よさこい情報交流館運営事業
- ⑫芸術文化振興事業
- ⑬外国人観光客の受入おもてなし事業
- ⑭中心市街地インバウンド対策事業
- ⑮観光案内所整備事業

【中心市街地】人口:5,063人(H28)、【面積】約143ha



【計画目標】

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値※
「すべての世代が長く住み続けられるまち」の実現	中心市街地の居住人口の割合	1.52% (H28)	1.65% (R4)	1.59% (H30) B
「多くの人が回遊するまち」の実現	歩行者通行量(平日・休日合計)	119,447人 (H28)	123,278人 (R4)	121,330人 (H30) B
	(参考指標) 東エリア	34,671人 (H28)	35,585人 (R4)	36,498人 (H30) A
	エリア別 西エリア	80,045人 (H28)	82,940人 (R4)	79,730人 (H30) C
「また訪れたいと思うまち」の実現	歩行者通行量 周辺エリア	4,731人 (H28)	4,753人 (R4)	5,102人 (H30) A
	拠点施設入館者数/年 ※オーテピア、高知城歴史博物館、高知よさこい情報交流館、かるぼーと	1,159,555人/年 (H28)	1,748,000人/年 (R4)	1,363,273人/年 (H30) B

※「最新値」:基準値からの改善状況(A目標達成、B基準値より改善、C基準値より悪化)

高知県高知市 中心市街地活性化基本計画の進捗状況 (H30定期フォローアップ等)

「すべての世代が長く住み続けられるまち」の実現

《主要事業の進捗状況》

■(仮称)帯屋町一丁目地区複合施設整備事業

(ハード)【実施中】

〈概要〉商業店舗や子育て支援施設等と共同住宅の複合施設の整備により、居住人口の確保及び回遊性の向上を図る。

〈状況〉既存建物の解体工事に着工。

〈国の支援措置〉なし

■民間分譲マンション整備事業

(ハード)【実施済】

〈概要〉北本町、はりまや町、升形において3棟約135戸の民間分譲マンションを整備し、居住人口の増加を促す。

〈状況〉予定の135戸が整備され完売。

〈国の支援措置〉なし

■移住・定住促進事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉子育て世帯等の移住費用の支援等、移住・定住促進計画に基づく各種施策の実施により、人口の社会増を図る。

〈状況〉11組(37名)に対して移住費用支援を実施。

〈国の支援措置〉なし

《その他の国の支援措置の活用状況》

■地域子育て支援拠点事業(ハード)【実施中】

・子ども・子育て支援交付金(内閣府)

■まちなか市民健康づくり(ハード)【実施中】

・地域支援事業交付金(厚生労働省)

「多くの人が回遊するまち」の実現

《主要事業の進捗状況》

■街なか空間有効活用事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉東エリアの商店街等の未利用地や空き店舗、公共空間等を活用して、商店街や民間事業者と連携し、新たなイベント等を展開し、賑わいの創出を図る。

〈状況〉民間事業者との間で未利用スペースを有効活用するための協定を締結。

〈国の支援措置〉なし

■高知大丸リニューアル事業(ハード・ソフト)【実施中】

〈概要〉中心市街地唯一の百貨店・高知大丸東館の全面改装及び地元商店街と連携したポイントカードの導入により、商業の活性化及び集客力の向上を図る。

〈状況〉環境分析と構想の検討を実施。

〈国の支援措置〉なし

■オーテピアにおけるソフト事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉新図書館等複合施設オーテピアの多目的広場を活用したイベント開催や、日曜市・商店街と連携した取組により、賑わいの創出及び回遊性の向上を図る。

〈状況〉平成30年度の入館者は747,393人。

〈国の支援措置〉なし

■レンタサイクル事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉中心市街地内を快適に回遊できるレンタサイクルを導入し、サイクルポートを随所に整備するとともに、道路占用許可・都市公園占用許可の特例を活用し、回遊性をさらに向上させるようなソフト事業を行う。

〈状況〉先進市の視察、課題の検討を実施。

〈国の支援措置〉なし

■学生活動交流館事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉高知市学生活動交流館の運営および学生グループの活動支援を行う。

〈状況〉学生グループの自主活動の拠点として利用され、来街の促進や交流人口の拡大に寄与している。

〈国の支援措置〉なし

・中心市街地活性化ソフト事業

「また訪れたいと思うまち」の実現

《主要事業の進捗状況》

■高知城歴史博物館ソフト事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉歴史まち歩き講座や子ども向けのイベント、日曜市の食材を使った料理教室など、日曜市・商店街と連携した取組を行う。

〈状況〉平成30年度の入館者は106,427人。

〈国の支援措置〉なし

■高知よさこい情報交流館運営事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉高知発祥で全国に広まったよさこいの展示や情報発信、演舞披露のイベント等を拡充し、賑わいの創出及び交流人口の拡大を図る。

〈状況〉平成30年度の入館者は60,438人。

〈国の支援措置〉なし

・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

■まんがイベント事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉まんがに関するイベントや地元商店街と連携したイベント等を開催し、来街促進を図る。

〈状況〉平成30年度の入場者は449,195人。

〈国の支援措置〉なし

・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

《その他の国の支援措置の活用状況》

■外国人観光客の受入おもてなし事業(ソフト)【実施中】

・地方創生推進交付金(内閣府)

■観光案内所整備事業(ハード)【実施中】

・連携中枢都市に対する普通交付税(総務省)

《今後の方針》

丸ノ内緑地整備事業や地域子育て支援事業等を確実に実施し、居住環境の向上を図っていく。

《今後の方針》

新たに開設した観光案内所での情報提供の充実や高知大丸リニューアル事業等について、今後も官民で連携して実施し、更なる回遊性の向上を図っていく。

《今後の方針》

中心市街地の現状を踏まえ、商店街との連携強化やインバウンド観光を推進することで、賑わいの創出を図っていく。

福岡県大牟田市 中心市街地活性化基本計画の概要

【計画期間】平成29年4月～令和4年3月
【人口】11.7万人(H27)、【面積】81.45km²

【目指す中心市街地の都市像】

“いつも、わくわく・生き・活き”

「人が住み、憩い、ふれあい、出会いのまち」

【取組概要】

(1) 拠点への来訪者の拡大

- ①新栄町駅前地区市街地再開発事業
- ②まちづくり基金事業
- ③市民活動等多目的交流施設活用事業
- ④世界遺産バスツアー事業
- ⑤観光プロモーション事業
- ⑥ウォーキング推奨事業「+Walking」
- ⑦観光クーポン券発行事業

(2) 空き店舗の解消

- ①新栄町駅前地区市街地再開発事業(再掲)
- ⑧まちづくり基金事業
- ⑨街なかストリートデザイン事業
- ⑩起業家支援事業

(3) 交流人口の拡大

- ①新栄町駅前地区市街地再開発事業(再掲)
- ③市民活動等多目的交流施設活用事業(再掲)
- ⑧まちづくり基金事業(再掲)
- ⑨街なかストリートデザイン事業(再掲)
- ⑪中心市街地活性化施設整備費補助事業

(4) 居住人口の拡大

- ①新栄町駅前地区市街地再開発事業(再掲)
- ⑫民間共同住宅建設事業

【中心市街地】人口:3,081人(H27)、【面積】約67ha



【計画目標】

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値※
拠点への来訪者の拡大	交流施設等の年間利用者数(人/年)	131,292人(H27)	136,777人(R3)	145,330人 A(H30)
空き店舗の解消	商店街の空き店舗数(店舗) (商店街振興組合法に基づく3商店街の空き店舗)	88店舗(H27)	69店舗(R3)	80店舗 B(H30)
交流人口の拡大	歩行者通行量(人/日) (中心市街地活性化エリア7地点における1日あたりの歩行者通行量の合計の平均値)	4,980人(H27)	6,357人(R3)	5,741人 B(H30)
居住人口の拡大	中心市街地活性化エリアの居住人口(人)	3,081人(H27)	3,307人(R3)	3,096人 B(H30)

※「最新値」: 基準値からの改善状況(A目標達成、B基準値達成、C基準値未達成)

福岡県大牟田市 中心市街地活性化基本計画の進捗状況 (H30定期フォローアップ等)

拠点への来訪者の拡大	空き店舗の解消	交流人口の拡大	居住人口の拡大
<p>《主要事業の進捗状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> ■(後掲)新栄町駅前地区市街地再開発事業(ハード)【実施中】 ■(後掲)まちづくり基金事業(ハード・ソフト)【実施中】 ■市民活動等多目的交流施設活用事業(ソフト)【実施中】 〈概要〉市民活動等多目的交流施設「えるる」にて、市民活動支援を行う。 〈状況〉30年度団体登録数は52団体。 〈国の支援措置〉 ・子ども・子育て支援交付金(内閣府) ■観光プロモーション事業(ソフト)【実施中】 〈概要〉旅行会社等へPR活動を行う。 〈状況〉大牟田まち歩き定時ツアーを18回開催し、合計で221人が参加。 〈国の支援措置〉なし ■ウォーキング推奨事業「+Walking」(ソフト)【実施中】 〈概要〉ウォーキングアプリを活用し来街者の増加を図る。 〈状況〉30年度の登録者数は838人。 〈国の支援措置〉 ・地方創生推進交付金(内閣府) <p>《今後の方針》</p> <p>既に目標値を大きく上回っている状況にあるが、今後も主要事業をはじめ、観光プラザや「えるる」の利用促進に継続して取り組むことで、さらに実績を伸ばしていきたい。</p>	<p>《主要事業の進捗状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> ■(後掲)新栄町駅前地区市街地再開発事業(ハード)【実施中】 ■(後掲)まちづくり基金事業(ハード・ソフト)【実施中】 ■街なかストリートデザイン事業(ソフト)【実施中】 〈概要〉出店希望者と空き店舗所有者とのマッチングにより新規出店を支援。 〈状況〉平成30年度は9店舗が開業。 〈国の支援措置〉 ・中心市街地活性化ソフト事業(総務省) ・地方創生推進交付金(内閣府) ■起業家支援事業(ソフト)【実施中】 〈概要〉新たな商業・サービスの展開を進める人材育成を図り、出店・起業を推進する。 〈状況〉商工会議所と連携し、創業相談、起業塾の開催などの結果、30年度は、中心市街地で7件の新規創業があった。 〈国の支援措置〉 ・中心市街地活性化ソフト事業(総務省) ・地方創生推進交付金(内閣府) 《その他の国の支援措置の活用状況》 ■タウンマネージャー設置事業(ソフト)【実施中】 ・地域・まちなか商業活性化支援事業費補助金(中心市街地再興戦略事業)のうち専門人材活用支援事業(経済産業省) <p>《今後の方針》</p> <p>創業支援や空き店舗の利活用促進に継続して取り組むとともに、近年新規創業した店舗を中心に、既存店舗を空き店舗としないための取組みを充実させていく。</p>	<p>《主要事業の進捗状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> ■(後掲)新栄町駅前地区市街地再開発事業(ハード)【実施中】 ■(再掲)市民活動等多目的交流施設活用事業(ソフト)【実施中】 ■(再掲)まちづくり基金事業(ハード・ソフト)【実施中】 〈概要〉中心市街地活性化に寄与するまちづくり事業へ施設整備費等を補助。 〈状況〉新規出店のための空き店舗の改修等に対し重点的に助成を行い、空き店舗改修9件に対する補助を実施。 〈国の支援措置〉なし ■(再掲)街なかストリートデザイン事業(ソフト)【実施中】 ■中心市街地活性化施設整備費補助事業(ハード)【実施中】 〈概要〉大型店跡地等に新たな集客施設を整備する際、整備費を一部助成。 〈状況〉制度構築に向け30年度は補助制度の骨子案等を検討。 〈国の支援措置〉なし 《その他の国の支援措置の活用状況》 ■バス路線強化事業(ソフト)【実施中】 ・地域公共交通確保維持改善事業(国土交通省) ■東新町沿道環境整備事業(ハード)【実施済】 ・電線共同溝事業(国土交通省) <p>《今後の方針》</p> <p>空き店舗の解消や交流施設等への来訪者の拡大を進め、来街機会の創出と回遊性の向上に取り組んでいきたい。</p>	<p>《主要事業の進捗状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> ■(再掲)新栄町駅前地区市街地再開発事業(ハード)【実施中】 〈概要〉西鉄新栄町駅前地区を一体的に再開発し交通結節点としての機能強化、街なか居住の推進を図る。 〈状況〉建設業務代行者の一つが撤退したため、事業の再構築に向け、新たな事業協力者の選定や事業の見直しが必要。 〈国の支援措置〉 ・社会資本整備総合交付金(市街地再開発事業)(国土交通省) ■民間共同住宅建設事業(ハード)【実施済】 〈概要〉駅前の好立地を活かした共同住宅を建設する。 〈状況〉全38戸の分譲マンションが平成29年5月に竣工し、29年度末時点で全戸入居中。 〈国の支援措置〉なし 《その他の国の支援措置の活用状況》 ■中心市街地老朽建築物除却促進事業(ハード)【実施中】 ・社会資本整備総合交付金(地域住宅計画に基づく事業(地域住宅政策推進事業))(国土交通省) <p>《今後の方針》</p> <p>中心市街地活性化施設整備費補助制度創設に伴い、補助対象施設として居住人口の増加に寄与する施設を検討し、他事業の効果と共に中心市街地の魅力や住環境の向上を図る。</p>

佐賀県唐津市 中心市街地活性化基本計画の概要

【計画期間】平成28年4月～令和3年3月
【人口】12.6万人(H27)、【面積】487.54km²

【目指す中心市街地の都市像】

Re-Innovation 唐津
まちなか骨格軸の革新と歴史・文化のリノベーションによる、
憧れの城下町・唐津

【取組概要】

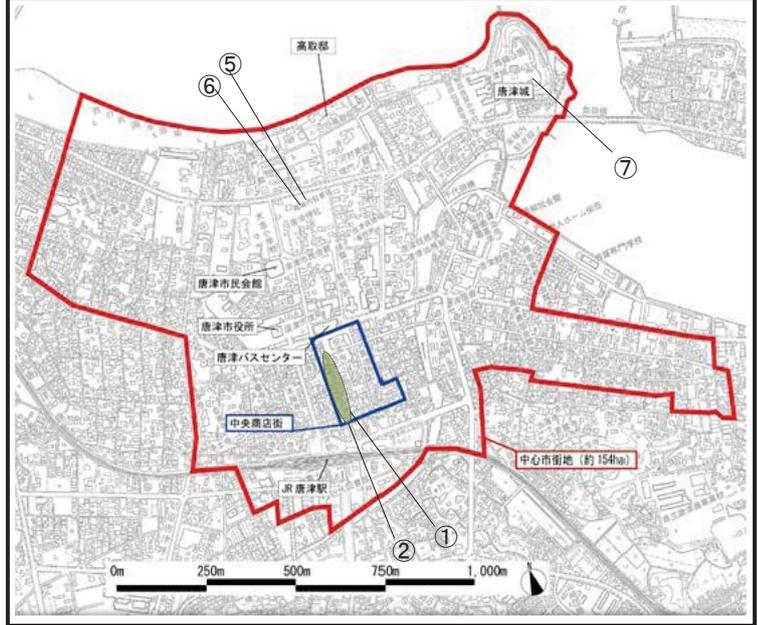
(1) 賑わいあふれる魅力ある商業の創出

- ① 新天町パティオ街区再開発事業
- ② 呉服町商店街ファサード整備事業
- ③ 空き店舗チャレンジ誘致事業

(2) 訪れたい魅力ある観光の創出

- ④ 城内地区・曳山通り景観まちづくり事業
- ⑤ 旧大島邸復原整備事業
- ⑥ 南城内駐車場整備事業
- ⑦ 唐津城天守閣改修等事業

【中心市街地】人口：7,256人(H27)、【面積】約154ha



【計画目標】

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値※
賑わいあふれる魅力ある商業の創出	商店街空き店舗率	22.77% (H26)	16.69% (R2)	20.48% B (H30)
	来街者満足度	19.43% (H27)	32.53% (R2)	50.40% A (H30)
訪れたい魅力ある観光の創出	中活エリア内の観光客入り込み客数	314,130人 (H26)	339,551人 (R2)	344,504人 A (H30)

※「最新値」：基準値からの改善状況(A目標達成、B基準値達成、C基準値未達成)

佐賀県唐津市 中心市街地活性化基本計画の進捗状況 (H30定期フォローアップ等)

賑わいあふれる魅力ある商業の創出

《主要事業の進捗状況》

■空き店舗チャレンジ誘致事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉空き店舗に出店の際、店舗改装費及び広告宣伝費の補助と併せて、商工会議所との連携による経営サポート等の支援を行う。

〈状況〉平成30年度 出店店舗数4店舗

〈国の支援措置〉なし

■新天町パティオ街区再開発事業(ハード)【実施中】

〈概要〉唐津中央商店街内の新天町パティオ街区に滞り型・交流施設を整備する。

〈状況〉現存建物の解体、建設工事を開始。建築資材調達難により工事の遅れが生じ、令和元年10月オープン予定。

〈国の支援措置〉

- ・特定民間中心市街地経済活力向上計画の経済産業大臣認定(経済産業省)
- ・地域・まちなか商業活性化支援事業費補助金(中心市街地再興戦略事業)のうち先導的・実証的事業(経済産業省)
- ・地域文化資源活用空間創出事業費補助金(経済産業省)

■呉服町商店街ファサード整備事業(ハード)【実施済】

〈概要〉呉服町商店街が策定した景観まちづくりのガイドラインに基づき各店舗が店舗前面部分を改装するための改装費補助を行う。

〈状況〉事業完了後も、同事業を行う際に呉服町商店街が策定した「呉服町商店街景観ガイドライン」に基づき引き続き運用。

〈国の支援措置〉なし

■低床バス導入事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉車両に乗りにくいという意見が多いことを受け、低床バスを導入する。

〈状況〉平成30年度 導入台数7台

〈国の支援措置〉

- ・地域公共交通確保維持改善事業費補助金(国土交通省)

《その他の国の支援措置の活用状況》

■松浦河岸緑地バリアフリー化事業(ハード)【実施済】

- ・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省)

■子育て緊急サポートセンター運営事業(ソフト)【実施中】

- ・子ども・子育て支援交付金(内閣府)

《今後の方針》

創業者や既存の事業者が持続的に経営できる環境を作るため、創業・経営相談窓口の設置や商工会議所等の専門機関と連携を図りながら、やる気のある起業家や繁盛店作りを支援していく。また、今後新天町パティオ街区再開発事業の進捗に遅れがあるものの、新しい滞り型施設の活用や経済効果の波及を検討し情報共有・連携を図りながら「唐津市中心市街地商業活性化アクションプラン」に基づき来街者満足度の向上を図る。

訪れたい魅力ある観光の創出

《主要事業の進捗状況》

■城内地区・曳山通り景観まちづくり事業(ソフト)【実施済】

〈概要〉景観まちづくり条例の改正による景観規制や修景費用の助成制度を制定する。

〈状況〉景観法に基づく届け出等29件、助成支援4件

〈国の支援措置〉なし

■旧大島邸復原整備事業(ハード)【実施済】

〈概要〉旧大島邸の主屋、茶室等を復原し、見学施設や貸館による活用を図り、市民や観光客の交流拠点を整備する。

〈状況〉平成29年4月に開館

平成30年度の入館者数 10,123人

〈国の支援措置〉

- ・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省)

■南城内駐車場整備事業(ハード)【実施済】

〈概要〉旧大島邸と一体的に駐車場整備を行う。

〈状況〉平成29年4月 オープン

平成30年度末時点 のべ利用台数約3万4千台

〈国の支援措置〉

- ・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省)

■唐津城天守閣改修等事業(ハード)【実施済】

〈概要〉天守閣の耐震補強及び空調設備の新設、活用を図るための展示ケース等の改修を実施する。

〈状況〉平成29年7月にリニューアルオープン

平成30年3月末時点 のべ来館者数14万8,516人

〈国の支援措置〉

- ・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省)

《その他の国の支援措置の活用状況》

■唐津くんち(ソフト)【実施済】

- ・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

《今後の方針》

唐津市が舞台となったアニメに関する影響やクルーズ船の寄港等、中心市街地を回遊する観光客が増加する要因が続いているため、その効果が一過性のものにならないよう、街なかの回遊性の向上、市街地の景観と魅力の向上を図り、さらなる来街者の増加につなげていく。

佐賀県基山町 中心市街地活性化基本計画の概要

【計画期間】平成30年4月～令和5年3月
【人口】1.7万人(H29)、【面積】22.15km²

【目指す中心市街地の都市像】

寄ってみよう 歩いてみよう 住んでみよう
“ちょっとよい”が好循環を生み出すまちなかの実現

【取組概要】

(1) にぎわいある商業環境をつくる

- ① 空き店舗活用チャレンジショップ事業
- ② 空き店舗バンク事業
- ③ 通り抜け路地整備事業

(2) まちなかの居住人口を増やす

- ④ モール商店街クリニックモール整備事業
- ⑤ 多世代交流拠点活用事業
- ⑥ 官民連携による地域優良賃貸住宅整備事業

(3) まちなかに人を惹きつける

- ⑦ まちなかイベント開催事業
- ⑧ 基山町PR事業

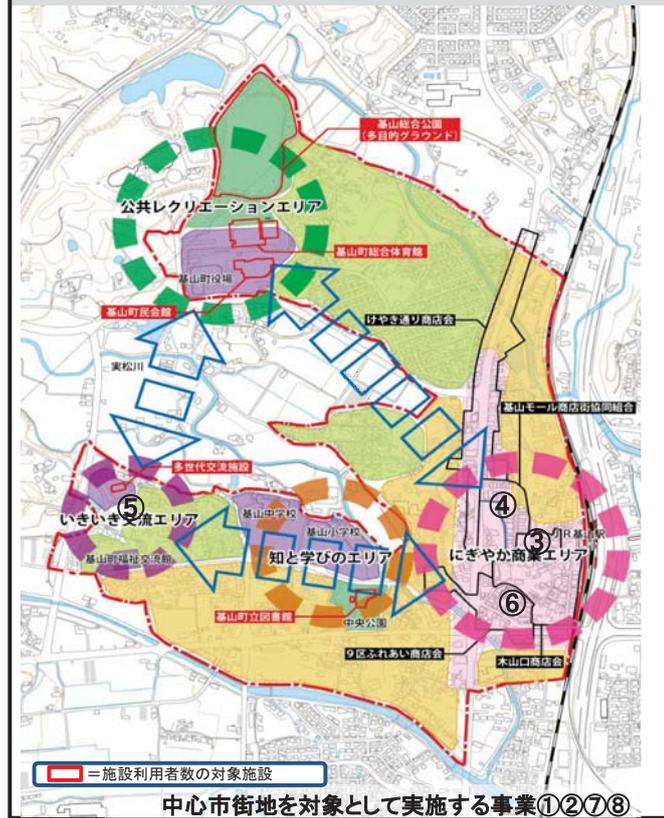
【計画目標】

目標	目標指標	現状値	目標値	最新値※
にぎわいある商業環境をつくる	4商店街の空き店舗率(%)	18.0% (H28)	10.0% (R4)	15.2% B (H30)
まちなかの居住人口を増やす	中心市街地の居住人口(人)	4,268人 (H28)	4,536人 (R4)	4,409人 B (H30)
まちなかに人を惹きつける	イベント来場者及び施設利用者数(※)(人/年)	486,391人/年 (H28)	523,500人/年 (R4)	510,452人/年 B (H30)

※対象イベント…きのくに祭り、ふれあいフェスタ、JRWオーキング、ロードレース、まちなかイベント開催事業
対象施設…総合体育館、町民会館、基山町総合公園(多目的グラウンド)、図書館、多世代交流施設

「最新値※」: 基準値からの改善状況(A目標達成、B基準値達成、C基準値未達成)

【中心市街地】人口: 4,268人(H29)、【面積】約106.9ha



佐賀県基山町 中心市街地活性化基本計画の概要 (H30定期フォローアップ等)

にぎわいある商業環境をつくる

《主要事業の進捗状況》

■**空き店舗活用チャレンジショップ事業(ソフト)【実施中】**
〈概要〉中心市街地における出店者のリスクを軽減するため、商工会やまちづくり会社、町が連携し、老朽化した店舗の改修を行う店舗所有者や新規事業者への支援を新たに実施する。

〈状況〉空き店舗の実態調査を実施

〈国の支援措置〉

- ・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省)(活用予定)
- ・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)(活用予定)

■**空き店舗バンク事業(ソフト)【未実施】**

〈概要〉官民協働の調査により、空き店舗を物件化し、創業希望者と空き店舗オーナーとのマッチングを行う。

〈状況〉条件が整い次第、実施予定

〈国の支援措置〉

- ・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省)(活用予定)

■**通り抜け路地整備事業(ハード)【未実施】**

〈概要〉基山駅とモール商店街をつなぐ通りなどにおいて、認識しやすく、歩いて楽しい空間として整備することにより、駅利用者や観光客の駅前エリアの回遊性を高める。

〈状況〉令和2年度着工予定

〈国の支援措置〉

- ・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省)(活用予定)

《その他の国の支援措置の活用状況》

■**基山町地域雇用創造事業(ソフト)【実施中】**

- ・実践型地域雇用創造事業(厚生労働省)

《今後の方針》

創業者、起業者等と空き店舗とのスムーズなマッチングを図ることにより、空き店舗の解消につなげていく。

まちなかの居住人口を増やす

《主要事業の進捗状況》

■**モール商店街クリニックモール整備事業**

(ハード)【実施済み】

〈概要〉多様なサービスを提供できる場として、モール商店街中核施設跡地に民間によるクリニックモールを整備する。

〈状況〉整備が完了し、2件の医療機関が営業中

〈国の支援措置〉なし

■**多世代交流拠点活用事業(ソフト)【実施中】**

〈概要〉いきいき交流エリアにおいて、多世代交流の拠点として整備された「基山町多世代交流センター憩の家」を活用し、世代間交流の活性化を図る。

〈状況〉施設整備が整い、利用者が1.5万人増加

〈国の支援措置〉なし

■**官民連携による地域優良賃貸住宅整備事業**

(ハード)【実施中】

〈概要〉PFIの手法を活用し、民間活力により子育て若者世帯向けの地域優良賃貸住宅を整備する。

〈状況〉令和元年5月工事完了・7月入居開始予定

〈国の支援措置〉

- ・社会資本整備総合交付金(地域住宅計画に基づく事業)(国土交通省)

■**移住体験住宅事業(ソフト)【実施中】**

〈概要〉町への移住を検討している人に、短期間の移住体験をしてもらう。

〈状況〉H30の利用23件のうち、4家族が実際に移住(そのうち中心市街地内に9人が移住)

〈国の支援措置〉

- ・地方創生推進交付金(内閣府)

《今後の方針》

更なる中心市街地の居住人口拡大のため、継続して事業を実施していく。

まちなかに人を惹きつける

《主要事業の進捗状況》

■**まちなかイベント開催事業**

(ソフト)【実施中】

〈概要〉商工会とまちづくり会社が連携し、モール商店街のグリーンロードを有効活用し、オープンカフェなどのイベントを開催することにより、交流人口の拡大を進め、中心市街地の賑わい創出を図る。

〈状況〉3回のイベントを実施、1,555人が参加

〈国の支援措置〉

- ・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省)

- ・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)(活用予定)

■**基山町PR事業(ソフト)【実施中】**

〈概要〉基山町の観光地や特産品、エミューなどの地域資源等の魅力発信による効果的なシティプロモーションを行い、交流人口の拡大を図る。

〈状況〉プロモーションイベントに15,700人が来場

〈国の支援措置〉

- ・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

《その他の国の支援措置の活用状況》

■**生活支援コーディネーター設置事業**

(ソフト)【実施中】

- ・生活支援体制整備事業(厚生労働省)

《今後の方針》

事業を継続しイベントの開催の取組を実施することで、中心市街地全体に効果を波及させ、さらに実績を伸ばしていく。

長崎県長崎市 中心市街地活性化基本計画の概要

【計画期間】平成27年4月～令和2年3月
【人口】43.6万人(H27)【面積】405.86km²

【目指す中心市街地の都市像】

「長崎特有の歴史と文化を活かした、魅力と活力のあるまちづくり」

【取組概要】

(1) 集客拠点間の回遊による賑わいの創出

- ① 新大工町地区市街地再開発事業
- ② 浜町地区市街地再開発事業
- ③ 新市立病院建設事業

(2) 魅力と活力のある商業環境の形成

- ④ 交流拠点施設整備事業
- ①(再掲) 新大工町地区市街地再開発事業
- ②(再掲) 浜町地区市街地再開発事業
- まちなか商店街誘客事業

(3) 歴史と文化による個性あるまちづくりの推進

- ⑤ 出島和蘭商館跡復元事業
- ⑥ 出島表門橋架橋整備事業
- まちなか回遊路整備事業

【計画目標】

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値※
まちなかの賑わいの創出	歩行者通行量(人/日)	平日:133,211人/日 休日:125,438人/日 (H26)	平日:140,100人/日 休日:131,700人/日 (R1)	平日:141,528人/日 A 休日:130,119人/日 B (H30)
商業の活性化	中心市街地における小売業年間商品販売額(億円/年)	1,537億円/年 (H26推計値)	1,570億円/年 (R1)	1,380億円/年 C (H28実数値)※
交流人口の拡大	主要観光施設入場者数(人/年)	857,898人/年 (H25)	931,400人/年 (R1)	923,980人/年 B (H30)

※「最新値※」: 基準値からの改善状況(A目標達成、B基準値達成、C基準値未達成)



※中心市街地内にあり、販売額が大きいいくつかの事業所が、経済センサス上、中心市街地外のエリアで販売額を計上したことによる減。全市的な販売額はほぼ横ばいであり、経済活動が低下したとは言いつてもいい状況。

長崎県長崎市 中心市街地活性化基本計画の進捗状況 (H30定期フォローアップ等)

集客拠点間の回遊による賑わいの創出

《主要事業の進捗状況》

- **新大工町地区市街地再開発事業(ハード)【実施中】**
 〈概要〉新大工町地区の中心的な商業施設を市街地再開発事業により更新する。
 〈状況〉平成30年度に建物の実施設計が完了するとともに、権利変換計画が認可された。
 〈国の支援措置〉
 ・社会資本整備総合交付金(市街地再開発事業等)(国土交通省)
- **浜町地区市街地再開発事業(ハード)【実施中】**
 〈概要〉まちづくり構想に基づき、第一種市街地再開発事業による商業・住宅・駐車場の整備を行う。
 〈状況〉平成27年1月に準備組合を設立した。再開発ビルの施設構想の勉強会等を実施中。
 〈国の支援措置〉
 ・社会資本整備総合交付金(市街地再開発事業等)(国土交通省)
 ・中心市街地再興戦略事業費補助金(調査事業)(経済産業省)
- **新市立病院建設事業(ハード)【実施済】**
 〈概要〉老朽化・狭あい化した市民病院及び成人病センターを統廃合し、地域医療の連携強化等を図る。
 〈状況〉平成26年にⅠ期棟、平成28年にⅡ期棟が完成し、平成29年に1月にグランドオープンを迎えた。
 〈国の支援措置〉
 ・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省)
- 《その他の国の支援措置の活用状況》
- **新市庁舎建設事業(ハード)【実施中】**
 ・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省)
- ・防災・安全交付金(住環境整備事業)(国土交通省)

魅力と活力のある商業環境の形成

《主要事業の進捗状況》

- **交流拠点施設整備事業(ハード・ソフト)【実施中】**
 〈概要〉新長崎駅の隣接地に、学会や住民イベント等を開催できる施設を建設し、交流人口の拡大や地域経済の活性化を図る。
 〈状況〉平成30年9月に優先交渉権者との事業契約を締結し、施設的设计を行った。
 〈国の支援措置〉
 ・社会資本整備総合交付金(暮らし・にぎわい再生事業、都市再生整備計画事業)(国土交通省)
 ・中心市街地再活性化特別対策事業(総務省)
 ・地方創生推進交付金(内閣府)
- **(再掲) 新大工町地区市街地再開発事業(ハード)【実施中】**
- **(再掲) 浜町地区市街地再開発事業(ハード)【実施中】**
- **まちなか商店街誘客事業(ソフト)【実施中】**
 〈概要〉商店街等が行う外国人観光客等の誘客促進への取組みを支援する。
 〈状況〉平成30年度は16事業者が補助事業実施
 〈国の支援措置〉
 ・地方創生推進交付金(内閣府)
- 《その他の国の支援措置の活用状況》
- **まちなか商業人材サポート事業(ソフト)【実施済】**
 ・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)
 ・地方創生推進交付金(内閣府)

《今後の方針》

新大工町地区及び浜町地区の市街地再開発事業を支援するとともに、商店街等の観光客等の消費拡大に向けた取組み等を着実に実施する。

歴史と文化による個性あるまちづくりの推進

《主要事業の進捗状況》

- **出島和蘭商館跡復元事業(ハード)【実施中】**
 〈概要〉19世紀初頭の出島の復元を目指し、第Ⅰ期から第Ⅳ期に分けて復元事業に取り組む。
 〈状況〉平成28年10月第Ⅲ期復元建造物6棟が完成
 〈国の支援措置〉
 ・国宝重要文化財等保存整備費補助金(文部科学省)
- **出島表門橋架橋整備事業(ハード)【実施済】**
 〈概要〉出島と対岸の江戸町を結ぶ架け橋として象徴的な建造物である出島表門橋の整備を行う。
 〈状況〉平成28年1月から出島表門橋の本体工事に着手、平成29年11月に完成し、供用を開始
 〈国の支援措置〉
 ・中心市街地再活性化特別対策事業(総務省)
- **まちなか回遊路整備事業(ハード)【実施中】**
 〈概要〉歴史的、文化的な特徴に配慮した、歩いて楽しい回遊路整備により、魅力及び賑わいの向上に寄与する。
 〈状況〉平成29年度には中島川・寺町エリアや銅座エリア、出島周辺等において計4路線の回遊路整備を実施
 〈国の支援措置〉
 ・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省)
 ・景観まちづくり刷新支援事業(国土交通省)
- 《その他の国の支援措置の活用状況》
- **唐人屋敷頭在化事業(ハード)【実施中】**
 ・社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)(国土交通省)

《今後の方針》

引き続きまちなか回遊路整備事業等の事業進捗を図り、様々な団体との連携を図りながら地域の魅力向上の取組みを実施する。

【目指す中心市街地の都市像】

暮らしのなかに、つながりを実感できる街

【取組概要】

(1) 賑わうまち～魅力的で、来たくなるまちづくり～

- ① 栄町東西街区第一種市街地再開発事業
- ② 中心市街地賑わい創出支援事業
- ③ いさはや Third Place創出事業

(2) ひとが集うまち～来やすいまちづくり～

- ① (再掲) 栄町東西街区第一種市街地再開発事業
- ③ (再掲) いさはや Third Place創出事業
- ④ 諫早駅東地区第二種市街地再開発事業 (I棟、II-1棟、II-2棟) 交流広場整備事業、諫早駅自由通路整備事業、諫早駅交通広場整備事業、諫早駅情報発信等多目的床整備事業、諫早駅東連絡通路整備事業

(3) 安心して生活できるまち～住みたくなるまちづくり～

- ① (再掲) 栄町東西街区第一種市街地再開発事業
- ⑤ 民間保育所施設整備事業
- ⑥ 子育て支援センター運営事業

【計画目標】

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値※
賑わうまち ～魅力的で、来たくなる まちづくり～	アエル中央商店街歩行者通行量(平日)	8,015人/日 (H24)	9,200人/日 (R1)	5,299人/日 C (H30)
ひとが集うまち ～来やすいまちづくり～	駅乗降客数(諫早駅、本諫早駅(島原鉄道)の合計)	126.6万人/年 (H24)	134.0万人/年 (R1)	119.0万人/年 C (H30)
安心して生活できるまち ～住みたくなるまちづくり～	居住人口	3,574人 (H24)	3,700人 (R1)	3,376人 C (H30)

※「最新値」: 基準値からの改善状況 (A目標達成、B基準値達成、C基準値未達成)



長崎県諫早市 中心市街地活性化基本計画の進捗状況 (H30定期フォローアップ等)

賑わうまち ～魅力的で、来たくなるまちづくり～	ひとが集うまち ～来やすいまちづくり～	安心して生活できるまち ～住みたくなるまちづくり～
<p>《主要事業の進捗状況》</p> <p>■ 栄町東西街区第一種市街地再開発事業 (ハード)【実施中】</p> <p>〈概要〉再開発手法による街区更新、大型店及び駐車場、住宅等を整備する。多くの利用者が見込まれる新たな商業施設や、子育て拠点施設、分譲マンション、駐車場を整備する。</p> <p>〈状況〉平成29年度建築工事着手、令和元年度6月末に東街区、9月末に西街区完成予定</p> <p>〈国の支援措置〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会資本整備総合交付金(市街地再開発事業等) (国土交通省) <p>■ いさはやThird Place創出事業(ハード)【実施中】</p> <p>〈概要〉栄町東西街区第一種市街地再開発事業により整備される商業施設や駐車場を取得し、不足業種や集客力の高い商業集積を形成する。</p> <p>〈状況〉平成30年度、事業計画策定に着手</p> <p>〈国の支援措置〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定民間中心市街地経済活力向上事業計画の経済産業大臣認定(経済産業省) ・地域まちなか活性化・魅力創出支援事業費補助金(中心市街地活性化支援事業)のうち先導的・実証的事業(経済産業省) <p>《その他の国の支援措置の活用状況》</p> <p>■ 中心市街地賑わい創出支援事業 (ソフト)【実施中】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地活性化ソフト事業(総務省) 	<p>《主要事業の進捗状況》</p> <p>■ (再掲) 栄町東西街区第一種市街地再開発事業 (ハード)【実施中】</p> <p>■ 諫早駅東地区第二種市街地再開発事業 (I棟、II-1棟、II-2棟)、交流広場整備事業、諫早駅自由通路整備事業、諫早駅交通広場整備事業など (ハード)【実施中】</p> <p>〈概要〉再開発手法による都市機能の更新、住居系や商業、業務施設用床等を整備する。</p> <p>〈状況〉再開発ビル I 棟1区画、自由通路、在来線駅舎が平成30年8月に供用開始</p> <p>〈国の支援措置〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業) (国土交通省) <p>■ (再掲) いさはやThird Place創出事業 (ハード)【実施中】</p>	<p>《主要事業の進捗状況》</p> <p>■ (再掲) 栄町東西街区第一種市街地再開発事業 (ハード)【実施中】</p> <p>■ 民間保育所施設整備事業 (ハード)【実施中】</p> <p>〈概要〉栄町東西街区第一種市街地再開発事業により整備される建物に、中心市街地に不足している保育所を整備する。</p> <p>〈状況〉令和2年4月開所予定</p> <p>〈国の支援措置〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育所等整備交付金(厚生労働省) <p>《その他の国の支援措置の活用状況》</p> <p>■ 子育て支援センター運営事業(ソフト)【実施中】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育緊急確保事業費補助金(内閣府) ・子ども・子育て支援交付金(内閣府)
<p>《今後の方針》</p> <p>市民と店舗のふれあい等による信頼関係の増幅、店舗の魅力向上を図るとともに、栄町東西街区第一種市街地再開発事業により整備される商業施設を活用したイベント等の実施などによる集客について検討していく。</p>	<p>《今後の方針》</p> <p>栄町東西街区第一種市街地再開発事業により整備される商業施設や諫早駅情報発信等多目的床を活用したさまざまなイベント等の実施により、目標達成を目指す。</p>	<p>《今後の方針》</p> <p>子育て拠点施設の整備、中心市街地区域内の道路整備、諫早駅周辺の商業機能の充実、商店街と連携した賑わいづくり等を推進し、住みよいまちづくり、住みたくなるまちづくりの実現に向けた対策を検討していく。</p>

熊本県熊本市 中心市街地活性化基本計画の概要

【計画期間】平成29年4月～令和4年3月
【人口】74.1万人(H27)、【面積】390.32km²

【目指す中心市街地の都市像】

地震からの創造的復興により
誰もが安心して暮らし働き、国内外からも多くの
人が訪れる、魅力あるくまもとの顔づくり

【取組概要】

(1)にぎわいあふれる城下町

- ①熊本城復旧整備事業
- ②桜町地区再開発事業
- ③シンボルプロムナード等整備事業
- ④城下町の風情を感じられる町並みづくり事業

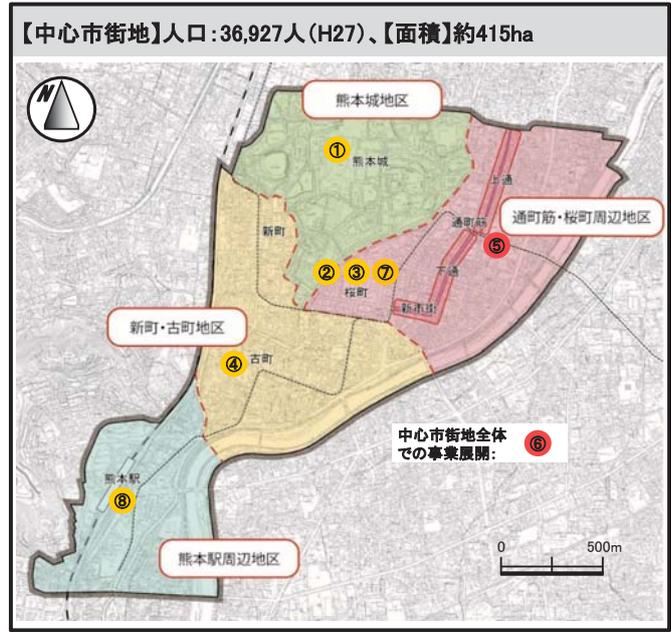
(2)安心してずっと暮らしたいまち

- ⑤街なか子育てひろば事業
- ⑥企業立地(誘致)促進事業

(3)誰もが訪れてみたくなるまち

- ⑦(仮称)熊本城ホール整備事業
- ⑧JR熊本駅ビル整備事業

【計画目標】



目標	目標指標	基準値	目標値	最新値※
にぎわいあふれる城下町	熊本城公園(熊本城、城影苑等)への入込数、及び桜町・花畑周辺地区で行われるイベント来場者数	1,921,762人/年(H28)	2,650,000/年(R3)	3,191,009人/年(H30) A
安心してずっと暮らしたいまち	中心市街地内の居住人口	36,604人(H28)	37,000人(R3)	37,061人(H30) A
誰もが訪れてみたくなるまち	熊本市内の宿泊客数	2,637,637人/年(H27)	3,000,000人/年(R3)	2,800,000人/年(H30) B (速報値)

※「最新値※」: 基準値からの改善状況(A目標達成、B基準値達成、C基準値未達成)

熊本県熊本市 中心市街地活性化基本計画の進捗状況 (H30定期フォローアップ等)

にぎわいあふれる城下町

《主要事業の進捗状況》

■熊本城復旧整備事業(ハード)【実施中】

〈概要〉「天守閣」をはじめ、石垣・建造物や便益施設等を含む熊本城全体の復旧を行う。

〈状況〉令和3年春頃の天守閣全体の復旧完了を目指す。

〈国の支援措置〉

- ・国重要文化財等保存整備費補助金(文部科学省)
- ・都市災害復旧事業費補助(国土交通省)
- ・防災・安全交付金(都市公園安全・安心対策事業)(国土交通省)

■桜町地区再開発事業・熊本城ホール整備事業(ハード)【実施中】

〈概要〉民間事業者の再開発事業により、バスターミナル、商業施設、ホテル、熊本城ホール等の整備を行う。

〈状況〉令和元年度中に施設完成見込み。

〈国の支援措置〉

- ・社会資本整備総合交付金(市街地再開発事業等)(国土交通省)
- ・防災・省エネまちづくり緊急促進事業補助金(国土交通省)
- ・災害時拠点強靱化緊急促進事業補助金(国土交通省)
- ・都市開発資金(市街地再開発事業等資金)(国土交通省)
- ・社会資本整備総合交付金(暮らし・にぎわい再生事業)(国土交通省)
- ・中心市街地再活性化特別対策事業(総務省)

■シンボルプロムナード等整備事業(ハード)【実施中】

〈概要〉シンボルプロムナードや(仮称)花畑広場などのオープンスペースの整備を行う。

〈状況〉令和2年度中に施設完成見込み。

〈国の支援措置〉

- ・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省)

■城下町の風情を感じられる町並みづくり事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉新町・古町地区内で景観形成の取組支援を行う。

〈状況〉今後も継続的に支援を行う。

〈国の支援措置〉

- ・社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)(国土交通省)

《今後の方針》

桜町再開発ビル等の開業をはじめ、震災から3年半ぶりとなる熊本城の特別公開をはじめ、2020年春頃の熊本城特別見学通路の供用開始やオープンスペースの本格運用に向けた整備等により、更なる賑わい創出を図っていく。

安心してずっと暮らしたいまち

《主要事業の進捗状況》

■街なか子育てひろば事業

(ソフト)【実施中】

〈概要〉熊本市が、熊本市現代美術館内に子育て支援施設を設置する。

〈状況〉平成30年度の利用実績は15,644人

〈国の支援措置〉

- ・子ども・子育て支援交付金(内閣府)

■企業立地(誘致)促進事業

(ソフト)【実施中】

〈概要〉熊本市が、熊本市企業立地促進条例に基づき、立地企業に対し助成を行う。

〈状況〉平成30年度の当事業を活用した企業の立地件数は17件

〈国の支援措置〉

- ・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

《その他の国の支援措置の活用状況》

■ファッションの街くまもと魅力創出事業

(ソフト)【実施中】

- ・地方創生推進交付金(内閣府)

- ・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

■クリエイティブ産業振興事業

(ソフト)【実施中】

- ・地方創生推進交付金(内閣府)

■安全安心まちづくり推進事業

(ソフト)【実施中】

- ・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

■地場企業PR事業(ソフト)【実施済】

- ・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

《今後の方針》

企業立地の促進をはじめ、Uターン促進による雇用等の拡大、再開発事業におけるマンション整備や子育て支援環境の提供等により、中心市街地への居住を促進していく。

誰もが訪れてみたくなるまち

《主要事業の進捗状況》

■(再掲)桜町地区再開発事業・熊本城ホール整備事業(ハード)【実施中】

〈概要〉大型商業施設、シネマコンプレックス、ホテル、立体庭園など

〈状況〉令和3年春の開業を目指す。

〈国の支援措置〉なし

■JR熊本駅ビル整備事業(ハード)【実施中】

〈概要〉大型商業施設、シネマコンプレックス、ホテル、立体庭園など

〈状況〉令和3年春の開業を目指す。

〈国の支援措置〉なし

《その他の国の支援措置の活用状況》

■(再掲)シンボルプロムナード等整備事業(ハード)【実施中】

■熊本城マラソン事業(ソフト)【実施中】

■中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

■国内観光誘致事業(ソフト)【実施済】

■地方創生推進交付金(内閣府)

■国際観光誘致事業(ソフト)【実施中】

■地方創生推進交付金(内閣府)

■MICE推進事業(ソフト)【実施中】

■中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

■中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

■中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

■中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

■中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

■中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

《今後の方針》

ラグビーワールドカップ等の国際スポーツイベント開催を契機として、国内外へ向けたプロモーションや外国人観光客の受入環境の整備等により、一過性に止まらない宿泊客の増加を図っていく。

大分県大分市 中心市街地活性化基本計画の概要

【計画期間】平成30年4月～令和5年3月
【人口】47.8万人(H29)、【面積】502.38km²

【目指す中心市街地の都市像】

県都にふさわしい中心市街地の魅力が伸展するまちづくり
～多様な「もの・ひと・しかけ」で人々を惹きつけるまち～

【取組概要】

(1) 伝統と革新の調和によるまちなか商業の活性化

- ①小規模事業者競争力強化支援事業
- ②まちなか出店支援事業

(2) 魅力的な都市空間の創出による回遊性の向上

- ③旧大分フォーラスビル建替事業
- ④大分市中心市街地祝祭広場整備事業
- ⑤交通安全事業 国道197号(昭和通り工区)
- ⑥中心市街地循環バス「大分きゃんパス」運行事業

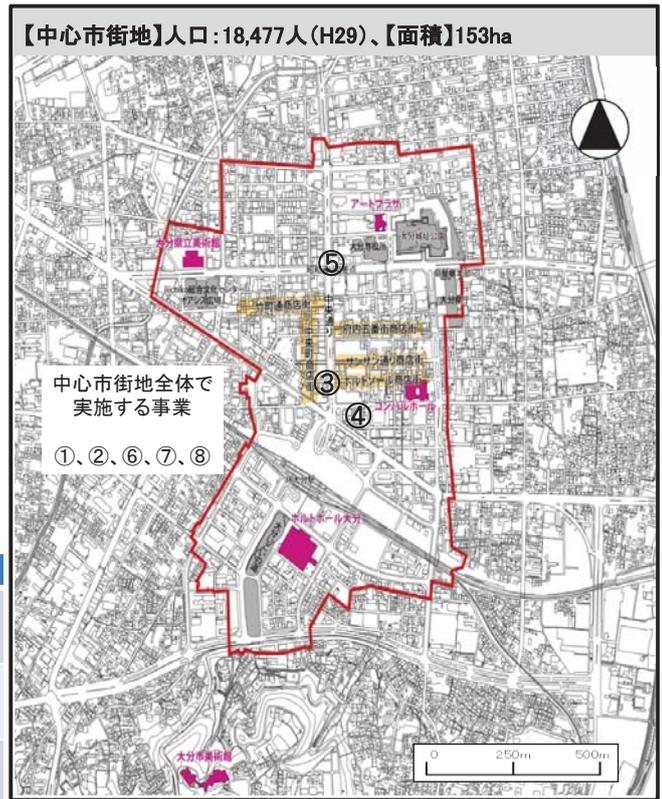
(3) 多様な都市ストックを活かした交流機会の拡大

- ④大分市中心市街地祝祭広場整備事業(再掲)
- ⑦まちなかアートフルロード推進事業
- ⑧自治体情報発信拠点づくり促進事業

【計画目標】

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値※
伝統と革新の調和によるまちなか商業の活性化	空き店舗率	11.1% (H28)	4.6% (R4)	9.8% B (H30)
魅力的な都市空間の創出による回遊性の向上	中央町・府内町間を往来する歩行者通行量(土日計)	32,832人 (H28)	37,000人 (R4)	27,946人 C (H30)
	中心市街地循環バス「大分きゃんパス」年間利用者数	60,931人/年 (H28)	65,000人/年 (R4)	61,747人/年 B (H30)
多様な都市ストックを活かした交流機会の拡大	主要文化交流施設年間利用者数	3,902,363人/年 (H28)	4,180,000人/年 (R4)	3,933,873人/年 B (H30)

※「最新値」: 基準値からの改善状況(A目標達成、B基準値達成、C基準値未達成)



【中心市街地】人口: 18,477人(H29)、【面積】153ha

中心市街地全体で実施する事業
①、②、⑥、⑦、⑧

大分県大分市 中心市街地活性化基本計画の進捗状況 (H30.3認定、R1定期フォローアップ実施)

伝統と革新の調和によるまちなか商業の活性化

魅力的な都市空間の創出による回遊性の向上

多様な都市ストックを活かした交流機会の拡大

＜主要事業の進捗状況＞

■小規模事業者競争力強化支援事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉小規模事業者が行う持続的な成長に向けた地道な販路開拓等の取組や、業務効率化の取組、販路開拓等と業務効率化を一体的に行う取組に要する経費を補助する制度を創設し、商店街の個店をはじめとする小規模事業者の魅力向上と競争力強化を図る。

〈国の支援措置〉なし

■まちなか出店支援事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉商工会議所等と連携し、中心市街地で事業意欲のある事業者や起業家に対して、空き店舗への出店や起業に関わる経費の一部を補助し、まちなかの魅力向上を図る。

〈国の支援措置〉

- ・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

＜その他の国の支援措置の活用状況＞

■第一種大規模小売店舗立地法特例区域の設定(ソフト)【実施中】

- ・大規模小売店舗立地法の特例(第一種大規模小売店舗立地法特例区域)(経済産業省)

＜今後の方針＞

出店支援と閉店抑止策の小規模事業者競争力強化支援事業を活用し、空き店舗率の改善を図る。

＜主要事業の進捗状況＞

■大分市中心市街地祝祭広場整備事業(ハード)【実施中】

〈概要〉旧大分パルコ跡地を、令和元年秋のラグビーワールドカップ2019日本大会開催を見据え祝祭広場として整備する。

〈国の支援措置〉

- ・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省)

■旧大分フォーラスビル建替事業(ハード)【実施中】

〈概要〉ビルの老朽化や耐震改修に伴い、旧大分フォーラスビルの建替えを実施し、新たな商業施設としてオープンすることで、まちなか商業の活性化を図る。

〈国の支援措置〉なし

■交通安全事業 国道197号(昭和通り工区)

(ハード)【実施中】

〈概要〉昭和通り交差点において、イベントや時期によって柔軟に対応できるオープンスペースとしての再整備を行うとともに、安全性・快適性を考慮した自転車歩行者道の整備を行う。

〈国の支援措置〉

- ・防災・安全交付金(交通安全事業)(国土交通省)
- 中心市街地循環バス「大分きゃんパス」運行事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉商店街を含めた中心市街地全体の回遊性の向上、誰もが円滑に移動できる交通環境の実現を目的に、ホルトホール大分、オアシス広場・大分県立美術館、市役所・県庁を経由する循環バスを運行する。

〈国の支援措置〉

- ・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

＜今後の方針＞

令和元年夏に「(仮称)大分市中心市街地祝祭の広場」の完成予定であり、広場でイベント開催など実施することで、まちなか回遊性の向上に取り組む。

＜主要事業の進捗状況＞

■(再掲)大分市中心市街地祝祭広場整備事業(ハード)【実施中】

■まちなかアートフルロード推進事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉市美術館と大分県立美術館や各種関係団体等が連携し、中心市街地を含むエリアで気軽にアートを楽しめる機会を提供することにより、アートによるまちなかの回遊性を創出し、交流人口の増加を図る。

〈国の支援措置〉なし

■自治体情報発信拠点づくり促進事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉希望する県内自治体が大分市中心市街地において特産品や農林水産物の販売、観光・イベント等のPRが出来る情報発信拠点を設置し、中心市街地の活性化と交流人口の増加を図る。

〈国の支援措置〉なし

＜その他の国の支援措置の活用状況＞

■広域連携イベント誘致事業(ソフト)【実施中】

- ・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

＜今後の方針＞

「ラグビーワールドカップ2019」の開催を控え、大会期間中の国内外からの観光客に向け、中心市街地でのイベントなどを通じ、本市の魅力を発信することで、交流人口の増加を図る。

大分県佐伯市 中心市街地活性化基本計画の概要

【計画期間】平成28年4月～令和3年3月
【人口】7.6万人(H26)、【面積】903km²

【目指す中心市街地の都市像】

「人が集う街」の実現

人が街に愛着を持ち、市民は誇りを、来街者はまた行きたいという感情を抱きながら、使い続けられる街としての仕組みづくりを実践する。

【取組概要】

(1) 便利で過ごしやすい人が集うまち

- ① 高次都市施設整備事業((仮)大手前まちづくり交流館)
- ② 南海医療センター整備事業
- ③ 大手町駐車場整備事業
- ④ 魚市場リノベーション事業
- ⑤ 空き家・空き店舗活用実証実験事業

(2) 人々が活発に交流しふれあうまち

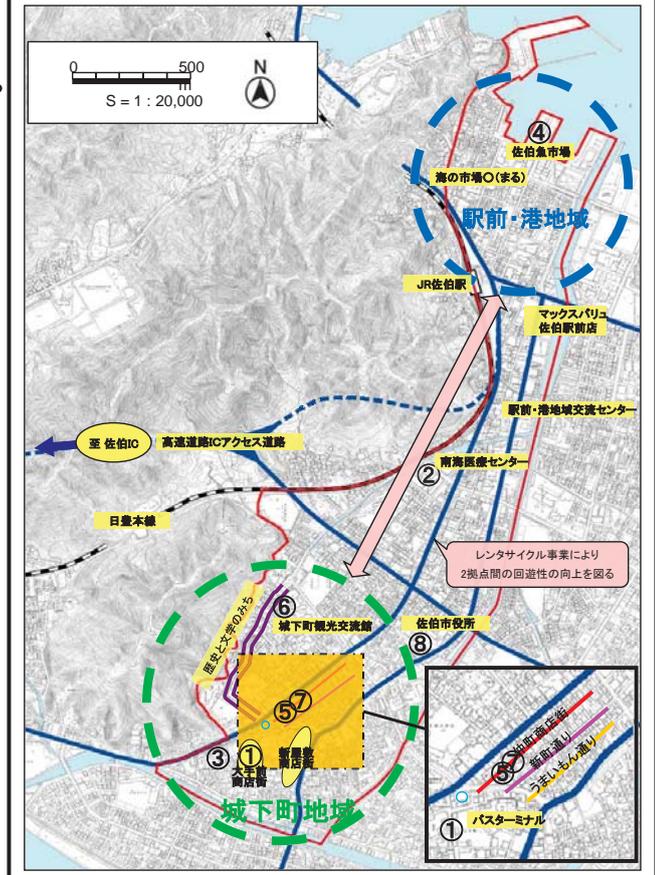
- ⑥ 城下町観光交流館運営事業
- ⑦ まちづくりセンター運営事業
- ⑧ さいき立志塾

【計画目標】

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値※
便利で過ごしやすい人が集うまち	歩行者通行量	2,391人/日 (H26)	2,682人/日 (R2)	2,623人/日 B (H30)
	商店街空き店舗率 (参考指標)	34.5% (H26)	27.6% (R2)	40.0% C (H30)
人々が活発に交流しふれあうまち	まちづくり交流人口	294,246人/年 (H26)	333,997人/年 (R2)	311,764人/年 B (H30)

※「最新値」: 基準値からの改善状況 (A目標達成、B基準値達成、C基準値未達成)

【中心市街地】人口: 6,722人 (H26)、【面積】約157ha



大分県佐伯市 中心市街地活性化基本計画の進捗状況 (H30定期フォローアップ等)

便利で過ごしやすい人が集うまち

《主要事業の進捗状況》

- 高次都市施設整備事業((仮)大手前まちづくり交流館) (ハード)【実施中】
〈概要〉ホールを有する地域交流センターと地域ブランドの発信拠点としてまちおこしセンター、子育て世代活動支援センターの複合施設を整備する。
〈状況〉実施設計を完了し、建物建設工事等の契約を締結、施設建設中 (国の支援措置)
・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省)
- 魚市場リノベーション事業(ハード)【実施中】
〈概要〉公設魚市場を市場機能に加え観光交流拠点としてリノベーションする。
〈状況〉入札を行ったが、不調に終わり、手法及び整備方針を再検討中 (国の支援措置)なし
- 空き家・空き店舗活用実証実験事業(ソフト)【実施中】
〈概要〉空き家・空き店舗の解消によるまちの魅力づけのための取り組みを行う。
〈状況〉前年度に引き続き2物件を借用し、展示会やイベント等で開放 (国の支援措置)なし

《その他の国の支援措置の活用状況》

- 地域生活基盤施設整備事業((仮)大手前広場) (ハード)【実施中】
・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省)
- 南海医療センター整備事業(ハード)【実施中】
・災害拠点病院等耐震化緊急整備事業費補助金(厚生労働省)
- ・医療提供体制施設整備交付金(厚生労働省)(活用予定)
- おやこ広場事業(ソフト)【実施中】
・地域子育て支援拠点事業(厚生労働省)
- ファミリーサポートセンター事業(ソフト)【実施中】
・子ども・子育て支援交付金(内閣府)
- 中心市街地商業活性化診断・サポート事業(ソフト)【実施中】
・中心市街地商業活性化診断・サポート事業(経済産業省)
- 中心市街地商業活性化アドバイザー派遣事業(ソフト)【実施中】
・中心市街地商業活性化アドバイザー派遣事業(経済産業省)

《今後の方針》

市民との協働を図って事業を推進していくとともに、新たな講座やイベントの開催などによって、来街機会の創出や回遊性の向上を図っていく。

人々が活発に交流しふれあうまち

《主要事業の進捗状況》

- 城下町観光交流館運営事業(ソフト)【実施中】
〈概要〉市民及び観光客の相互交流を促進するビジターセンターを運営する。
〈状況〉年々利用者も増加し、情報発信・観光に関する拠点となって来街者のもとより市民も集い、地域の賑わいが創出されている。
〈国の支援措置〉なし
- まちづくりセンター運営事業(ソフト)【実施中】
〈概要〉仲町商店街内に市民活動団体等の活動拠点としてまちづくりセンターを設置する。
〈状況〉イベントや市民活動団体間の交流、新規団体の活動を支援 (国の支援措置)なし
- さいき立志塾(ソフト)【実施中】
〈概要〉専門講師による経営講話やディスカッション、参加者の交流等を通じて次世代の佐伯経済を担う人材の育成を行う。
〈状況〉年10回の講座や塾生の出身企業の現地研修を実施 (国の支援措置)なし
- (再掲)高次都市施設整備事業((仮)大手前まちづくり交流館)事業 (ハード)【実施中】

《その他の国の支援措置の活用状況》

- 地域コミュニティ強化事業(ソフト)【実施中】
・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省)
- さいき春まつり(ソフト)【実施中】
・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

《今後の方針》

まちづくり交流人口の更なる増加に向け、市民活動団体の活動補助事業やイベント運営支援、情報発信などにより、活動の促進に取り組む。

大分県竹田市 中心市街地活性化基本計画の概要

【計画期間】平成27年7月～令和2年3月
【人口】2.4万人(H25)、【面積】477.59km²

【目指す中心市街地の都市像】

「城下町の風情が五感に響く“竹田情感まちづくり”」

【取組概要】

(1) 観光地としての魅力の向上

- ① 瀧廉太郎記念館改修事業
- ② 商店街まちの駅整備事業
- ③ 歴史資料館改修事業

(2) まちなかの回遊性の向上

- ④ 竹田市コミュニティセンター(仮称)整備事業
- 街なみ環境整備事業

(3) まちなか居住の推進

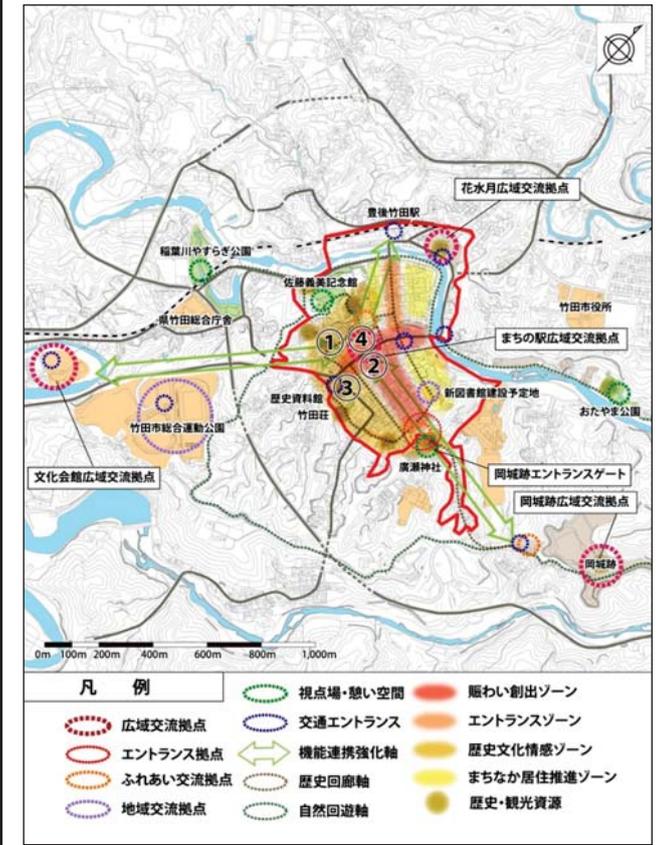
- 空き店舗活用チャレンジショップ活用事業
- 空き家改修事業

【計画目標】

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値※
観光地としての魅力の向上	地区内年間観光客数	188,066人 (H25)	210,000人 (R1)	171,429人 C (H30)
まちなかの回遊性の向上	地区内歩行者通行量	3,219人 (H25)	5,362人 (R1)	3,323人 B (H30)
まちなか居住の推進	地区内居住人口	1,269人 (H26)	1,274人 (R1)	1,155人 C (H31.3)

※「最新値」: 基準値からの改善状況 (A目標達成、B基準値達成、C基準値未達成)

【中心市街地】人口: 1,280人(H25)、【面積】約48.2ha



大分県竹田市 中心市街地活性化基本計画の進捗状況 (H30定期フォローアップ等)

観光地としての魅力の向上

《主要事業の進捗状況》

- 瀧廉太郎記念館改修事業(ハード)【実施中】
〈概要〉記念館のリニューアル(資料展示の充実(空調施設や展示ケース等整備))及び隣接地の取得・拡張を行う。
〈状況〉記念館のリニューアル及び隣接地の取得による拡張を予定していたが、用地取得が困難となり、計画期間内での事業完了が難しい状況となった。
〈国の支援措置〉なし
- 商店街まちの駅整備事業(ハード)【実施中】
〈概要〉本町地区の一団の空き店舗を再生・活用する。
〈状況〉検討してきた内容の深化を進めていくとともに所有者等との調整を実施。デザイン会議により必要要素を議論し、事業推進にむけた課題を整理した。
〈国の支援措置〉
・地域まちなか活性化・魅力創出支援事業費補助金(中心市街地活性化支援事業)のうち先導的・実証的事業(経済産業省)(活用予定)
- 竹田城下町・岡城跡歴史文化交流センター整備事業(ハード)【実施中】
〈概要〉歴史資料館をリニューアルする。
〈状況〉平成30年度は市民説明会を実施した上で、平成30年11月より工事着手。屋外エレベーターのデザイン、施設名称、運営計画等を検討している。
〈国の支援措置〉
・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省)

《今後の方針》

商業地としての魅力を向上させる事業を推進することにより、観光施設への入館者数を増加させるとともに、ハード事業に加え回遊案内などソフト事業等との相乗効果を得ていき、目標の達成に努めていく。

まちなかの回遊性の向上

《主要事業の進捗状況》

- 竹田市コミュニティセンター(仮称)整備事業(ハード)【実施中】
〈概要〉福祉・健康・文化の拠点施設の整備を行う。
〈状況〉平成30年度は、市民説明会を実施した上で工事着手。令和2年3月中旬の竣工を目指す。
〈国の支援措置〉
・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省)
- 街なみ環境整備事業(ハード)【実施中】
〈概要〉民家や店舗の修景補助を行う。
〈状況〉平成30年度は13件の修景を実施
〈国の支援措置〉
・社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)(国土交通省)
- 伝統的建築物改修事業(ハード)【実施中】
〈概要〉歴史的伝統的建築物の公開活用を図るため、屋根・外壁・内装等の保存修理を行う。
〈状況〉平成30年度は、建物所有者と保存修理に関する意見交換及びスケジュール調整を実施
〈国の支援措置〉
・社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)(国土交通省)
- (再掲) 商店街まちの駅整備事業(ハード)【実施中】
- (後掲) 空き店舗活用チャレンジショップ事業(ソフト)【実施中】

《今後の方針》

事業の着実な推進により歩行者の歩行環境を向上させることで、歩行者通行量の増加に繋げ、目標の達成に繋げていく。

まちなか居住の推進

《主要事業の進捗状況》

- 空き店舗活用チャレンジショップ事業(ソフト)【実施中】
〈概要〉空き家・空き店舗を購入又は借受、起業する者に対し助成を行う。
〈状況〉平成30年度は出店希望者が現れなかったため支援を行っていない。
〈国の支援措置〉なし
- 空き家改修事業(ハード)【実施中】
〈概要〉アーティスト等の創作活動場(工房等)として城下町の空き家や空き店舗を改修する。
〈状況〉平成30年度の対象事業3件は中心市街地以外のエリアでの実施となっている。
〈国の支援措置〉
・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省)
- 定住促進ビジョン策定事業(ソフト)【実施中】
〈概要〉現状課題を調査し、それに対するまちづくりの方向性や戦略的な施策を立案する。
〈状況〉当計画に基づき各種事業を実施
〈国の支援措置〉なし
- 定住促進住宅整備事業(ハード)【実施済】
〈概要〉地域優良賃貸住宅の整備(3LDK:10戸、1LDK:8戸)を行う。
〈状況〉平成30年1月末に完成し、2月に供用開始
〈国の支援措置〉
・社会資本整備総合交付金(地域住宅計画に基づく事業(地域優良賃貸住宅整備事業))(国土交通省)

《今後の方針》

働く場所の確保や雇用者と被雇用者のマッチング、住宅としての空き家・空き店舗のリノベーションなど多様な対策を講じ、起業支援や観光振興対策と一体的な取組みを進める。

宮崎県小林市 中心市街地活性化基本計画の概要

【計画期間】平成28年4月～令和3年3月
【人口】4.6万人(H27)、【面積】562.95km²

【目指す中心市街地の都市像】

「ひと」「もの」「かね」「ちえ」地域資源を総動員した中心市街地活性化

【取組概要】

(1) 安定した雇用を創る

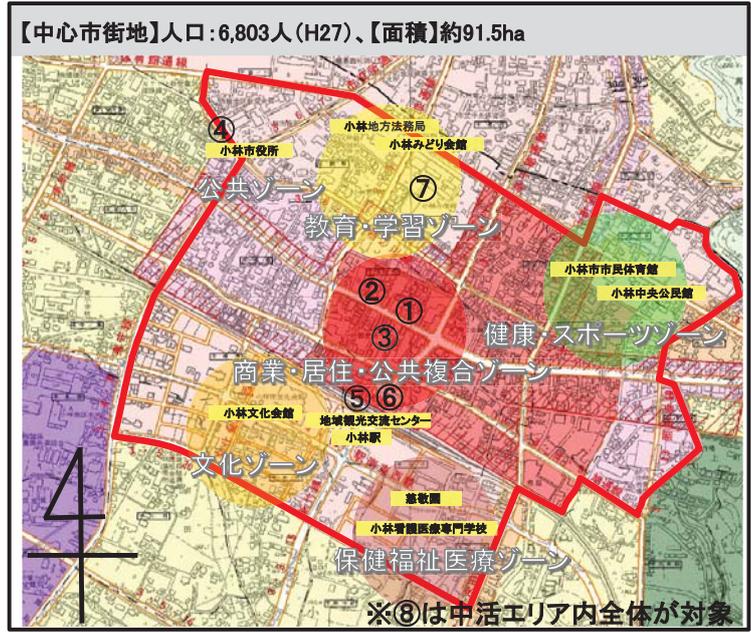
- ① 江南跡地活用事業 商業施設整備
- ② 江南跡地活用事業 宿泊施設整備事業
- ③ チャレンジショップ事業

(2) 新しい人の流れを創る

- ④ 新市庁舎の建設・整備事業
- ⑤ 小林駅周辺整備事業
- ⑥ 「てなんど」シャトルバス事業

(3) 快適に暮らせるまちを創る

- ① 江南跡地活用事業 ファミリー賃貸住宅整備
- ⑦ 生涯学習センター整備検討事業
- ⑧ ファミリー世帯向け空き家改修助成



【計画目標】

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値※
安定した雇用を創る	新規開業事業所数の増加	10事業者(H26)	12事業者(R2)	11業者(H30) B
新しい人の流れを創る	休日歩行者・自転車通行量	876人/日(H26)	1,842人/日(R2)	958人/日(H30) B
快適に暮らせるまちを創る	居住人口	6,913人(H26)	7,081人(R2)	6,460人(H30) C

※「最新値※」: 基準値からの改善状況 (A目標達成、B基準値達成、C基準値未達成)

宮崎県小林市 中心市街地活性化基本計画の進捗状況 (H30定期フォローアップ等)

安定した雇用を創る

《主要事業の進捗状況》

■江南跡地活用事業(ハード)【実施済】

〈概要〉まちづくり会社により、中心市街地に不足する機能を持った複合ビルを整備する。
〈状況〉平成29年12月完了、1階部分にスーパーマーケットを整備
〈国の支援措置〉
・社会資本整備総合交付金(優良建築物等整備事業)(国土交通省)
・社会資本整備総合交付金(暮らし・にぎわい再生事業)(国土交通省)

■空き店舗改修補助事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉中心市街地エリアの商業区域に指定されるエリアに空き店舗を活用し、開業や出店を行う事業者の改修費の一部を助成する。
〈状況〉平成30年度の事業実施件数は2件
〈国の支援措置〉
・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

《その他の国の支援措置の活用状況》

■空き店舗情報提供事業(ソフト)【実施中】

・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

■創業・起業支援事業(ソフト)【実施中】

・地域・まちなか商業活性化支援事業費補助金(中心市街地再興戦略事業)のうち調査事業、専門人材活用支援事業(経済産業省)

《今後の方針》

江南跡地活用事業によって建設した複合ビルの2階にある小林ビジネス支援センターに配置された専門家の伴走型支援を最大限活用し、中心市街地エリア内の空店舗を活用した新規出店等が進むように、施策展開等を図っていく。

新しい人の流れを創る

《主要事業の進捗状況》

■新市庁舎の建設・整備事業(ハード)【実施済】

〈概要〉新市庁舎の建設・整備を行う。従前の市役所機能のほか、誰もが利用できるオープンスペースを設ける。
〈状況〉平成30年3月24日にグランドオープンをおこなった。
〈国の支援措置〉なし

■イベント広場兼駐車場整備(ハード)【実施済】

〈概要〉小林駅周辺整備に併せてイベント広場を兼ねる駐車場を整備する。
〈状況〉平成31年3月完了。車59台分のスペースを確保。
〈国の支援措置〉
・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省)

《その他の国の支援措置の活用状況》

■地域交通機関運行維持事業(コミュニティバス運行事業)(ソフト)【実施中】

・地域公共交通確保維持改善事業(地域公共交通確保維持事業/地域公共交通バリア解消促進等事業/地域公共交通調査等事業)(国土交通省)

《今後の方針》

平成30年度にイベント広場兼駐車場の整備が完了し、利便性が向上した中心市街地エリアへ、これまで整備した施設を最大限活用し、イベント等を市、商工会議所、観光協会、まちづくり会社が連携し実施することで、集客に繋げていく。

快適に暮らせるまちを創る

《主要事業の進捗状況》

■(再掲)江南跡地活用事業(ハード)【実施済】

〈概要〉まちづくり会社により、中心市街地に不足する機能を持った複合ビルを整備する。
〈状況〉平成29年12月完了、2階部分には子育て交流スペース及びまちなか図書館を整備、3～5階にはファミリー向け賃貸住宅を整備
〈国の支援措置〉
・社会資本整備総合交付金(優良建築物等整備事業)(国土交通省)
・社会資本整備総合交付金(暮らし・にぎわい再生事業)(国土交通省)

《その他の国の支援措置の活用状況》

■まちなか図書館設置事業(ハード)【実施済】

・社会資本整備総合交付金(暮らし・にぎわい再生事業)(国土交通省)

《今後の方針》

既存の居住誘導や推進施策は勿論であるが、平成30年度より中心市街地エリアに民間によるアパート建設計画などの新たな動きがあり、今後の居住人口増加に期待ができる。

鹿児島県鹿児島市 中心市街地活性化基本計画の概要

【計画期間】平成30年4月～令和5年3月
【人口】60.0万人(H27)、【面積】547.55km²

【目指す中心市街地の都市像】

観光・商業・交流によるにぎわいあふれる次代のまちづくり

【取組概要】

(1) 商業・サービス機能の強化

- ①中央町19・20番街区市街地再開発事業
- ②千日町1・4番街区市街地再開発事業
- ③鹿児島銀行新店ビル建設事業(商業施設整備など)
- ④鹿児島駅周辺都市拠点総合整備事業、鹿児島駅前停留場整備事業
- ⑤女性・学生・シニア起業チャレンジ支援事業
- ⑥街なかリノベーション推進事業
- ⑦地域繁盛店づくり支援事業
- ⑧頑張る商店街支援事業
- ⑨「まちゼミ」開催事業

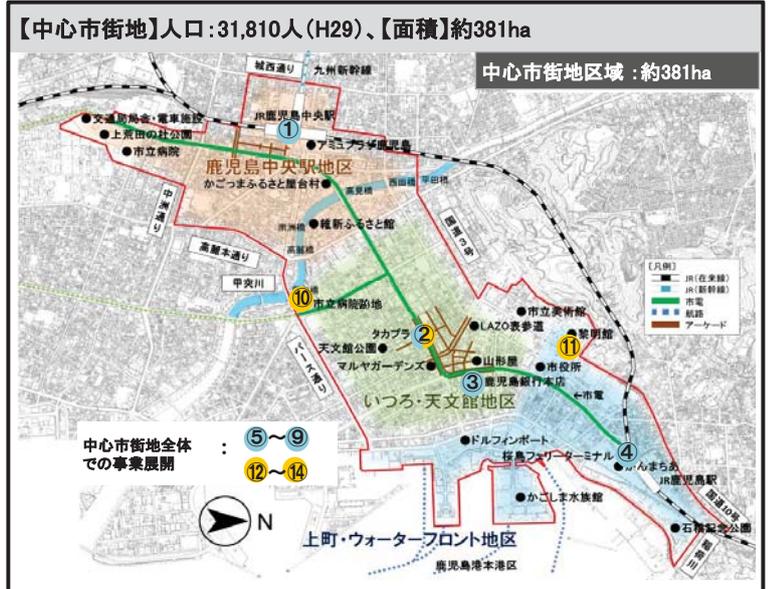
(2) 稼ぐ観光の実現

- ⑩大河ドラマ「西郷どん」プロジェクト推進等事業
- ⑪鶴丸城楼門建設事業
- ⑫明治維新150周年事業
- ⑬外国人観光客受入事業
- ⑭鹿児島観光コンベンション協会体制強化事業
- ②(再掲)千日町1・4番街区市街地再開発事業

【計画目標】

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値※
商業・サービス機能の強化	空き店舗数	86店舗 (H28)	70店舗 (R4)	81店舗 B (H30)
稼ぐ観光の実現	宿泊観光客数	295万3千人/年 (H28)	322万人/年 (R4)	345万3千人 A (H30)

※「最新値」: 基準値からの改善状況(A目標達成、B基準値達成、C基準値未達成)



鹿児島県鹿児島市 中心市街地活性化基本計画の進捗状況 (H30定期フォローアップ等)

商業・サービス機能の強化

《主要事業の進捗状況》

■中央町19・20番街区市街地再開発事業

(ハード)【実施中】
〈概要〉鹿児島中央駅前に商業・業務施設、ホール、住宅等を備えた再開発ビルを整備する。
〈状況〉平成30年5月解体工事完了、再開発ビル工事に着工(国の支援措置)

・社会資本整備総合交付金(市街地再開発事業等)
(国土交通省)

■千日町1・4番街区市街地再開発事業(ハード)【実施中】

〈概要〉いづろ・天文館地区に商業・業務施設、広場、ホテル等を備えた再開発ビルを整備する。
〈状況〉平成30年11月に県の認可を受け、既存建物の解体工事に着手

(国の支援措置)
・社会資本整備総合交付金(市街地再開発事業等)
(国土交通省)

■鹿児島銀行新店ビル建設事業(商業施設整備など)(ハード)【実施中】

〈概要〉鹿児島銀行本店ビルを建替えるとともに、同ビル内に商業施設を整備する。
〈状況〉平成29年6月新店ビル建設工事に着手、令和元年6月に泉町ビル、同2年4月に金生町ビルオープン予定(国の支援措置)なし

■鹿児島駅周辺都市拠点総合整備事業、鹿児島駅前停留場整備事業(ハード)【実施中】

〈概要〉JR鹿児島駅東側の駅前広場、東西自由通路等の整備と市電停留場を一体的に整備する。
〈状況〉平成30年10月既存駅舎等を撤去し、自由通路と新駅舎の一体的な整備等に着手

(国の支援措置)
・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)
(国土交通省)※鹿児島駅前停留場整備事業を除く。

■女性・学生・シニア起業チャレンジ支援事業

(ソフト)【実施中】
〈概要〉起業・ベンチャーに関心や意欲を持つ女性、学生、シニアに対し、起業セミナー等の開催や相談支援を実施する。
〈状況〉各種セミナーの開催(参加者数214人)やインキュベーション・マネージャーによる相談対応の実施(国の支援措置)なし

■街なかリノベーション推進事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉空き店舗等の再生を担う人材育成を図るリノベーションスクール等を開催する。
〈状況〉リノベーションまちづくりシンポジウム(参加者数185人)やリノベーションスクール(参加者数22人)の開催(国の支援措置)

・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

■地域繁盛店づくり支援事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉商店街のにぎわい創出を牽引する繁盛店を育成する。
〈状況〉専門講師によるセミナー(3回)や臨場指導(4回)の実施(国の支援措置)

・地方創生推進交付金(内閣府)

■頑張る商店街支援事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉商店街等が独自のアイデアや創意工夫を生かし、商店街の活性化を図るために実施するイベント等に対し、助成を行う。
〈状況〉24団体、30事業に対し助成(国の支援措置)

・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

■「まちゼミ」開催事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉商店街の店主等が講師となり、専門的な知識や情報などを無料で受講者に伝える「まちゼミ」事業を開催する。
〈状況〉まちゼミを2回開催(参加者数1,243人)
(国の支援措置)なし

稼ぐ観光の実現

《主要事業の進捗状況》

■大河ドラマ「西郷どん」プロジェクト推進等事業

(ソフト)【実施済】
〈概要〉大河ドラマ「西郷どん」の大河ドラマ館の運営等を行う。
〈状況〉来場者数553,052人
(国の支援措置)

・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

■鶴丸城楼門建設事業(ハード)【実施中】

〈概要〉鶴丸城本丸の大手門である御楼門や、楼門と連なり城郭を構成する御角櫓を建設する。
〈状況〉平成30年9月御楼門建設工事に着手
(国の支援措置)なし

■明治維新150周年事業(ソフト)【実施済】

〈概要〉「維新のふるさと鹿児島市」を国内外に広く印象付けられるようなイベント等を開催する。
〈状況〉明治維新150周年イベント等各種イベントを開催(国の支援措置)なし

・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

■外国人観光客受入事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉外国語表記の案内板等の整備に対する支援及び公衆無線LAN環境の運用等を行う。
〈状況〉外国語案内表記やWi-Fiの整備等に対する助成のほか、クルーズ船の誘致や観光案内などを実施(国の支援措置)なし

■鹿児島観光コンベンション協会体制強化事業

(ソフト)【実施中】

〈概要〉コンベンション協会による観光客の誘致・受入体制の充実や商品開発等の取組を推進する。
〈状況〉DMOセミナーの開催のほか、DMO設立準備委員会を設立し、ワーキンググループを開催(国の支援措置)なし

・地方創生推進交付金(内閣府)

■千日町1・4番街区市街地再開発事業(ハード)【実施中】

《今後の方針》

新規創業者などの人材育成や商店街等によるイベント実施によるにぎわい創出など各種事業を実施していく。

《今後の方針》

多彩な資源を活用し、観光の魅力創出に努め、各種施策を着実に推進し、観光客が中心市街地に滞在するための機能・取組の充実を図る。

鹿児島県奄美市 中心市街地活性化基本計画の概要

【計画期間】平成29年4月～令和4年3月
【人口】4.3万人(H30)、【面積】305.92km²

【目指す中心市街地の都市像】

♪いもーれ・Comeもーれ・ゆていもーれ♪

コンパクトシティ「ゆらうまち」の実現

【取組概要】

(1) 来る人を増やす「いもーれ」

- ① 中心市街地出店支援事業
- ② 末広・港土地区画整理事業
- ③ 各種集客イベントの開催

(2) 観光客を呼び込む「Comeもーれ」

- ④ 中心市街地まち歩き事業
- ⑤ 宿泊施設整備事業

(3) 人がふれあう「ゆていもーれ」

- ⑥ 市民交流センター整備事業
- ⑦ 子育て・保健・福祉複合施設整備事業
- ⑧ 市本庁舎整備事業

【計画目標】

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値
来る人を増やす 「いもーれ」	主要9通りにおける 営業店舗数	247店舗 (H28)H28.8未現在	280店舗 (R3)	259店舗 B (H30)H30.8未現在
観光客を中心市街地へ呼び込む 「Comeもーれ」	中心市街地内の 宿泊者数	140,800人 (H27)H27.12未現在	221,800人 (R3)	205,300人 B (H30)H30.12未現在
人が触れ合う 「ゆていもーれ」	交流施設の利用者数	225,626人 (H27)H28.3未現在	379,800人 (R3)	127,599人 C (H30)H31.3未現在

※「最新値」: 基準値からの改善状況(A目標達成、B基準値達成、C基準値未達成)



鹿児島県奄美市 中心市街地活性化基本計画の進捗状況 (H30定期フォローアップ等)

来る人を増やす「いもーれ」

《主要事業の進捗状況》

■ 中心市街地出店支援事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉新規出店者に対し、家賃補助による支援を行う。
〈状況〉平成30年度、25店舗の事業者が制度を活用
〈国の支援措置〉

・ 中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

■ 店舗リフォーム支援事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉老朽化した店舗の改装及び店舗リフォームに対し、支援を実施する。
〈状況〉平成30年度には、新規出店者12件、既存店舗6件の事業者が制度を活用
〈国の支援措置〉

・ 中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

■ 末広・港土地区画整理事業(ハード)【実施中】

〈概要〉区域内で土地区画整理事業を実施する。
〈状況〉末広港線が供用開始され、末広町から港町へと整備が進んでいる。
〈国の支援措置〉

・ 社会資本整備総合交付金(道路事業(区画))

(国土交通省)

■ 商業集客拠点施設立地促進事業

(ソフト)【実施中】

〈概要〉新規食料品スーパーの出店に家賃の補助を行う。
〈状況〉平成29年度までに2店舗のスーパーが制度を活用
〈国の支援措置〉

・ 中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

《今後の方針》

各種事業を総合的に実施することで、出店意欲の更なる促進に取り組む。

観光客を呼び込む「Comeもーれ」

《主要事業の進捗状況》

■ 中心市街地まち歩き事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉歴史・文化・産業等を散策できるまち歩きマップを作成する。
〈状況〉平成29年度は約1,000冊のマップを配布
〈国の支援措置〉

・ 中心市街地活性化ソフト事業(総務省)

■ 宿泊施設整備事業(ハード)【実施済】

〈概要〉客室150室の宿泊施設を建設する。
〈状況〉平成30年5月オープン
〈国の支援措置〉なし

■ (再掲) 中心市街地出店支援事業

(ソフト)【実施中】

《今後の方針》

観光客の増加が進む中で、周辺地域への経済効果が高まるようソフト事業の強化に取り組む。

人がふれあう「ゆていもーれ」

《主要事業の進捗状況》

■ 市民交流センター整備事業(ハード)【実施中】

〈概要〉360席程度のホールや図書室等を備えた市民交流センターの整備を行う。
〈状況〉平成30年度、実施設計を実施
〈国の支援措置〉

・ 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省)(活用予定)

■ 子育て・保健・福祉複合施設整備事業

(ハード)【実施中】

〈概要〉保健センター、老人福祉会館を中心市街地に集約するとともに、子育て支援機能を充実した複合施設を整備を行う。
〈状況〉平成30年度は基本設計を実施、令和3年度完成予定
〈国の支援措置〉

・ 社会資本整備総合交付金(暮らし・にぎわい再生事業)

■ AiAiひろば管理運営事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉観光交流拠点施設であるAiAiひろばを活用し、市民と観光客の交流促進を図る。
〈状況〉施設利用人数 88,850人(H30)
〈国の支援措置〉なし

■ 大型客船受け入れ事業(ソフト)【実施中】

〈概要〉観光客を誘客するため送迎バスを運行し、歓迎イベント等を開催する。
〈状況〉平成30年度は3回の受け入れイベントを実施
〈国の支援措置〉なし

《今後の方針》

更なる観光客の増加が期待できる中で、観光客向けのイベントの実施や、観光案内機能の充実強化を図っていく。

沖縄県沖縄市 中心市街地活性化基本計画の概要

【計画期間】平成28年4月～令和3年3月
【人口】13.8万人(H26)、【面積】49km²

【目指す中心市街地の都市像】

「住みたい・訪れたい魅力あふれるコザのまち」
～来街者・居住者が集う持続可能な交流街へ～

【取組概要】

(1) まちなか交流の促進によるにぎわいの創造

- ① 多目的アリーナ整備事業
- ② 沖縄こどもの国整備事業
- ③ (仮称) 青年エイサー会館整備事業
- 沖縄市中心市街地循環バス事業
- エイサーのまち推進事業

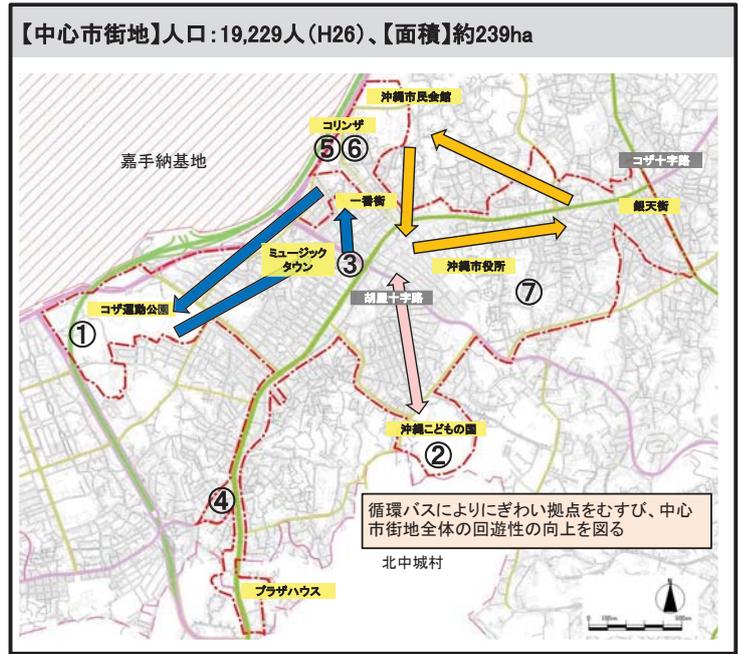
(2) 中心市街地全体としての付加価値の向上による生活環境の改善

- ④ 山里第一地区第一種市街地再開発事業
- ⑤ 図書館建設推進事業
- ⑥ (仮称) 雇用促進施設等整備事業
- ⑦ 安慶田市営住宅建替事業

【計画目標】

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値※
まちなか交流の促進によるにぎわいの創造	歩行者通行量(休日)	8,866人/日(H26)	9,380人/日(R2)	6,352人/日(H30) C
	観光関連施設の入込客数	448,961人/年(H26)	683,207人/年(R2)	548,379人/年(H30) B
中心市街地全体としての付加価値の向上による生活環境の改善	都市福祉施設の年間利用者数	829,808人/年(H26)	867,308人/年(R2)	1,067,852人/年(H30) A
	居住人口の増減率	▲5.6%(H21～26)	▲4.4%(H28～R3)	▲11.2%(H25～30) C

※「最新値」: 基準値からの改善状況(A目標達成、B基準値達成、C基準値未達成)。
都市福祉施設の年間利用者数について、FU概要作成において実績値を集計中の施設は、平成27年～平成29年の平均値を実績値として計上。



沖縄県沖縄市 中心市街地活性化基本計画の進捗状況 (H30定期フォローアップ等)

まちなか交流の促進によるにぎわいの創造

《主要事業の進捗状況》

■多目的アリーナ整備事業(ハード)【実施中】
〈概要〉中心市街地の拠点施設でもあるコザ運動公園内における地域の交流、観光誘客施設として多目的アリーナを建設する。
〈状況〉既存施設解体工事等を実施し、本体工事に着手した。
〈国の支援措置〉
・再編推進事業補助金(防衛省)

■(仮称) 青年エイサー会館整備事業(ハード)【実施済】
〈概要〉伝統芸能である「エイサー」が鑑賞できる体験施設等を整備運営し、観光拠点として展開する。
〈状況〉平成29年度末整備が完了し、観光関連施設の入込客数の増加に寄与している。
〈国の支援措置〉なし

《その他の国の支援措置の活用状況》

- 沖縄市中心市街地循環バス事業(ソフト)【実施中】
- ・中心市街地活性化ソフト事業(総務省)
- 音の回廊事業(ハード)【実施済】
- ・社会資本整備総合交付金(市街地再開発事業と一体の関連社会資本整備事業)(国土交通省)
- 創業・起業総合支援事業(ソフト)【実施中】
- ・地方創生推進交付金(内閣府)

《今後の方針》

主要事業は概ね順調に進捗しており、観光関連施設の入込客数は、「(仮称) 青年エイサー会館整備事業」といったハード整備が完了し、入込客数の増加に寄与している他、各種イベントの取り組みにより、増加傾向を示している。
来街者を中心市街地全体に回遊させるための情報発信や、商店街店舗改修工事支援事業などを活用した既存店舗の魅力の向上などを図り、賑わいの創造に繋げていく。

中心市街地全体としての付加価値の向上による生活環境の改善

《主要事業の進捗状況》

■山里第一地区第一種市街地再開発事業(ハード)【実施済】
〈概要〉地域の生活拠点の核づくりを目指し、住宅棟、商業施設棟など地域の生活利便性ならびに公益性の高い施設を整備する。
〈状況〉平成29年度末整備完了し、生活環境の改善や地域の利便性が図られ、まちなか居住の促進に繋げている。
〈国の支援措置〉
・社会資本整備総合交付金(市街地再開発事業等)(国土交通省)

■図書館建設推進事業(ハード)【実施中】
〈概要〉複合商業施設「コリンザ」をコンバージョンし、図書館を移転・整備後、必要な資料の購入や図書システムの導入等を実施する。
〈状況〉平成28年度末に施設整備完了、平成29年5月併用開始され都市福祉施設の年間利用者数の増加に寄与している。
〈国の支援措置〉
・特定防衛施設周辺整備交付金(防衛省)

《その他の国の支援措置の活用状況》

- 安慶田市営住宅建替事業(ハード)【実施済】
- 〈概要〉建築後40余年が経過し老朽化が著しい市営安慶田団地を建替える。
〈状況〉平成30年度に建替え工事が完了し、まちなか居住の促進に繋げている。
〈国の支援措置〉
・社会資本整備総合交付金(公営住宅整備事業)(国土交通省)
- 《その他の国の支援措置の活用状況》
- (仮称) 雇用促進施設等整備事業(ハード)【実施中】
- ・中心市街地再活性化特別対策事業(総務省)
- ファミリーサポートセンター運営事業(ソフト)【実施中】
- ・子ども・子育て支援交付金(内閣府)

《今後の方針》

山里第一地区市街地再開発事業の整備完了や安慶田市営住宅建替事業の完了により、今後の効果発現が見込まれる。都市機能の充実と生活環境の改善に向けた取組を進めるとともに、中心市街地の魅力向上を図り定住促進へ繋げ、居住人口減少率の改善に取り組む。